

## 大手前高校 74期 S探 文系 論文集

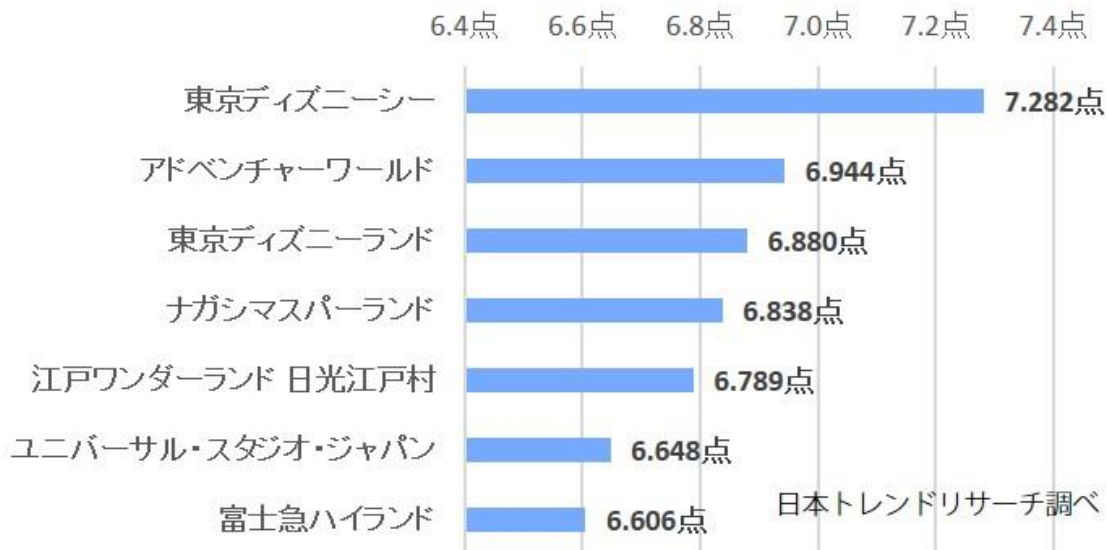
- [なぜディズニーリゾートが夢の国と呼ばれ続けるのか](#)
- [推理小説に騙されないようにするためには](#)
- [近代の日本の化粧はどのように変遷してきたのか](#)
- [つい通りたくなる仕掛けが与える扉の選択への効果](#)
- [炎上から見るアメリカ文化](#)
- [高校生から投資を始めることによって得られる利益](#)
- [映画『ハリーポッターとアズカバンの囚人』のテーマとは～映画分析理論から考察～](#)
- [ソロアイドルはなぜ減少したのか](#)
- [アニメ制作会社の収益を上げるには](#)
- [ガーナ自立プロジェクト!～ガーナの未来の教育のカタチとガーナの文化をインフルエンサーに～](#)
- [人々はなぜ流行に左右されるのか](#)
- [江戸幕府と儒学の政治思想](#)
- [明治時代初期から終戦までの小学校における道徳教育](#)
- [平安時代の中でどのように女流文学は花開いたのか～菅原孝標娘と『源氏物語』～](#)
- [教育現場に仮眠時間を](#)
- [組み分けジャンケンの種類が増加している理由](#)
- [世間のジェンダーレス等の流れにより、高等学校の制服は撤廃されるのか](#)
- [高校運動部のマネージャーに求められる役割とは](#)
- [効果的な「テレビCM」の作り方](#)
- [ミュージカル「The Phantom of the Opera」はなぜ長い間愛されているのか。](#)
- [強くポジティブな“残る記憶”～エピソード記憶に良い影響を与える感情とは?～](#)
- [コロナ禍における最善授業形態](#)
- [大阪都構想の住民投票で行政区ごとに結果が異なった理由とは何か](#)
- [ロヒンギャ難民の女性の性被害について](#)
- [スペインから見る日本の同性婚合法化](#)
- [オノマトペの英訳はなぜ難しいのか](#)
- [会社の利益よりも社員の幸せを追求する経営は夢物語か](#)
- [なぜ「米切手」は江戸時代の大坂堂島米市場で使われていたのか](#)
- [第二次世界大戦の暗号であるエニグマはなぜ解読されたのか](#)
- [SNSの誹謗中傷をなくすには](#)
- [今後、関東・近畿でともに視聴率を高く維持できるテレビ番組とは](#)
- [アニミズム的思考から見る日本の妖怪](#)
- [松下村塾から学ぶ現代におけるリーダーシップ育成方法](#)
- [思春期や青年期の神経性やせ症の効果的な治療法とは?](#)
- [現代の結婚事情](#)
- [NASAの宇宙飛行士にボーイスカウトが多いのは、なぜか?～ボーイスカウト活動の有用性～](#)
- 「ホールニューワールド」にみる日本語圏の人々と英語圏の人々の主張の仕方の違い
- [明治政府と神社](#)
- [聖書翻訳 違いが生まれるのはなぜ?](#)

## なぜディズニーリゾートが夢の国と呼ばれ続けるのか

### 1. 夢の国とは

ディズニーリゾートが夢の国と呼ばれ続けるのはディズニーリゾートで得られる幸せがその場限りのものではないからだとは私は考える。ディズニーリゾートというのは、日本の2つのパーク(東京ディズニーランドと東京ディズニーシー)と、その周辺のディズニー関連ホテルやショッピング施設一体のことを指す。そもそも夢の国とは何なのか。夢の国とはディズニーランドのコンセプトである『夢と魔法の王国』からきている。そして、“幸せ”とは不平や不満がなく、心が満ち足りていることである。日本にはたくさんのテーマパークがある。【2019】テーマパークの満足度リサーチ結果によると、総合満足度は、1位東京ディズニーシー、3位東京ディズニーランド、とディズニーリゾートが圧倒的上位を占めている。また、ディズニーリゾートはリピーターが多いことで有名である。“楽しい”→“また行きたい”のサイクルは、ディズニーリゾートでの幸せがその場限りのものではない、つまり、持続的であることが関係していると私は考える。

テーマパークの満足度評価  
(各パーク142名の平均)



### 2. ハード面とソフト面

まず、ディズニーリゾートをハード面(建物、物質)とソフト面(サービス、心遣い)に分けて考えてみた。ハード面は、アトラクションが新しくなること、季節ごとに変わるお土産、他のテーマパークよりも比較的安く美味しいインスタ映えするフード、東京ディズニーランドの建物並びが左からだとは過去から未来へなること(これにより人が分散する)などである。ソフト面は、パーク内の掃除は小さい子供が転ばないようにしゃがまず立ってすること、誕生日を祝ってくれること、ハイタッチをしてくれること、ファストパス制度(短い待ち時間でアトラクションに乗ることができる)、荷物運びやパレードの準備は地下トンネルを活用することなどである。これらのことからディズニーリゾートは現実離れた夢の国を作り出している。

### 3.世代別

はじめに、世代別の楽しみを考える。小さい子供は、キャラクターと会ったり家族と一緒に来たりして楽しむ。中高生はワイワイすることで楽しむ。大学生や20代の若者は恋人や友達と楽しむケースが多い。親になった人達は、昔自分達が来た時のことを思い出し、それを子供に伝えることで子供と楽しみを共有する。高齢者は孫や子供や家族と来ることでより楽しみを感じる。このようにディズニーリゾートというものを通して、「楽しむ」ということを共有することにより、「幸せ」が続いているといえる。

### 4.地域別

次に、地域別で考える。関東圏(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)に住む人々と地方(関東圏以外)に住む人々とは、ディズニーリゾートの捉え方が異なる。関東圏に住む人々は、距離が近いので比較的行きやすい。季節によってイベントやグッズが変わるので何度行っても違った楽しみ方ができる。例えば、年パスを買って写真を撮ることメイン、あるいは、フードメインで行く。もしくは、アフター6(平日夜の6時から通常より少し安い値段でどちらかのパークに入園出来る制度)を利用して学校帰りに友達と行く。近いがゆえに気軽に行くことが可能である。家族だけではなく、友達や恋人と比較的行きやすいのも関東圏に住む人々の利点だろう。一方で、地方に住む人々はどうか。1年に何度も行けるわけではないが、前々からの準備やディズニーリゾートに行くこと自体が特別なことだと感じる。また、ホテルによるサービスも楽しめる。ホテルはもちろん関東圏に住む人々も利用するが、基本的には地方に住む人々が利用するケースが多い。ホテルによっては、レストランにキャラクターが登場することもあり非常に喜ばれるサービスである。他にもホテルの部屋がキャラクターをモチーフとしたデザインのものもある。楽しみ方は異なるが、どちらも“また行きたい”という気持ちにつながるのと同じである。

### 5.キャストとゲストの関係性

最後に、キャストとゲストの関係性について考える。キャスト、ゲストとは何を指すのか。まず、それから説明しよう。ディズニーリゾートでは、働く従業員のことを「キャスト」、訪れる客のことを「ゲスト」と呼ぶ。キャストは常にゲストに楽しんでもらうことを一番に考え、様々な工夫をしている。例えば、常に笑顔でいることだ。それも偽りの笑顔ではなく心からの笑顔である。これはディズニーリゾートへの愛がないと出来ない。キャストの存在自体がディズニーリゾートを作っていると言っても過言ではない。キャストのおかげで、ゲストは幸せな気持ちになる。また、そのような気持ちになったゲストは更に最大限「楽しみ」や「幸せ」を感じるための行動をとるようになる。例えば、面識のないゲスト同士がお互い手を振り合うのはディズニーリゾートでよく見られる光景の一つだ。これは、幸せを皆で共有しようという思いが込められているといえる。キャストからゲスト、ゲストからまた他のゲストへと幸せの波がどんどん広まっていくことで、ディズニーリゾート全体が幸せのオーラに包まれるのである。

### 6.まとめ

「世代別」、「地域別」、「キャストとゲストの関係性」から考えたように、ディズニーリゾートで得られる「幸せ」は、その場で完結しないのである。その「幸せ」は人から人へとつながり、千葉県から全国、そして世界各国へと広がっていく。時間が経っても、その幸福を忘れることはない。ワクワク感やドキドキ感などのような現実離れた体験を人々はディズニーリゾートで得られるのではないだろうか。また、この体験をまた味わいたいという気持ちによってリピーターが増える。それに伴い、ディズニーリゾートは現状に満足せず、常に進化し続ける。これがディズニーリゾートが夢の国と呼ばれ続ける理由であると私は考える。

## 7.参考文献

・【2019】テーマパークの満足度リサーチ結果 (<https://trend-research.jp/1712/>)

2020年1月12日 閲覧

・「CASTEL」

(<https://castel.jp/p/698>)

2020年10月31日 閲覧

・「株式会社オリエンタルランド」

(<http://www.olc.co.jp/ja/tdr/profile/tdl.html>)

2020年10月31日 閲覧

## 推理小説に騙されないようにするためには

推理小説に騙されないようにするためには、読者自身の読解力を上げることや思い込みをなくすことが必要である。そのように考えた理由を以下で論じる。

まず、騙されないための方法として読書量を増やし、読解力を上げることが挙げられる。PISA (*Programme for International Student Assessment*) と呼ばれる国際的な学習到達度に関する調査がある。PISA 調査では、15 歳を対象にして読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの三分野について行なわれる。その中でも、日本の読解力の順位が 2012 年は 4 位、2015 年は 8 位、そして 2019 年は 15 位と落ちてきている。また、同時に行なわれたアンケート調査で活字離れも明らかになった。これらのことから、紙の本にしても電子書籍にしても読書量を増やすことは、読解力を上げて騙されないようにするために有効であると考えられる。しかし、ベネッセ教育総合研究所が 2006 年に小学 5 年生と中学 2 年生を対象に調査した読書量と「読解力」との関係では、「読解力」スコアは読書量が月に 4~5 冊程度で頭打ちになり、そこからは減少傾向にあることが示された。ただ、読書の多様性レベルと「読解力」との関係では、読書の多様性レベルが高くなると「読解力」スコアの伸びはやや鈍化するものの、レベルが高くなるほどスコアが高くなる傾向を示している。すなわち、読解力を上げるには単に読書量を増やすだけではなく、幅広い読書が大切であると言える。

次に、小説に施されているトリックをよく知ることが必要だ。多くの人は、推理小説を読む際、物語の中の探偵役と一緒に謎を解くことや、探偵役の論理的な思考による謎解きの過程を楽しみとしている。そのような読者に対して、簡単に真実を分からせないようにするのがトリックである。トリックには様々なものがあるが、一部の描写をあえて曖昧にすることで、人の先入観や思い込みによるミスリードを誘うものが多い。そのように作者が読者に仕掛けるトリックのことを、特に叙述トリックと呼ぶ。例えば、性別誤認や年齢誤認などがよくある。推理小説の作者は様々なトリック、記述の仕方などで読者をトリックに引っ掛けようとしてくる。ただ、叙述トリックは推理小説を普段読まない人に対する効果は大きいですが、読み慣れている人ほど違和感に気づきやすくなり、見破りやすくなる。つまり、推理小説を読むという経験を積んでいくことで騙されにくくなる。

では、思い込みはどうして起きてしまうのか。それはヒューリスティックによるものだと考えられる。ヒューリスティックとは、過去の経験から判断する直感的な思考のことだ。脳は過去の自分の経験を頼りにして通常よりも速く答えを出せるようにしてくれている。これは脳のエネルギーを節約するためである。そのような点では、ヒューリスティックは非常に効率的ではあるが、一方で、この判断方法は正確性に欠けるというデメリットも持ち合わせている。直感的に素早く答えを出すことで、誤った結論に達してしまうことがあり、そのようにして思い込みが起きる。

ヒューリスティックには、主に「代表性ヒューリスティック」、「利用可能性ヒューリスティック」、「係留ヒューリスティック」、「感情ヒューリスティック」の 4 つに分けられる。「代表性ヒューリスティック」とは、ある物事を過去の経験から連想ゲームのように解釈する心理現象である。例えば、血液型と性格の関係には全く科学的な根拠が無いにもかかわらず、A 型の人はいく帳面だ、O 型の人は大雑把だ、などのようにそれら結びつけることだ。「利用可能性ヒューリスティック」は、思い出しやすさによって認知が歪められる心理現象である。ある物事の思い出しやすさ、想像しやすさが認知に影響を与える場合がある。「係留ヒューリスティック」は、先に与えられた情報を基準として、後の情報を判断してしまうという心理効果のことだ。例えば、10 万円の商品を売りたいときに、「弊社の商品は 10 万円です!」とするよりも、「相場は 30 万円ですが、弊社では 10 万円で提供させていただきます!」とした方が安く感じさせることが出来る。そして、「感情ヒューリスティック」

は自分の感情に従って判断をしてしまう心理現象だ。人は好きなものに対してはメリットばかりが見えるようになるが、嫌いなものに対してはリスクばかり見えるようになる。毎年多くの人々が詐欺の被害に遭うのが良い例である。詐欺師は善良な人間を演じている。被害者はその演じられた人物を見て、良い人が売っているのだから商品も良い物に違いない、と錯覚してしまう。

ヒューリスティックによってかけられたバイアスを矯正するためにはどうしたらよいか。相馬正史・都築誉史(2014)「意思決定におけるバイアス矯正の研究動向」の「バイアス矯正の研究流派」には、バイアス矯正の古典的な研究者である Fischhoff(1982)は(中略)バイアスを除去するにあたって、“多くの思慮は、合理的な考えに至らないが、経験や訓練を通して改善される”と仮定している。

とあり、また「考察方略」には、

心理学のバイアス矯正研究では、考察方略が多くの研究で検討されている。これは“初めの判断が間違っている理由は何か”と自身に尋ねる方略である。この方略は主に、(a)反対意見の考察(consider an opposite),(b)対立した考察(consider an alternative)の二つに焦点を当てている。前者は、初めに浮かんだ考えとは反対のものを考察する方略であり、後者は初めに浮かんだ考えとは反対の考え、またはその他の考えを考察する方略である。考察方略は、連合に基づく短絡的な判断を妨害し、考慮してなかった他の証拠に注意を向けさせる、有効な方略である。(中略)対立した考察方略は、(中略)数ある心理現象で検討されており、バイアス矯正の効果も確認されている。

とある。つまり、多くの経験や訓練を積み、そして初めに浮かんだ考えとは別の考えを考慮する、すなわち様々な視点から物事を見ることが重要である。

上記のように、推理小説に騙されないようにするためには、ただ読書量を増やすだけではなく、たくさんの種類の本を読んで経験を積むこと、また様々な視点から物事を見る必要がある。

## 参考文献

OECD 生徒の学習到達度調査(PISA):国立教育政策研究所 National Institute for Educational Policy Research

<https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/index.html>

2021年2月2日最終閲覧

PISA 調査 日本の読解力低迷、読書週間の現象も影響か

<https://search.yahoo.co.jp/amp/s/www.sankei.com/life/amp/191203/lif1912030037-a.html%3Fusqp%3Dmp331AQQKAGYAZbD0dmQroLLLebABIA%253D%253D>

2020年12月29日最終閲覧

「読解力」と読書指導との関係

[https://berd.benesse.jp/berd/center/open/report/gakuryokukoujou/2006/chukan\\_pdf/gakukihon2006\\_07.pdf](https://berd.benesse.jp/berd/center/open/report/gakuryokukoujou/2006/chukan_pdf/gakukihon2006_07.pdf)

2020年12月29日最終閲覧

ヒューリスティックとは|4種類のヒューリスティックとその対策

<https://sales-closing.net/2018/11/14/heuristic/>

2020年12月29日最終閲覧

代表性ヒューリスティックとは|意味・具体例・活用法を解説

<https://sales-closing.net/2020/04/27/representative-heuristic/>

2020年12月29日最終閲覧

相馬正史・都築誉史(2014)「意思決定におけるバイアス矯正の研究動向」

<https://core.ac.uk/download/pdf/293147033.pdf>

2020年12月29日最終閲覧

田中一彦(2000)「協調の原理と叙述トリック」

<https://dlisv03.media.osaka-cu.ac.jp/contents/osakacu/kiyo/DB00010201.pdf>

2021年1月22日最終閲覧

## 近代の日本の化粧はどのように変遷してきたのか

### ①

時代の変化と共に、黒船来航により鎖国であった日本は開国し、戦争やバブル崩壊によってインフレやデフレは起こり、技術の進歩は白黒テレビをカラーテレビに変化させた。そして時の流れに伴い、日本の女性の流行も変化している。女性の流行に関係する様々な分野のなかで私は特に女性の化粧という分野に着目し、近代以降の日本の女性の化粧の流行の変遷と各時代の情勢との関連を調査した。近代の日本の女性の化粧の流行はどのような変遷を辿ったのか、そしてその変遷の要因となったものは何か。これを今回の研究の問題提起とする。この場合の近代は、明治時代初期から 2000 年代までとする。勿論化粧は女性の外的特徴に深く関わり髪型や服装の流行とも関係するが、今回の研究における化粧は肌の調子を整えるスキンケア用品から顔に生来無いはずの色も使用して肌に乗せるアイシャドウ等、顔に関わるものと定義する。また、この場合の流行は、広辞苑第五版 P2803・L9より「③衣服・化粧・思想などの様式が一時的にひろく行われること。」の意味を用いることとする。

### ②

まず各時代の世の中の情勢の変遷を社会的な面から政府の動きも押さえつつ辿っていく。

#### ・明治時代(1867~1912)

1867年に起きた大政奉還により政権が江戸幕府から朝廷へと返還され、明治時代が始まった。‘化粧の日本史’(山村・2016)に「化粧に関する最初の布告は、お歯黒と置き眉の習慣に関するもので、対象は公家の男性だった。~改元前の慶応四年(一八六八)一月六日に『男子は今後お歯黒をつけなくてもよい。眉も同様で、若い公卿の眉づくりもする必要はない』という趣旨の太政官布告が出された。」(P90・L1~4)とある。鎖国状態にあった日本独自の化粧文化が外交情勢に合わせて変化していく様子が布告の内容を通して読み取れる。その後には1870年2月5日に容姿に関する禁止令が出される。内容はこれから元服する華族に対してお歯黒と眉づくりをやめるように、というものである。さらに翌年には一般に断髪令として知られる男性の髪型に関する太政官布告が発せられる。しかしその翌年の1873年4月5日に女性の断髪禁止令が発布される。この政府の一連の動きから、積極的に西欧化に向けて容姿の面からも国民の意識を変えていく策をとる反面、明治時代初期では女性の断髪や化粧の西欧化は時期尚早だと人々に考えられていたことがわかる。

その後1873年に宮内省が皇太后、皇后が黛(まゆずみ)や鉄漿(おはぐろ)をやめたと発表したことを皮切りに女性の化粧の西欧化が進んでいくこととなる。ただしその変化は政府が矢継ぎ早に出した布告に比べ、大変緩やかなものであった。和歌山県和歌山市で開業していた歯科医中井好正がおこなった調査によると明治26年1月から12月までの一年間に来院した有歯の既婚女性288人のうち、お歯黒をつけている人は202人、およそ70%だったという。この調査から皇太后、皇后が日本の伝統化粧をやめた年から20年経っても3割しかそれに倣っていないということから西欧化は緩やかに進んでいったことが推測できる。理由としては男性より女性の洋装化が遅れたことが挙げられる。西欧化が政府によって推進されていたといえども、明治時代初期に社会進出している女性は少なかった。その為、外で人目につく状態で働いていた男性よりも人目につかない家にいる女性の洋装化の方が遅れたのでは、と考えられる。

そうして明治10年度から徐々に化粧、化粧品が西洋化が進んでいく。この変遷に関しては後の段落で詳しく述べることとする。



明治 38 年、日露戦争が勝利に終わった日本は一時的に好景気に入る。人々の生活に余裕が生まれ化粧品の上も急増する。化粧品の売上増加に伴い各社の化粧品の広告や美容関連記事が増加する。このように、明治時代は緩やかではあるが日本の伝統化粧の束縛から解放され、洋風の化粧品が普及しはじめ、日本の女性たちの美しくなりたいという意思を強く映し出した時代だろう。

・大正時代～WWⅡ終戦(1912～1945)

1912年7月、大正天皇が即位され大正時代の幕が上がった。大正から昭和前半にかけて西洋の文化はさらに人々に浸透した。生産力、技術力の向上により西洋風の化粧品は明治時代よりさらに低価格になり、身分に関係なく世の中の女性に西欧風の化粧が広まっていった。そのうえ1914年に始まった第一次世界大戦に参戦した日本は大戦景気となる。経済の急速な発展は社会に大きな変化をもたらした。具体的に述べるとサラリーマンの誕生と女性の社会進出の象徴となるオフィスガールの誕生である。そしてこれらの社会の変化により大正時代の人々が手に入れたものは「購買力」である。「購買力」を人々が手に入れたことによって消費の大衆化が進んだ。化粧品もまた然り、初めて自ら購買力を手にした女性たちによって大量に生産、消費されたのである。加えて外で働く＝人目を気にする機会が増えた為、女性たちにとって化粧品は一層必要なものとなったといえるだろう。

この時代、政府は近代化の一環として西洋人に見劣りしない体型を目指し健康なからだづくりの方策を押し進めた。ここから今も通ずる「健康美」という新しい基準が誕生した。この健康志向の政府の政策は徐々に戦争の影が色濃く反映されていく。白粉をつけた真っ白な肌が美しいとされた明治時代から「健康美」という概念は新しい肌色の美しさを定義したといえるだろう。

1923年に起きた関東大震災後、「モダンガール」が風俗現象として話題になった。「モダンガールの条件は断髪、眉毛は剃り落して描き眉毛、指にはマニキュアをほどこした。」(黒髪と化粧の昭和史・廣澤・1993)全く女性の洋装化が進んでいなかった1920年代において、洋装、断髪、洋風の化粧で街を闊歩するモダンガールは多くの人々に批判、好奇の目を向けられた。しかしモダンガールと呼ばれる女性たちは厳しい批判に屈することなく、洋装化の波はゆっくりではあるが大正末期から昭和を通して世の中の女性たちに広まっていった。その理由としては社会進出における機能性があげられる。加えて大正時代は雑誌などのマスメディアが広く普及したため、都心部だけでなく全国に流行が広まりやすくなった。さらにお齒黒や黛が象徴としていた「女はこうであるべき」という日本に古くからある縛りから解放されたいという女性たちの思いが批判のなかでも洋装化を促進したといえる。このころから洋装化の波に伴い女性の化粧、服装において現代に通ずる「個性」が尊重されだしたといえる。しかしこの世間の女性の洋装化の波は戦争の影響によって一時中断となる。

昭和は一言でいうなれば「規制」の時代である。1926年12月昭和天皇が即位し、元号が昭和に改元された。昭和恐慌に世界恐慌、日中戦争に太平洋戦争、1945年の終戦まで人々の生活は貧しくなり政府の圧力も力を増すばかりだった。化粧も規制される対象として次々と弾圧されていく。1931年の満州事変から1937年の盧溝橋事件までの6年間は軍部の指導により国民の戦争支持熱は盛り上げられ、世間の雰囲気も戦争に対して前向きである。しかし1937年から開戦した日中戦争をきっかけに日本は戦争の泥沼に入っていく。同時に贅沢なものを規制する動きが世間で厳しくなっていった。有名なものとしては、その頃西欧の技術だと人気があったパーマネント・ウェーブが敵の技術である、電気を使用しているので贅沢である、等の理由で激しく弾圧されだした。そしてついに1938年国家総動員法が制定された。この法律の成立によって国民の生活は大きく変化していく。1939年には価格等統制令が公布され物価の価格が固定され、国民服刷新委員会により服装は統制された。1940年7月7日には七・七禁令として有名な奢侈品等製造販売制限規則が発布され、不要不急品や奢侈贅沢品等の製造、加工、販売が禁止され不況の化粧

品業界に追い打ちをかける大きな打撃となった。1945年の終戦まで政府の規制は続き、人々の生活は勿論、女性たちの化粧も厳しく制限がかけられることとなった。

#### ・終戦後～2000年代(1945～)

アメリカに敗北した日本は連合国軍総司令部(GHQ)に1945年から1952年まで占領されていた。そのあいだに日本人の親米感情は育まれた。この時代、占領下の化粧の流行の先端にいたのは「パンパン」だ。パンパンとは、「第二次世界大戦後、米兵を相手にした街娼をいった。[語源については、インドネシア語説、手をたたく擬音とする説などがある]」(三省堂スーパー大辞林)である。米兵の娼婦であった彼女たちはアメリカンスタイルのファッションの流行を戦後の日本にもたらした。

その後日本は1950年代から高度経済成長期に入り、好景気が立て続けに起こり人々の暮らしは豊かになっていく。1953年にはテレビ放送が開始され、1960年にはカラーテレビの放送が開始された。オーディオ・ヒットパレードをはじめとした海外女優たちも次々に来日し、マスメディアを通じて日本に新しい化粧の流行を爆発的に広めた。1973年に起きたオイルショックの影響で激しい物価上昇が起こり、高度経済成長期が終わりを迎えると同時に日本美を見直す動きが生まれる。その頃から女性の社会進出も進み、1980年代前半にはキャリアウーマンブームが到来する。後半にはバブル期突入など日本の経済状況は目まぐるしく変化していく。

戦後はメディアの発達などにより化粧の流行が広がる速度が速くなり、海外の化粧法が日本で多く取り入れられる。更に経済力を国民が男女関係なく手に入れたことに加え、技術力の進歩によって低価格で化粧品を購入出来るようになり、流行が変化するスピードが戦前に比べ圧倒的に速くなったといえるだろう。その流行の変化の詳しい内容については次の段落で述べる。

### ③

この段落では化粧の歴史について具体的な化粧品、化粧の方法など各時代に流行した化粧の細かな面から変遷を辿っていく。

#### ・明治時代(1867～1912)

前段落で述べたように、明治時代の始まりとともにお歯黒と黛の伝統化粧が失われていき、政府の働きにより徐々に西欧風の化粧が広まっていった。明治時代の美人とされていた女性は明治40年に時事新報社主催の美人コンテストで一等をとった末弘ヒロ子から特徴が挙げられる。江戸時代は浮世絵に描かれていたように切れ長の目をした女性が美しいとされていたが、明治時代は太眉、ぱっちり二重の女性が美しいとされていたことがコンテストの末弘ヒロ子の写真から推測できる。その変化の理由としては、開国の影響で西欧の女性のような彫りの深い顔立ちが美しいと日本の人々に段々感じられるようになったからと考えられる。

化粧品も西欧の文化の影響を受けた新しいものが発売されていく。明治10年代からは西洋医学を取り入れた化粧品が次々と発売される。蘭方医が処方した「小町水」(平尾賛平商店)やサリチル酸を配合した「にきびとり美顔水」(桃谷順天館)、西洋処方を取り入れた「オイデルミン」(資生堂)などである。

明治20年代前半に今まで日本にはなかったクリームが大日本製薬から発売される。明治30年代頃からは、平尾賛平商店、中山太陽堂、伊藤胡蝶園などのその頃人気だった化粧品会社が次々とクリームを発売する。明治末期にかけて国内で多く流通したため実際に人々に普及したのは大正時代である。そのためクリームの使用方法については大正時代の化粧方法と併せて述べることにする。

明治39年には、資生堂が日本で初めて色付き白粉である「かへで白粉」と「はな白粉」を発売する。江戸時代まで日本の白粉は白色が当たり前だったが、洋装が浸透するにつれ化粧も欧米で使われていた

「肉色」を使用するようになる。『「かへで白粉」は、健康的な肌色を演出するといわれる黄色、「はな白粉」は肌の白さを際立たせる肉色（紅色）の白粉でした。』（資生堂 HP）

明治 38 年頃からは「ハイジエニック・フェイシャル・カルチャー (Hygienic facial culture)」、今でいうエステの施術が受けられるエステティックサロンが横浜や日本橋などを中心に開業する。その頃の人々には「美顔術」と呼ばれ、ハイカラな風俗として評判になった。『日本の女性美容家の草分けのひとりといわれる遠藤波津子の「理容館」(現「Hatsuko Endo」)や芝山兼太郎の理髪店「日之出軒」(現「シバヤマ美容室」)が登場しました。』（MIRAIBI by PORA）化粧の日本史(山村・2016・P114・L11~15)にその頃の「美顔術」の方法が記されている。「当時の美顔術の施術は寝椅子に横たわっておこなわれた。まず、熱い湯にひたしたタオルで顔を温めたあとにクリームをすりこみ、吸引カップで汚れを吸い取る。次に石鹸をゴムブラシにつけて、顔からのどにかけて洗い、タオルでふきとる。その後、マッサージクリームをつけ、ローラーを使いながら指先で肌をマッサージする。最後にまた熱いタオルで顔を温め、水気をふきとって終了となる。仕上げに、お客の好みにより濃くも薄くも化粧をしたという。」という文章から分かるように、エステの方法が今と大幅に異なるということはないようだ。

明治時代の化粧の特徴は、開国により西欧の文化が日本に流入し、西欧風の化粧や西欧の知識を取り入れた化粧品が国内でも開発されだしていく。しかし前段落でも述べた通り、明治時代の女性の化粧の流行の速度は緩やかで、それらの化粧品が広く流通するのは大正時代のことであった。

・大正時代~WWⅡ終戦(1912~1945)

1914 年から 1918 年にかけて行われた第一次世界大戦の終戦後の 1920 年代に日本ではサラリーマンとオフィスガールが生まれる。当時「職業婦人」と呼ばれた働く女性たちに求められたのは、いわゆる「時短メイク」である。明治時代までの女性の白粉は水で溶かして何種類もの刷毛を使って塗るのが主流だった。しかしその方法は手間と時間がかかるため、新しく時間のかからない化粧法としてクリームを塗った後にパフで白粉をはたくという方法が人々に流行した。また大正時代には、クリームと白粉が一体化した新しいタイプの化粧品もから多くの化粧品会社から発売されている。「レートメリー」(平尾賛平商店)、「資生堂クリーム白粉」(資生堂)などが主である。その後、昭和初期にかけて化粧直し用に持ち歩ける携帯用コンパクトが女性のあいだで流行する。コンパクトのなかには白粉とパフがセットされており、小さな紅なども入っていた。「時短メイク」は時代と共に進化していったといえるだろう。また、1918 年に日本で初めて発売された棒状口紅である「オペラ口紅」(中村信陽堂)も日本の女性の化粧法が合理化した理由である。明治時代まで口紅は基本赤、「指や筆を使っておちょぼ口のように小さく描いていた。」(化粧の日本史・山村・2016・P112・L15)という風に使われていた。棒状口紅だと指や筆が汚れることもなく、さらに携帯できるため大正時代の人々に浸透したと考えられる。更に大正末期にかけて国産品の口紅でも幅のある色展開がなされるようになり、西欧風に唇の横幅いっぱいには薄く広げて塗る口紅のつけ方も広がっていった。

1923 年に関東大震災が起こった後、次に出現したのは「モダンガール」である。前段落で行ったためモダンガールの説明は省き、この段落ではモダンガールの化粧の具体的な様子について述べたい。『当時の言説において、「モダンガール」は、「洋装」「断髪」「濃い化粧」などの外見的特徴に加え、「享乐的」「軽薄」「不品行」「貞操意識が低い」といった属性を持った女性として表象されたが、一方で、当時の大衆メディアや広告においては、洗練された「モダンガール」の図像が氾濫を見せた。』（Artworlds モダンガール）よりその頃のモダンガールの特徴と人々からの感じられ方が分かる。モダンガールは大正時代主流ではなかった洋装を多く取り入れると共に洋風の化粧を取り入れることもあった。大正時代の女性にどれだけ洋装が浸透していたかは、民俗学者である近和次郎の調査から伺える。「1925 年、初夏の昼下がり、道ゆく男女の服装比率、女性の和服 99 %、洋服 1%という調査」(今 和次郎「考現学」の射程と比較文化 佐藤洋

子)に書かれているように大正時代の日本の女性が洋装をしていることは大変珍しかったといえる。そのような時代に洋装を積極的に行っていた「モダンガール」は上記のように批判されやすかった。しかし、「1928年の調査で、和服 86%に比し、洋服 16%になった。」(佐藤洋子)とあるように昭和にかけて徐々に洋装化の波が広まっていったことがわかる。次にモダンガールが取り入れていた洋風化粧である「ポイントメイク」について述べる。「『婦人画報』がおすすめしたのは、顔の立体感を意識し、目頭に紅を目立たない程度塗るポイントメイクでした。(昭和8年6月号)」(婦人画報HP)にあるようにポイントメイクとして用いられたのは、頬紅やアイシャドウである。「大正三年の『クラブ頬紅』、六年の『レート頬紅』『オペラ頬紅』など、大正前期に有名ブランドから発売されている。」(化粧の日本史・山村・P137・L2~3)から分かる通り、特に頬紅がポイントメイクとして人々に広まっていた。理由としては、前段落でも述べたように、健康美の流行と肉色化粧の流行の二点が挙げられるだろう。アイシャドウは青や緑など肌から遠い色を使うものも多かったため、顔色が悪く見えるなど非難の声が大きく頬紅や棒状口紅のように広くは女性たちに広まらなかった。

大正時代ではすでに映画が庶民の娯楽となっており、モダンガールたちは洋画から欧米のファッションを学んでいた。その傾向は昭和初期に流行した「引眉毛」という洋風の細く長く眉毛を描く方法などにもみられる。当時大流行した映画、1927(昭和2)年に公開された「イット"It"」に出演していたクララ・ボウはまさに引眉毛で、日本の女性が影響を受けていたことがわかる。

1926年に始まった昭和の時代は1931年の満州事変以降特に戦時色が強くなる。前段落でも述べた通り、1940年頃から贅沢品を禁止する規則などが発布され化粧品業界は不況に陥る。しかし昭和初期、1937年の日中戦争まではむしろ化粧品の売り上げは増加傾向にあった。旦那が徴兵され働きに出る女性が増加したからである。それによって労働のための時短メイクは大正時代から更に流行した。戦況が悪化してくると、材料の不足、奢侈品制限の政令などから化粧品の流行は一時中断となるが、それでも身だしなみ化粧品と呼ばれる肌の調子を整えるためのスキンケア用品は根強く人々に購入されている。その様子が確認できるのは当時の雑誌、「婦人画報」「婦人倶楽部」などの化粧品の広告である。「クラブ洗顔」(中山太陽堂)「レートクリーム」(平尾賛平商店)の当時の化粧品会社二大巨塔らの広告は1943年頃まで雑誌に掲載されていた。

これらから、日本の女性が化粧を重要視し貧しい状況であっても美しくあることを諦めなかった姿勢が読み取れる。その根底には、「美しくありたい」という思いだけでなく、「身だしなみを整えなければならない」という思いも存在していたと推測できる。

・終戦後~2000年代(1945~)

終戦後すぐの日本で流行した化粧は「真っ赤な口紅」と「光るお化粧」である。

「真っ赤な口紅」の流行の最先端だったのは、前段落で述べた米兵娼婦の「パンパン」である。「パンパン」はちりちりのパーマ、濃い化粧と米兵から手に入れた派手な色彩のアメリカンファッションが主な特徴であった。戦後の1940年代後半、人々は大変貧しく、とても化粧品を満足に買える状況ではなかった。そんな状況下でも化粧をしたい、身だしなみを整えなければと願った多くの女性たちが少しでも化粧が目立つ赤い口紅を購入した。1955年からは伊勢半本店より「キスしても落ちない口紅」というキャッチコピーのもと「キスマースーパー口紅」が発売され話題になる。

口紅と共に大流行したのが「光るお化粧」である。「光るお化粧」とは顔がキラキラと輝いて見えるような化粧法のことである。具体的な方法は「オリーブ油、椿油、ごま油などの植物油を薄くつけた上から粉白粉をはたくもので、粉白粉の色は手の甲よりほんの少し白っぽい色がよいとされた。」(化粧の日本史・山村・2016・P169・L2~4)と書かれている。戦前使用されていた無油性のクリームでは化粧の仕上がりがマツ

トだったが、油性化粧品を下地に使うことでつややかな仕上がりになった。流行の理由としては、米軍の女性将校のつややかなベースメイクがあげられる。

次にマスメディアの発展による化粧の流行の変遷について述べたい。1953年、日本初のカラー映画である「カルメン故郷に帰る」が公開される。当時の技術ではカラー映画の女優の肌がピンクがかって見えたため、女性たちに「ピンク化粧」が流行した。テルミー化粧品がカラー映画を意識したファンデーションの販売を行うなど、白色から色付きのベースメイクに流行が変化していった。それに拍車をかけるように1953年のテレビ放送開始、1960年のカラーテレビ放送開始により女性の化粧では「色」が意識されるようになった。1950年代にアイシャドウが流行したのもその理由による。

戦後は、海外女優の来日によって海外女優を真似た化粧が流行した。アメリカを礼賛する占領政策の影響で外国人のような彫の深い顔立ちが美しいとされたのも一因である。オードリー・ヘップバーンのような角度眉やツイッギーの来日によってアイメイクの大流行、マドンナの赤い口紅の流行などが主である。

戦後の高度経済成長期によって男女関係なく経済力を手に入れたことによって、化粧品の売り上げが増加し化粧品会社のキャンペーンが流行に深く関わってくるようになり、主なものとしては1966年の資生堂のサマーキャンペーンによって健康的な焼けた肌が流行した。1975年に資生堂が和風美人を広告に採用したことにより欧米のような化粧ではなくナチュラルな化粧が流行し、「素肌っぽい」化粧が流行した。

しかし1986～1991年のバブル経済によりまた派手な化粧が流行するなど、戦後の化粧はめまぐるしく変化していく。

#### ④

この段落では、冒頭に行った問題提起“近代の日本の女性の化粧の流行はどのような変遷を辿ったのか、そしてその変遷の要因となったものは何か”の結論を二段落、三段落から総括して述べる。

##### ・明治時代(1867～1912)

明治時代の化粧の流行の変遷の特徴は、お歯黒と黛を代表とする日本で古くから行われてきた化粧の廃止、衰退が主である。それに伴い、緩やかに西欧風の化粧が広がっていった。その要因は明治政府による太政官布告によって伝統化粧が廃止される、政府が西欧化を推進するなどの、政府や国の働きによる。

##### ・大正時代～WWⅡ終戦(1912～1945)

大正時代の化粧の流行の変遷の特徴は、女性の洋装化に伴い西洋の化粧の浸透、更に海外から新しい化粧品、化粧品の輸入、技術力向上による新しい国内での化粧品の開発である。要因としては三点あげられる。その根本にあるものは女性の社会進出である。女性の社会進出によって

- ①女性が経済力を手に入れたので化粧品の流通が急速に広まった。
  - ②出社のための時短メイクと携帯のための機能性が求められたので、新しい化粧品が流行した。
  - ③人目に触れる機会が増加したので、西欧化の必要に迫られた。
- の三点である。

第二次世界大戦中は経済状況が悪化し、華美な化粧は規制されたがそれでも身だしなみ化粧品(肌の調子を整えるスキンケア用品)が人々に購入された。

##### ・終戦後～2000年代(1945～)

終戦後の日本の化粧の流行は、GHQの統治(1945～1952)により西欧の文化が今までより更に流入するようになったのを皮切りに、女優を真似た化粧のブーム、化粧品会社のキャンペーンによる化粧のブームなどメディアによって新しい化粧の流行が速いスピードで変遷していくのが特徴である。その要因としては、

1950年代から1970年代にかけての高度経済成長期により人々の暮らしが豊かになり化粧品の売り上げが増加したこと、技術力の向上により映画や雑誌、TV等のメディアが発達したことである。

⑤

明治時代～2000年代の日本の女性の化粧の特徴と要因は四段落で述べた通りである。次に流行の変遷の要因をまとめると、世相の動きについて、明治時代は政府の働きと国際情勢の変化、大正時代～戦前は女性の社会的位置の変化、経済発展、戦後～2000年代は更なる経済発展、メディアの発達、技術力の急速な発達などがあげられる。このことから近代の日本の女性の化粧の流行は各時代の世相と深く関連しているといえる。

今回の研究を通して、日本の女性の化粧という分野と世相の関連を具体的に時系列と照らし合わせながら検証できたことは個人的に大きな成果だと思われる。問題提起からはずれてしまうが、日本の女性にとっての「化粧」とは何なのか、という問いに対するこの研究を通して構築した考察を述べたい。化粧とは「義務としての化粧」と「欲求としての化粧」の大きく二つに分けられるのではないかと考える。これは今回の研究の時代背景からの考察であって、古代に行われていた儀式としての化粧などは含めない。「義務としての化粧」とはつまり身だしなみを整えるため、マナーとしての化粧である。他者の目を気にすることで行われる化粧ともいえるだろう。次に「欲求としての化粧」とは自らを飾りたいという欲求に従って自発的に行う化粧である。「欲求としての化粧」には「この化粧品を使いたい」などといった感情がきっかけの化粧も含まれるだろう。「義務としての化粧」に対して、きっかけは他者の目ではなく自らの欲望である。大正時代を例に挙げると、職業婦人たちが行っていた「時短メイク」は「義務としての化粧」、モダンガールたちが行っていた化粧は「欲求としての化粧」だと考えられる。

この二つの観点から各時代の化粧の様子を考える。明治時代、外に出ることが少なかった当時の女性はいわゆる「義務としての化粧」の必要に駆られていなかった。そして西欧化の波が緩やかであった＝新しい化粧の流行の波が緩やかであった、ということは「欲求としての化粧」が行われることもそのあとの時代と比べると少なかった。大正時代は、先程述べた通り職業婦人たちの登場によって「義務としての化粧」を行う女性が増加する。その代表は「時短メイク」であったが流行が広がるにつれデザイン性のあるコンパクトが普及し、「欲求としての化粧」としての側面も併せ持つようになる。そして「欲求としての化粧」の代表ともいえるモダンガールたちは批判に屈することなく彼女たちが「したい」と思える西欧風のファッションや化粧を行った。大正時代は「義務としての化粧」、「欲求としての化粧」の両方が盛り上がった時代であるといえる。戦争が始まると女性の労働力が重宝されたため、生活に余裕がない中でも「義務としての化粧」は行われた。しかし戦時中に「欲求としての化粧」を行えるほどの余裕は人々になかった。つまり戦時中の女性たちは「義務としての化粧」のみを行っていた。貧しく余裕がなかったとしても外に出るときは少しでも化粧をするというのはまさに「義務」であったといえるだろう。戦後の化粧は女性が男性と同じように働くことが増加していったため、「義務としての化粧」の側面も勿論存在するが、やはり「欲求としての化粧」の発展が主である。前段落でも述べたように、西欧文化の浸透、マスメディアの普及、経済力の上昇、技術力の向上によって女性たちは幅広い選択肢の中から自分のしたい化粧、「欲求としての化粧」を選ぶことが可能になった。さらに言えば、女性たちの様々な欲求が昭和時代以降の化粧の流行の変遷のスピードを加速させていったのではないだろうか。「義務としての化粧」と「欲求としての化粧」、相反するもののようであるが一方が発展して他方になったり、一方の影響で他方の人々へ普及具合が変化するなど、勿論時代背景によって細かく変化するので一概に規則性があるとは言えないが、二つの「化粧」は関係している。このような観点からも各

時代の化粧の流行の特徴が挙げられるのではないかとわたしは今回の研究を通して化粧の在り方を見つめる上でそう考えた。

ある時代の女性の化粧を調査するとその時代の社会構造が浮かび上がってくる、そしてその社会の中の女性の立ち位置が見えてくる。それらを研究していると、改めて日本の歴史の中に横たわっている家父長制の支配構造についても考えさせられた。歴史の中で「化粧」はそんな日本の女性たちをときに苦しめ、美しくなる喜びを与えてきたといえる。

(参考資料)

「化粧の日本史 美意識の移りかわり」著：山村博美 (2016)

「黒髪と化粧の昭和史」著：廣澤榮 (1993)

資生堂ヘアメイクアップ HP [https://hma.shiseido.com/jp/info/p20170110\\_1824/](https://hma.shiseido.com/jp/info/p20170110_1824/)

ポーラ文化研究所 HP <https://www.cosmetic-culture.poholdings.co.jp/culture/cosmehistory/>

大日本婦人会概況 [https://www.ndl.go.jp/modern/img\\_t/087/087-001tx.html](https://www.ndl.go.jp/modern/img_t/087/087-001tx.html)

年表から見る経済産業統計

<https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/topics/maruwakari/nenpyo.html>

ニッポン化粧ヒストリー第一回 <https://miraibi.jp/articles/0013>

ニッポン化粧ヒストリー第三回 <https://miraibi.jp/articles/0100>

紅ミュージアム 株式会社伊勢半本店

HP <https://www.isehanhonten.co.jp/museum/collection/cosmetics-meiji/>

HISTORY of OPERA <https://cyanmag.jp/1131>

資生堂会社案内 HP <https://corp.shiseido.com/jp/company/history/>

むかしの装い：光るお化粧 [http://blog.livedoor.jp/mukashi\\_no/archives/26922815.html](http://blog.livedoor.jp/mukashi_no/archives/26922815.html)

「パンパン」から考える占領下の性暴力と差別

<https://mainichi.jp/articles/20200814/k00/00m/040/132000c>

近代化粧品工業を築いた明治の起業家たち

[https://www.chemistry.or.jp/know/isan042\\_article.pdf](https://www.chemistry.or.jp/know/isan042_article.pdf)

百年以上前に発売された「かへで白粉」と「はな白粉」って?!

<https://www.shiseido.co.jp/foundation100/answer/q51.html>

大塚商会 お客様マイページ <https://mypage.otsuka-shokai.co.jp/contents/business-oyakudachi/nostalgic-office/2018/04.html>

Artworlds モダンガール

<https://artscape.jp/artword/index.php/%E3%83%A2%E3%83%80%E3%83%B3%E3%82%AC%E3%83%BC%E3%83%AB>

婦人画報 <https://www.fujingaho.jp/culture/g31009374/fujingaho115-culture-200221/>

## つい通りたくなる仕掛けが与える扉の選択への効果

### 1. はじめに

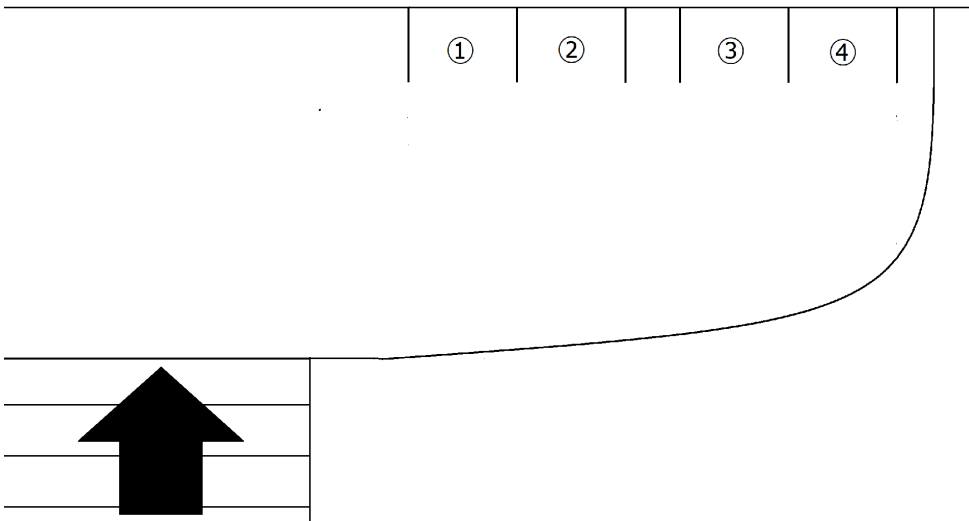
「仕掛学」は、人の行動に起因する様々な社会問題を解決するために、行動変容を促すことを企画した方法論である[1]。仕掛学で用いる仕掛けによるアプローチは、望ましい行動を「ついしたくなる」ように間接的に伝えて結果的に問題を解決することを狙うことである。また、仕掛けは「行動の選択肢を増やすもの」とも言え、あくまで行動の選択肢を増やすだけで行動を強要しない。本稿は、仕掛けを利用した、大阪府立大手前高校（以下、本校）の登校時の玄関での生徒の行動を変えるための実験の結果と考察の報告である。登校時の様子を見たとき、玄関の4つの扉で、通行人数が多い扉と少ない扉があり、その差により玄関の人の流れが悪くなっているのではないかと疑問を持った。本校の玄関の4つの扉のうち最も利用率が低い扉を明らかにし、その扉の利用率を増加させることを目的として仕掛けを設置し、実験を実施した。

### 2. 実験

#### 2-1. 条件

玄関の扉を、階段に近い物から順に扉①～④と番号を付けた。計測は、通行人数が多い時間を狙ってすべて午前8時10分から8時20分まで実施した。本校の玄関の扉は両開きになっており、実験期間中は、扉②、④は両扉が開き、扉①、③は片方の扉が施錠されていた。したがって、計測では施錠されていない扉はすべて開ける条件にした。

図1：玄関の扉の配置



#### 2-2. 実験の対象の扉の決定

最も利用率の低い扉を調査するため、実験前の平日の5日間でそれぞれの扉の通行人数を計測した。また、仕掛け設置前の利用率は、設置後の利用率を比較する際にも使用した。表1は5日間の扉の通行人数である。表2にそれぞれの扉の利用率の1日の平均を(扉の通行人数) / (全ての扉の通行人数) × 100 (%) で算出した。



表 1:仕掛けなしの日の扉の通行人数

	全体	①	②	③	④
4/16 (金)	442	197	68	108	69
4/19 (月)	476	167	72	131	106
4/20 (火)	460	153	57	150	100
4/21 (水)	458	173	42	131	112
4/22 (木)	436	155	41	142	98

表 2:仕掛けなしの日の扉の利用率(1日平均)

①	②	③	④
37%	12%	29%	21%

表 2 より、扉②の利用率が最も低いことがわかる。このことから、仕掛けの目的を②の利用率を増加させることとした。

## 2-3. 仕掛けを利用した実験

### 2-3-1. 仕掛けについて

設置した仕掛けは、初日から順に、レッドカーペット、矢印、足跡である。これらを扉②の前に設置した。レッドカーペットの先頭には、横並びの足跡を配置した。矢印は、ゲシュタルト原則[2]を利用したデザインである。ゲシュタルト原則は、無意識に見てしまう「見方」に関するさまざまな要因のことで、グループと認識される法則がいくつも存在する。その一つである、同じ方向に動く・同じ周期で点滅する複数の要素は、同じグループだと認識される、共通運命の要因[3]を利用したデザインである。3つの矢印を同じ方向に並べて配置することで、法則を利用した。足跡は縦並びで歩行形式の配置にした。レッドカーペットが学校の玄関にあることは普通なく珍しいので興味をひきやすいので、その上を通る確率が上がることが期待できる。矢印と足跡は、見た目にも分かりやすく、行先や方向を示すために駅や歩道などで身近に利用されている。また、足跡マークによって人々の振り向きを促すことが可能である[4]。

### 2-3-2. 仕掛け学視点での検証

仕掛け学は、仕掛けを3つの「FAD 要件」を全て満たすものと定義されている[5]。

公平性(Fairness):誰も不利益を被らない

誘引性(Attractiveness):ついしたくなる

目的の2重性(Duality of purpose):仕掛ける側と仕掛けられる側の目的が異なる

3つのものの上を通っても誰も損をしないので公平性があり、つい通りたくなるので誘引性もある。また、レッドカーペット、矢印、足跡に引き寄せられて結果的に扉②に入ることで目的の2重性もある。

FAD要件に加えて、仕掛けに反応してもらいやすくなる条件が以下の2つである[5]。

新規性:これまでにみたことがないもの

親近性:よく知っているもののような気がするもの

何か知らないものがあると気になってつい見てしまうという要件が「新規性」である。また、初めて見たものでもよく知っているもののような気がして使い方が容易に想像できるものもあり、その要件が「親近性」である。

レッドカーペットは公式の催事などで歓待の意を表すために交換や著名人などが通るところに使われるもので、多くの人に知られているものであり、見ただけで何に使うのかが伝わるので親近性がある。しかし、学校の玄関にレッドカーペットがあることはふつうありえないので新規性がある。したがって、レッドカーペットは親近性と新規性を満たしている仕掛けといえる。

図 1: レッドカーペットと先頭の足跡



図 2: 矢印



図 3: 足跡



### 2-3-3. 実験期間

3つの仕掛けを1日ずつ設置して実験を実施した。実施日はレッドカーペット、矢印、足跡の順に4月23日(金)、4月26日(月)、4月30日(金)である。本来であれば仕掛けを設置した実験を5日間行う予定であったが、本校の臨時休業により日程を確保することができなかった。実験は、一切生徒に予告せずに行った。

#### 4. 結果と考察

表 3 に、それぞれの仕掛け設置時の扉の通行人数を示す。レッドカーペットはレッドと表記した。

表 3. 仕掛けありの日の扉の通行人数

	全体	①	②	③	④
レッド	438	138	65	168	67
矢印	482	158	76	152	96
足跡	436	130	58	161	87

表 4 に、仕掛け設置時のそれぞれの扉の利用率を、仕掛けなしの日の利用率と示す。

表 4. 扉の利用率

	①	②	③	④
仕掛けなし	37%	12%	29%	21%
レッド	32%	<b>15%</b>	38%	15%
矢印	32%	<b>16%</b>	32%	20%
足跡	30%	<b>13%</b>	37%	20%

結果、3 つの仕掛けありの日の扉②の利用率は、仕掛けなしの日と比べて増加したことが分かる。また、矢印の仕掛けを設置した日の扉②の利用率が最も高かった。全ての仕掛け設置時で扉①の利用率が仕掛けなしの日と比べて 7%以上減少した。また、全ての仕掛け設置時で扉③の利用率が仕掛けなしの日と比べて 9%以上増加した。

レッドカーペットを設置した日の扉③の利用率は最も高い 38%だった。レッドカーペットの上を通らず、見ながら沿って歩く姿が見られた。使用した布がポリエステル製で、レッドカーペットの再現性が低かったことが原因として挙げられる。

矢印が最も効果的な仕掛けであった理由に、仕掛けの単純さが考えられる。レッドカーペットと足跡と比べて、矢印は非常に単純なモチーフであり、生徒に、いつもと違う光景への驚きや不思議だと感じる感情を生み出しにくい可能性がある。また、矢印は直感的にその意味を理解できるため、無意識にひきつけられることが考えられる。駅や歩道などの不特定多数の人がいる公共空間は、匿名性が高く他人の視線が気になりにくいので、いつもと違う行動をすることへの抵抗が小さい。しかし、学校の玄関という匿名性の低い場所では、被視感を感じやすいのでいつもと違うことをすることへの抵抗が大きい。よって、学校の玄関の玄関に設置する仕掛けは、直感的にひきつけられるような単純な仕掛けが効果的であると考えられる。しかし、他の人がいつもと違うことをしていると、それにつられて行動する可能性がある。観察で、仕掛けにひきつけられた人の後ろについていく人の流れが見られたためである。

#### 5. 反省と課題

反省は、仕掛け実施時の実験日数が短かったことである。仕掛け実施時の実験日数を確保することができていたら、今回の結果とは異なる結果が得られたと考えられる。また、計測を行う時に、扉を通行する生徒の学年や生徒の目線など、観察の着目点などを明確にしておく必要があった。4 つの扉の計測を 4 人で実施したので、こうした詳細な観察の記録を行うことは困難であった。ビデオ撮影などと合わせて計測することで、より細かな観察の実現が期待できる。

## 引用文献

- [1] 松村 真宏. (2016). 仕掛学-人を動かすアイデアの作り方-. 東洋経済新報社
- [2] UX Days Tokyo. (2020). ゲシュタルト原則. 参照先: UX TIMES:  
<https://uxdaystokyo.com/articles/glossary/principle-of-common-fate/>
- [3] UX Days Tokyo. (2019). 共通運命の法則 Principle of Common Fate. 参照先: UX TIMES:  
<https://uxdaystokyo.com/articles/glossary/principle-of-common-fate/>
- [4] 池原 将磨, 松村 真宏. (2021). 足跡マークが通行人に影響を及ぼす条件に関する一考察. 参照先: 仕掛学研究会のホームページ: <https://shikakeology.org/pdf/SIG-TBC-010-02.pdf>
- [5] 松村 真宏. (2021). 対人距離に配慮した街頭配布の仕掛け. 参照先: 仕掛学研究会のホームページ: <https://shikakeology.org/pdf/TBC2020028.pdf>

## 炎上から見るアメリカ文化

2020年5月25日警察官の不適切な拘束行為によるジョージフロイドの死を受けて、アメリカ各地にデモが広がった。このデモは黒人差別の撤廃を求めるポリティカルコレクトネスの考えに基づいて行われたものだが、一方でそれに反対する流れとして2017年のドナルド・トランプの第45代アメリカ合衆国大統領に就任が挙げられるだろう。ポリティカルコレクトネスに基づく表現が求められる世の風潮に反対し、歯に衣着せず、本音をぶつけるような彼の発言は国民の一定の層から熱狂的に支持されている。この二つの出来事から私はこの多様化する世の中で求められるポリティカルコレクトネスを形作るものとはいったい何なのだろうかという見地に立った。

### 1. はじめに～ポリティカルコレクトネスについて～

ポリティカルコレクトネスについて、『ジーニアス英和辞典, 大修館書店』では以下のように解説されている。political correctness(表現・語句の)政治的見地からみた正しさ(略 PC);politically correct<表現・語句が>政治的・社会的見地から見て正しい, 人種・性などに関して差別的でない(ジーニアス英和辞典, 大修館書店)

現代の社会ではポリティカルコレクトネスの観点から様々なことが問題視されている。人種差別の撤廃や男女平等が謳われる中、それに反対するような発言は批判の対象であり、炎上の火種なのである。そこで問題となる事柄はその土地の文化に深く根差していると考え。その土地の民族構成、歴史的背景、宗教的背景がその土地のポリティカルコレクトネスに強く影響を及ぼし、独自のものを形づくっているのだ。この研究では「移民の国」と呼ばれ、さまざま文化が入り混じるアメリカと日本を比較して検証してみようと思う。

### 2. 文化の盗用から見えるアメリカ文化

まず、民族構成がポリティカルコレクトネスに影響を与えているということだ。近年アメリカで話題になっている「文化の盗用」(cultural appropriation)について取り上げたいと思う。アメリカにおける文化の盗用とは多数派民族である白人系の人々が社会的に少数派である民族の文化の要素を取り入れることである。たくさんの事例があるがその中からここでは一つ取り上げようと思う。本国をアメリカとする人気ファッション誌であるVOGUEで日本の芸者のような衣装で白人系のモデル、カーリークロスが写真撮影をし、批判を浴びたことだ。日本で生まれ育った、日本人からするとあまり問題に感じず、むしろ日本文化に興味を持ってもらえて嬉しいと感じる人が多いかもしれない。しかし、たくさんの文化が混じり合うアメリカでは、マイノリティの文化に対して、非常にセンシティブだ。たくさんのモデルがいる中どうして日本人のモデルを起用しなかったのかということやモデルに縁の無い文化を利用しているとして批判されているが、日本で話題になることはほとんどなかった。異民族へのポリティカルコレクトネスからこのような形で起こる問題である「文化の盗用」が日本で話題にならず、アメリカで話題になるのはやはりその民族構成からであり、アメリカが多民族国家であることを示している。

### 3. 黒塗りから見るアメリカ文化

次に、歴史的背景がポリティカルコレクトネスに影響を与えているということだ。日本のお笑い芸人である浜田雅功が2017年年末のテレビ番組『絶対に笑ってはいけない』にて黒塗りメイクで登場した。このことについてアメリカメディアのニューヨークタイムズが取り上げ、話題になった。これが日本のメディアだけではなくアメリカのメディアで取り上げられたのには歴史的背景が深く関わっている。アメリカでは19世紀中頃か

ら「 minstrel show」というショーがあった。それは白人向けに作られたお笑いショーで、白人が顔を黒塗りにし、馬鹿な黒人として演じ、客を笑わせるというもので 20 世紀半ばにはなくなったとされている。1876 年に定められた黒人を差別するための法律「Jim Crow 法」は minstrel show に登場する人気キャラクター「Jim Crow」からとられている。このショーは黒人差別の歴史に深いかかわりを持っており、このようなことから、このショーを連想させる黒塗りメイクはたとえそれが差別的な意識を持っていなくてもタブーとされている。

#### 4. 挨拶から見るアメリカ文化

さらに宗教的背景がポリティカルコレクトネスに影響を与えているということだ。「メリークリスマス」という言葉はクリスマスの挨拶として日本人にも馴染み深い言葉だが、近年アメリカでは宗教的中立またはユダヤ教の祭日であるハヌカーがほぼ同じ時期であることを鑑み、代わりとして「ハッピーホリデイズ」というフレーズを使うべきでは無いか、という論争が巻き起こっている。トランプ元大統領は大統領就任前からメリークリスマスを使うと訴えておりこの論争を加熱させた。日本で、初詣などといった仏教の年中行事が宗教的中立の観点から議論を巻き起こすことがあるだろうか。

#### 5. おわりに

上記のように現代社会におけるポリティカルコレクトネスにはその土地の民族構成、歴史的背景、宗教的背景が強く影響を及ぼしているということが日本とアメリカとの比較を通してわかる。ポリティカルコレクトネスとは平たくいうと色々な人が嫌な思いをせず生きられるようにしようという考え方なのだが行きすぎたそれがいつしか人を批判するためのものになっており、人々を息苦しくさせているのも事実である。広島文教大学の藤本規夫氏は『まさに [多様化運動] (diversity movement) 全体がなんでもない言動の中にも何か気に触る要素はないかと探す運動になってしまい、社会そのものを無数の集団に分裂させてしまった。』と述べている。多様化へと目指すためのスローガンであるポリティカルコレクトネスが賛成派と反対派で人々を分断しているのは実に皮肉である。

今回のポリティカルコレクトネスについての研究では主に人種や宗教に関するものでジェンダーに関するものについてあまり調べることができなかった。これは日本において根深い問題で研究の価値が十分にあると思うので、また研究する機会があればぜひそれについても研究したい。

#### 6. 参考文献

- ・『BBC』<https://www.bbc.com/japanese/52887250>
- ・『ジーニアス, 大修館書店』
- ・『HUFFPOST』[https://www.huffingtonpost.jp/2017/02/16/vogue\\_n\\_14788604.html](https://www.huffingtonpost.jp/2017/02/16/vogue_n_14788604.html)
- ・『The New York Times』<https://www.nytimes.com/2018/01/04/world/asia/japan-comedian-blackface.html>
- ・“The Origins of Jim Crow”. *Jim Crow Museum*. Ferris State University.
- ・『アメリカにおける「政治的妥当性」(political correctness)の文脈、藤本規夫』  
<http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/h-bunkyo/list/creators/藤本%20規夫%20:%20フジモト%20ノリオ?l=ja>

## 高校生から投資を始めることによって得られる利益

はじめに

高校生のうちから投資をすることには多くの利点があると考えられる。また、様々な投資の手法がある中で、グロース投資(長期運用)は現代の高校生が投資を行う際に最も適した投資の手法である。本論では自分自身で、現在、世の中で起こっている出来事や政治の動きを見て10年以上先に何が流行るのか、何が儲かるのかを判断し、それに投資する手法をグロース投資(長期運用)と定義する。

理由 1

日本は、高校生から投資に触れることを促している。文部科学省が2022年度から始まる、高等学校の学習指導要領に家庭科の授業で「資産形成」について、触れるように規定した。株式や債券、投資信託などの知識を教えることになる。このことから、国が高校生の頃から投資を学ばせることに関して前向きな姿勢であることが分かる。

理由 2

株式投資をすることで社会に出て働くようになってからでも役に立つ知識を身につけることができる。良い銘柄に投資するために、ニュースや新聞から世の中で何が起こっているのかを知っておかなければならない。また、国会の動きを見て、日本がどのような国になっていくのかを知っておく必要がある。これらの知識を高校生のうちから持つことで、将来どの職業につくか、日本でどのような働き方をすると、他者よりも多くの利益を得ることができるかを判断しやすくなると考えられる。

理由 3

日本国民とアメリカ国民の経済力の差を埋める。ここで、両国の国民の経済力の差を各国の国民総所得を各国の人口で割った金額の差(※)、また、「家計の金融資産構成」(図1)の違いと定義する。

日本では2022年度によろやく投資教育が初められるが、アメリカでは1970年代から現在に至るまで、民間団体と政府が連携して、投資教育を積極的に行っている。このことから、すでに日米の金融教育の差が見られ、さらに、日本国民とアメリカ国民の経済力の差にも繋がっていると考えられる。また、世界で有名な投資家であるウォーレン・バフェット氏が11歳から投資を始めたように、アメリカでは親が子に株式投資を教え、実際に株を購入させる事案も珍しくないらしい。日本では子どもに投資を学ばせることに対して否定的な声が多い。たしかに、日本では現在、デフレーションが長く続いているので、現金を持ち続けることが最適である。しかし、投資に関する知識だけでも高校生のうちからつけておかなければ、日米それぞれの国民の経済力の差は広まるばかりである。

(※) 日本の国民総所得=5,226,599 アメリカの国民総所得=20,636,318 (単位 USドル)

日本の人口=124,218,000 アメリカの人口=327,750,000 (単位 人)

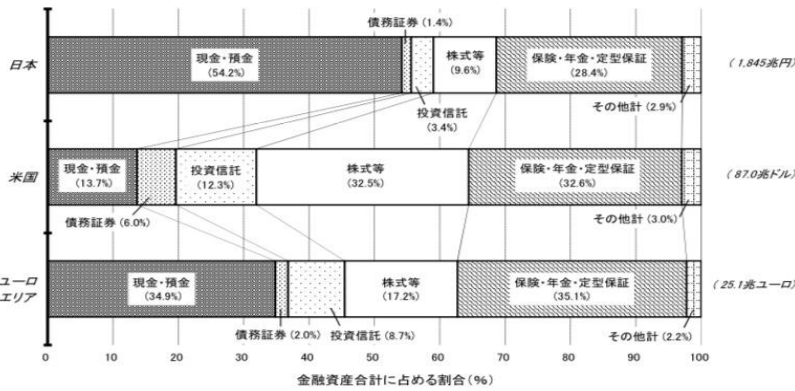
日本  $5,226,599 \div 124,218,000 = 0.042\dots$

アメリカ  $124,218,000 \div 327,750,000 = 0.379\dots$  (単位 USドル/人)

World Bank GNI, Atlas method

# 図1 家計の金融資産構成

日本銀行調査統計局 2020



\*「その他計」は、金融資産合計から、「現金・預金」、「債券証券」、「投資信託」、「株式等」、「保険・年金・定型保証」を控除した残差。

## 理由 4

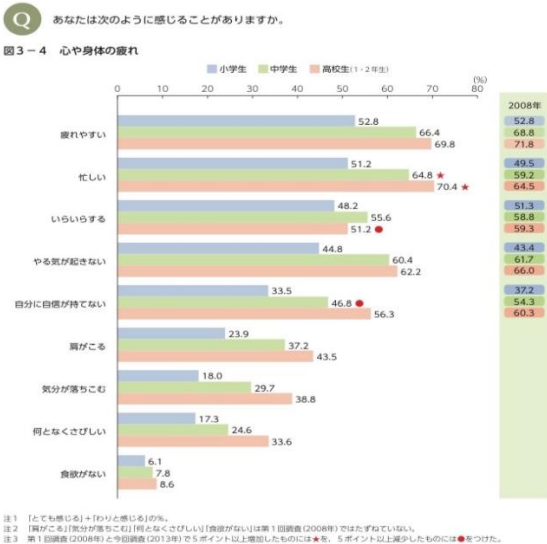
グロース投資は高校生の生活に合っている。

グロース投資は自分が将来成長するであろう企業を判断し、その企業の財務状況や決算報告などを観察

しながら投資する手法なので、短期的な値動きを気にしなくても良い。このグロース投資の特徴は、テスト勉強、宿題、部活動で忙しい高校生(図2)が投資をするのに適していると考えられる。

また、高校生は特有の観察力、判断力を駆使して数十年先の流行りを予想することができると考えられる。右図からも分かるように、高校生が現在の日本の流行を作っていると言っても過言でないだろう。(図3)数十年後に流行るものに投資することができれば、多くの利益を得ることができる。

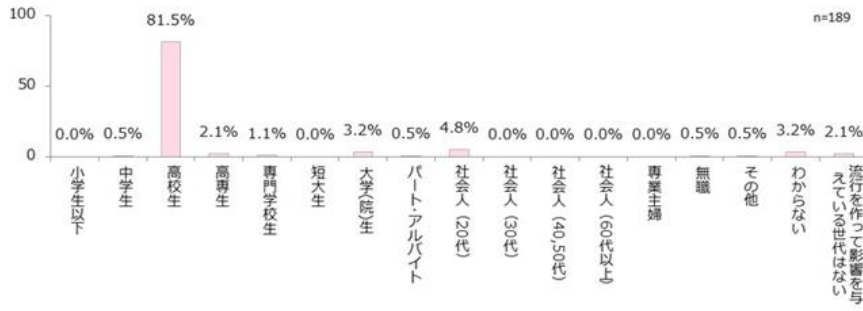
## 図2



ベネッセ教育総合研究所 2013年



図3 流行を作って日本に影響を与えていると思う世代



フリー株式会社「GIRLS' TREND 研究所」調べ  
おわりに

以上の4つの理由から高校生のうちからグロース投資(長期運用)を始めるべきであると考えられる。高校生が投資に触れることが積極的に受け入れられていくようになる世の中で、将来の自分自身のため、そして日本の経済力の向上のために我々高校生は投資活動をするべきである。

参考文献

- ・日本銀行調査統計局  
<https://www.boj.or.jp/statistics/sj/index.htm/>
- ・SMBC 日興証券  
初めてでもわかりやすい用語集  
<https://www.smbcnikko.co.jp/terms/japan/ku/J0323.html>
- ・日本経済新聞 <https://www.nikkei.com/article/DGXMZO51840730W9A101C1000000>
- ・FuRyu  
女子高生・女子大生を対象とした「流行に関する意識調査」  
<https://www.furyu.jp/news/2016/08/gt139.html>
- ・加藤航介(2020)「世界を見てきた投資のプロが新人社員にこっそり教えている驚くほどシンプルで一生使える投資の極意」  
東洋経済新報社

## 映画『ハリーポッターとアズカバンの囚人』のテーマとは～映画分析理論から考察～

映画『ハリーポッターとアズカバンの囚人』がどのようにして制作されたのかを知るため、同シリーズの他作品と比較をしながら、制作方法やテーマに迫る。

### 1. 原作について

『ハリーポッター』とは。

1990年代のイギリスを舞台に、魔法使いの少年ハリーポッターの学校生活や、ハリーの両親を殺害した張本人でもある強大な闇の魔法使いヴォルデモートとの因縁と戦いを描いた物語。作者はJ.K.ローリング。1997年に第一巻が刊行されると瞬く間に世界的ベストセラーとなる(全7巻)。2001年からは8本のシリーズで映画も公開された(2011年完結)。

### 2. 映画製作の準備と工夫

今回焦点を当てるのは、映画版シリーズ3作目『ハリーポッターとアズカバンの囚人』(2004)である。本作を選んだ理由は、前2作品から監督が変わったから。監督の交代により、作品へのアプローチの仕方や演出方法などに変化が生まれた。本研究では、「どのように制作方法が変わったか、またそこに込められたテーマとは何なのか」について考察する。

まず、原作の『アズカバンの囚人』と前2作品との違いについて見ていく。前2作ではファンタジー要素が主として描かれてきた。そこから一転し、この第3作目は簡単に言うと、シリアスでダークな物語となった。これまで語られなかった知られざるハリーの両親の過去、新旧の登場人物たちそれぞれの思いや葛藤。そんなものが描かれる。これにより物語はより一層複雑になり、シリーズにおける一つの転換点となった。これが『アズカバンの囚人』と前2作品との違いである。

こうして変化した原作を映画にすることが映画制作陣の仕事だ。複雑化した原作を映画に脚色するのは難作業である。そのため彼らは映画の構造をはっきりさせるため多くの手法や演出を駆使してこの大きな問題を解決した。以下でそれを順に解明していく。

複雑さを解消するために制作陣は主人公ハリーの主要な物語に焦点を当てることにした。ハリーを軸に出来事を書いていくことで物語を追いやすくする。これには2つの手法が用いられた。

一つ目は物語のいくつかの部分の除外。『アズカバンの囚人』の原作ではハリーポッターシリーズを通して繋がっていく物語を軸として、そのほかにも多くの話が描かれている。彼らはこれらを完全に除外、または一部を切り取ることにした。

- ・第1、11章の部分的除去(誕生日祝いや漏れ鍋、ファイアボルトのくだりがない)
- ・第13、15章の完全除去
- ・登場人物の除去(ピーブス、セドリック、チョウは登場しない)

二つ目はアップを使った映画技巧。アップとは、フレーム内に一人の人物(物体)の表情や手、足などといった細部の様子だけを大写したもののこと。受け手の視点がそれだけに絞られるため余計な印象を与える

ことがない。特に表情を大写しするときは、その登場人物に対して親近感を持たせる効果がある。『アズカバンの囚人』ではこの手法が数多く用いられた。以下は本作で用いられているアップの様々な種類。

- ・クローズアップ:普通のアップよりも更によったカット。どんな言葉よりも強い印象を与える。
- ・トラックアップ:登場人物の心情を強調するため、カメラが徐々にその人物に迫っていく方法。
- ・ズームアップ:カメラは動かさず、ズームレンズを使用して対象人物に迫っていく方法。

本作で用いられたアップの総数は、29回。様々なアップを用いることで、主人公ハリーの感情を明確化し、複雑だった映画全体の構造をはっきりさせたことが分かる。(複雑さの解消)

(\*) ハリーポッターシリーズ第1作目『ハリーポッターと賢者の石』

第2作目『ハリーポッターと秘密の部屋』

### 3. 『アズカバンの囚人』のテーマ

本作の指針には、新しくなった監督、アルフォンソ・キュアロンの考え方が大きく関係している。彼は本作を「ハリーがアイデンティティを探す旅」だと捉えた。作中でのハリーたちは13歳になり、俳優たちも皆それくらいの年齢になっていた。そんな子どもから若者になる姿を描いた本作にはどのような思いが込められているのか。大きく分けて2つのテーマがあると考えられる。そのテーマとは「ユーモア」と「成長」だ。

「ユーモア」

以下では原作にはないシーンを取り上げる。

- ・ナイトバスにいる陽気なシュランケンヘッド
- ・怪物的な怪物の本とハリーの格闘
- ・ドラコマルフォイを殴るハーマイオニー
- ・談話室での会話シーン
- ・透明マントを着たハリーに遊ばれるマルフォイたち など

これらはどれもクスツと笑ってしまうような面白さがある。シュランケンヘッドについては映画版でしか出てこないにも関わらず、作者であるJ.K.ローリングに「私が思えばよかった!」と言わせたほどの代物だ。

また色に注目しても「ユーモア」が見られる。シリアスでダークな世界観を作品に与えるため、『アズカバンの囚人』の色調には脱飽和色が用いられた。これは彩度が低く、くすみがかかったような色合いのことである。以下は、そんな中で出てきたシーン。

- ・ハニーデュークス(お菓子屋さん)の色鮮やかなお菓子
- ・異様に大きいカラフルなかぼちゃ
- ・室内と室外での色のコントラスト など

このように、カラフルと脱飽和色の間に生まれたコントラストはその部分を強調させる。

本作に携わったデザイナーのジャーニーティマイムはこう語る。「常にふたつの世界があります。まず、壁の外側の世界。厳しくてタフで、灰色の世界です。そして、壁の内側の世界。こちらは、ミステリー、愛、そして魔法があふれている世界です。」

彼の色調に対する考えは面白いことに、『アズカバンの囚人』の作風にしっかり反映されている。物語全体は殺伐とした雰囲気ですり込まれて描かれている(=外の世界)。一方で、原作にはない面白いシーンや鮮やかな色が、受け手に温かみのあるユーモアを感じさせる(=内の世界)。つまり、制作陣は暗くてシリアスな世界にあるユーモアを強調させたということだ。

#### 「成長」

これは主人公ハリーたちの成長についてだ。これに関しては、原作でも扱われており、ハリーポッターシリーズにおける最大のテーマである。今回これを取り上げるのには理由がある。それは映画『アズカバンの囚人』では独自の成長の表現方法がされているからである。前2作品との違いに注目する。以下、作中でのシーン。

- ・全2作から制服、クディッチのユニフォームを変更
- ・俳優たちに制服をわざと着崩させる(腕まくり、ネクタイを緩めるなど)
- ・学校でのよりカジュアルな私服

特に制服の着崩しは、「個性が出せるから」と俳優たちも喜んでいと監督は語る。これはまさに、彼らの成長を分かりやすく表現している描写である。

その他には魔法の色に関して変化があった。前2作品では魔法を使う際、赤、緑といった色や派手な閃光が用いられていた。しかし、3作目ではそのような演出はされていない。魔法を使っても何も色がでないか、白い光が出てくるくらいである。

なぜ制作陣は魔法へのアプローチを変えたのか。これは登場人物たち視線での魔法の捉え方が変化したからであると考えられる。『アズカバンの囚人』はハリーたちにとって魔法学校3年目の物語だ。彼らにとって初めは新鮮で驚きの気持ちがあった魔法も3年目を迎え、当たり前のことだと捉え始めた。その心情の変化が魔法を通して観客に訴えかけられている。

このように、「成長」というテーマは視覚的に表現されていることが分かった。

#### 4. まとめ

今回の考察から、映画『ハリーポッターとアズカバンの囚人』の制作方法やテーマについて知ることができた。これらは一つの解釈であり、違う視点から見れば新たに発見できることがたくさんあるだろう。今後はさらに多くの情報や視点から様々な映画を研究していきたい。

#### 【参考文献】

出典①:『ハリーポッター公式ガイドブック映像の魔術』2010年11月20日初版第1刷発行

出典②:『Film Analysis 映画分析入門』マイケル・ライアン&メリッサ・レイノス 著  
2014年10月25日初版発行

出典③:『映画演出の研究-映像でストーリーを演出するのは-』及川善弘 著

<https://www.jiu.ac.jp/files/user/education/books/pdf/840-36.pdf>

出典④:『アズカバンの囚人がターニングポイントに?名匠アルフォンソ・キュアロンの  
大胆な手腕』2020年11月6日投稿

<https://moviewalker.jp/news/article/1009690/>

## ソロアイドルはなぜ減少したのか

1970年代から1980年代にかけての山口百恵や松田聖子などに代表される女性アイドルはその多くがソロアイドルであった。しかし現在、私たちが目にするアイドルはほぼすべてがグループアイドルだ。それは、グループアイドルがソロアイドルよりも多くの点で優れており、ソロアイドルが淘汰されたためである。その論拠として、まず、アイドルグループという仕組みはアイドルに求められている若さを維持していくことを可能にする。そして、グループのメンバーを次々と入れ替えることによってグループの人気を長続きさせることができる。また、現代社会に生きる人々はアイドルに実際に体験できるアナログな感覚を求めており、その需要に最も適した形態がグループアイドルであった。最後に、アイドルをグループ化することは、グループの経営者とグループに所属するアイドルの両方にメリットを生み出す。

### 1. 「永遠」のアイドルを生み出す仕組み

アイドルグループという仕組みは「永遠」のアイドルを実現させることができる。『スター誕生!』という番組があった。『スター誕生!』は、1971年10月3日から1983年9月25日の12年間に亘って放送された、日本テレビの視聴者参加型歌手オーディション番組である。合格者には、山口百恵や桜田淳子など多くの有名アイドルが名を連ねている。この番組の企画者で審査員でもあったのは、数々の名曲を生み出し、昭和のヒットメーカーと呼ばれた作詞家の阿久悠である。彼はこのオーディション番組の選考基準として、「下手を選びましょう。それと若さ」と提案したそうだ。この発言からもわかるように、アイドルに相応しいのは、歌や踊りが下手で未熟だとしても何か感じるころがあり、そして若さをもつ人である。グループアイドルはまさにグループであることによって「卒業」という制度を組み込んだ。そうすることでメンバーを次々と入れ替えていき、アイドルに求められている若さを維持していくことを可能にしている。

### 2. 人気を持続させるための「卒業」

アイドルグループはメンバーを卒業させ、新しいメンバーを加入させることでグループの人気を持続することができる。メンバーを入れ替えて人気を持続させている例として野球やサッカーなどのプロスポーツのチームが挙げられる。毎年の選手の引退や加入だけでなく、フリーエージェント制度やレンタル移籍、海外移籍など選手が入れ替わっていく仕組みがプロスポーツのチームには備わっている。そのため、チーム編成が変わったり、応援している選手が移籍してしまったりして、チームへの愛着を失うかもしれない。しかし、その後もそのチームが気になる存在であり続けたり、選手がどんどん入れ替わったとしても同じチームを応援し続けたりすることもある。むしろ、このような選手が頻繁に入れ替わっていく仕組みによって、チームとしてのアイデンティティを維持しながらチームの新陳代謝が可能になる。そして、チームへの愛着が更新され、人気は長続きする。このようなプロスポーツのチームの仕組みと同様にして、アイドルグループは人気を持させている。プロスポーツのチームの選手が入れ替わっていく仕組みは、アイドルグループのメンバーが卒業して、オーディションに合格した新しいメンバーが加入するという仕組みと似通っている。このように、アイドルグループという仕組みはグループとしてのアイデンティティを維持する一方で、卒業とオーディションでメンバーの世代を更新し、グループへの愛着も更新させている。これが、アイドルグループそのものの人気を長続きさせることにつながる。

### 3. 現代の需要に対応したアイドルの形態

情報のデジタル化が加速する今だからこそ、人々は実際に体験できるアナログな感覚を求めている。だからこそ現代の人々はアイドルと実際にコミュニケーションをとり、身体的にも精神的にも距離を近づけたいと考えている。1970年代から1980年代のアイドルはスカウトやオーディション番組などによって選抜されたほんの一握りの存在であった。そのため、近づくことが難しく神聖視すらされており、ファンとアイドルは一方通行の関係であった。しかし、現代の人々は YouTube や Twitter などを用いた擬似的なコミュニケーションや、ライブや、握手会などの生の体験を求めている。この需要に対応するためには、手の届かない雲の上の存在であるソロアイドルよりも、ファンとの距離が近く親近感を持つようなグループアイドルのほうが適していた。よって、「会いに行けるアイドル」というコンセプトをかかげた AKB48 のような身近なアイドルグループが増加していった。

### 4. アイドルと経営者が得る利点

アイドルをグループ化することによって、グループの経営者にとっても、グループに所属するアイドルにとっても、多くのメリットが得られる。一人のアイドルの卵に多額の投資をして売り出しても、失敗するか成功するかはわからない。成功し、人気が出たなら莫大な利益を得ることができるだろう。しかし人気が思うように出ず、テレビに映らなくなればそのアイドルに投資した資金はすべてあきらめなければならない。このようにソロアイドルを売り出すことは大きなリスクを抱えている。それでは、グループアイドルの場合はどうだろうか。グループをつくるため、大人数のアイドルの卵たちに投資をして売り出すとする。レッスンはまとめてすれば良いように、広告宣伝に要する費用にも人数による差は出ないのだから、一人のアイドルを育てるのも、アイドルグループを育てるのも、それほど手間とコストは変わらない。そして、グループの中には売れないアイドルもいるだろうが、それでも売れるアイドルが生まれる可能性は格段に高くなる。このように、アイドルをグループ化することによって一人のアイドルに投資をして売り出すときに生じるリスクを分散することができる。また、アイドル自身にとってもグループに所属することにはメリットがある。アイドルグループの一員としてデビューしたが、そのグループがうまくいかず人気が出なかったとする。しかし、メンバー個人のアイドルとしてのキャリアがそこで終わってしまうわけではない。ソロアイドルとして活動することや、新しいグループに所属することもできる。また、売れなかったとしても、アイドルグループに所属することで経験を積み、アイドルとしての基礎力を身に付けることができる。このように、アイドルをグループ化することは、経営者と所属するアイドル共にメリットがある。

### 5. おわりに

ソロアイドルよりもグループアイドルが優れていることの論拠を4つ示した。1つ目は、アイドルグループという仕組みがアイドルに求められている若さを維持していくということ。2つ目は、グループのメンバーを次々と入れ替えることによってグループの人気を長続きさせることができること。3つ目は、現代社会に生きる人々はアイドルに実際に体験できるアナログな感覚を求めており、その需要に最も適した形態がグループアイドルであること。4つ目は、アイドルをグループ化することで、グループの経営者やグループに所属するアイドルにもメリットを生み出せることである。このようにグループアイドルは多くの点でソロアイドルに勝っている。その

ため、1970年代から1980年代にかけて全盛期であったソロアイドルは現在、グループアイドルに淘汰され、私たちが目にすることはほとんどなくなった。

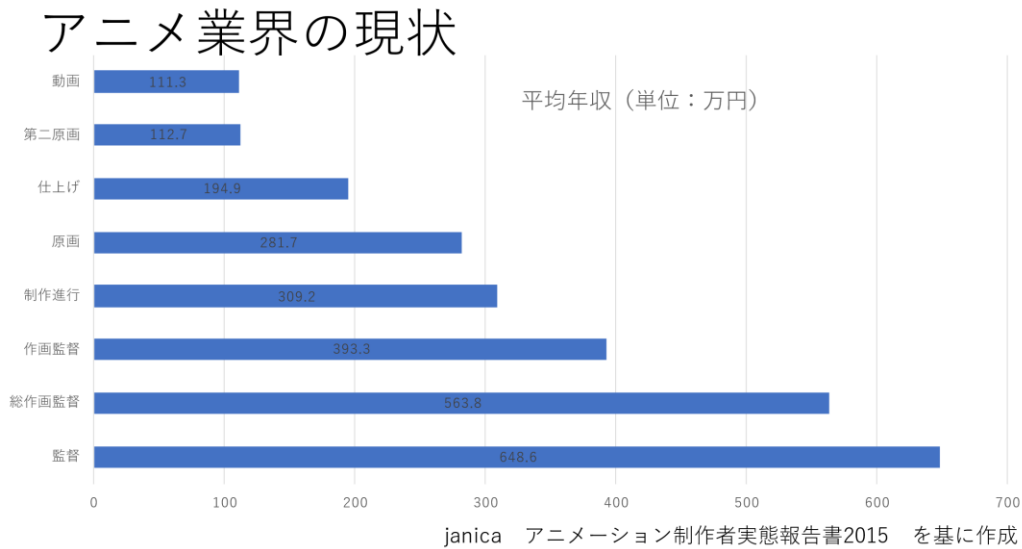
## 6. 参考文献

- ・香月孝史(2014)『「アイドル」の読み方:混乱する「語り」を問う』青弓社
- ・北川昌弘とゆかいな仲間たち(2013)『山口百恵→AKB48 ア・イ・ド・ル論』宝島社
- ・境真良(2014)『アイドル国富論:聖子・明菜の時代からAKB・ももクロ時代までを解く』東洋経済新報社
- ・田島悠来(2017)『「アイドル」のメディア史:『明星』とヤングの70年代』森話社
- ・田中秀臣(2010)『AKB48の経済学』朝日新聞出版
- ・西兼志(2017)『アイドル/メディア論講義』東京大学出版会
- ・「スター誕生!」『フリー百科事典 ウィキペディア日本語版』より<  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B9%E3%82%BF%E3%83%BC%E8%AA%95%E7%94%9F!>>(参照 2021-1-26)



## アニメ制作会社の収益を上げるには

まず、こちらをご覧ください。

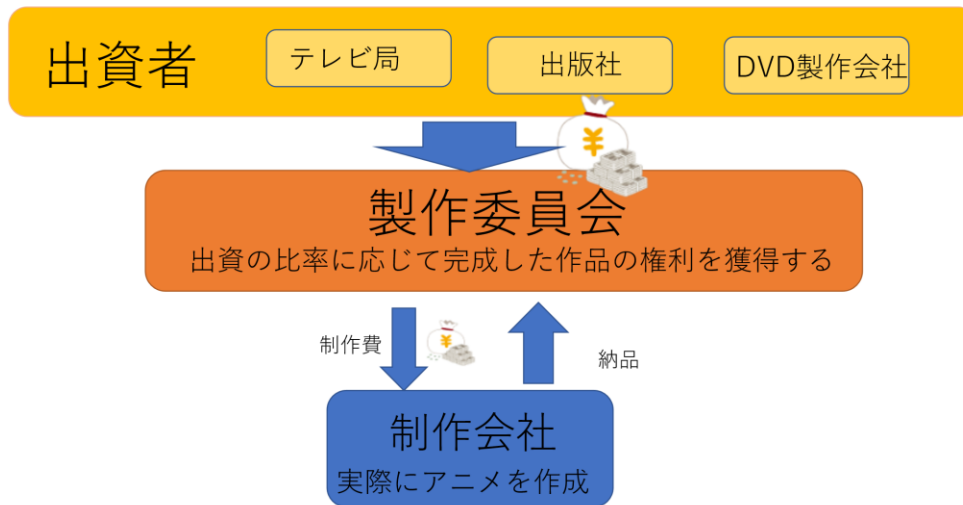


これはアニメーターの職種ごとの平均賃金である。下の方、監督や総作画監督は 600 万円近くの収入を得ている。しかし、一番上、動画を見てみると、119.4 万、次の第二原画も 112.7 万。国税庁が行った「民間給与平均調査」によれば、平成 26 年の年間平均給与は 415 万円である。そこから見ても、アニメーターの賃金が低いのは明らかである。そこで、アニメーターの働く制作会社の収益が上がれば、アニメーターの収入が上がるとして、制作会社の収益を増やすにはどうすればよいかを考えた。この先、アニメは製作委員会方式で作られているものをさすとする。

### 製作委員会方式とは

アニメを企画した会社を中心に、他の企業に製作費の出資を募り、出資した会社で合同組合を作る。これが製作委員会である。この時出資した会社は、その作品が売れなければ損をするというリスクを負う。資金がある程度集まったところで、製作委員会が制作会社へ製作費を支払って、アニメの制作がスタートする。出来上がった作品が納品されたら、製作委員会がテレビ局、DVD 会社などへ配給する。

## 「製作委員会」とはどのような存在か



次に、アニメの二次利用についてである。地上波テレビ放映や劇場公開などアニメ作品の本来の製作目的に沿った利用を、作品の一次利用という。これに対して、DVD化、グッズの販売などを二次利用という。アニメの利益はすべて、この二次利用で賄われる。

## 二次利用の利益はどのように配分されるのか



二次利用で得た利益は、原作者などの著作権料が控除されたのちに、製作委員会としての収入になる。そこから、出資した額である制作費を回収した残りが利益で、製作委員会各社に分配される。これが製作委員会方式である。

ここで私が注目したのは、この利益配分の矢印が、制作会社に向いていないことだ。つまり、アニメを作った制作会社が、そのアニメの二次利用の利益の分配を受けることができないということである。これを解決するにはどうすればよieldろうか。

### 仮説

そこで、私は次の仮説を立てた。

1 つ目は制作会社の経営を強化することだ。経営力を強化すれば、制作会社が製作委員会に出資することができる。単にアニメの制作費をもらってアニメ作品を納品するだけではなく、製作委員会へ出資して著作権の一定割合を獲得し、二次利用の利益の配当を得られる権利を持つようにする。そうすることで、二次利用で得た利益の分配を受けることができる。

2 つ目は、制作費だけでなく、成功報酬を契約に含めることだ。出資が厳しい制作会社でも、作品がヒットした際に、その利益の一部を還元することで、成功報酬とする。

## 検証

ここから仮説について検証していこうと思う。まずは経営力強化についてである。

経営力とは、自ら資金を調達して、リスクマネジメントできる力、あるいは交渉力、あるいは優秀な人材を見抜く力である。収支の予想を見極めて、リスクの少ない作品へ出資して利益を回収する力。また仮にそこまでの資金力がなくても、製作委員会との制作費の値上げ交渉ができる力。新規登用するアニメーターを絞り、一人当たりの人件費を上げるために、優秀な人材を見抜く力。これらが制作会社にあれば、最低限の出資で最大の利益を上げることができる。

しかし、そのような体力のある制作会社ばかりではない。そこで、成功報酬契約についても考えてみる。成功報酬制は名前の通り、特にヒットした作品の利益の一部を報酬として制作会社に還元するという仕組みだ。これは制作会社がノーリスクで利益を獲得できる。そして何より、自分の作った作品がヒットすれば報酬がもらえるので、アニメーター自身のモチベーションが上がるのが最大の利点である。ただしこれは、製作委員会側の出資が増える可能性があり、慎重に考えなければいけない。そもそも現在のアニメビジネスは、赤字を前提としている。だからヒットした作品は、製作委員会に出資した各社にとっても利益をあげる機会である。その利益を制作会社に回す余裕があるのか。アニメ業界に詳しい増田弘道氏はその著書の中でこう述べている。

もし稀有なヒットの際に制作現場に還元するとしたら、「臨時特別ボーナス」とでも呼ぶべきでしょう。「ご祝儀」「大入り」の世界です。これに関しては実例があり、現金での支給もありますが、そのほとんどが、よくて海外旅行だったりするのがアニメ業界らしいといえらしいのですが……。(1)122 頁

現状とどう折り合いをつけるのが課題となる。

また、事務的な問題も生じる。仮にこれを採用したとしよう。一つのアニメは様々な職種の人によって作られている。そのため、そこで還元された報酬をどのように配分するかについて考える経理が必要になる。するとその経理にも人件費がかかる。これでは制作会社へ還元したいという当初の目的は達成されない。

## その他

最近では製作委員会への出資者を減らそうとする動きも出てきている。こうすることで、売り上げを配分した際、その単価が上がり、事務手続きの簡易化によって、コストが下がるからである。

これらの仮説を検証するための作品がある。2020 年公開「鬼滅の刃 無限列車編」である。この作品は、製作委員会が 3 社で構成されており、また制作会社であるユーフォーテーブル有限会社が出資者となっている。この作品は興行収入 4 億 7460 万ドル（約 515 億円）の大ヒット作である。

まず、制作会社であるユーフォーテーブル有限会社が出資している。さらに、放送テレビ局が出資していないことによって、局による圧力がかけられず、利益を 3 社で完全に配分することができる。さらにこの作品は、コラボ商品を数多く出すことで多くのライセンス収入を得た。それが製作委員会の利益になる。

しかし調べていくと奇妙なことに気づいた。

「出資比率は、あくまで想像ですが、おそらくアニプレックス 45%、集英社 45%、ufotable 10%と想定されます。」(映画ドットコムより 細野真宏氏による)

「制作費 5 億円程と利益の約 10%の制作成功報酬が制作会社ユーフォーテーブルに渡ることになる。」(DIAMOND ONLINE より 岡野雄志氏による)

ユーフォーテーブルには利益の 10%しか入らないだろうと想定する文書が多い。

## 結論・展望

今のアニメ制作会社に必要なことは、制作会社の経営能力を上げ、製作委員会との関わりを密接なものにすること。そして成功報酬契約をアニメ制作に含めることである。

今後は製作委員会に出資した会社とそうでない会社について、その会社各々の純利益について調べようと思う。また、成功報酬契約には実例があるということで、その契約内容も調べようと思う。

## 参考文献

・(1)『製作委員会は悪なのか?アニメビジネス完全ガイド』増田弘道 2018.5.25 星海社新書

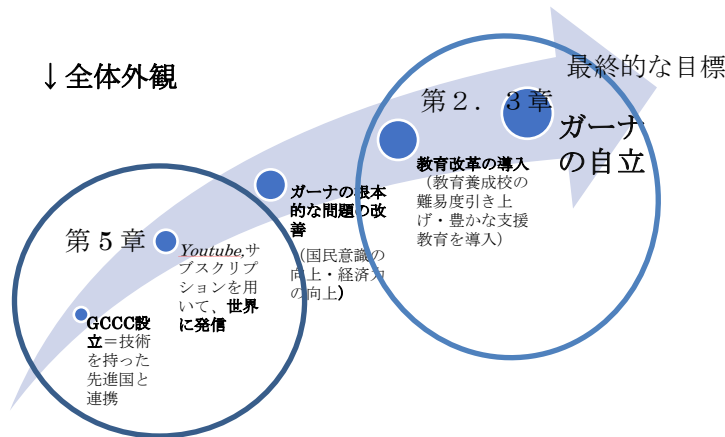
- ・ 経済産業省 「日本の二大コンテンツ、ゲームとアニメの制作企業の実像を比較する(その5)」
- ・ 公正取引委員会 アニメーション制作者実態調査報告書 2015
- ・ 国税庁「民間給与平均調査」
- ・ [https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/1706/18/news001\\_2.html](https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/1706/18/news001_2.html)
- ・ [https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000720427.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000720427.pdf)

# ガーナ自立プロジェクト!

## ～ガーナの未来の教育のカタチとガーナの文化をインフルエンサーに～

はじめに、本研究での最終目標は、アフリカを中心とした発展途上国の自立した豊かな暮らしである。そこで、本研究では、対象をガーナに絞り、教育の面から発展への方法を考えていきたい。ガーナを対象として選んだ理由は数年前、ガーナにあるアグボグブロシーという先進国から送られてくる電子廃棄物の世界最大捨て場となっているスラム街の映像に衝撃を受けたからである。

本研究の全体概略は、まず第一章でガーナの教育について言及し、第二章では世界学力テストの結果より、スコアの高い国にみられる特徴、第三章では、さらに掘り下げて教育改革成功国であるフィンランドの教育から学べる所、第四章では、二章、三章からわかる教育改革における重要な点をアフリカ諸国と先進国との根本的な差を考察した。最後の第五章では、この格差を埋めてガーナに導入するためにガーナと先進国が共同でガーナの文化を世界に発信すればよいと提案したい。



### 第一章 ガーナの教育

#### ガーナでの教育の歴史と現状

1957年に独立を達成したガーナは、1961年に基礎教育(小中学校)を無償化した。しかし、1980年代初めの経済的低迷により、政府の教育予算は削減され、ガーナの教育制度は全般的に低迷した。このような状況を受け、ガーナ政府は教育の立て直しは図っていた。

	学校数	生徒数	女性比率 (%)	総就学率 (%)
就学前教育 (幼稚園等)	9,634	702,304	49	46.2
公立	6,321	457,597	50	-
私立	3,313	244,707	49	-
初等教育 (小学校)	15,285	2,586,434	47	80
公立	12,335	2,113,749	47	-
私立	2,950	472,685	49	-
前期中等教育 (中学校)	7,382	865,636	45	64
公立	6,414	741,895	45	-
私立	1,168	123,741	49	-
後期中等教育 (高等学校)	510	-	-	-
公立	474	249,992	41	18
私立	36	-	-	-

表1 教育レベル別の指標(2001/02年)

ところが、上の表1からわかるように、就学率(子供の総数に対する学校に通う子供の割合)は、初等、中等教育では、80%以下であり、高等教育ではさらに著しく数が減り、20%を下回っている。アジア、ヨーロッパ諸国ではほとんど100%であることを考えると、教育が十分にガーナの子供たちに行き届いてないことが明らかである。

## ガーナの教育の問題点

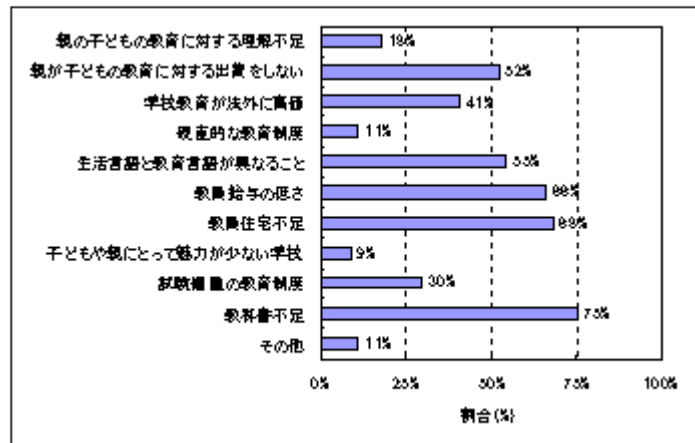
### (1) 教員の質の低さ

子ども達の学習到達度の低さの最大の要因は、教員の質の低さにある。その背景に、一般に、ガーナでは小中学校の教員の待遇は低く、決して尊敬を得る職業でない。教員の不足が深刻である。教員養成校卒(小中学校教員資格授与)は大学卒より資格が低い。従って、成績が悪く大学に進学できない生徒がやむを得ず教員養成校に入学し、一旦教職についた後、「有給進学休暇制度(Granted Study Leave)」を利用して大学へ進学するケースが多い。2000年においては10,103人がこの制度を利用し、これは同年の新卒教員数(3,272人)の3倍以上であり、差し引き7,000人近い空きポストが発生している。

### (2) 言語問題

ガーナでは常に言語の問題がつきまとっている。初等教育の初めの段階では現地の言語で授業を行うこともあるが、ほとんどが英語で行われている。母語ですらまならない識字率の上に、他国語を使って教育するのは、義務教育を受ける子供たちにとって、学習活動をさらに困難にしている。(右の図参照)

(ODA 有給進学休暇取得者数・新卒者・教職空ポストの関係 出所:ESR(2002)より)



### (3) 教育への国民意識

そして最も重要な問題は、教育に対する意識が低いことだと思ふ。上の図からわかるように、親の教育に対する理解が低いことがわかる。親だけでなく、子供たち含め国民の中で教育を重要視しない傾向が強いと考えられる。つまり、ガーナの教育を受ける子供たち、また親たちの多くが学校教育の必要性を感じていないということである。それではいくら教育の質が改善されたところで識字率、学習到達度の向上は見込めない。

## 第二章

PISA 国際比較学力テストからわかること各国の教育における学力水準を比較するために、PISA (Program for International Student Assessment)、学習到達度を学習到達度を用いた。PISA スコアから分かることが三つある。

1 つ目: 学力の向上にお金は必ずしも関係しないということ。

アメリカの子供たちは、フィンランド、日本と等しい経済力に値するが、テストのスコアでは、間にオランダなどのヨーロッパ諸国を挟んで大きく離されている。実際にアメリカで投じられる教育予算は日本、韓国より高い。また、国民の経済格差が各国にあることを考慮したとしても、フィンランドと同様に北欧で貧困率が低く、無償教育が行われているノルウェーでは、フィンランドとは正反対に近年スコアが急降下している。

2 つ目: 民族構成のばらつきが少ない(移民、民族的マイノリティが少ない) 国家が上位を占めていること

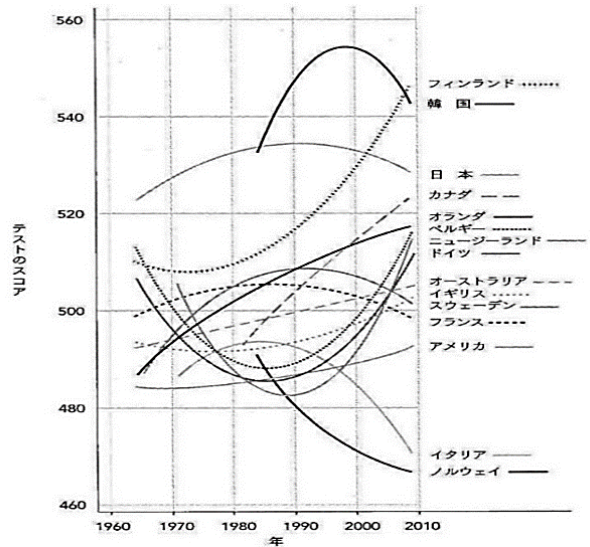
フィンランド、韓国、日本ともに自国の国民意識が高く、言語を自国で持っていて、ほとんどの人が同じ言語を使っている。このことから PISA 上位を占める国にはその国内で強い国民意識があるのではないかと考えた。日本が明治維新を迎えた際、沢山の人が“日本のために”と行動し、歴史に名を残している。遠い昔のことではなく、今でも“日本のために”とまでは思わなくても、“私たち日本人”と思っているひとは多いのではないだろうか。

3 つ目: 国民が教育を重要視する傾向が高いこと

韓国では大学受験の日は受験生だけで無く、全国民にとって重要な日である。受験生を最優先するために多くの会社は出勤時間を二時間程度遅らせ、タクシーなどの交通機関が無料で利用出来る。これは極端な例だが、上のグラフの上位を占めるほとんどの国が教育を重要視していることは確かだ。

単に教育といっても様々である。PISA の中でも読解力というテスト(日本で言う国語)では、親が読み聞かせをしている生徒ほどスコアが高かった。また、世界中のどの地域でも、親子で映画、本、時事問題について話をする家庭の方が子供の読解力の成績が良い。

上のグラフの PISA のスコアを見ると、1980 年代から急激なスコアの成長を成し遂げ、現在最上位を占めているのが、フィンランドと韓国である。ではどのようにして教育改革の成功を成し遂げたのか。本研究ではフィンランドをガーナなどのアフリカ諸国の良きモデルとしてあげていこうと思う。



## 第三章 フィンランドの教育

私がフィンランドの教育を調べていた時に驚いたことがある。1990 年代初めに大規模な経済危機に陥っていたことである。そこでフィンランド政府は国際的に競争力のある経済成長を成し遂げるために、人的資本、IT やイノベーションを重要視した。そこで教育により力をいれるようになったのである。このようなフィンランドの背景がガーナなどのアフリカ諸国の良いモデルとなると思った理由である。

PISA での成功を受けて、国家教育委員会はフィンランドの教育の成功について、9 つのポイントを導き出している。その中でも特に私が注目したポイントを以下であげたい。

## 一つ目:優秀な教師

フィンランドでは教師は高い専門性を持った職業であり、修士号が必須である。教職はフィンランドでは非常に人気が高い。2000年のデータで言えば、フィンランドの新規採用教員は一切の例外もなく、全員が高校卒業時に成績上位三分の一以内に入っていたほどの学力の持ち主であった。

収入の良さが教員の優秀さとは一致しないことは驚きである。世界で最も教員が高収入なのはスペインだが、PISAのスコアはアメリカなどよりも下回っており、あまり芳しくない。特にフィンランドではこの傾向が高く見られると感じる。フィンランドでは生徒一人あたりの教育費は同じくPISAのスコアで上位を占める韓国と比べて小さく、塾などの学校外で授業を受けている割合も少ない。したがってフィンランドでのPISAのスコアの高スコアはすべて学校の授業によって達成されているのである。高いお金を払わなくても塾の先生と勝る授業を提供するフィンランドの教師にとっても感心する。またこれこそが学校のあるべき姿であり、「平等」が保証されているのだ。

しかし、実はフィンランドもガーナと同様にかつてはピンからキリまで様々な質の教育養成校が乱立していた。そこで、フィンランド政府は教育養成校を刷新すべく、教育養成校の競争率と難易度を上げるように命じた。また、高等教育全体を見据えた改革の一環として、小規模大学を閉鎖し、教育養成校課程を有力大学に移す決定をした。

このような教育養成校課程の門戸を狭めようという大胆な改革は、物議をかました。教師不足につながるという批判もあった。しかし、実際は教師になる難易度が上がれば、その職業としての魅力は高まり、教師志望者が増えるだけでなく、現職教員の離職率も下がった。この改革の中でフィンランドでは、国家の舵取りを進めていくにあたって、教育こそが国の遅れを取り戻す唯一の策であるという意思統一ができていた。フィンランド人は、教育に真剣に取り組もうと思えば、厳しい訓練を課し、高い学識を持つ選りすぐりの教員に育て上げるしかないという覚悟を決め、それを実行に移した。

## 二つ目:特別支援教育

フィンランドの教育の素晴らしいところは、PISAのスコアが一位になったとしても、スコアの高い生徒と低い生徒の格差がとりわけ他国よりも小さいことである。特にフィンランドでは他国で言う下位層の割合が少ない。このようにフィンランドの学力の下支えをしている要素の一つに特別支援教育の効果的な利用がある。特別支援教育といっても形は様々で、特別支援校に行く生徒もいれば、特別支援を受けながら通常のシラバスを受けたり、通常のシラバスを受ける生徒と同じ学校にしながら全く個別のシラバスを受ける生徒もいる。



フィンランドでは現在特別支援を受ける生徒の全体的な増加が見られる。しかし、特別支援校や全く個別のシラバスを受ける生徒の割合は10年間(2001~2010)で減少している。つまり、通常のシラバスを受けながらシラバスの一部を個別なものにして授業を受けている生徒が増加しているのである。(2001~2010年 tilastokeskus Opetushallituksen raportointitietokanta ROPTI 参照)日本でも特別支援教育は行われている。では他国とフィンランドの支援教育はどのように異なるのか。

右のグラフから分かることは、フィンランドでは先ほど述べたように特別支援の対象者は他の欧米諸国に比べて多いが、支援を受ける生徒が分離されていることが非常に少ないことだ。

日本では特別支援校は増加しているが、特別支援が一般教育の一部として効果的に利用されるが、日本の特別支援教育はますます分離の方んでいる。(文部科学省、特別支援調査より)この特別支援教育が格差の是正や一般学力の向献するどころか、一部の学力不振者を排除する役割を果たしているように思える。

つまりフィンランドの特別支援教育はあくまで一育の一環あり、多くの者が勉強する際苦手とすがある際に利用するものなのである。さらには学難を抱えていなくても、例えば学習に対するモチオンが低い、大きなグループでは集中できない、様々な理由で所属することが可能なのである。

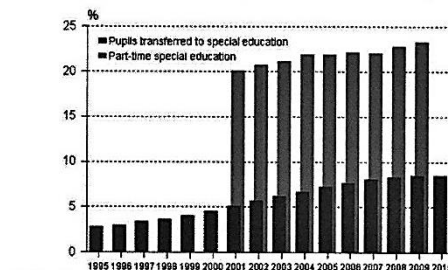


図13 フィンランドの特別支援教育を受ける児童生徒の推移 (http://www.stat.fi/til/erop/2010/erop\_2010\_2011-06-09\_tie\_001\_en.htmlより)

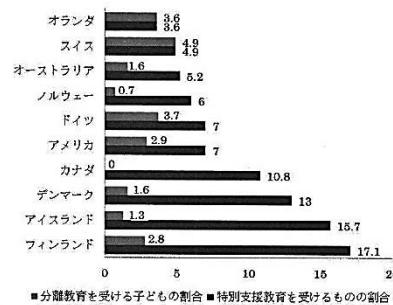


図14 特別支援教育を受ける子ども、そのうち分離教育を受ける子どもの割合

る割合  
援教  
るどこ  
向に進  
れでは  
上に貢  
ような  
般教  
ること  
習に困  
ベーシ  
など

### 三つ目:信頼

右のフィンランドの教育の基盤の5つ目では「信頼の文化」と書いてある。私が教育について研究していく中で最も重要だと思ったことがこの「信頼」である。フィンランドでは教育だけに関わらず、福祉、経済、健康などのすべての社会政策を進める上で相互に信頼しあうことが大前提とされている。つまり、「信頼」が大きな社会資源となっているのである。信頼というと曖昧になってしまうが、私は生徒と築く信頼が教育において最も重要なことだと強く感じた。生徒と親、生徒と先生、生徒と学校。子供たちにとって大人と関わる機会は少ない。子供時代に関わる数少ない大人たちは、親と先生なのである。子供たちはそのような大人たちを見て、自分が将来どのような大人になりたいか、を想像するのではないだろうか。

フィンランドでは他国よりも親と先生が子供を信頼している。10代の生徒でも、その扱いは大人に近い。保護者会が開催されることは一度も無い。なにか生徒のことで問題があるときには、大抵は生徒と先生が直接話をする。ここから、親—生徒—先生の間で相互に信頼関係が構築されていることが分かる。

オーストラリアの生徒を対象とした長期研究によれば、15歳のときに思い描いている目標次第でその生徒の将来はある程度定まってしまうらしい。高い目標を掲げている生徒は実際に目標を達成していることが多く、またそのような目標が維持されていれば、親の社会的・経済的地位は関係ないというのである。つまり、

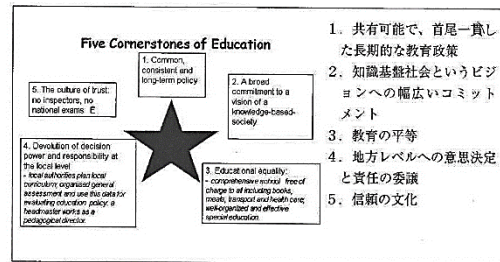


図1 教育の5つの礎石 (フィンランド国家教育委員会提供)

1. 共有可能で、首尾一貫した長期的な教育政策
2. 知識基盤社会というビジョンへの幅広いコミットメント
3. 教育の平等
4. 地方レベルへの意思決定と責任の委譲
5. 信頼の文化

社会的立場や人種、個人の能力などによって、〇〇はきっと出来ない、難しいという意識や社会のレッテルはその通りに生徒を導いてしまうのである。

「あまり家庭環境のことは考えないようにしています。誰もが同じだと思いうようにしています。裕福かどうかなんて問題じゃありません。大事なのは頭ですから。フィンランドの子たちは小さい頃からそれを分かっています、我々はみな同じなんです。」とフィンランドのある教師は語っていた。このフィンランドの「信頼の文化」の結果として、先ほど述べたユニークな特別支援教育の形が維持されているのだと思う。フィンランド人は向上できない生徒などいないと考えているのである。これは教師—生徒間だけに当てはまることではないと思う。親—生徒間でも当てはまるし、生徒（子供たち）が生まれながら感じるその国に根付く社会的なレッテルなど全てに当てはまると思う。無限の可能性を持つ子供たちに対して勉強を含め何事に対しても「あなたならきっと出来る」と信じるのが最も大切なのではないだろうか。

#### 第四章

ガーナがフィンランドのような教育改革を行い、PISA 上位国のような教育をおこなうためには第二章、第三章で述べた教育において重要な点を再度以下にまとめる。

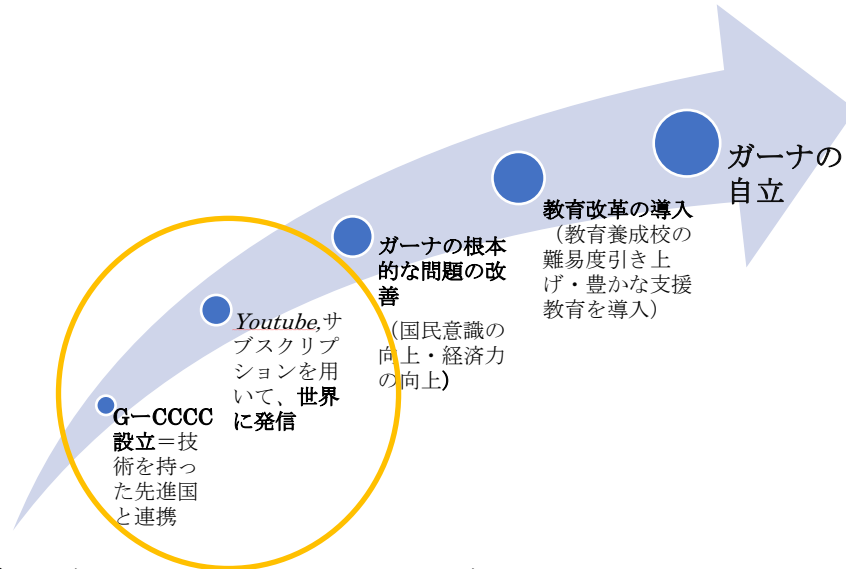
- ・教育にお金は関係ない
- ・国民意識
- ・国民が教育を重要視していること
- ・優秀な教師
- ・ユニークな支援教育
- ・信頼

ガーナでまず行っていくべきなことは優秀な教師を教育現場におくことだと思ふ。つまり教育養成校の難易度を高めることだ。そして国民全体が教育の受容性を理解し、また学校は生徒の多様性に応じて支援教育を行うなどの、一人でも取り残される生徒がいないような安心できる場所で有り続けなければいけない。しかし、第一章で述べたように、ガーナでは現在教師不足に陥り、また教師の給料の増加などの、教師の地位を向上出来るような政策を施すほどの経済的余裕は大きくない。ガーナでは欧米諸国に植民地支配された後、国境も列強によって定められた歴史的背景もあり、またガーナ国内でも多民族、多言語なため、国民意識はあまり強くないと考える。

さらに国民の教育に対する意識はとても低い。多くの子供、親たちは教育の重要性を理解していないように感じる。なぜ、子供、親たちの多くが教育の必要性を感じないかというと、教育と将来の保証が結びついていないからである。日本のように、学歴の高さと、収入の高さが比例していない。つまりガーナ国内においては、勉強が出来てもメリットがないように感じるということである。

そこで、ガーナ国内での勉強することと将来の結びつきを強めること、国民意識を強めること、教師養成にかかる費用を増やせるような経済力、などガーナ及びアフリカ諸国にある根本的な問題点の改善こそ、まず先に行わなければいけないことであり、またこのような根本的問題こそがアフリカ諸国の発展を困難にしている点であると思ふ。そしてこのような根本的な問題を解決することこそが先進国が行わなければいけない支援だと思ふ。

## 第五章 ガーナ発のエンターテインメント会社 G-CCCC



(上のグラフで丸囲みされているところにあたる)

教育改革を導入する前に根本的な問題の解決が必要だと気づいた。そして考えついたのが、G-CCCC (ジー・フォーシーズ) = *Ghana-communicate culture challenging company* です。ガーナ自立をめざして行う、教育改革の基盤づくりの為に、先進国と協力しながら、ガーナ文化を世界に発信することを目的としたエンターテインメント会社を、ガーナを拠点に運営することです。

企画の目的: ①ガーナの国民意識の向上

②ガーナの子供たちの勉強することの動機付け

③ガーナと世界のつながり

④ガーナ国内の経済の活発化

企画の実現させる意味: 教育改革、経済発展を妨げるガーナの根本的な問題の改善

企画内容: ガーナの音楽、ダンスなどの文化を、エンターテインメントとして、先進国と協力しながら、*YouTube*, サブスクリプションを用いて、世界に発信する

企画コンセプト: ガーナの人々が愛する文化を活かして、夢のある仕事を!

詳しくこの企画の内容と、期待する目的の達成への流れを説明していく。内容: *K-POP*のように、*YouTube*や *Spotify*などで *MV*や曲をネット配信し、自国だけでなく国外の経済市場を狙う。ガーナに根付く音楽・ダンスを、ガーナの文化を外に発信する。

→ 目標①: 自国の文化を国外に発信することは、ガーナの国民意識を強めるのではないかな。

自国の文化を海外に向けて発信する際英語など市場とする国の言葉や文化を理解する必要がある。例えば現在世界を魅了しつつづけている *K-POP* アーティストも日本語を勉強している。また、先進国の人々と共に仕事をする際も英語は必要である。

→ 目標②③: つまりガーナの子供たちがこの仕事を夢見て勉強するきっかけになるのではないかな。またもしこの会社が成功し、会社員に高い給料を支払うことが出来たなら、勉強が得意になる=より多くのお金を稼ぐことが可能になりやすい。こういう先進国と同じ社会基盤が出来るのではないかな。

都市での雇用が足りず、職に就けない若者の雇用率増加も期待される。この企画はインターネットをメインとして事業を行うため、カカオを主としたモノカルチャー経済などの第一次産業に頼っているガーナでも、新

しく始めやすいのではないか。さらに先進国の技術支援があるとより効果は期待される。もし、この企画が成功すれば、大きな利益となる。

→ 目標④: 第一次産業以外国内の経済の活発化

ガーナが自立して豊かな生活を送ることが出来るようになるためには、やはりお金が必要である。一つの会社でもガーナ国内で大きな利益を得ることが出来ればそこからガーナ国内の経済活動は活発になるだろう。また教育資金にも回すことができる。

ガーナの人々が大事にしてきた文化を伝えることは、ただ働くだけでなく誇りをもって楽しく仕事が出来るとではないか。また広い世界を見ることは大きな刺激になるだろう。そして、ガーナの子供たちに夢を与えるような仕事であってほしい。

### 終わりに

第五章では私のオリジナルの提案をしたが、曖昧なところが多いため、今後経済学や教育学をより突き詰めていきたいと思う。また、現在の社会に強く関心を持ち、アフリカ諸国が自立して豊かな生活を送ることが出来るようになるためにはどうすればよいのか、日々自分に出来ることを考えていきたい。

### **参考文献**

外務省 ODA ガーナ教育セクターの概況

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hyouka/kunibetu/gai/ghana/sect03\\_01\\_0301.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hyouka/kunibetu/gai/ghana/sect03_01_0301.html) (表1)

『世界教育戦争』アマンダ・リプリー著 北和丈 訳

『学力政策の比較社会学 PISAは各国に何をもたらしたか』志水宏吉 鈴木 勇 編著

## 人々はなぜ流行に左右されるのか

流行とは新しい行動様式や思考様式が、社会や集団の一定のメンバーの間にだんだんと普及し、その結果、一定の規模となった一時的な集合現象をいう。人々の日常生活における行動様式や生活様式に関わる外面的・物質的なものから、歌、言葉、ある種のものの方や考え方、思想、芸術などのより内面的・非物質的なものに至るまで社会のあらゆる領域にみられる。

一つの特徴としては新奇性といって従来から存在している行動様式や思考様式とは異なった新しい様式、あるいはそれに変化が生じたものとして人々に知覚されたものが挙げられる。また、短い期間のうちに普及し消滅していくめまぐるしい浮動性を示す一時性もある。

流行は社会的・文化的背景を反映する。大衆社会では、人々は他人志向を強め、大勢順応型で世間の動きに同調することが多い。周囲に同調することによって情緒の安定化を図る傾向が強い。新しい行動様式や思考様式を人々が採用することによって生ずる流行は、その時代の社会情勢や文化、価値観などに影響される。

これらのことから人々が流行に左右される理由を考えた。

一つ目は流行は法律などの社会的強制力を持っていないにもかかわらず、個人に対して大きな心理的・社会的圧力を発揮し、その採用を迫る性質を持つことだ。人間には他人の行動を模倣し、社会に順応しようとする「同調性への欲求」と、新しいものを採用し、周囲の人と区別したいという「差別化への欲求」がある。一見相反する欲求から人々は流行を意識し始める。周囲の目を意識することによって他の人に先駆けて流行を採用しようとする心理や、流行に遅れまいとする欲求が生まれるということである。

さらに桑島由芙の「消費者間ネットワークと購買行動—スノッブ効果とバンドワゴン効果—」という論文がある。ある二人が直接知り合いであるのを直接結合、同じネットワークに存在する A と B がネットワーク内の他の人々と同じ関係を持つのを構造同値と呼ぶ。

他者が生の情報をもたらすと商品の購入を促進し、負の情報をもたらすと購入を阻害するという正の方向の効果を前提とする。すると、自分の知人、つまり直接結合にあたる関係の人が所有している商品は被ることを嫌い、購入しない傾向が強い。これはある商品を所有しているという正の情報がその商品を欲しいという正の効果をもたらさないということになる。しかし、直接結合のない構造同値の関係にある人は「流行に遅れるのは嫌だ」と他の人があまり所有していないものは購入せず、同じ商品を所有しているという研究結果が出ている。それはある選択肢を多数が選択している現象がその選択肢を選択する人を更に増大させるバンドワゴン効果が働いたからである。このバンドワゴン効果により人々は同じ商品を買って、流行に乗ると考えられる。

もう一つはマスメディアの宣伝活動が、人々の消費を促し、流行の成立・普及を容易にするということである。そのマスメディアは雑誌などのプロから SNS、特に Instagram のインスタグラマーといわれるフォロワー数や閲覧数が多くたくさんの人に強い影響力を持つ一般人に移り変わっている。ファッションリーダーとは個々の流行領域において、社会的威信を持ち、流行追随者への重要な影響源である。そのファッションリーダーがプロから一般人に移り変わったことがより消費を促すのではないか。宮武恵子、大塚絵美子の「ファッション情報収集の変容：参与観察調査・分析を基にした時系列の変化から」では 2008 年からの 7 年間の「CanCam」、「Ray」、「ViVi」、「JJ」、「MORE」などのファッション雑誌の発行部数が減少しているのが述べられている。「ヤングファッションマーケティング分析」のアンケート調査によると、2009 年は 90%（アンケート総数：565 名）、2010 年は 79%（アンケート総数：1062 名）がファッション雑誌を定期購入して

ファッションに関する情報収集をしている。2013年は「購読している」は44%、「購読していない」は56%（アンケート総数：973名）と定期購入していない割合が増している。そしてその後の「購読している」の回答は下降し続けて2016年は22%（アンケート総数：928名）となっている。

スマートフォンの普及が本格化した2010年以降、読者から名前も顔も認知されていない素人の肩書きを持ち続けながらプロのモデルと同様に紙面に登場する読者モデルや、通りすがりにカメラに収められてファッション雑誌に登場する一過性モデルが自身の日頃のファッションの情報をSNSなどで発信するようになった。受け手の視点で捉えると読者モデルや一過性モデルは等身大の身近な存在となり、自身の日常に取り入れやすい情報を得ることができるといえる。また、インターネットを通して世界中の情報を得て自分の好みのファッションを探すのが容易になった。こういった状況からファッションに関心が高く、自身のファッションを他者と共有するために自身のコーディネートにSNSに載せる人が出てきた。その中で多くの共感を得た人がインスタグラマーになる。この「インスタグラマー」と深く関係する商業戦略として「インフルエンサーマーケティング」がある。特定のコミュニティにおいて他のユーザーへの口コミの影響力が大きい人、すなわちインフルエンサーと呼ばれる人を企業が活用し、消費者の購買行動を促すというものである。この戦略を利用する企業は、インフルエンサーに商品やコンテンツを実際に利用してもらい、そのプロセスをSNSを使って宣伝する。インフルエンサーによる投稿が他のユーザーに拡散されることが狙いである。これにより年代ごとに影響力のある人物、インフルエンサーによって特定のターゲットを狙いやすく、共感性の高いコンテンツを生み、質の良い口コミが広がりやすくなる。また、人々が知名度が高い有名人よりも純粋にその商品が好きな個人ユーザーの発言に信頼を置き始めているのも原因の一つである。例としてInstagramのフォロワー数約16万4000人（2021年1月現在）の「あやさん」を挙げる。彼女は株式会社小学館から出版されている女性向けファッション雑誌「Oggi」のウェブ版の「Oggi.jp」とタイアップしている。投稿されている写真はシンプルなデザインのファッションが多く、ファッションの専門家としてとても今風で洒落た着こなしを披露している。派手な色合いや柄物が少なく、落ち着いた雰囲気のコディネートがメインであることから、シンプルなアイテムをすっきりとまとめ、ほんのりリラックス感を漂わせる大人カジュアルコーディネートが好む女性から高い支持を得ているらしい。

上記のことから人々は心理的・社会的圧力により流行を取り入れる。人々は周囲の目を意識することによって、一見相反している欲求が人々に流行に乗るよう迫る。そして、バンドワゴン効果が働くと人々はよりいっそう流行に左右される。また、SNSの普及により一般人のメディア進出が増えた。そのことにより人々はマネしやすい、身近に感じられる一般人に興味を持ち、影響を受けるようになった。企業はこのことを利用し、影響力のある一般人に商品の宣伝を依頼し、商品の売り上げを上げていると考えられる。

#### 参考文献

- ・世界大百科事典 p633-p634
- ・日本大百科全書(ニッポニカ) Page 1 of 2
- ・桑島由芙の「消費者間ネットワークと購買行動—スノップ効果とバンドワゴン効果—」
- ・宮武恵子、大塚絵美子の「ファッション情報収集の変容：参与観察調査・分析を基にした時系列の変化から」
- ・甲南大学マネジメント創造学部向井香織の「流行りの形成過程～創るファッション、創られるファッション～」
- ・高知工科大学マネジメント学部高原彩の「SNSの若者の消費行動」

# 江戸幕府と儒学の政治思想

## 序論

### 研究背景と問い

17世紀初めの日本、徳川家康が全国統一を成し遂げ、江戸幕府を開くにあたって新しい統治システムを必要としていた。幕藩体制とともに、幕府側が漸次的に取り入れていったのが、儒学の思想を用いた統治方法だった。伝統的な戦闘者である武士を権力だけで押し付けるのではなく、思想をもって統治を行うということは、鎌倉、室町の武家による全国支配の方法を見れば異例だということがわかる。

幕府は、なぜ政治方針に儒学という手法を用いたのか、そして以後200年余り続く大名統治の方法である幕藩体制の基盤をいかにして作っていったのか。これらを研究全体の問いとした。

この問いに対して、江戸幕府は武士（厳密には大名）による武力闘争を防ぐため、封建的思想の強い儒学思想を、幕藩体制の制度そのものに取り入れた。そうすることで、将軍の強い権力を背景とした全国統治を保つことができた、という仮説を立てた。この仮説を基に。本研究で得られた結論は以下の通りである。

### 得られた結論

封建的な幕藩体制の確立そのものに儒学思想は用いられることはなかった。しかしながら、文化思想的な価値観が享受されるようになっていく社会動向の中、儒学思想が具体的で政治的な理念をもっていた点や、その習得に漢文の素養を必要としていたという点で、儒学は当時の日本にあふれていた政治ニーズに応え、幅広く活用されていった。法と秩序に基づいた政治の展開にはなくてはならないものだった。

## 本論

### 1、幕藩体制の確立と儒学

江戸幕府の統治の核を担うのが、幕藩体制である。武断政治と言われる3代将軍家光までで採られた政治手法は、武力を背景とした大名らの再構築を目的としていた。この過程を経て幕藩体制が確立した。しかし、当時の幕府は、幕藩体制自体の封建的支配体制を確立させていくなかで、封建支配の論理を裏付ける儒学とは距離をおいていた。

古代中国王朝では孔子の教えを奉じて、君臣への忠義を説き、国家統一を強固にするための思想として儒学が用いられた。いわゆる上を敬うという儒学の特徴は、古くから封建的政治を正当化させる意味合いを含んでいた。したがって、幕藩体制の封建的な支配の正当性を儒学に裏付けさせることは可能であった。しかし、大正期の歴史学者、津田左右吉の著作『文学に現はれたるわが国民思想の研究 武士文学の時代』（1916）によれば、「徳川の体制を支えたのは、あくまでも武力と政策、武士の上下の主従関係によって規律された支配組織であった」とある。この津田の主張を裏付ける根拠として、中国で実施された科挙制度（科挙制度では、儒学が科挙の試験科目のひとつとされており、統治者と共通の教養とされた）が江戸幕府では実施されず、大名が世襲でそれぞれの土地を支配していたこと、後に台頭していく儒者たちが独自の儒学思想にもとづく政治改革を訴えていたこと、が挙げられる。

つまり、幕藩体制の確立及びその時期に、儒学は幕府に対し大きな影響力を持っていたのではないのだ。むしろ、幕藩体制を支える今後の諸政策に、儒学思想が影響を及ぼしていたのである。そしてこのことは、幕藩体制確立期である3代将軍家光までの時代に、武力を背景とした、領地の没収や削減（改易・減封）を

行っていた、すなわち武断政治が行われていたことと合致し、儒学に基づく制度を備えた文治政治には程遠い政治の現状であったことを示している。

それでは、江戸幕府が儒学に接近していった理由と時期を2章、およびで3章明らかにしていく。

## 2, 儒学の接近 仏教にはなかったもの

徳川家康以降の統一事業において、武力闘争が停止したことにより、思想的文化的な価値への需要は一層高まっていった。しかしながら、17世紀はじめには仏教信仰が衰えていない状況だった。そんな中、統治を担っていく武士たちの内面的な倫理観を定義し、政治に対して実用性のある思想として儒学はこれ幕府に接近していく。

五山僧とよばれる禅宗の僧は、漢文の教養を背景に主に中国との外交顧問に重用されていた。徳川家康が政権を得てからも、三要元佶(さんようげんきつ)や以心崇伝(いしんすうでん)といった臨済宗の僧も行政官として、幕府に仕えていた。これとほぼ同時期に、同じく幕府の学事顧問であった、林羅山(はやしらざん)は儒学の普及を目的に、排仏論を展開していった。ここでは、羅山も主張していた仏教と儒学の政治的なニュアンスの違いに注目する。まず、儒学はあくまで現実の人間社会の中で、自らの目指す為政者となることを追い求めるのに重きが置かれるという特徴をもつ。一方仏教は、鎮護国家にみられるような、国家安泰には人間社会の外の存在への帰依にあるとされる。政治におけるスタンスの違いが両者ではっきりとしているが、より具体性を兼ね備えている儒学がその有用性において仏教に勝っていることから、幕府は儒学に接近していったのだと考える。

ところが、羅山はあくまで幕府お抱えの学事顧問として処遇されており、幕府内の影響力は五山僧らよりも小さかったため、急進的な排仏及び儒学導入には発展しなかったが、仏教にとって代わる思想として、後の17世紀後半から18世紀始めにかけて、幕府が儒学に接近していくきっかけを築いたという点で一定の評価は出来ると考える。

そして、五山僧らは4代将軍家綱による文治政治(1651~1680)への転換以降、政治行政的な力が衰え姿を消していく。幕府としてはこういった外交の手段を閉ざすわけにはいかなかった。そこで、儒学思想を学ぶ上での漢文の素養が、同じく漢文知識が必須とされた五山僧の外交の場で活用できることに幕府が目をつけたと考えると、以降幕府側が儒学を漸次的に取り入れていった事実とつじつまが合う。またこの点でいうと、このような場での行政官、すなわち官僚としての武士を養成するために、後の藩校設置や儒学の官学化が進められたことにも繋がる。

## 3, 文治政治への転換と武家諸法度

5代将軍徳川綱吉(1680~1709)の時代は儒教が本格的に社会に根付いてゆき、文治政治が本格的に行われていく時代だった。武断政治の結果、大名の解体が進み、お上の存在しない武士である牢人が葺加してしまう。より平和的な手段や作法が模索されてゆく中、幕府は儒学に基づく法律や制度、儀礼を整備していく。

綱吉は、儒学の講義を開き全国の大名らにその聴講を許していたほど、為政者として儒学思想に傾倒していた。保科正之などの諸藩藩主が、藩政に儒学思想を取り入れた政治刷新をおこなっていくのもこの時期である。また幕府の政治顧問として徐々に頭角を表していた林家の三代目当主、林鳳岡(ほうこう)は



1691年に大学頭という学問の長に任命された。これをきっかけとして、幕府は広い意味での儒学研究者、すなわち儒者という身分が幕府に正式に認められることになったのだ。そして、綱吉政治における儒学思想は天和3年(1683)に出された武家諸法度からも垣間見え、仏教が相対的に政治的な力を失っていったのがわかる。

<b>寛永令 一六三五</b>	<b>一 文武弓馬の道専ら相嗜むべき事</b>
	一、学問や武術を磨くことにひたすらたしなみ、 励むべきこと
<b>天和令 一六八三</b>	<b>一 文武忠孝を励し礼儀を正すべし事</b>
	一、文武忠孝に励み、礼儀を正すべきこと

寛永令は3代将軍家光の時代に発布されたもので、戦闘者としての弓馬道が前面に出ているのに対し、天和令では忠義や礼儀という儒教色の強い言葉に置き換わっているのがわかる。また天和令に続く、宝永令の第一条でも、天和令の儒学の方針を踏襲している節がある。ここでも、仏教道徳のひとつである「慈悲」といったようなことは一切表記されていない。

社会秩序を何より優先する儒学思想をいち早く本格的に取り入れ、社会の安定を主眼とする文治政治に舵をきることとなった綱吉の時代には、政治に裏付けられる論理が、儒学を通じて確立していったのだと考える。例えば服忌令(ぶつきりょう)と呼ばれる、喪に服す期間が、故人との親しみ度合いによって定められるという法は、儒学の教えを受け継いだものであるのはもちろん、当時の世間の政治ニーズにこたえた形で発布されたという部分が非常に重要なポイントである。武断政治からの再起における民衆の政治的要請を体現できたのは、儒学思想の論理が政治に働きかけていたからなのである。

#### 結論

以上より、儒学思想には、政治に対しての有用性があった。だからこそ幕藩体制という最も重要な政治制度を維持していくために、文治政治の開始以降様々な政策が掲げられていたのだと考える。またこのことは、のちの寛政異学の禁にみられるような儒学官学化における武士への思想教育にまで幅広く用いられることにも繋がるのだと考える。

参考文献

浜島書店編集部(2020).『新詳日本史』.浜島書店

森和也(2018).『神道・儒学・仏教—江戸思想史の中の三教』.筑摩書房

苅部直(2017).『日本思想史への道案内』.NTT出版

黒住真(2003).『近世日本社会と儒教』.ぺりかん社

黒住真(2006).『複数性の日本思想史』.ぺりかん社

## 明治時代初期から終戦までの小学校における道徳教育

### はじめに

明治時代初期から終戦までの日本の小学児童には、「国の為に忠義を尽くし、国を愛する」という忠君愛国の精神が根づいていた。それは、「教育ニ関スル勅語」（以下「教育勅語」と称する）をもとにした児童への道徳教育の徹底が原因であると考えられる。本論文では、教育勅語とそれに関する法規や制度から確立した小学道徳について考察する。

### 教育勅語

1890年に発布された教育勅語では、道徳の根本と教育の基本理念が明示された。そして、その内容の中には「一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ」とあり、これは「万一危急の大事が起こったならば、大義に基づいて勇気をふるい一身を捧げて皇室国家の為に尽くしなさい」(1)という意味であり、忠君愛国の精神を示した文章である。また、勅語とは、天皇が当時の憲法であった大日本帝国憲法の下で大権に基づいて直接国民に発する意思表示のことであり、国民への影響力はとても大きかったと考えられる。

### 小学校教則大綱

そして、翌年に制定された「小学校教則大綱」では、当時の道徳教育を行う科目であった修身科目を、教育勅語に基づいて行うことが定められ、修身には特に「尊王愛国ノ志気」の涵養が求められた。これによって忠君愛国の教えが教育勅語を通じて徹底されたといえる。また、この法規は修身の授業数の増加や修身教科書の教育勅語の構成に沿った教材編成によって推進された。まず、この大綱と同時期に毎週教授時間の制限が設けられ、それに伴って修身科目の授業時間は一週間に1.5時間から3時間に増えた。修身教科書の教材編成は1903年に決定された教科書国定制度によって文部省で行われた。教科書は1945年にかけて第一期から第五期まで改定されその度に内容の変化があった。また1910年には文部省によって「小学校ニ於ケル修身教科書編纂ニ付キ教科ノ目的貫徹方」が発せられ第二期以降の修身教科書について、「教育ニ関スル勅語ノ趣旨ニ基キ忠孝ノ大義ヲ明ニシ国民固有ノ特性ヲ發揮セシムルニ特ニ意ヲ致セリ」と、教育勅語の趣旨徹底が強調された。国定教科書の例として、第四期(1933~40年)に改定された教科書では、「テンノウヘイカ」について次の記述が見られる。

「テンノウヘイカハ、ワガ大日本テイコクヲオヨサメニナル、タツイオンカタデアラセラレマス。テンノウヘイカハ、ツネニ、シンミンヲ、子ノヤウニオイソクシミニナッテイラツシャイマス。私タチガ、大日本テイコクノシンミント生マレテ、カヤウニアリガタイオンカタヲイダビテイルコトハ、コノ上モナイシアハセデゴザイマス。」(尋常小学校二年「巻2」の第21課より)

この教科書は「忠良ナル臣民」の育成に向けて編成するとされており、このような天皇や国体に関する教材は第一期から第五期にかけて次第に多くなっていき、教科書で忠君愛国の精神と天皇や国家に対する従順さが強調された。第五期には半分以上が国家に対する道徳で占められた。

## 小学校令

小学校令とは、小学校に関する規定が示された勅令であり、その第一条では、小学校の目的が初めて明示されている。それが「小学校ハ児童身体ノ発達ニ留意シテ道德教育及国民教育ノ基礎並其生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授クルヲ以テ本旨トス」というものである。この規定では、小学校の目的として道德教育、国民教育、知識技能の教育の三つを挙げているが、道德教育が一番初めに記されていることから、小学校教育において重要視されていたことがわかる。そしてこの第一条の規定は、約五十年間に渡って日本の小学校の基本的性格を示すものとして掲げられた。

## 結論

上記の事柄から、明治時代初期から終戦にかけて、日本は、道德教育を小学校の主な目的の一つとし、それを教育勅語に基づいて行うことで、児童に教育勅語の教えを徹底したことがわかる。そして、教育勅語には忠君愛国の精神が示されており、児童は小学校で教育を受けることに伴って忠君愛国の思想が根づいていったと考えられる。

## 参考文献

- ・『教育勅語』 山住正己 朝日選書
- ・『原典・解説 日本教育史』 鈴木博雄編著 日本図書文化協会
- ・文部科学省-学制百年史(5月14日)

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/html/others/detail/1317552.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/others/detail/1317552.htm)

(1)は、上記の文献、サイトを参考にして現代語訳したものである。

## 平安時代の中でどのように女流文学は花開いたのか～菅原孝標娘と『源氏物語』～

女流文学は、女性個人の才能だけでなく、女流文学者の家系や家柄、時代背景が大きく関わって発展した。また、間接的には時代背景だけでなくひら仮名の流通も文学誕生の要因であろう。さらに制作された文学は、新たな文学誕生に影響を与えているといえる。

### 1. 女流文学者の家系と家柄

まず、女流文学者の誕生にはその家系や家柄が関係していると考えられる。ここでは、紫式部、孝標娘に注目する。紫式部は藤原為時と藤原為信娘との間の次女として、973年ごろ生まれた。父の為時は文章生<sup>1</sup>出身の文人で詩歌にすぐれていた。伯父の為頼も物語や和歌に造詣の深い人物で、その家集に平淡にして滋味に富んだ歌を残している。(文献②p535) 為時が長男の惟規に漢籍を伝授していたとき、傍で聞いていた紫式部の方が「あやしきまで聡」き理解力を示したので、紫式部に向かって「口惜しう。男子にて持たらぬこそ幸なかりけれ」と、為時はつねに嘆いたという。

この式部の丞といふ人の、童にて書読み侍し時、聞きならひつゝ、かの人はをそう読みとり、忘るゝ所をも、あやしきまでぞさとく侍しかば、書に心入たる親は、「口惜しう。男子にて持たらぬこそ幸なかりけれ」とぞ、つねに嘆かれ侍し。(文献②p314)

紫式部日記にただ一か所書きとめられたこの少女期の出来事は、紫式部の精神の原核を窺わせるものとして注視される。(文献②p537) 菅原孝標の娘についてである。父の孝標は、菅原道真の直系の子孫である。道真の子孫が歴任した官職をみると、家の学問を守って、一度は必ず大学頭<sup>2</sup>や文章博士<sup>3</sup>になっているにもかかわらず、孝標だけは上総介や常陸介といった受領になっているにすぎない。(文献⑨p293) 母は藤原倫寧の娘で『蜻蛉日記』の作者の藤原道綱の母の妹である。(文献⑨p294) 孝標の娘には継母があった。孝標の娘に物語への関心を抱かせるきっかけを作った点では、見のがせない人物であるが、上京後、まもなく孝標と別れてしまった。(文献⑨p295)

### 2. 文字の影響

次に文学の誕生は文字の発達をもたらしたといえる。小峰(2013)は仮名の誕生について次のように述べている。

漢文を書き、読む過程で、日本語にあった訓読が生まれ、漢文で表わしえない「てにをは」の類を示す、より記号化した表音文字としての万葉仮名が生まれ、その書体の一部を記号とした片仮名が生まれ、万葉仮名の草書体をさらに簡略化した平仮名が生まれた。

平安時代の物語や日記文学といった作品類では、仮名の発達により、漢文体には付与することのできなかつた細やかな心情表現や心の襞などが描かれるようになる。(文献⑩川村裕子 p97)

---

1 古代、大学寮で紀伝道を学んだ学生。

2 大学寮の長官。

3 古代の大学で詩文と歴史とを教授した教官。

### 3. 物語を読むということ

孝標娘のもとには、夫や娘に対してあらゆる労力を惜しまない母や受領層の父のおかげで、次々に物語が集められた。そうして孝標娘は、『源氏物語』の一部である『紫のゆかり』を見ることができた。『紫のゆかり』は紫の上に関するいくつかの巻のことで、現存の『源氏物語』の中で最も早く執筆されたと考えられているグループである。『源氏物語』も小さなグループの写本なら、比較的容易に孝標娘の手に入った。一部を手にして『源氏物語』を全篇読みたいという希望はさらに激しくなるが、全篇一そろいとなると、受領層の力でも容易に手に入るものではない。(文献⑨p314-315) 物語を読むということは、今の小説を読むということとはよほど異なっている。上流貴族でも手に入れにくい『源氏物語』のような作品は、一人一人が写本<sup>4</sup>を手にして読むということもあるが、一部の人にだけ許されることである。大部分の人々は、誰か一人が声に出して読むのをそばで聞くとする形で知るのだ。(文献⑨p316)

### 3. 『源氏物語』が『更級日記』に与えた影響

吉岡(1989)は「平安時代の女流日記はおおむねいわゆる日次の日記ではなく、自分の体験した事柄を、たてまえとして虚構をまじえず、月日や年次を追って記録していく、今日の用語でいえば回想記に近いものである。」としている。更級日記も例外ではなく、13歳の上総からの上京の旅から書き始め、夫の死の翌々年の53歳と推定される年の記事までを晩年のある時期にまとめて執筆された回想記である。(文献②p557) 上野(1991)は、『更級日記』の冒頭部分について次のように述べている。

東路の道の果てよりも、なほ奥つ方に生ひ出でたる人、いかばかりかあやしかりけむを、いかに思ひはじめけることにか、世の中に物語といふものあなるを、いかで見ばやと思ひつつ、つれづれなる昼間、宵

---

<sup>4</sup> 手書きした本。書き記した書物。書物を手書きによって書き写すこと。その写した書物

### 5. 参考文献

- ①『王朝女流文学史』清水文雄(1988年、古川書房)
- ②『土佐日記 蜻蛉日記 紫式部日記 更級日記 新日本古典文学大系 24』長谷川政春、今西祐一郎、伊藤博、吉岡曠(1988年、岩波書店)
- ③『枕草子 新古典文学大系 25』渡辺実(1991年、岩波書店)
- ④『土佐日記・かげろふ日記・和泉式部日記・更級日記 日本古典文学大系 20』鈴木知太郎、川口久雄、他(1957年、岩波書店)
- ⑤『研究資料日本古典文学 第一巻 物語文学』大曾根章介、久保田淳、他(1983年、明治書院)
- ⑥『研究資料日本古典文学 第八巻 随筆文学』大曾根章介、久保田淳、他(1983年、明治書院)
- ⑦『研究資料日本古典文学 第九巻 日記・紀行文学』大曾根章介、久保田淳、他(1984年、明治書院)
- ⑧「更級日記と文学史」上野英二(1991年、成城国文学論集(21)所収)
- ⑨『鑑賞 日本古典文学 第10巻 王朝日記』松村誠一(1975、角川書店)
- ⑩『日本文学史 古代・中世編』小峰和明、斎藤英喜、他(2013、ミネルヴァ書房)

居などに、姉、継母などやうの人々の、その物語、かの物語、光源氏のあるやうなど、所々語るを聞くに、い  
どゆかしさまされど、

この冒頭の句は、『古今和歌六帖』所載の古歌、

東路の道の果てなる常陸帯のかごとばかりもあひ見てしがな  
を踏まえて書き起こされている。

孝標娘は1008年に生まれ、1017年に、父孝標の上総介に従って、上総国へ行き、そこで成長した。東海  
道は上総、下総、常陸の順に下る。常陸を「東路の道の果て」とは言えても、上総をさらにその「奥つ方」とは  
言い難い。孝標娘は幼い頃から『源氏物語』にあこがれていた。『源氏物語』の浮舟も孝標娘と同じように、  
幼いころに常陸に下り、そこで成長した。孝標娘は『更級日記』を「東路の道の果て」と書き出すことで、自  
らを境遇が同じである『源氏物語』の浮舟に重ね合わせるところがあった。上総をあえて「東路の道の果  
て」よりさらに「奥つ方」と言ったのは、生い立ちの等しい浮舟に憧れつつも、浮舟の人生には及ばなかった  
自らを卑下してのことである。(文献⑧p2-3)

#### 4. 考察

『更級日記』の作者、菅原孝標娘は物語を愛していた。中でも、『源氏物語』の浮舟には強く心惹かれてい  
た。『源氏物語』の作者の紫式部は優れた人々の血を引き、孝標娘は父のおかげで経済的に恵まれており、  
理解のある母のおかげで、物語にめぐり会えた。このように、女流文学者の家系や家柄は文学の誕生に大  
きく関わっている。そして『源氏物語』と出会ったことで『源氏物語』は『更級日記』の作者、菅原孝標娘と  
『更級日記』に影響を与えた。

i 古代、大学寮で紀伝道を学んだ学生。

ii 大学寮の長官。

iii 古代の大学で詩文と歴史とを教授した教官。

iv 手書きした本。書き記した書物。書物を手書きによって書き写すこと。その写した書物

#### 5. 参考文献

①『王朝女流文学史』清水文雄(1988年、古川書房)

②『土佐日記 蜻蛉日記 紫式部日記 更級日記 新日本古典文学大系 24』長谷川政春、今西祐一郎、  
伊藤博、吉岡曠(1988年、岩波書店)

③『枕草子 新古典文学大系 25』渡辺実(1991年、岩波書店)

④『土佐日記・かげろふ日記・和泉式部日記・更級日記 日本古典文学大系 20』鈴木知太郎、川口久雄、  
他(1957年、岩波書店)

⑤『研究資料日本古典文学 第一巻 物語文学』大曾根章介、久保田淳、他(1983年、明治書院)

⑥『研究資料日本古典文学 第八巻 随筆文学』大曾根章介、久保田淳、他(1983年、明治書院)

⑦『研究資料日本古典文学 第九巻 日記・紀行文学』大曾根章介、久保田淳、他(1984年、明治書院)

⑧「更級日記と文学史」上野英二(1991年、成城国文学論集(21)所収)

⑨『鑑賞 日本古典文学 第10巻 王朝日記』松村誠一(1975、角川書店)

⑩『日本文学史 古代・中世編』小峰和明、斎藤英喜、他(2013、ミネルヴァ書房)

## 教育現場に仮眠時間を

「昼寝」とは、日中に自分の意思で眠ることであり、「居眠り」とは、意図せずに眠ってしまうことである。これらをあわせた眠りは「仮眠」と呼ばれ、近年、仮眠によってもたらされる効果について多くの研究が行われている。これらの研究より仮眠の効果が明らかになっているが、ここでは、教育現場に仮眠時間を取り入れることで得られる効果について考える。教育現場の例として、高校に焦点をあてることとする。高校生が仮眠をとることは、毎日の学習にどのような影響を与えるのだろうか。

### 1, 高校生が感じる日中の眠気について

「眠気」とは、「眠いという感じ」(大辞林)、「眠りたい気分」(日本語大辞典)、「ねむい感じ、今にも眠りに入りそうな気持」(広辞苑)などと説明されている。表現に違いはあるが、いずれも「眠気」は眠いという感覚を表した言葉であるといえる。実際に日中に「眠い」と感じている高校生の割合は、88パーセントで、週に1回以上居眠りする高校生の割合は66パーセントにも及ぶ。また、眠気が強い状態では、学習を行う際に、集中力の低下などによって、大きな心理的負担を抱えることになるという実験データも出ている。これらのデータから日中の眠気が高校生の学習の大きな妨げになっていることが推測される。よって、日中の眠気を効率よく取り除くことがより良い学習につながると考えられる。

### 2, 眠気のピークについて

ここでは、具体的にどのような眠気が高校生の学習の妨げになっているのかを考える。人間の眠気は夜間に最も大きな眠気のピークである「第1ピーク」をむかえるが、正午過ぎから午後2時にかけても眠気のピークをむかえる。このピークを「第2ピーク」という。この眠気の第2ピークをむかえるのは、高校生にとって学校で授業を受けている時間帯である。よって、この眠気の第2ピークが学習の妨げになっているということが予測される。したがって、より良い学習のためには、正午過ぎから午後2時の間の眠気を取り除くことが必要であるといえる。

### 3, 眠気を取り除くこと方法について

眠気を取り除く効率的な方法として、仮眠があげられる。仮眠は眠気を取り除くだけでなく、疲労感の回復や集中力の維持といった効果があるといわれている。よって、高校生が2で述べた眠気の第2ピークがおとずれる時間帯に仮眠をとることで、眠気の第2ピークをおさえるだけでなく、午前の学習の疲労感の回復、午後の学習での集中力の維持といった効果も期待できる。

### 4, 仮眠に適した長さや時間帯について

仮眠には適した長さがあり、それを調べるための実験として、参加者を4グループに分け、それぞれ5分、10分、20分、30分の長さで仮眠をとってもらい、昼寝後の作業成績や疲労感、居眠りの有無を調べたものがある。この実験の結果として、10分間の仮眠が一番効果的であるということが分かった。また、10分未満の仮眠の場合、午後の作業中に居眠りが生じ、20分や30分の仮眠の場合、仮眠による回復効果が見られなかったことも報告されている。さらに、車輦シートにおける短時間仮眠の効果を調べたところ、座



位姿勢では 10 分間の仮眠よりも 15 分間の仮眠の方が効果的であった。これらの結果から、仮眠に適した長さは、横になった状態で 10 分間、座位姿勢で 15 分間であるということがわかる。

次に適した時間帯については、2 でも述べた通り、眠気の第 2 ピークがおとずれる正午過ぎから午後 2 時の間が一番効果的な時間帯であるといわれている。逆に、午後 5 時以降に仮眠をとると、夜間睡眠の質を悪化させることが指摘されており、仮眠をとるには適していない時間帯であることが分かる。

## 5, 仮眠の習慣化について

仮眠の習慣を形成することは、仮眠の効果を高めるという実験データが報告されている。この実験では、月曜日～金曜日の連続 5 日間、昼休み中の 20 分間の間に仮眠をとった場合の効果について調べられていて、1 日目（月曜日）から 3 日目（水曜日）は起床直後（午後 1 時）の眠気はかえって高まっているが、4 日目（木曜日）以降は眠気が低減しており、起床から時間をおいた午後 2 時 40 分では、仮眠をとらなかった週と比較すると、どの日でも眠気は低く抑えられ、日数の経過とともに眠気はさらに低減している。これらの結果は、仮眠習慣の形成には 3 日以上が必要であること、仮眠習慣の形成によってさらなる眠気低減の効果が期待できることを示している。また、教育現場に仮眠を導入した例として、福岡県立明善高校があげられる。この高校では、2005 年 6 月 1 日から昼休み中の午後 1 時 15 分～午後 1 時 30 分の 15 分間に午睡タイムを設けた。導入から半年後の調査の結果、週 3 回以上仮眠をとっていた生徒では、他の群の生徒に比べ、朝目覚めたときのぼんやり感を訴える人が少なく、覚醒度は午前・午後ともに高かった。また、授業への集中度は、週 3 回以上仮眠をとっている人で 87.1、週 1～2 回仮眠をとっている人で 74.6、月 1～2 回仮眠をとっている人で 63.8、一度も仮眠をとらなかった人で 62.6 と仮眠をとる頻度が多い人ほど授業の集中度が高いという結果になっている。

表 1 福岡県明善高校における短時間仮眠の効果

	週3回以上	週 1～2 回	月 1～2 回	なし
人数	31	67	133	754
睡眠時間	5時間52分	5時間31分	5時間37分	5時間45分
頻度 (%)				
起床時ぼんやり感	61.3	71.6	72.2	73.3
授業中の眠気 (午前)	58.1	79.1	73.7	71.8
授業中の眠気 (午後)	71	88.1	83.5	82
頭のすっきり感 (午前)	80.5	56.7	53.4	56.1
頭のすっきり感 (午後)	61.3	45.3	45.9	51.6
授業への集中	87.1	74.6	63.8	62.6

これらの結果から、高校生が仮眠習慣をつくることによって、午後の眠気を抑え、授業中の集中度を高めることができることで、より良い学習へとつながることが分かる。

## 6, まとめ

1～5 で述べた通り、高校生にとって日中の眠気は午後の学習の障害となっており、

この眠気を取り除くことがより良い学習へとつながるといえる。また、高校生が適した時間に仮眠をとり、仮眠習慣を身につけるためには、高校に仮眠時間を取り入れる必要があると考える。正午過ぎから午後 2

時の時間帯に入眠時間を考慮して、約 20 分間の仮眠時間をとることで、午後の眠気の解消、疲労感の回復、集中力の維持といった効果が期待できる。さらに、仮眠習慣という観点からみると、高校だけでなく、小学校や中学校にも仮眠時間を取り入れることによって、早い段階から仮眠習慣を身につけることができるため、仮眠によってもたらされる効果が増大することが期待できる。よって、教育現場に仮眠時間を取り入れ、良い仮眠習慣を身につけることがより良い学習につながると考えられる。

#### <参考文献>

- ・『学童・学生の睡眠の実態とその問題点』福田一彦 2005 年
- ・『思春期一睡眠習慣とその問題点』石原金由・福田一彦 2004 年
- ・『大辞林 第二版』三省堂 1995 年
- ・『広辞苑 第五版』岩波書店 1998 年
- ・『日本語大辞典 第二版』講談社 1995 年
- ・『日中の眠気と仮眠の効果』堀忠雄・林光緒 1998 年
- ・『座位姿勢における午後の短時間仮眠効果—仮眠の長さが仮眠効果に与える影響』阿部晃子・林光緒・堀忠雄 2006 年
- ・『A brief afternoon nap following nocturnal sleep restriction :which nap duration is most recuperative?』Brooks ,A. & Lack ,L. 2006 年
- ・『午睡』福岡県立明善高等学校 2005 年 <http://meizen.fku.ed.jp/news/gosui2.html>
- ・『The effects of short daytime naps for five consecutive days.』Hayashi ,M. , Fukushima ,H. & Hori ,T.
- ・『Sleep health, lifestyle and mental health in the Japanese elderly ensuring sleep to promote a healthy brain and mind.』Tanaka ,H. & Shirakawa ,S. 2004 年
- ・『睡眠心理学』堀忠雄 2008 年

## 組み分けジャンケンの種類が増加している理由

### 1. はじめに

「グーとパーで分かれましょ」などの組み分けジャンケンの掛け声は「ジャンケン」よりも区分が細かいことが分かる。

ジャンケンの掛け声は「最初はグー、ジャンケンポン」を基礎として一元化されつつある。この「最初はグー、ジャンケンポン」が共通語系になっているのは佐々木香織 著「新潟県における2チーム分けジャンケンの掛け声の分布」から、テレビタレント志村けんにより「最初はグー」から始めるジャンケンが1980年代から全国的に流行したためであると考えられる。

ではなぜ、組み分けジャンケンの種類は増加しているのだろうか。

### 2. 小学生の利用

大学を卒業した大人にとって「グーとパーで分かれましょ」は「ジャンケン」よりもなじみがなく、あまり利用されていない。これは大学を卒業し社会に出ることによって児童・生徒の時のように「グーとパーで分かれましょ」をする機会が少ないからである。このように「グーとパーで分かれましょ」はどうしても班分けやものを選ぶときに必要なわけではない。しかし、それらの掛け声が一種の遊びとして児童・生徒に多く親しまれているために、今までこのような言葉は生き残ってきたと考えられる。また言葉の広がり方として、小学校ごとに使われている掛け声が違うものが他の小学校に広がる傾向があるということが分かっている。つまりこのような言葉は一般的な方言と違い、減るどころか増え続けているといえる。

まず、「グーとパーで分かれましょ」などの小学生が使う新語・流行語は世代・時代ごとに掛け声やルールが違うと言える。ここでの流行語とは、一時的に急に世間に広がり増えるものをさす。この流行語は何かのきっかけで急に使われることがある。例えば小学校のような共同体では、明確な理由なしに『自分がいいと思ったから』という理由だけで新しい掛け声が使われることがある。

### 3. 遊び性

西島 建男 他著「方言と共通語」(P.139, P.140)によると、言語の「遊び性」が、見直されており、日常に使用する言語だけではなく新しい言語を作っていくとする風潮が無意識的に若い世代に広まっているため、新方言は絶えず作られていることが分かる。ここでは「遊び性」について明示されていない。しかし、私がこの文献を読む限り「遊び性」とは言語を作るということ遊びとしてとらえていると考えられる。つまり「遊び性」とは文化が発達するにつれて見られる1つの単語に複数の意味を作ろうとする人間の性質であるといえる。

### 4. ことばの広がり方

次に、ことばの変化は共同体の中で広がり、次第に共有されていくことが分かる。大西拓一郎 著「ことばの地理学」(P.158)によると、言葉の変化方法としては、他の共同体の接触によって他の共同体で使われていた言葉が自分の共同体に入ってくる言語外的変化と2で示したような急に自分の共同体で使われていた言葉とは異なる新たな言葉が自分の共同体で生まれるという言語内的変化の2つがある。

ある1つの共同体で用いられ始めた言葉は外部の共同体との接触により、その他の共同体にも広がりを見せることが多い。このように新しい言葉が入ってきた共同体では、その言葉を上手に既存の言葉と組み合わせることによって新しい言葉を自分たちのものにしていくだろう。

もちろん例外として1つの共同体のみで使われていることばもあるが、それはその共同体が持つ独自の文化が、その他の共同体に受け入れられなかったためだと考えられる。一つの例として「コワイ」があります。現在の日本の共通語としての「コワイ」は「怖い」、「恐い」などといった恐怖を表す意味で使われている。しかし東北地方、北海道、中国地方の一部など「コワイ」を「つかれた」という意味でつかっている地域もある。このような地域で恐怖を表す「コワイ」が使われるようになると、どちらの意味で使われているか分からなくなる可能性が高い。彦坂佳宜 著「方言はまほうのことば!」(p64)によるとこれらの地域では無意識のうちに恐怖を表す「コワイ」が入ってくることを防いでいる。

しかし「グーとパーで分かれましょ」の掛け声に関しては2でも示したようにそれが持つ意味というよりもその言葉の「遊び性」に重きが置かれているため、上のように新しい掛け声が他の共同体に受け入れられないということが少ない。だからこそ「グーとパーで分かれましょ」の掛け声は比較的早く広がっていくといえる。

また、「グーとパーで分かれましょ」などの掛け声は、小学校という1つの共同体の中で広がり、次第に共有されていく。小学校を1つの共同体としているのは、

さらに、ことばの広がり方については方言圏説という、ことばは都のような中心地から円周上に広がっていくものだという考えがある。

井上史雄 他 著「方言と共通語」(P.80)によると東京から広がる文化はあるものの、東京に返ってくる文化は少ないことが分かる。これはつまり、新たに方言が出来たとしても、中心地でその方言が使われることが少ないことを示している。よって、より中心地から離れた場所の方がいろいろな文化と交わり、多様な言語の掛け声を示しているといえる。このことから、「グーとパーで分かれましょ」においても同じことばが使われている中心地から離れた場所の方が掛け声の区分が細かいことが分かる。

## 5. 東京と新潟の比較

参考・佐々木 香織(2012)『新潟県における2チーム分けジャンケンの掛け声の分布』(新潟国際情報大学情報文化学部)新潟国際情報大学情報文化学部紀要 15 巻 P.15-24

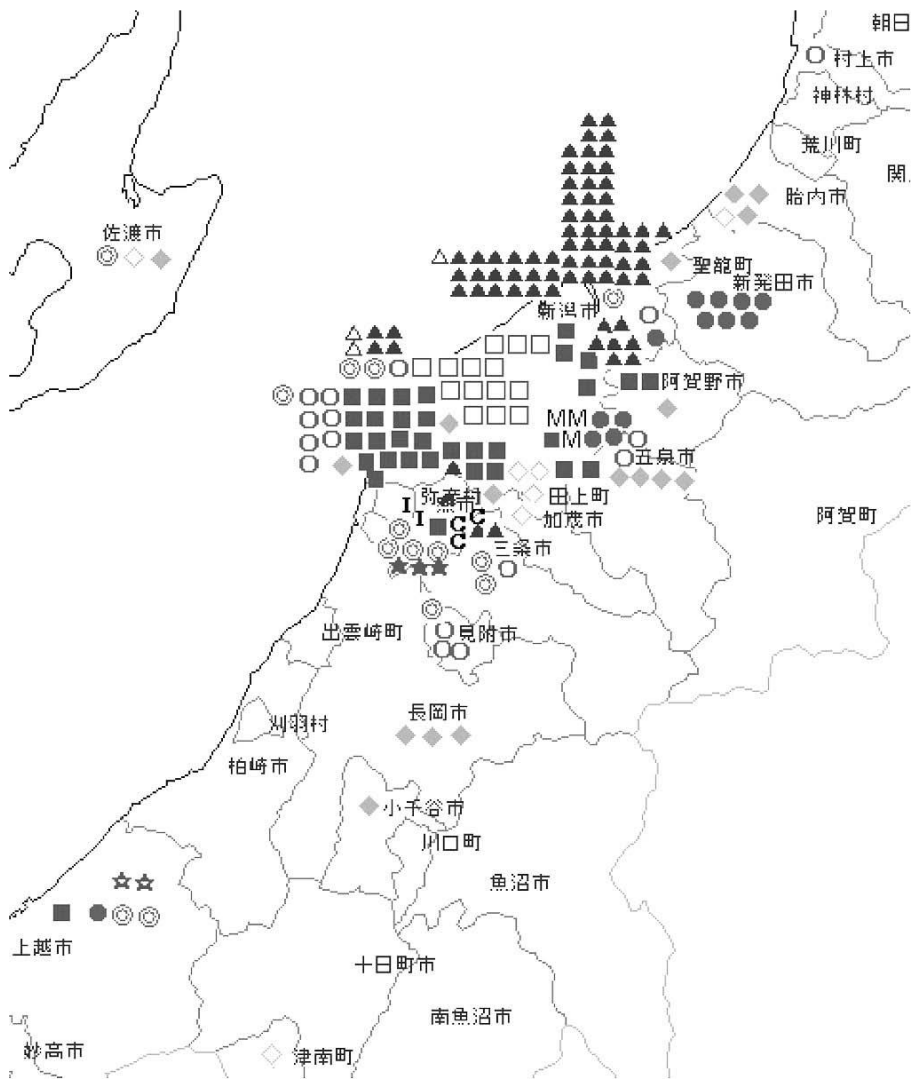
・<http://docchi.fan.coocan.jp/janken-p.htm> 2021年4月23日 最終閲覧

・東京都

市町村名	年齢	性別	掛け声	分け方	決まらなかったとき
中野区	26	男	グーとパーに分かれましょ グーパージャス	グーとパー	
八王子市	19	女	ぐっとっぱ!	グーとパー	ぐっぱっちょ!
足立区	25	女	グッパージャス	グーとパー	
北区	33	女	ぐっぱーぐっぱぐっぱ、ぐっぱー じゃす!	グーとパー	
		女	ぐうちいでわかれましょ ぐうちっ	グーとチョキ	
中野区	18	女	グーパーで別れましょ!	グーとパー	別れましょ!、しょ!
八王子市	16	女	チョキ出したらぶん殴る	グーとパー	
文京区	32	女	ぐーちーじゃす	グーとチョキ	
目黒区	24	女	グーパージャス	グーとパー	
渋谷区	34	女	グーパージャス	グーとパー	
北区	30	女	ぐーぱーじゃん	グーとパー	
狛江市	27	男	グー・パーじゃす	グーとパー	
小金井市	29	男	ぐっぱーじゃす	グーとパー	
西東京市	19	女	ぐっとっぱ	グーとパー	
北区	15	女	ぐっぱーぐっぱぐっぱグッパー ジャス	グーとパー	
江東区	36	男	ぐーぱーぐーぱー、ぐーぱーじ ゃす	グーとパー	
板橋	21	男	ぐーちーでわっかれましょ	グーとチョキ	
荒川区	31	男	グーパージャス(多い) グーチージャス(少数)	グーとパー グーとチョキ	
杉並区	29	女	ぐーぱーじゃす	グーとパー	
調布市	6- 10	女	ぐーぱーじゃーすぐーぱーじゃ す ぐっちょ	グーとパー グーとチョキ	
練馬区	37	男	グーパージャン	グーとパー	ジャン
東久留米	21	女	ぐーぱーじゃす	グーとパー	

港区高輪	28	女	ぐっぱーぐっぱーぐっぱーぐー	グーとパー	
小平市	38	女	グーとパッ	グーとパー	
大田区	25	男	ぐーぱーじゃす	グーとパー	
八王子市(山寄り)	20	女	ぐっぱーじーでっせ チョーキ出したらぶん殴り	グーとパー	あいでっせっせっせ ぶん殴り ぶん殴り
	21	女	ぐっぱーぐっぱー ぐっぱーじゃす	グーとパー	
足立区	31	男	ぐっぱーワイ!	グーとパー	
足立区	36	女	ぐーぱーじゃん	グーとパー	
豊島区 巣鴨	35	男	グーチーチー グーパージャス	グーとチョキ グーとパー	

・新潟県



凡例					
▲	グーロ グーロ グーロッパ類 △ グールパーラ類				
■	グーパーグーパーグーットハ類 □ グーハーグーハーグーットハ類				
◆	グットツパ類	◇	グートパ類		
●	グットチ(ヨ)類	○	グーチ グーチ グッチ類		
◎	グッチョ グーチョ類	C	チヨーパ		
M	グツパーマカダ	I	イシハサ		
★	ウラウラウラウラ	ウラオモテ	☆	ウラオモテ	アーエバ

この2つを比較して分かることは東京では、派生の似ているほぼ2種類の掛け声が利用されており、新潟ではかなり語形の違った掛け声が多く使われていることがわかる。つまり都会では掛け声が似てきており、地方では今も同じような掛け声が使われていることが分かるので4で示したような方言圏説がこの組み分けジャンケンにおいては立証されることが分かる。

## 6. おわりに

以上のことから、「グーとパーで分かれましょ」などの組み分けジャンケンの掛け声で大阪を区分すると、「ジャンケン」よりも区分が細くなるという予測が立つ。一つ目は、「グーとパーで分かれましょ」は「ジャンケン」と違い、新語・流行語であるために区分が細くなる点である。二つ目は、ことばの広がりには小学校などの共同体で始まるという点である。その補足として方言が中心地から離れた場所で作られた場合、中心地まで広がらないという点を示した。これらの点から、全国的に一元化されつつある「ジャンケン」の掛け声と、「グーとパーで分かれましょ」の掛け声を比べると、「グーとパーで分かれましょ」の方がより区分が細かいといえる。

## 7. 参考文献

- ・井上 史雄(2003)『日本語は年速一キロで動く』(講談社) P.136
- ・大西 拓一郎(2016)『ことばの地理学—方言はなぜそこにあるのか—』(大修館書店) P.152、178
- ・西島 建男、井上 史雄 他著(1990)『方言と共通語』(河出書房新社) P.80、P.139、P.140
- ・佐々木 香織(2012)『新潟県における2チーム分けジャンケンの掛け声の分布』(新潟国際情報大学情報文化学部)新潟国際情報大学情報文化学部紀要 15巻 P.15-24
- ・片山 美由紀(2007)【「遊び」概念の各言語系表現にみる遊びの内包感情 —『ホモ・ルーデンス』を手がかりとして—】東洋大学人間科学総合研究所紀要 第7号
- ・彦坂 佳宜(1997)『方言はまほうのことば!』 p.64
- ・<http://docchi.fan.coocan.jp/janken-p.htm> 2021年4月23日 最終閲覧



## 世間のジェンダーレス等の流れにより、高等学校の制服は撤廃されるのか

ジェンダー、ジェンダーレスとは

「ジェンダー」とは、男性・女性であることに基づき定められた社会的属性や機会、女性と男性、女兒と男児の間における関係性、さらに女性間、男性間における相互関係を意味する。こういった社会的属性や機会、関係性は社会的に構築され、社会化される過程において学習されるものだ。これらは時代や背景に特有であり、変化しうるものである（UN WOMAN 日本事務所：ジェンダーとは？2018年9月21日より引用）。そして、ジェンダーレスとは、生物学的な性差を前提とした社会的、文化的性差をなくそうとする考え方を意味する言葉である。（googdo マガジン 2020 より引用）

導入

昨今の日本では、ジェンダーレスや男女平等の流れが大きくなっており、男女で形の異なる高等学校の制服を撤廃するべきだという意見も多く挙がっている。慶応義塾大学大学院社会学研究科小澤昌之著『青少年の学校制服に関する意識：大学生を対象とした質問紙調査をもとに』p,40によると、大学生 1036 人にアンケートを取ったところ、34,85%もの人が「学校で制服を指定することは必要だと思うか」という問いに対し、反対の意見を挙げている。しかし、日本にはジェンダーレス制服が存在している。さらに、高校制服は見た目による差異が目立たない。よって、ジェンダーレス問題を解決するために高等学校の制服はこれからも存在するのではないだろうか。

ジェンダーレス制服について

まず、高校制服が存続するであろうと考えられる大きな理由の一つとして、「ジェンダーレス制服」の登場が挙げられる。ジェンダーレス制服とは、ブレザーのボタンのかけ方の男女の際をなくすため、ブレザーの前がジッパー式になっていたり、男女で形の差異が少ないスラックスだったり、男女の差異を極限まで小さく、あるいは無くしている制服のことである。これらの登場により、自分が着たいと思っている性にあった制服が着られず、制服が持つ男女の大きな差異によって苦しい思いをする人が減るのではないだろうか。また、ジェンダーレス制服とは少し異なるが、千葉県にある柏の市立中学校では、スカート、スラックス、リボン、ネクタイをだれでも自由に選択できる校則を採用している。選択の幅が広がれば、自分にとって一番適した形の制服を自分で決めることができるので、制服の形と自分の性のずれに悩まされることは減るだろう。この制度は、今のジェンダーレスの風潮を考えると、いずれ高等学校にも広がるのではないかと私は考える。

高校生にとっての制服

次にあげられるのは、高校生にとって制服は「なんちゃって制服」という言葉も存在するほどである。なんちゃって制服とは、それぞれの学校に指定された制服ではなく、カッターシャツやプリーツスカート、リボン、ネクタイ、カーディガンなどを自分で購入して組み合わせた服装のことである。

制服について実際の現役高校生がどう思っているのか、大阪府の高等学校に通う 1 年生から 3 年生 1208 名にアンケートを取った。アンケート対象の高等学校は、大手前高校、北野高校、茨木高校、豊中高校、天王寺高校、四条畷高校、四天王寺学園高校、池田高校、箕面高校、刀根山高校、桜塚高校、履正社高校、豊島高校、渋谷高校、園芸高校、寝屋川高校、千里星雲高校、箕面自由学園高校、大商高校、関西

大学北陽高校、梅花学園高校、春日丘高校の以上の 22 校である。アンケートは、SNS サイトのインスタグラムのストーリー機能、および Google フォームのアンケート機能を使用して集計した。アンケート結果は以下のとおりである。

1、もし、学校に着ていく服を選べるとしたら次の3つのうちどれを選ぶか。

- ①制服 723 名 59.8%
- ②私服 281 名 23.3%
- ③なんちゃって制服 204 名 19.9%

2、あなたは、どこの高校に進学するかを決める際、決める基準に制服を含んでいましたか。

- ①はい 449 名 37.2%
- ②いいえ 759 名 62.8%

3、あなたは、普段の学校生活でなんちゃって制服を着る、あるいは着たいと思いますか。

- ①はい 719 名 59.5%
- ②いいえ 489 名 40.5%

4、あなたは、学校指定の制服は必要だと思いますか。

- ①はい 852 名 70.5%
- ②いいえ 356 名 29.5%

以上のアンケート結果より、高校生にとって制服はかなりの需要があることがわかる。

例えば、質問1では、学校に着ていく服を選べるとしたら制服、およびなんちゃって制服を選ぶ高校生は全体の 76.7%である。また、学校指定の制服が必要であると思う高校生は、7 割を超える。以上の結果より、高校生にとって制服の需要はかなり高いことがわかる。

また、普段の学校なんちゃって制服を着る、あるいは着たいと思う高校生は、全体の約 6 割である。たとえ学校指定の制服がなくても、制服に近い服装をして学校に通いたいと考える高校生は過半数を超えるのである。制服とは、自分が高校生であることの象徴ともいえる。高校生にとって制服とは、憧れ、あるいはアイデンティティなのではないだろうかと私は推測する。ジェンダーレスの観点からみて、制服を撤廃することは、男女の差異を見た目から小さくできるというメリットを持つ。しかし、実際に毎日制服を着て学校生活を送る高校生にとって、制服が憧れである限り、高校制服が撤廃されることはないのではないだろうか。

上記のように、制服が存在することによって生まれるメリットは、制服が存在することによって生まれるデメリットに比べてたくさんある。この論文では 2 つに絞って紹介した。ジェンダーレス問題という大きな問題を抱える高校制服だが、ジェンダーレス制服の登場や校則の改革などにより、少しずつ対策は練られている。さらに、高校生の制服に対する需要、憧れは存在している。よって、高校制服はこの先も存続するのではないかと私は考える。

## 参考文献

UN WOMAN 日本事務所:ジェンダーとは?2018年9月21日対象とした質問紙調査をもとに』p,40  
慶応義塾大学大学院社会学研究科小澤昌之著『青少年の学校制服に関する意識:大学生を対象とした質問紙調査をもとに』

## 高校運動部のマネージャーに求められる役割とは

### 1、結論

高校運動部のマネージャーはチームの問題解決、目標達成のプロセスに関わる「ファシリテーター」の役割を担うべきである。

### 2、はじめに

現在、高校運動部の多くにマネージャーが存在する。しかし、それらのマネージャーの役割は本来の体育・スポーツ運営におけるマネジメントの役割とは乖離して、「部活動内の雑用係」のような役割が中心となっている。また、女子生徒のマネージャーが多いことからその役割は「女が男を支えるという性別ステレオタイプを強調する」と批判の対象として社会的論争の話題として挙げられることもある。そこで本研究では、近年、会社や教育などの組織運営の場で注目されている「ファシリテーター」と呼ばれる役割を用いて、高校運動部のマネージャーに求められる役割を再定義することを目的とする。

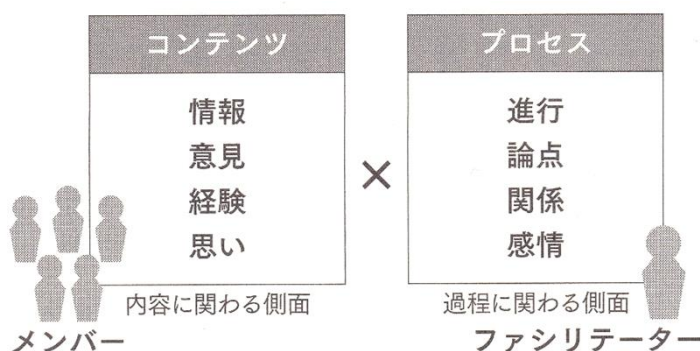
### 3、ファシリテーターとは

NPO法人日本ファシリテーション協会の設立者であり、ファシリテーションの第一人者である堀公俊(2018)はファシリテーターを以下のように説明している。[1]

「集団による問題解決、アイデア創造、合意形成、教育・学習、変革、自己表現・成長など、あらゆる知識創造活動を支援し促進していく働きがファシリテーションです。またその役割を担う人がファシリテーターであり、日本語では「協働促進者」または「共創支援者」と呼びます。」

また、堀はファシリテーションの特徴について図表を用いて次のように述べている。(図表 1)  
「ファシリテーションの最大の特徴は、コンテンツではなく、プロセスを舵取りするところにあります。」

図表 1



(出典:堀, 2018)

したがって、ファシリテーターは集団内の問題解決、目標達成などの過程に専念し、集団にプラスの相互的作用を促進させて集団に大きな成果をもたらす役割であるといえる。

### 4、本論

①体育・スポーツ運営におけるマネジメントとは

まず、体育・スポーツ運営の観点におけるマネジメントの定義とその機能を満たす役割について、またそれらの役割とファシリテーターの役割との共通点について説明する。

### (1) マネジメントの定義

友添秀則(2016)編著『運動部活動の理論と実践』によると、運動部活動に求められるマネジメントを定義する際には以下の2点のポイントがある。[2]

「一つは、自分ではなく他者になんらかの活動をさせるための技術や機能をさしているということである。…(中略)…運動部活動に即してみると、部員たちは日頃、おもにスポーツ種目の練習や試合を行い、顧問や指導者たちは、技術・戦術面や生活面などさまざまな指導を行う。マネジメントは、こうした外から観察可能な直接的な活動ではなく、部員のスポーツ活動や指導者のスポーツ指導を、部活動の目的・目標を達成するために方向づけたり、調整したりする間接的な活動だということである。」

「第二のポイントは、目標達成の「効率性」(目的合理性)を高める働き、つまり物事を効率的に進めるための機能であることである。…(中略)…つまり、ムダ・ムリ・ムラを除き、できるだけ少ない資源(コスト)で、大きな成果を作り出すことがマネジメントの使命なのである。」

以上2点より、運動部のマネジメントを「部活動の目的・目標を効率的に達成するために間接的に行う活動」と定義づけることができる。

### (2) マネジメントの機能

友添秀則(2016)編著『運動部活動の理論と実践』では、運動部活動のマネジメントの3大機能を以下のように挙げている。

「第一は、「計画化」の機能であり、それは諸活動に入る前に、進むべき方向を決め(目的設定)、そこに到達するための道筋(計画策定)を意思決定しておくことである。」

「第二の機能は「組織化」であり、それは、メンバー個々の力を上手く引き出し、組織全体として一定の目的に向かっていけるような協力の仕組みをつくる働きである。組織化には、①目的達成に必要な役割分担と人員配置、②組織目的に対するメンバーの協力意欲を高める動機づけが含まれる。」

「第三は、活動中および事後において、事前に決定されている目的・目標や計画を基準として、進行状況や実施結果をチェック・診断し、問題がみつかれば適切な修正・改善を施す評価・統制の機能である。」

以上より、「計画化」「組織化」「評価・統制」の3点がマネジメントの機能である。高校運動部のマネージャーの役割に即して考えると、「計画化」の機能では、目標とする対外試合の決定や目標とする対外試合での成績、目標に向けた練習計画の策定への関与などが挙げられる。「組織化」の機能では目標とする対外試合の出場選手の決定への関与、選手の協力意欲向上のための交流会の企画などが挙げられる。「評価・統制」の機能では、対外試合に向けた定期的なミーティングや対外試合後の反省会の開催、進行などが挙げられる。

### (3) マネジメントとファシリテーターの関係

(1)(2)より体育・スポーツ運営の観点におけるマネジメントの定義とその機能を満たす役割は「目標に対する過程への働き」という点においてファシリテーターの役割と重なっている。「マネージャー」という言葉は本来「マネージャーをする人」のことを指すが、現在、「雑用係」の意味にとられている。したがって、「マネージャー」を「ファシリテーター」として捉えることによって、体育・スポーツ運営の観点におけるマネージャーの役割を強調して見ていきたい。

### ② 高校運動部のマネージャーの実態について

次に、現在の高校運動部においてマネージャーはファシリテーターの役割を積極的に行っていないことについて説明する。

図表 3 と図表 4 は稲田が 1990 年に高知県内の高校の運動部 9 校(野球部 7、サッカー 8、ラグビー部 3)の女子マネージャーと選手に対して、役割行動、役割認識、役割期待の 3 点について質問紙による調査を行った結果である。回収数、率は女子マネージャー 67, 88.2%、選手 138, 69.0%であった。[3]また、図表 2 から図表 5 においては、回答を得点化してグラフにまとめている。具体的には図表 2 である。図表は稲田(1991)より綱川(2008)が作成した図である。[4]

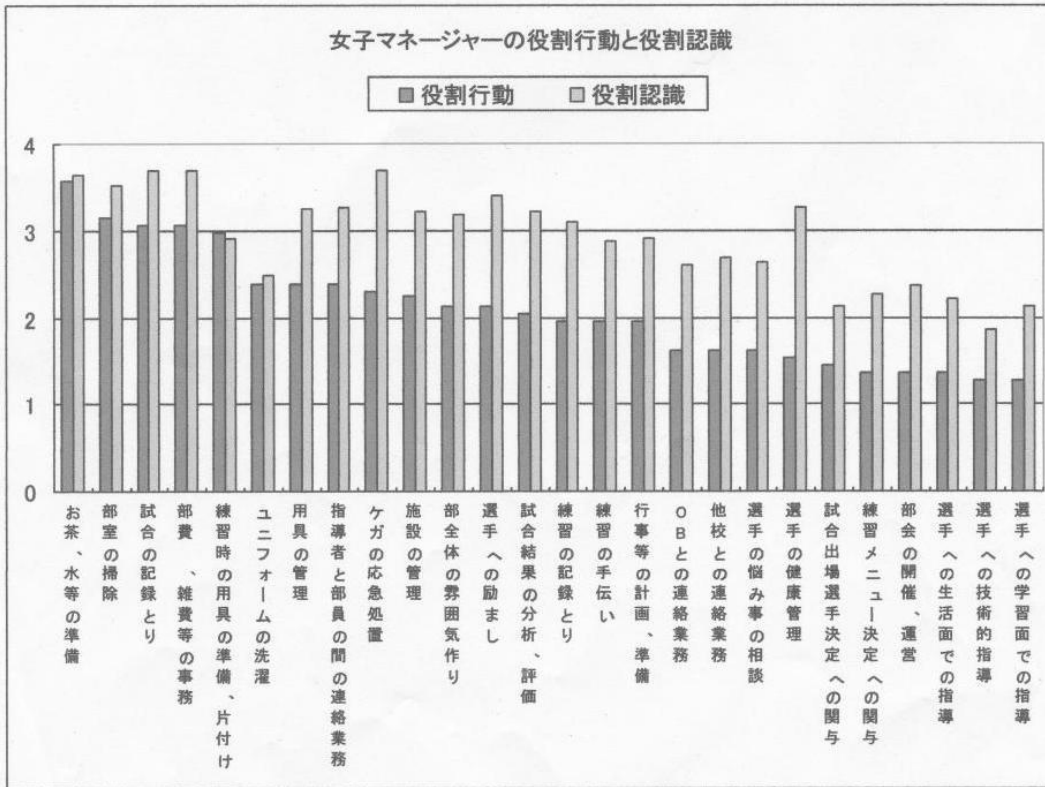
ただし、留意点が 2 点ある。1 点目は、女子生徒が高校運動部のマネージャーに多いということを前提におくことである。したがって、女子マネージャーの活動についての先行研究を用いて高校運動部のマネージャーの活動の実態を調べる。この点は、③で述べる「女子マネージャー女性差別論争」からも推測できる。2 点目は、稲田(1990)の調査は約 30 年前の調査であることである。現在、同じ調査を行うと結果に多少ずれが生じる可能性があるが、この約 30 年間で高校運動部のマネージャーに関する大きな制度変更は見受けられなかったのでこの調査の結果を用いることとする。

図表 2

	役割行動	役割認識	役割期待
4	大変よくやっている	大変重要	大変期待している
3	よくやっている	重要	少し期待している
2	あまりやっていない	あまり重要でない	あまり期待していない
1	やっていない	重要でない	全く期待しない

(出典:綱川 2008)

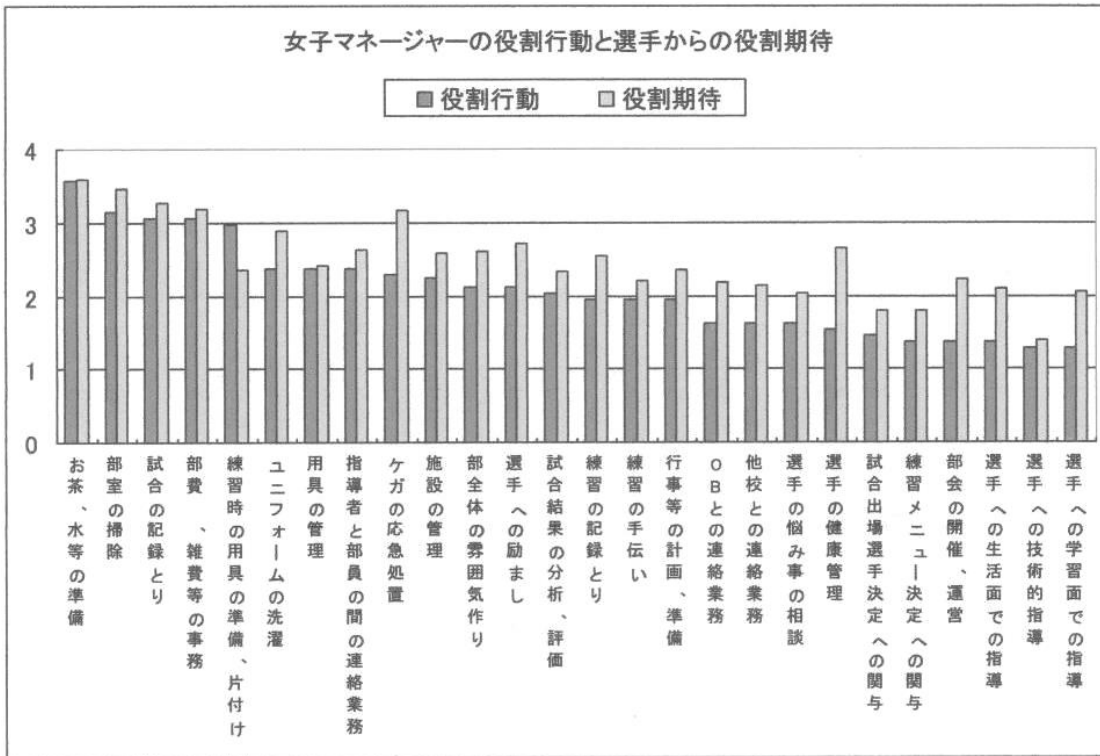
図表 3



(出典:綱川 2008)

図表 3 によると、女子マネージャーの役割行動として高い値を示したものの「お茶、水等の準備」「部屋の掃除」「試合の記録とり」「部費、雑費の事務」で、平均点が 3 点を超えている。その一方で、①で体育・スポーツ運営のマネジメントの機能(「計画化」「組織化」「評価・統制」)を果たす役割としてあげた「練習メニュー決定への関与」「試合出場選手決定への関与」「行事等の計画、準備」「部会の開催、運営」は 2 点より低く、全 26 項目の中でも低い値を示している。また、役割認識においても「お茶、水等の準備」「部屋の掃除」「試合の記録とり」「部費、雑費の事務」は 3 点を超えていて全 26 項目の中で高い値を示しているに対して、「練習メニュー決定への関与」「試合出場選手決定への関与」「行事等の計画、準備」「部会の開催、運営」の役割は平均点が 3 点より低く全 26 項目中比較的に低い値をとっている。

図表 4



(出典:綱川 2008)

また、図表 4 においても選手からの役割期待は「お茶、水等の準備」「部屋の掃除」「試合の記録とり」「部費、雑費の事務」は 3 点を超えているのに対して、「行事等の計画、準備」は 3 点より低く、「練習メニュー決定への関与」「試合出場選手決定への関与」「部会の開催、運営」は 2 点より低い。

よって、図表 3、4 の結果から高校運動部において「お茶、水等の準備」「部屋の掃除」「試合の記録とり」「部費、雑費の事務」といったいわゆる「部活動内の雑用係」のような役割は積極的に行われているのに対して体育・スポーツ運営のマネジメントの機能(「計画化」「組織化」「評価・統制」)を果たす役割が積極的に行われていない。4、本論①(3)マネジメントとファシリテーターの関係で論じたようにマネジメント≠ファシリテーターであるので、したがって、ファシリテーターの役割は積極的に行われていないといえる。

### ③女性差別としての女子マネージャー

さらに、社会において「マネージャー=家事的な役割をする存在」という認識が固定化され、「女子マネージャーの役割が女性差別を助長する存在」として論争の話題になっていることに注目し、マネージャーがジェンダー問題にとらわれないものにするためにファシリテーターの役割が必要である点を説明する。

女子マネージャーをめぐるジェンダー構造については高井昌史(2005)は以下のように述べている。[5]

「一九六〇年代に登場した女子マネージャーは、七〇年代以降、新聞やマンガのマスメディアに登場し、魅力的な物語として描かれるようになった。それは、学生スポーツの世界で「女性が男性を癒す」という新しい物語の誕生であった。特に、八〇年前後からヒットしたあだち充のマンガは、ジェンダーとセクシュアリティが融合された物語、青春の一ページとしての女子マネージャーを表象したものであり、若者から高い人気を得た。この時代から、メディアの影響で女子マネージャーになったという少女も生まれたと思われる。しかし、そ

の一方で「女性差別としてのマネージャー」という問題意識が八〇年代後半から生まれ、朝日新聞紙上のオピニオン欄で論争が展開されることとなった。」

ここでは、80年代後半から登場した「女性差別としてのマネージャー」に注目する。この問題は朝日新聞の「声」の欄や家庭面のオピニオン欄(「ひととき」)を中心に現れた。

写真5

1つの記事を例に挙げる。(写真5)[6]

「教研集会では、「女子マネは本当に必要なのか」「なぜ女子なのか」との問いかけから議論が進んだ。「雑用は女の仕事という考え方が、部活動にも持ち込まれている」「外で働く男を家で女が支える日本社会の縮図」「女子マネは顧問の女房役、選手のお母さん役。両性の平等を教える教育の場で、性別役割分担意識を拡大再生産している」などと、批判が相次いだ。」

このように、「女子マネージャーの存在は、女が男を支えるという社会の性差別を助長する」という問題意識についてとりあげている。



(出典:朝日新聞,1992年11月12日朝刊,19面(東京))

ここからマネージャーの役割=家事労働を連想させるもの」という認識が一般的に広がっていることが分かる。

ファシリテーターの役割は部活動の経営意思決定の過程に関与することを意味している。よって、マネージャーがファシリテーターの役割を担うことは「マネージャーの役割=家事労働を連想させるもの」という認識をなくし、マネージャーをジェンダー問題にとらわれない役割にするために必要である。

## 5、まとめ、今後の課題

体育・スポーツ運営におけるマネジメントの定義とその機能を見直した結果、ファシリテーターというチームの問題解決、目標達成のプロセスに関わる役割はその定義と機能を満たすことが分かった。しかしながら、高校運動部の現状ではそれらのファシリテーターの役割は積極的に行われておらず「部活動内の雑用係」のような役割が中心である。またマネージャーは女子生徒が多いことからその役割は「女性差別としての女子マネージャー」というジェンダーの問題意識の対象として新聞の記事に登場した。したがって、高校運動部のマネージャーをジェンダー問題にとらわれない役割にする必要がある。よって、チームの問題解決、目標達成のプロセスに関わるファシリテーターの役割をマネージャーが担うべきである。



今後の課題は、部活動教育において「マネジメント」とは何かという定義を明確にさせ、マネージャーも選手を支えるだけでなく、選手と同様に自身の「マネジメント」の技術を向上していけるような場の提供が必要ではないかと考える。

## 6、引用文献

- [1]堀公俊(2018).『ファシリテーション入門〈第2版〉』.日経文庫
- [2]友添秀則(2016)編著.『運動部活動の理論と実践』.大修館書店
- [3][稲田俊治(1991).『運動部における女子マネージャーの役割に関する研究』.日本体育大学号
- [4]綱川友美(2008).『女性らしい仕事と女子マネージャー』.宇都宮大学
- [5]高井昌吏(2005).『女子マネージャーの誕生とメディア』.ミネルヴァ書房
- [6]「運動部の女子マネ、すっかり『主婦役』に公立高の教師たちが調査」朝日新聞,1992年11月12日朝刊,19面(東京)

## 7、参考文献

- ・柳沢和雄.木村和彦.清水紀宏(2017)編著.『体育・スポーツ経営学』.大修館書店
- ・「“女子マネ”の役割はどこに(声)」朝日新聞,1988年7月22日朝刊,5面(東京)
- ・「“女子マネ”も青春賛歌担う(声)」朝日新聞,1988年7月28日朝刊,5面(東京)
- ・「喜びとは違う『奉仕の図式』(声)」朝日新聞,1988年8月11日朝刊,5面(東京)
- ・「女子マネにも喜びが(ひととき)」朝日新聞,1992年11月24日朝刊,17面(東京)
- ・「女子マネに向かぬ私(ひととき)」朝日新聞,1992年11月29日朝刊,17面(東京)
- ・「性差別の一つ?大切な役目?『女子マネージャー論争』に反響さまざま」朝日新聞,1992年12月11日朝刊,19面(東京)
- ・「『女子マネ』は社会的不平等(声)」朝日新聞,1994年6月3日朝刊,5面(東京)
- ・「『女子マネ』も部員のひとり(声)」朝日新聞,1994年6月12日朝刊,5面(東京)
- ・「『女子マネ』は差別ではない(声)」朝日新聞,1994年6月15日朝刊,5面(東京)

## 効果的な「テレビCM」の作り方

### 「テレビCM」を主題にした背景

現在、若年層のテレビ離れが深刻化してきており、インターネットの普及と共に SNS などの新たなメディアやサービス、ツールが広がってきている。しかし、テレビCMほど一度に多くの生活者にメッセージを届けられる媒体は他にはない。だからこそ私は、「テレビCM」を通じた商品をより効果的に売る方法を調べることにした。

### 研究目的

この研究を通して、若者をターゲットにして商品の売り上げを伸ばす効果的なテレビCMを作るためには、何に重き氣を置いてCMを作ればよいのかを知る。その中でもターゲットの視聴者層を若者に限定して調べることにした。

### 実例から学ぶ“バズる”現象を起こすために効果的なテレビCM

#### ①成功事例

テレビCMから若者のSNS発信につなげるためには、いかに興味を引き、それをインターネット上で話題にさせるかが、テレビCMについて重要である。

では、インターネット上で話題になるためには、つまり“バズる”現象を起こらせるためにはどうすればよいのだろうか。以下では、実際の“バズマーケティング(ウェブ上で一挙に話題が広まる【バズる】ことを利用したマーケティング手法)”の成功例と失敗例を調査することで、成功要因と失敗要因を導き出し、それに従い、“バズる”現象を起こす際にすべきこと、注意すべきことを考えた。まず、成功例の一つとして、米7-Elevenの「Mustache Straw」がある。アメリカの7-Eleven(セブンイレブン)が2014年夏にシャーベット飲料の「スラーピー(slurpee)」とともに、ひげ付きのストロー(Mustache Straw)を99セントで販売した。ひげ付きストローでスラーピーを飲むとするとちょうど鼻の下にひげが来るように設計されており、これがインスタグラムなどで大きな話題になった。当時流行していたセルフィー(自撮り)との相性が良く、多くの人がひげ付きストローでセルフィーを撮影し、SNSに投稿した。結果、Twitterやブログで150万ものインプレッション(インプレッションとは、投稿者の投稿がどれだけの人に見られたかを表す)を獲得した。成功要因は、若者を中心に流行している「セルフィー(自撮り)」を題材にして、ターゲットに格好の投稿ネタを提供することにより、上手くロコミ化に移行させたことであった。また、ロッテによる「Fit'sダンスコンテスト」もその一例である。これは、若者のガム離れに悩んでいたロッテのマーケティング担当者が「なんとなく仲間とつながりたい」という若者の心理を事前リサーチでとらえ、ゆるくてユーモアのある「Fit'sダンス」を世に送り出した。そのCMをベースに、ダンスコンテストを実施し、キャンペーンは@「CMのフィッツダンス」をオリジナルにアレンジして「YouTube」に投稿するというものだった。そして再生回数ランキングで一位になった人に賞金が当たるという仕掛けだった。中でも、佐藤健や佐々木希という旬なタレントの起用したことで、CMの好感度が高まり、ネット媒体をはじめ、テレビ、雑誌など、あらゆる媒体に取り上げられた。み再生回数のみを競うという単純な仕組みが成功し、かなりの募集が集まった。その結果、全動画の再生回数が2,100万回以上、企業のスポンサーチャンネルとして全世界一位を記録した。成功要因としては、事前のリサーチで若者心理をとらえたこと、旬の芸能人を起用したことによるCM好感度の高揚が挙げられる。

他の例として、ソフトバンクの「ケータイ代一生無料キャンペーン」がある。これは、同社が Facebook ページ一周年を記念して実施したもので、ケータイ代一生分無料相当の商品券(5,188,000 円)を 1 名に、1000 円分商品券を 1000 名様にプレゼントするという企画であったが、インパクトの大きいプレゼントだけに、実際に 15 万名以上の応募があった。成功要因はたとえ当選者が一名でも、インパクトの大きい企画で非常に多くのユーザーの目を引くことができたことである。“バズる”ためには、インパクトの大きさも重要である。

## ②失敗事例

マクドナルドの「McDonald's Twitter Campaign」が挙げられる。マクドナルドは、「何かの誇りを持って作るとき、人々はそれを味わうことができます McD ポテトサプライヤー」というコメントを Twitter で投稿した。マクドナルドはファンが、楽しい思い出や、好きなメニューの話をするのを期待していた。しかし、実際に投稿された内容は、マクドナルドに対する不満や怒りばかりであったため、すぐにこのキャンペーンは中止となった。これは、マクドナルド側からの物語の押し付け感があったこと、マクドナルドが消費者の潜在的な不満に気づけていなかったことが失敗要因だと考えられる。

## 成功、失敗要因の分析

これらの成功、失敗事例から、“バズる”現象を起こすためには、若者の心理、流行をとらえることが重要である。CM 好感度が製品の売り上げを左右することもあることから、その際に、旬の芸能人を起用するなどして、話題にしたくなるネタを提供させるべきだとわかる。インパクトの大きさに重点を置くことも重要である。また、企画を打ち出すにしても、一方的に企業側がブランドイメージを作ってしまうと、押し付けられていると感じてしまうため逆効果となることがある。よって、視聴者が簡単に参加できる、企業と視聴者の相互コミュニケーションが取れるものであるとより多くの視聴者に広まりやすことがわかる。

## より効果的なテレビ CM とは

## 結論

## 今後の展望

インパクトを大きくする要素の一つとして「音楽」が考えられることから、どのような音楽を用いればよいのかについて考察していきたい。

なお、研究に当たっては、若者の利用率が高い音楽ストリーミング配信サービスで、特に多く再生されている楽曲にはどのようなものがあるのかについて分析した上で、若者が好んで聞く楽曲の特徴やジャンル、更には歌手の詳細についてまとめていくこととする。

## 参考文献

瀧本哲史.戦略がすべて:株式会社新潮社,2015年,pp,223-231 978-4-10-610648-4 co236

岩井琢磨,牧口竹二 2020年「4億本を売り上げる,赤城乳業の『ガリガリ君』マーケティング」

<https://www.jstage.jst.go.jp/article/marketing/40/1140>

2018年6月20日「バズマーケティングの成功事例|ロコミを起こすためのポイント」

<https://markeingnative.jp/buzz-marketing-successful-cases>

2016年11月18日「10個の事例から学ぶ『バズマーケティング』を成功させるためのコツ」

[https://liskul.com/wm\\_bizzs10-4655](https://liskul.com/wm_bizzs10-4655)

2019年12月21日「バイラルマーケティングの成功事例・失敗事例を紹介 バズマーケティングとのちがいは??」

<https://www.sunafuki.com/entry/viral-marketing>

## ミュージカル「The Phantom of the Opera」はなぜ長い間愛されているのか。

### 1. はじめに

ミュージカル「The Phantom of the Opera」はフランスの作家、ガストン・ルルーの小説を基に、アンドリュー・ロイド・ウェバーによって作られた。物語の舞台は19世紀後半のパリ・オペラ座。そこには「オペラ座の怪人」という、その醜い素顔を仮面で覆っている幽霊が出るという噂がある。そしてオペラ座の周囲では時折不可解な事件が起こり、人々に恐れられていた。幼少期に父から聞いた音楽の天使の存在を夢見る、若く美しいコーラスガールのクリスティーヌは、プリマ・ドンナ（注1）の代役として舞台に立ち、そこで幼馴染のラウルと再会。二人は懐かしい話の花を咲かせ、恋におちる。しかしクリスティーヌはラウルが目を離した際に、白い仮面をかぶった男にオペラ座の地下へと連れ去られてしまった。彼こそ、クリスティーヌが夢に見ていた音楽の天使の正体で「オペラ座の怪人」だったのだ。怪人は、クリスティーヌこそが自分の崇高な音楽を理解し、再現できると信じ、彼女を愛するがゆえに彼女を我が物にしようと異常に執着していた。怪人が起こす事件は段々過激になっていくため、ついには怪人を殺そうと企てる者も現れる。このミュージカルは1986年10月9日にイギリスの中心地にある、ウエストエンドで初めて上演された。その後アメリカのブロードウェイでも上演され、その公演数は現在までで13,370回である。これはブロードウェイにおける、ミュージカルの中でも最も多い数である。先に述べたように、このミュージカルはクリスティーヌ、ラウル、怪人をめぐる恋愛が大きなテーマとなっている。物語が恋愛ものであることがこのミュージカルの人気の理由と考えることもできるが、この研究ではそこにはあえて触れずに、ミュージカルの楽曲、登場人物のキャラクター、舞台演出の点から「The Phantom of the Opera」が長い間愛され、上演されている理由を考える。

（注1）プリマ・ドンナ：オペラで主役を務める女性歌手

### 2. 楽曲面からの理由

まず、楽曲面では、「The Phantom of the Opera」は名前からも想像できる通り、オペラを基調としたミュージカルである。そもそもミュージカルとは、オペラから派生したものである。その原型は、1728年にロンドンで上演されたジョン・ゲイ作のバラッド・オペラ「The Beggar's opera 乞食オペラ」であるとされる。バラッド・オペラとは大衆的な流行り歌を借用した物語詩のことである。その後、19世紀半ばのパリでオペレッタ（軽歌劇）が生まれる。オペレッタとは、歌い手と踊り手が別であるオペラと違って、歌い手が台詞や踊りも担う。歌劇の一形態であるオペレッタは時代が下るにつれてより大衆的に変化していき、19世紀終わりにロンドンやアメリカでミュージカル・コメディが上演されて初めて現在の「ミュージカル」という単語が使われ始めた。このようにオペラはミュージカルよりも歴史が長い。また、オペラは古くから上流階級の娯楽として栄えてきたが、ミュージカルはオペラを世俗的にしたものであると言える。その証拠として、現在でもオペラのチケットは最も安くてもおよそ1万円であるのに対して、ミュージカルはおよそ5千円である。

「The Phantom of the Opera」はミュージカルでありながらオペラの要素が多く盛り込まれている。例えば、アンドリュー・ロイド・ウェバーがモーツァルトの楽曲を基に作った、「ハンニバル」「イルムート」「ドンファン」という3つのオペラが劇中劇という形で登場している。また本物のオペラと同じ、コロラトゥーラという歌唱技法が取り入れられている。これにより、「The Phantom of the Opera」は時代に流されず、様々な人々に愛される作品になったと考えられる。しかも、この作品の楽曲は、オペラつまりクラシック音楽に現代音楽を融合させている。その最も顕著な例として、主題歌の「The Phantom of the Opera」はパイプオルガ

ンや弦楽器に加え、エレキギターも使用して演奏されている。その結果、古臭さはなくなり、新鮮さが付加された。そうすることで若い世代にも親しみやすく、オペラより幅広い世代に愛されているのである。

### 3. 登場人物のキャラクター性における理由

このミュージカルは主人公への差別やそれによる憎しみ、恨み、悲しみを軸として物語が展開していく。主人公である「オペラ座の怪人」は、生まれつき醜い顔をもち、人々の目を恐れてその顔面を仮面で覆いオペラ座の地下に住んでいる。その顔のせいで誰からも親しくされず、孤独で、悲しみと憎しみにあふれている。その点で、第二幕の始まりを絢爛豪華に彩る「仮面舞踏会」のシーンは印象深い。オペラ座の出演者や関係者らは大晦日の遊びとして仮面をかぶってダンスに興じるが、怪人にとって仮面は醜い顔を隠すための、悲しみと虚飾のシンボルだ。晴れがましい周囲とは対比的に、怪人の孤独な心が浮き彫りにされる。ところで、「The phantom of the opera」が初上演されたイギリスや現在も上演されているアメリカは移民の多い国である。そのため様々な人種があり、「変わった人」に対しても寛容であるという。だからこそ、差別という事柄に注目し、「変わった人」つまり「オペラ座の怪人」を見た目だけで差別することから物語が始まる、このミュージカルが親しまれていると言える。

### 4. 演出面からの理由

このミュージカルでは舞台の演出として、視覚的な効果が多く見られる。例えば、会場の真ん中には大きなシャンデリアがあり、劇中でそれが火花を伴い派手に破壊されるシーンがある。また、怪人がクリスティーヌをオペラ座の地下に連れていくシーンでは、二人は通常のステージではなく観客の頭上にある細長い通路を歌いながら歩く。このような工夫はアメリカの心理学者であるメラビアン博士によって提唱された「メラビアンの法則」を踏まえて考えると、観客に大きなインパクトを与えるのに非常に効果的であると言える。「メラビアンの法則」とは、相手と直接顔を合わせるコミュニケーションにおいて、話しという手が聞き手に与える影響は視覚情報が55%、聴覚情報が38%、言語情報が7%であるというものである。この法則はコミュニケーションにおけるものだが、総合芸術であるミュージカルでも同じことがいえると考えられる。したがって、このミュージカルは比較的聴覚情報や言語情報に依存するオペラやオーケストラの演奏会などに比べて多くの人が楽しむことができる。

### 5. おわりに

以上のように、「The Phantom of the Opera」は楽曲、キャラクター、演出の三つ要素によって若者から高齢者まで、お金持ちから一般市民まで、多くの人々の心をつかみ、また時代の流行に影響されることなく長い間多くの人々に愛され続けていると言える。

### 6. 参考文献

小山内 伸 (2016)『ミュージカル史』中央公論新社／(2007)『進化するミュージカル』論創社  
ローレンス・コナー (2011)『オペラ座の怪人 25周年記念公演 in ロンドン(字幕)』NBC Universal  
常山 菜穂子『ミュージカル誕生と十九世紀アメリカにおける文化の序列化』

[ミュージカルのチケットの相場っていくらなの？安いチケットはいくらくらい？|ミュージカル Big Fan!!  
\(musical-big-fan.com\)](http://musical-big-fan.com)

[オペラっていくらで見られるの？チケットの価格 | オペラディーヴァ \(opera-diva.com\)  
businessmanner\\_03\\_2013.pdf \(tamura.ac.jp\)](http://opera-diva.com)

## 強くポジティブな“残る記憶”～エピソード記憶に良い影響を与える感情とは？～

記憶には、大きく分けて感覚記憶、短期記憶、長期記憶がある。エピソード記憶とは、長期記憶の一種であり、「朝、目玉焼きをやいて、紅茶を入れて、テレビを見ながら食事をすませ、制服に着替えた」といったような、イベントや、一連の情景、人生における思い出など、個人的なエピソードの記憶である。また、エピソード記憶のなかには、自伝的記憶が含まれている。このエピソード記憶に良い影響を与えるにはどのような感情が効果的かについて考えていく。

### 1. はじめに

ここでいう「良い影響」とは、「繰り返し想起しやすくなる」「長時間経過したあとも鮮明に思い出すことができる」などの影響を指すこととする。

エピソード記憶に、これらの良い影響を与えるためには、まず、より強い感情を伴うことが効果的であると考ええる。加えて、よりポジティブな感情(快感情)でその出来事を捉えることによって、より効果がみられると考えられる。本稿では、これらの感情が組み合わさることでエピソード記憶に良い影響を与えると考えられる根拠について述べていく。

### 2. 強い感情が効果的と考えられる理由①

第一に、強い感情が効果的であると考えられる理由について説明する。一般に、目立つ情報(印象が強い情報)は記憶に残りやすく、想起も容易であるといえる。目立つ情報はほかの情報に比べて区別しやすく、干渉を受けにくいからである。そして、気分は情報の見分けやすさを高めたり、印象づけたりすることで、記憶を促進する効果があるとされている。記憶に伴う感情が、想起するときの手掛かりとなり、仮に一部が忘却されたとしても完全に忘却されることは少なくなるといえる。また、神谷俊次著「エピソード記憶と感情」によれば、感情は意味記憶システムよりもエピソード記憶システムにおいてより重要な役割を持っていると考えられているという。喜び、怒りなどの強い感情を伴う出来事は、努力しなくても覚えていることがしばしばある。個人的なエピソードを思い出す場合であっても、それに伴っている感情を思い出すことが多い。さらに、特定の感情状態にあるときに、同じような感情を伴うエピソードが想起されることもある。また、北村瑞穂著「想起範囲による自伝的記憶の差異－感情のタイプと強さによる検討－」によれば、最近一か月くらいに起きた出来事を想起する場合、すべての感情において感情強度が強いエピソードが多いという。よって、短期間での場合、強い感情を伴うだけでも十分にエピソード記憶への良い効果が期待できると考えられる。さらに、Robinson(1980)によれば、強い感情を伴う記憶ほど、短時間で想起されるという。強い感情によって強固に記憶すること、また、詳しく鮮明に想起しやすくなることが促進されていると考えられる。これらのことから、記憶と強い感情とは、密接に関係しており、良い効果があると考えられる。

### 3. 強い感情が効果的と考えられる理由②

加えて、記憶に強い感情を伴うことによって想起しやすくなる効果性について、「フラッシュバルブ記憶」があげられる。フラッシュバルブ記憶は、Brown&Kulik(1977)が指摘した、重大な社会的できごとのニュースを最初に知ったときの場面や情景の鮮明な記憶である<sup>1)</sup>。ニュースをどこで、どのように知ったのか、そのとき自分は何をしていたのか、周囲の人物、自分の反応はどうだったかなどが鮮明に記憶されるものとなっている(この記憶は、重大な出来事を直接体験することによる体験記憶とは区別されており、情報[ニュース、新

聞などから]として間接的に知ることによる衝撃がもたらす記憶とされている)。事例として、ケネディ (John, F. Kennedy) 大統領の暗殺事件に関する記憶などがあげられる。暗殺事件後、十数年が経過した後も、その当時の自分がどこにいたか、何をしていたか、について尋ねると、ほとんどの人が極めて鮮明に再生できたという。また、東日本大震災(2011. 3. 11)の当時の記憶について尋ねられた人々も、それを詳しく想起することができ、同じような結果が得られたという。加えて、その事件に対して、強い印象を持った人ほど、想起された記憶がより正確であると考えられている。フラッシュバルブ記憶は、より強い感情が記憶に大きな影響を持つと考えられる論拠の一つと考えられる。

#### 4. ポジティブな感情で出来事を捉えることが効果的と考えられる理由①

しかし、上記のような強い感情を伴う記憶にも、長期的にみると想起が難しくなってしまうものもあると考えられる。そこで、長期的に“残る記憶”と“残らない記憶”の差は、強い記憶を伴う出来事を、“ポジティブな感情で捉えた”か、そうでない(“ポジティブな感情で捉えなかった”)か、であると考えた。ここからは、ポジティブな感情で記憶(出来事)を捉えることの効果について述べていく。

まず、ポジティブな感情の重要性の根拠として、一つ目に、「ポジティブ優位性効果」というものがあげられる。上野大介著「高齢者のエピソード記憶におけるポジティブ優位性効果の関連要因と今後の課題」によれば、高齢者のエピソードの記憶は、若者に比べて、ポジティブな内容のほうが、ネガティブな内容に比べて、想起しやすいという。また、これに関連して、感情抑制機能というものがあげられる。これは、ネガティブ気分時に、ポジティブな記憶を想起することで、ネガティブ気分が緩和されるといった機能である。高齢者が、身体的能力・身体的健康が衰えたとしても、精神的健康を維持することができるための重要な要因の一つであると考えられる。

#### 5. ポジティブな感情で出来事を捉えることが効果的と考えられる理由②

上記の根拠に加えて、「気分一致効果」というものがあげられる。これは『記銘された事柄の感情価と想起する人の感情状態が対応、一致している場合の方が一致していない場合よりも記憶が優れていることを指した現象』<sup>2</sup>である。気分一致効果の特徴として、『楽しいときにポジティブな記銘内容が想起されやすいという効果は頑強であるが、悲しい気分や不快気分時にネガティブな記銘内容が想起される効果は弱い』<sup>3</sup>というものがある。(これは、ポジティブ・ネガティブ・アシンメトリー (PAN現象)と呼ばれる。)このことから、ネガティブな気分の時は、物事をネガティブにとらえがちになるので、人生を通してなど長い期間の記憶を考えると、過去のネガティブな記憶を思い出すことによって、より気分を不快なものにしないために、想起が抑制されているのだろうと考えた。これは、先に述べた感情抑制機能に関連しても考えられる。

これらのことから、強い感情に加えて、ポジティブな感情を伴うことで、より記憶が想起しやすくなる効果があるのではないかと考えた。例えば、受験に失敗したとき、その当時の心境はもちろんネガティブな、強い感情があると考えられるだろう。しかし、その後「受験に失敗したという経験が今の自分に繋がっている」などのように、その強い感情を伴った出来事を、ポジティブな感情で捉えることで、長い時間がたっても忘れにくい記憶になっているのだと考える。逆に、ネガティブな感情のまま、その出来事をネガティブに捉えてしまうと、短期間であればよく覚えていると考えられるが、自分の気分をより不快なものにしないために、強い感情を伴う出来事であっても、その出来事の想起が抑制され、鮮明に思い出すことは長い時間がたつとできなくなり、徐々に記憶が薄れていくと考えられる。



## 6. おわりに

強い感情を伴うことで、その記憶を印象づけ、定着しやすくなっていると考えられる。また、ポジティブな感情は、上記の根拠から、人生を通してなど、長期的に記憶を維持、想起しやすくする効果があると考えられる。そして、これらのことから、強い感情を伴う出来事の中でも、長期的に鮮明に覚えているものは、その出来事をポジティブな感情で捉えているものだと考えられる。辛い出来事であったとしても、人生において前向きに捉えることで、印象の強い出来事として残っていくのだと考える。

エピソード記憶において、強い感情を伴うだけでなく、それに加えてポジティブな感情で捉えることが重要である。それによって、より強固で忘れにくく、より想起しやすいエピソード記憶として記憶を保持できるのではないかと考えられる。

## 7. 参考文献

・仲, 真紀子 2007 『感情と記憶』

([https://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/bitstream/2115/44743/1/KS2007\\_71-84.pdf](https://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/bitstream/2115/44743/1/KS2007_71-84.pdf))

・矢野喜夫 2012 『東北大震災によるフラッシュバルブ記憶』 ([ja \(jst.go.jp\)](http://ja.jst.go.jp))

・([公認心理師・臨床心理士の勉強会: 公認心理師 2019-10 \(public-psychologist.systems\)](http://public-psychologist.systems))

・神谷俊次 1997 『エピソード場面刺激による感情喚起が記憶に及ぼす影響』

([https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjpsy1926/68/4/68\\_4\\_290/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjpsy1926/68/4/68_4_290/_pdf/-char/ja))

・野畑友恵『感情刺激が前後の記憶に及ぼす影響』 (<https://www.hues.kyushu-u.ac.jp/education/student/pdf/2005/2HE04057M.pdf>)

・高橋美奈・松野隆則 2017 『自伝的記憶の想起が感情状態・自己肯定感に及ぼす影響』

([file:///C:/Users/genji/Downloads/06-%E8%AB%96%E6%96%87-%E9%AB%99%E6%A9%8B%E7%BE%8E%E5%A5%88%E5%85%88%E7%94%9F-%E6%9D%BE%E9%87%8E%E9%9A%86%E5%89%87%E5%85%88%E7%94%9F%20\(2\).pdf](file:///C:/Users/genji/Downloads/06-%E8%AB%96%E6%96%87-%E9%AB%99%E6%A9%8B%E7%BE%8E%E5%A5%88%E5%85%88%E7%94%9F-%E6%9D%BE%E9%87%8E%E9%9A%86%E5%89%87%E5%85%88%E7%94%9F%20(2).pdf))

・こころの探検『感情抑制の影響』 (<https://kokoronotanken.jp/kanjou-yokuseino-eikyuu/>)

・神谷俊次『エピソード記憶と感情』

([https://www.jstage.jst.go.jp/article/pamjaep/35/0/35\\_S60/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/pamjaep/35/0/35_S60/_pdf/-char/ja))

・『エピソード記憶と自伝的記憶とは何か』 (<https://newstyle.link/category26/entry705.html>)

・『エピソード記憶?意味記憶? 記憶の種類を学んでみる【エピソードを学習に利用する方法】』

(<https://learn-tern.com/episodic-and-semantic/>)

・福田幸男・菅ひとみ『フラッシュバルブ記憶の特徴(1)-縦断的研究による早期の正確さについて-』

(<file:///C:/Users/genji/Downloads/KJ00004473964.pdf>)

・上野大介 2008 『高齢者のエピソード記憶におけるポジティブ優位性効果の関連要因と今後の課題』

([https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/7463/13\\_9.pdf](https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/7463/13_9.pdf))

・北村瑞穂『想起範囲による自伝的記憶の差異-感情のタイプと強さによる検討-』

([KJ00006217640.pdf](http://www.kyushu-u.ac.jp/ir/repo/ouka/all/7463/13_9.pdf))

・野畑友恵・越智啓太 2005 『記憶に及ぼす覚醒度の効果は快・不快感情によって異なる:覚醒度説への反証』 ([認知心理学研究 第3巻第1号 2005年、23-32 \(jst.go.jp\)](http://www.jst.go.jp))

・神谷俊次『繰り返し想起される不快エピソードの機能』 ([題目\(主題\) \(jst.go.jp\)](http://www.jst.go.jp))

・宮谷真人・高野義昭 2007 『ポジティブな自伝的記憶の想起が感情に及ぼす効果-記憶の重要度と鮮明度及び想起者の抗うつ傾向の影響-』 ([HPR\\_7\\_1.pdf \(hiroshima-u.ac.jp\)](#))

## 8. 脚注

<sup>1</sup> 矢野喜夫 2012 『東北大震災によるフラッシュバルブ記憶』:L1-4 ([ja \(jst.go.jp\)](#))

<sup>2</sup> ([公認心理師・臨床心理士の勉強会: 公認心理師 2019-10 \(public-psychologist.systems\)](#))

<sup>3</sup> 同上

## コロナ禍における最善授業形態

2020年6月の初め、新型コロナウイルスの蔓延が広がる中で何とかして教育活動を再開するために分散登校というものが行われた。分散登校中は、密を避けるために教室内の生徒の数は制限され、そのため授業は午前と午後に分けられた。また、授業中においても、前後左右の席が空席になるよう座席を指定することで、生徒どうしの距離をしっかりと保っていた。ただし、感染対策を優先して授業を午前と午後に分けたことにより、生徒一人あたりが受ける授業の数が減ってしまっていた。

### 1. はじめに

2021年5月現在、分散登校が行われていた頃から約1年が経過しているが、事態は未だ収束していない。それどころか、むしろ当時からすると想像がつかないほど悪化している。さらに、今後数年の間に事態が収束していくかどうかはわからない。このような状況であるから、これからも感染対策が継続的に求められると考えられる。教育活動においては、以前の分散登校のような、感染対策優先の授業形態が再び出現する可能性も十分考えられるだろう。

そこで本研究では、感染対策を優先しつつも教育効果の上昇が期待できる授業形態を考えることを目的とする。また、本研究における教育効果の上昇については、生徒の学習意欲と集中力の向上という点に焦点を絞って考える。

### 2. 少人数授業と少人数学級

本研究で提案する少人数授業と、教育改革の1つである少人数学級が非常に似ているため、それらの定義に加えて、共通点と相違点も同時に示す。

本研究では、比較しやすいように少人数学級の学級規模と少人数授業の授業規模(1つの授業を受ける生徒の数)を20人にそろえた。また、その他の定義は以下の通りである。

「少人数学級」…授業規模だけでなく学級規模も20人に縮小し、各教室内の机の台数を20台に減らす。

「少人数授業」…学級規模は縮小せず40人とし、各教室には40台の机を設置する。

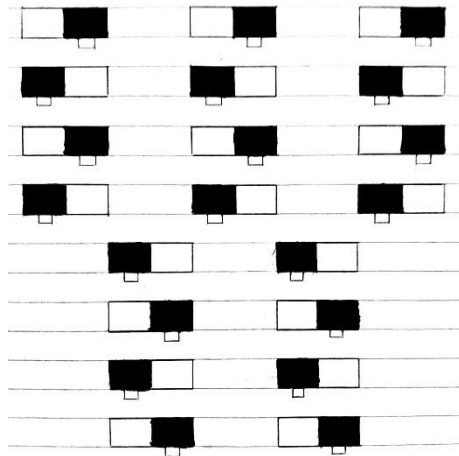
また、今回着目した共通点と相違点は以下の通りである。

共通点…どちらも授業規模が20人である点。

相違点…全員出席の場合、少人数学級では授業中に空席がないのに対し、少人数授業では空席が20席存在する点。

### 3. 仮説

少人数授業という形態にすることで、分散登校と同じように、教室内の生徒の数を減らし生徒どうしの距離を保つことで感染対策をとることができる。また、そこで余った空席を図1のように配置して、1人の生徒が2つの机を使えるようにすることで、ペアワークにおける感染対策という点でより感染リスクを減らすことができる。そして、ゆとりあるスペースと意識の分散防止という点で、生徒の学習意欲と集中力の向上が期待できる。



黒板

図1 空席の配置の仕方

黒い席…生徒が座る席

白い席…空席

#### 4. ペアワークにおける感染対策

図1のような空席配置で2つの机が利用可能でペアワークにおける感染リスクを減らすことにつながる。現在のペアワークは、席が隣の人とペアになるまたは椅子の向きを変えて対面になるといった方である。これは、近づく、対面になるといった点で、課題がある。そこで、図2のように前後でペアになり、真後ろを向く形でペアワークを行うことで、ペアがなくても意見を交換できる。そして何より横に机ひとつで、対面を避けつつコミュニケーションをとることによって、図1のような空席配置で2つの机が利用可能な状況は、ペアワークにおける感染対策という点で、より減らすことにつながっていると云える。

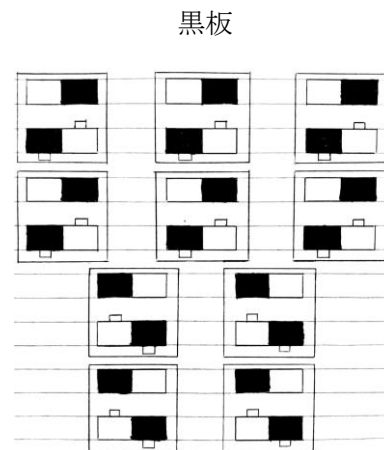


図2 ペアワークのペア分け

※小さい四角形は椅子

ある状況は、  
っていると言  
り、互いに寄  
法で行われ  
染対策に問  
前側の人が  
理に近づか  
つ分ずれる  
が出来る。よ  
能である状  
感染リスク

#### 5. ゆとりあるスペース

環境心理学の観点から、図のような空席配置で2つの机が利用可能である状況は、長時間の集中に非常に適した環境だと言え。まず、集中しやすい環境を考えるうえで、私たちの心身の状態を考えることは非常に重要である。特に、私たちがリラックス出来ているかどうかは、私たちの集中の質に大きくかかわってくる。森健次朗著『机に向かってすぐに集中する技術』では、リラックスできていればいるほど、より集中力は持続すると述べられている。そこで、私たちがリラックスできるかどうかに関係してくるのが、自由に使えるスペースのゆとりである。教室内の設備の中で、授業中に生徒が自由に物を置くことができるのは、一時的に私物化している机のみである。その机の面積は、教科書、ノート、補助教材を同時に利用出来るようにJISによって規定されているが、言ってしまうと、それらを置いた場合、机の上のスペースにはゆとりが無くなってしま。そこで、空席を利用し、生徒が2つの机を使えるようにすることで、手元の机にゆとりが生まれ、生徒はよ

りリラックスした状態で授業を受けることができる。よって、ゆとりあるスペースという観点から、2つの机が利用可能である状況は、長時間の集中に非常に適した環境だと言える。

## 6. 意識の分散防止

意識の分散防止という観点から見ても、2つの机が利用可能な状況は、学習意欲と集中力の維持に適した環境だと言える。ヘンリック・フェキセウス著『影響力の心理~The Power Games~』では、人間は、視界に入るものが多いほど意欲や集中力が分散されてしまう、と述べられている。これを授業中に当てはめると、机の上にもものがあるほど意欲や集中力の分散につながるということである。そこで、生徒が2つの机を使えるようにする事で、手元の机の上に物が混同する状況を避けることができる。その結果、手元の机の上の物を減らすことができ、意欲、集中力の分散の防止につながる。よって、意識の分散防止という観点から、2つの机が利用可能である状況は、学習意欲と集中力の維持に適した環境だと言える。

## 7. 結論

ここまでで記したとおり、少人数授業という形態にして、図のように2つの机を使えるような空席配置にすることで、感染リスクを減らしつつ、生徒の学習意欲と集中力を向上させることができる。その論拠を3点紹介した。1点目は、ペアワークにおいて距離を保ち、対面を避けることで、感染リスクを減らすことができるという点である。2点目は、手元の机にできるゆとりがリラックスを生み、集中力をより持続させることができるという点である。3点目は、手元の机の上の物が減ることで、意欲と集中力の分散を防ぐことができるという点である。

## 8. 考察

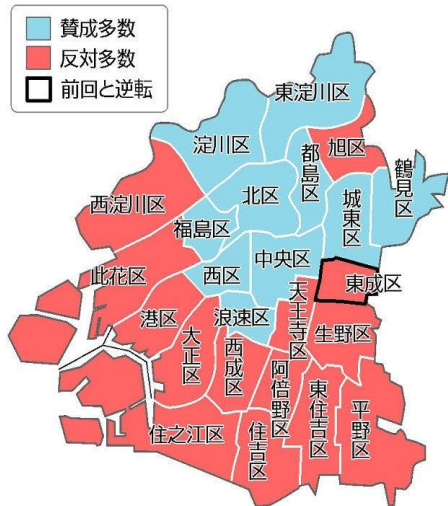
今回の研究では、教育効果の上昇について生徒の学習意欲と集中力の向上という点に絞って考えたが、授業内容や生徒個人に対するサポートといった、他の観点からのアプローチもできるのではないかと考えた。また、今回提案した座席配置は縦8列となっているが、学校によっては8列が厳しいというところもあるだろうと考えた。したがって、本研究で1つの授業形態を考えたが、この形態で生じる問題への対処が今後の課題である。

## 9. 参考文献

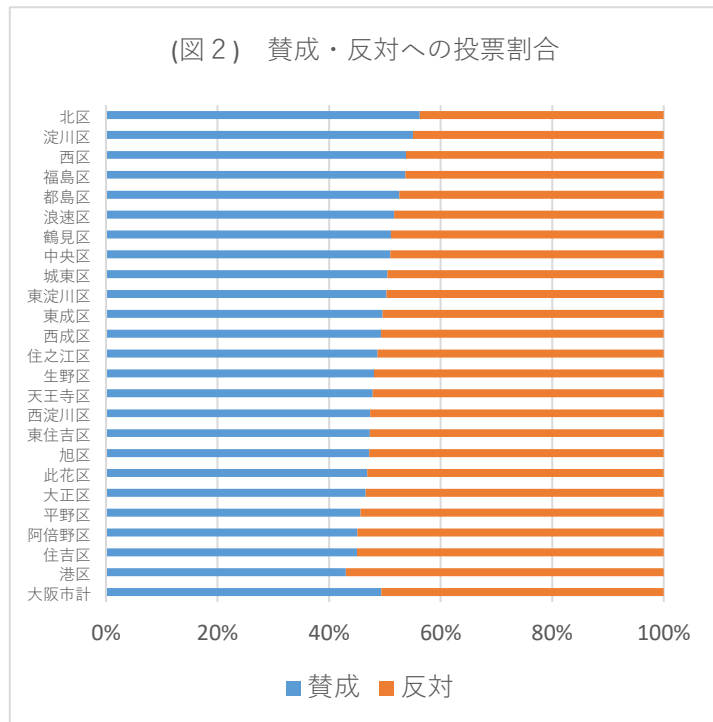
- ・「少人数によるきめ細やかな指導体制の計画的な整備の検討について」アクセス 2021/05/06  
<[https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kyouikusaisei/jikkoukaigi\\_wg/syotyutou\\_wg/dai3/siryou4.pdf](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kyouikusaisei/jikkoukaigi_wg/syotyutou_wg/dai3/siryou4.pdf)>
- ・「学校の机の面積を広くすると、もっと効率よく勉強ができるのではないか？」 アクセス 2021/05/06  
<<http://oirano.hatenablog.com/entry/2014/01/16/171602>>
- ・森健次朗『机に向かってすぐに集中する技術』フォレスト出版 2016/02/20
- ・ヘンリック・フェキセウス『影響力の心理~The Power Games~』2016/02/18

## 大阪都構想の住民投票で行政区ごとに結果が異なった理由とは何か

大阪都構想の住民投票結果 (図 1)



(図 2) 賛成・反対への投票割合



2020年の大阪都構想に関する住民投票は、全体としては反対多数という結果になった。しかしながら、結果を行政区ごとにみると、必ずしもそうではない。大まかに、大阪市の北東地域の行政区では賛成多数が多く、それ以外の地域では反対多数が多くなっている(図 1)<sup>5</sup>。ここではその要因として、各行政区における大阪市議会議員の所属会派や、住民の年代別の人口割合の傾向に違いがあることを挙げて、考察する。なお、行政区ごとの賛成、反対への投票割合(図 2)は、大阪市選挙管理委員会が作成している「令和 2 年 11 月 1 日 執行 大阪市を廃止し特別区を設置することについての投票の開票結果 確定」<sup>6</sup>を元にして示す。これ以降に示すグラフは、各行政区を図2と同じ順番に並べた上で、それぞれのデータに基づき筆者が作成したものである。

### はじめに——大阪都構想とは<sup>7</sup>

・現在の大阪市を廃止して、24の行政区を「淀川区」「北区」「中央区」「天王寺区」の4つの特別区に再編、大阪市長と大阪市議会を廃止し、各特別区に区長・区議会を設置する案のこと。

<sup>5</sup> 『読売新聞オンライン』大阪市北部は「賛成」多数、南部は逆に「反対」…住民投票結果で地域差くっきり (<https://www.yomiuri.co.jp/politics/20201102-OYTIT50167/>)

<sup>6</sup> 『大阪市廃止・特別区設置住民投票//大阪市選挙管理委員会』令和 2 年 11 月 1 日 執行 大阪市を廃止し特別区を設置することについての投票の開票結果 確定 ([https://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu240/sokuho/kaihyo\\_data\\_10.html](https://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu240/sokuho/kaihyo_data_10.html))

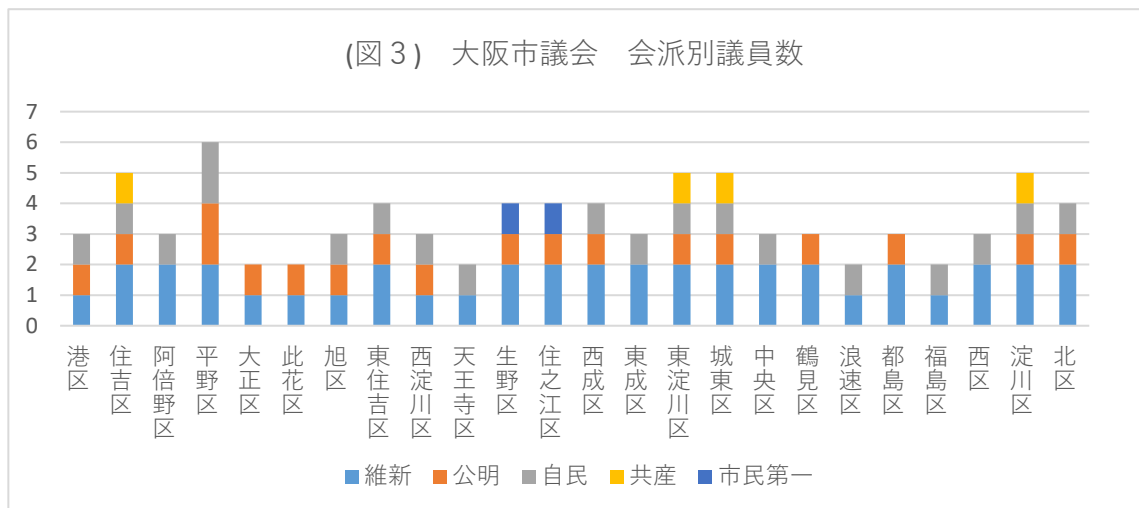
<sup>7</sup> 『Wikipedia』大阪都構想 2021 年 1 月 18 日 (月) (<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E9%98%AA%E9%83%BD%E6%A7%8B%E6%83%B3>)

- ・大阪市の業務のうち、教育や福祉などを特別区に、都市計画やインフラ整備といった広域行政を府に移すと定められている。
- ・これの是非を問う住民投票「大阪市を廃止し特別区を設置することについての投票」が2020年11月1日に行われた。
- ・投票の結果は、賛成 675,829 票、反対 692,996 票となり、反対多数で否決された。投票率は62.35%。

### 要因① 大阪市議会議員の所属会派

まず、各行政区における大阪市議会議員の所属会派に注目する。大阪市会(大阪府大阪市の議会)が作成している「選挙区別名簿」<sup>8</sup>より作成したグラフによると、区の賛成への投票率が高くなるにつれて所属会派が維新である議員の数が多くなり、反対への投票率が高くなるにつれて所属会派が公明、自民である議員の数が多くなっていく傾向にある(図3)。

これには、大阪維新の会が大阪都構想に賛成の立場、自民党が反対の立場であり、各会派に所属する議員数が多いほど、その議員の所属する会派と同じ意見を持つ有権者の割合が高くなるのが要因であると考えられる。なお、公明党については、前回の2015年の住民投票の際は反対の立場であったが、今回は賛成の立場となっている。



### 要因② 住民の年代別の人口割合

次に、各行政区における住民の年代別の人口割合を考える。大阪市が作成している「大阪市の推計人口(令和2年11月1日現在)」<sup>9</sup>によると、賛成への投票率が高い区ほど20、30歳代の人口割合が高く、反対への投票率が高い区ほど60、70、80歳代の人口割合が高くなっている傾向にある(図4)。

<sup>8</sup> 『選挙区別名簿』2020年10月1日

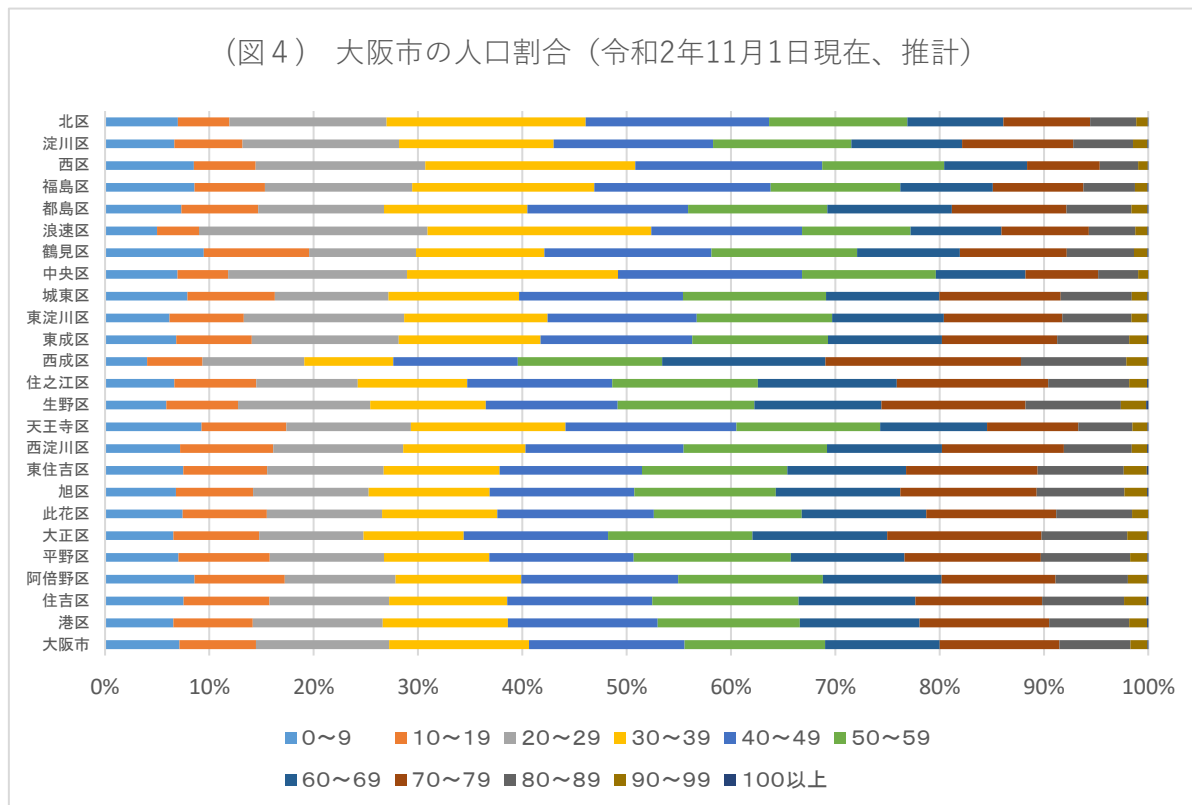
(<https://www.city.osaka.lg.jp/shikai/page/0000310422.html>)

<sup>9</sup> 『大阪市:年齢別推計人口』大阪市の推計人口(令和2年11月1日現在)

(<https://www.city.osaka.lg.jp/toshikeikaku/page/0000015211.html>)

一般的に大阪都構想に関して、若者は賛成である人が多く、年齢が上がるにつれて反対である人が多くなっていくと言われている。投票率を見ると分かるように、必ずしも全ての有権者が投票をしたわけではない。そのため、上記の人口割合の傾向が必ずしも行政区ごとの結果に繋がったと断定は出来ないが、年代別の人口割合の違いは行政区間の結果に違いが出た要因の一つとなると考えられる。

(図4) 大阪市の人口割合 (令和2年11月1日現在、推計)



### 参考——出口調査の結果

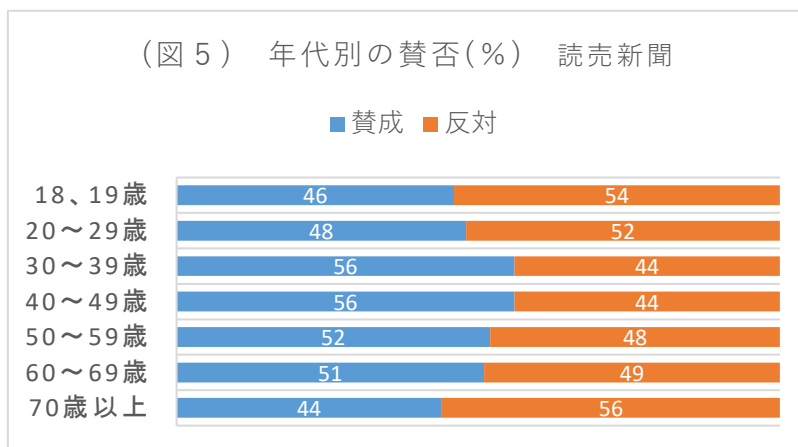
大阪都構想の投票日には出口調査が行われた。ここでは読売新聞が行ったものと、朝日新聞社が行ったものを示す。

読売新聞が行った住民投票の出口調査<sup>10</sup>によると、30~60歳代では賛成多数となっている。しかし、50、60歳代と年代が上がるごとに賛否の差は縮まり、70歳以上では反対多数となっている他、18、19歳や20歳代でも反対が上回っている(図5)。

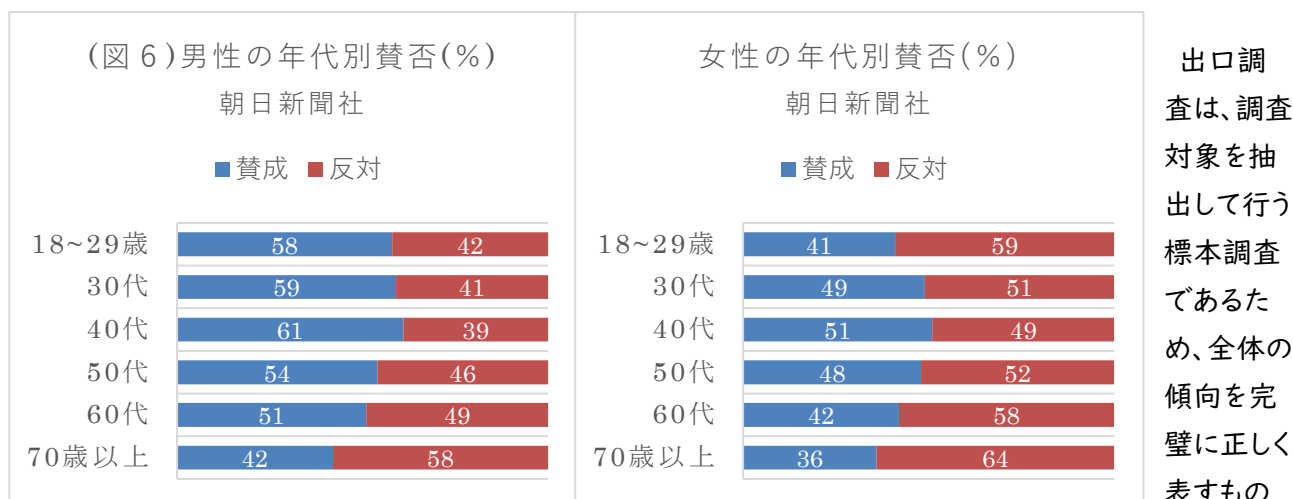
<sup>10</sup> 『読売新聞オンライン』都構想住民投票出口調査

(<https://www.yomiuri.co.jp/local/kansai/news/20201102-OYO1T50002/>)





同様に、朝日新聞社が行った住民投票の出口調査<sup>11</sup>によると、男性、女性共に読売新聞のものと同様に18～29歳の反対の比率が40歳代よりも高くなっている。しかしながら、男性はそうであっても賛成多数となっているのに対し、女性は40歳代を除いた全ての年代で反対多数が多くなっている(図6)。



ではないが、これらのデータから、30、40歳代よりも、18～29歳の反対への投票率が高いことが分かる。また、男性よりも女性の方が反対への投票率が高いことが分かる。

これらの結果には、要因②で示した人口割合の傾向と一致しない部分がある。このことから、年代の違いから生じる、賛反の割合の違いについて検討するには、さらに詳細な資料が必要になると考えられる。

## まとめ

このように、賛成多数となった区と反対多数となった区の間には、大阪市議会議員の所属会派や、住民の年代別の人口割合の傾向に違いがあるということが分かる。ただし、人口割合の傾向に関しては、標本調査の結果と完璧には一致せず、はっきりとした傾向は分からなかった。

<sup>11</sup> 『withnews』こんなところで「GoTo」が? 「大阪都構想」出口調査の意外な結果

(<https://withnews.jp/>)(<https://withnews.jp/article/f0201107004qq0000000000000000W0d110101qq000022056A>)

## 大阪都構想のその後

2 度目の大阪都構想に関する住民投票の後、大阪府と大阪市で、いわゆる『広域行政一元化条例』が制定された。この取り組みの目的について、大阪府のホームページに掲載している「府市の一体的な行政運営の推進に向けた取り組みについて」<sup>12)</sup>には、

大阪府と大阪市では、平成 23 (2011) 年の大阪府市統合本部の設置以降、二重行政の解消を進め、大阪の成長、都市機能の核となるまちづくりに府市連携により取り組んできました。

令和 2 (2020) 年 11 月に実施された大阪市廃止・特別区設置住民投票の結果をふまえて、今後は、大阪市を残した形で、「副首都・大阪」の確立に向け、さらに府市連携を強固にし、府市一体で大阪の成長、まちづくりを進めていくため、検討を進めています。

とある。大阪都構想の目的は「府と市の二重行政を解消する体制の確立」が中心であったため、大阪市を廃止せず、府と市でそれぞれ条例を制定することでこの目標を達成しようとするものであると考えられる。ここでは、このうちの一部を抜粋する。大阪市条例第 13 号「大阪市及び大阪府における一体的な行政運営の推進に関する条例」によると、

### 第9条

(中略)

3 第1項の規定の趣旨を踏まえ、次に掲げる事務については、『地方自治法第 252 条の 14 第1項の規定により大阪府に委託し、大阪府知事をして管理し、及び執行させるものとする。』

(1)大阪の成長及び発展に関する基本的な方針(広域にわたる事項に係る部分に限る。以下同じ。)として別表第4に掲げるものの策定に関する事務

(2)都市計画法(昭和 43 年法律第 100 号)第4条第1項に規定する都市計画(以下「都市計画」という。)に関する基本的な方針並びに広域的な観点からのまちづくり及び交通基盤の整備等に係る都市計画として別表第5に掲げるものの決定に関する事務

(中略)

別表第4(第9条関係)

(1)大阪の成長戦略

(2)大阪の再生・成長に向けた新戦略

(3)万博のインパクトを活かした大阪の将来に向けたビジョン

(4)『前3号に掲げるもののほか、大阪の成長及び発展に関する基本的な方針であって、大阪府に策定を委託する必要があるもの』

なお、2つの『』は筆者が付けたものであり、これらの部分は、大阪府条例第1号「大阪府及び大阪市における一体的な行政運営の推進に関する条例」においては、それぞれ『府は大阪市から受託して、知事が管理し、及び執行するものとする。』、『一の項から三の項までに掲げるもののほか、大阪の成長及び発展に関する基本的な方針であって、府が大阪市から策定を受託する必要があるもの』と表記されている。

<sup>12)</sup> 『府市の一体的な行政運営の推進に向けた取り組みについて』令和 3 年 4 月 27 日更新  
([http://www.pref.osaka.lg.jp/fukushutosuishin/fushi\\_ittaiunei/index.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/fukushutosuishin/fushi_ittaiunei/index.html))

また、別表第 5 は分量の都合上省略している。

引用の内容は、大阪府と大阪市が一体的に取り組む事務として示されている。大阪都構想においても、広域行政や都市計画に関する事務は大阪府が処理すると定められていた。そのため、大阪市を廃止するかしないかという違いはあるものの、二重行政を解消する体制の確立という目的に向かっている点においては、大阪都構想とこれらの条例の間には、それほど大きな違いは無いということが分かる。

大阪都構想は大阪市を廃止することや、住民投票を行うという点において多くの人の目を引いたのに対し、『広域行政一元化条例』は条例という形であるため、普段は僅かなニュースなどを通じてでしか目にする事とは無いだろう。また、その他の条例も、私達が目にしないまま制定されていることがあるかもしれない。

現在、国の法律や地方自治体の条例などは、インターネットを通じて見ることができる。これを機会に、少しでも閲覧してみるのも良いのではないだろうか。

## ロヒンギャ難民の女性の性被害について

なぜ生まれた場所、時代、環境が違っただけで自分の意思に反したことを強制させられなければならないのか。ロヒンギャ難民問題の一つに女性の性被害がある。自分の意思に反して妊娠をしてしまったり、性暴力を受け、身体と心に大きな傷を負った女性が数多くいる。私はこの事実を偶然ニュースで見た。同じ女性としてとても考えさせられることであって、元々国際社会に興味があったということもあり、今回これをテーマにした。

### 1. はじめに ロヒンギャ難民問題とは

そもそもロヒンギャというのはミャンマーに数多くいる少数民族の一つで、このロヒンギャ問題が拡大する前の2017年の初めのころにはミャンマー国内に100~110万人ほどが暮らしていたが、英国内務省の資料によると人口は現在推定200万人とされている。ミャンマーに住むイスラム教徒の大多数がロヒンギャの人々で、主にラカイン州で暮らしている。また、独自の文化と言語を持ち、言語的かつ民族的なつながりをみた場合、歴史の中でベンガル地方(インドの西ベンガル州とバングラデシュ)からラカイン州に移り住んできた人々であると考えられる。



〈図 1〉



〈図 2〉

一方で、国民の大多数が仏教徒であるミャンマー政府はロヒンギャを自国民とは認めず、2014年に行われた国勢調査から除外した。ロヒンギャはバングラデシュからの不法移民だという主張がミャンマーの大多数を占める。つまり、ロヒンギャ難民とはミャンマーにおいてイスラム系少数民族のロヒンギャ族が「不法移民」として国籍を与えられず、数々の差別や迫害を受けている問題なのである。その差別や迫害というのは、国内の移動の制限(ロヒンギャがラカイン州から出ることは違法とされていた)や結婚の制限、労働の強制、恣意的な課税、財産の没収などにとどまらず、住居の破壊、食料・医療の制限、さらには女性に対しての性的虐待や殺害など、人間としての尊厳を破壊して基本的人権を奪う凄惨な状況が続いている。

そしてミャンマーで最も貧しい州の一つであるラカイン州西北部に多く住むロヒンギャたちと、ラカイン人仏教徒との間に生じていた軋轢がついに爆発した。2017年8月25日、ロヒンギャの武装組織であるアラ

カン・ロヒンギャ救世主軍、通称 ARSA が国内 30 か所以上の警察施設に武力攻撃を始めた。武力攻撃と言っても、救世主軍は刃物や棒などの簡易的なものだったのにも関わらず、ミャンマー軍はロヒンギャ武装組織への徹底的ならびに、掃討作戦を開始する。その結果、25 日以降には武装部族や暴徒化した仏教徒による村の焼き討ちや襲撃、一般市民への虐殺が起こった。また、一連の暴行が始まった後には1ヶ月で最低でも 6700 人のロヒンギャが死亡し、そのうち少なくとも 730 人は5歳以下の子どもだったとされ、それに加えてミャンマー軍による女性や女兒への強姦も行われていたとの報告もある。ヒューマン・ライツ・ウォッチによると、マウンドー郡ハティ・パラ村のハラ・サダックさん(15)は、兵士たちに服を奪われ、家近くの木まで引きずり出され、そこで本人の推測によれば男性 10 人に乱暴されたという。バングラデシュ国内で難民支援を行う人道団体からは、数百件の性的虐待が報告されている。しかし、これは実態のごく一部にすぎない可能性がかなり高い。報告の中でも殺害された性被害者がかなりの数になる。さらに、多くが心的外傷後ストレス障害や鬱の症状に苦しみ、膣の裂傷や出血、細菌感染などの手当が行われていないことを訴えている。<sup>3</sup>(一部表現に変更あり)

このような卑劣な問題が数多くある中、武力闘争と女性の性被害が必ずしも明瞭であるとは言えない。一体どうしてこのような事が起こったのか。私は以下の 3 つの要因が背景にあると考え、考量した。

## 2. 要因その 1 ~文化的背景~

まず、ロヒンギャ社会での「妊娠」の捉え方に原因がある。日本では未婚の女性が妊娠することに対して、さほど悪く受け止めることは多くないが、ロヒンギャ社会では結婚前の妊娠は恥とされている。<sup>4</sup> そういった文化であるならば、女性の心的外傷はなおさら深くなるだろう。また、一層仏教徒がミャンマー国民の約 9 割を占めているため、上座部仏教における男性優位の構造の影響を受けている。国会議員への選出や政府機関の意思決定レベルのポスト等、意思決定に参加する女性の数は非常に限られている。加えて、家父長的イデオロギーと伝統的な性別役割分担が残っており、またしても女性に不利な状況である。これらの文化的背景により、女性は周囲に助けを求めることができず、1 人で抱え、苦しみ、そうしてこのような悪循環なループを繰り返す人々が増えていくことで被害が増幅したと考えられる。<sup>5</sup>

## 3. 要因その 2 ~教育が行き届いていない現状~

ミャンマーの女子の教育への参加率は比較的高く、基礎教育に関する指標において男女の間に大きな格差はみられない。しかし、地域格差や貧困による格差がみられる。<sup>6</sup>

ラカイン州は教育で全国より劣っている。成人の非識字率は全国平均と比べておよそ 50 パーセントも高く、小学校への進学率・卒業率は国内でも最低の部類に入る。こうした教育の問題は高い貧困率、(インフラや教材を含む)十分な学校施設の不足、教員へのトレーニング機会の不足、といった様々な問題から派生している。多くの世帯では教育関連の費用を何とか捻出しようと努めているが、中退退学率も高い。<sup>7</sup>

そして、中等教育以上になると就学率は男女ともにあまり高くない。そうした中で、高等教育では男子学生の割合が女子学生よりも低いというジェンダーギャップが生じている。<sup>8</sup> このことが関わっているからか、ロヒンギャ難民の出生率の高さは、女性が妊娠・出産をする意思決定権を持っていないだけでなく、避妊方法が知られていないこともあるようだ。ロヒンギャ難民の男性に子供を多くもうける理由を尋ねたところ、「できてしまうから」という答えが返ってきたという例がある。<sup>9</sup>

このように、高い出生率については避妊方法の不認知が 1 つの要因となっているようだ。

年	妊産婦死亡率	合計特殊出生率	避妊実行率 (15-46歳)	産前健診受診率 (最低1回)	参照
2010	200/100,000	1.98人(2011)	46%	83%(2005-2012)(12)	(11)(12)
2007	230/100,000(2005)	2.08人	41%	80.0%(14)	(11)(14)

年	助産専門技能者による出産	妊婦貧血率	平均初婚年齢	15-19歳の女性の 出生数 (1000人あたり)	参照
2010	70.6%	NA	21.0(2006)(13)	12.89人	(11)(13)
2007	63.9%	49.60(2005)	20.0歳(2001)(13)	16.22人	(11)(13)

<図 2<sup>10</sup>>

#### 4. 要因その3 ～劣悪な医療環境と心の傷～

あるデータ<sup>11</sup>によるとインタビューの聞き取りに応じた性被害のサバイバー（被害から生き抜いた人）のおよそ3分の2は人道団体に自分の性被害を報告していなかったという。実際、ラカイン州での医療サービスへのアクセスは極めて困難だ。世界保健機関（WHO）の勧告によると、医療システムの機能を維持するためには人口10,000人に対して22人の医療従事者が必要である。ミャンマー国全体の平均をみると、人口10,000人に対する医療従事者の数は16人である。しかし、ラカイン州では現在、人口10,000人に対する医療従事者はわずか5人とどまっている。<sup>12</sup>もちろんそういった状況でカウンセリングや心のケアをできる人や環境はないに等しい。人がひしめく急造の医療施設ではプライバシーがないも同然のことがあり、激しいトラウマにより報告に後ろ向きになるのも無理はないだろう。

#### 5. おわりに 問題解決への道

上記のように、ロヒンギャ難民問題に重なる新たな問題に関して「女性の性被害」を挙げたが、ここでは3つの要因を紹介した。一つ目はミャンマーの文化的背景、二つ目は主にラカイン地方の不十分な教育、三つ目は劣悪な医療環境である。

問題解決に向けて、まずはこういった卑劣な現状が世界に存在するということがより多くの人に知らなければならないと考え、今後の展望としてもこの現状を知ってもらうための具体的な方法を模索していくつもりだ。加えて、実際問題としては最低限のインフラの整備、医療体制の改善が最優先だ。これら全てをすぐに行うのは決して容易ではないが、ミャンマー政府も解決に向けてより積極的に課題に取り組むべきではないだろうか。無差別に被害を受け、苦しむ女性が1人でも少なくなることを願う。

#### 6. 参考文献

<sup>1</sup> 『世界雑学ノート ロヒンギャ問題とは?わかりやすく原因などをまとめて解説』

(<https://world-note.com/rohingya-crisis/>)

<sup>2,3</sup> 『国連 UNHCR 協会 今知ってほしい、ロヒンギャ難民についての5つの事実』

(<https://www.japanforunhcr.org/archives/14342>)

<sup>4</sup> 『HUMAN RIGHTS WATCH ビルマ:ロヒンギャ成人女性と少女、大規模なレイプ被害 兵士による集団強姦、子どもの殺害』 (<https://www.hrw.org/ja/news/2017/11/16/311441>)

<sup>5,12</sup> 『バングラデシュ:ロヒンギャ難民キャンプに隠れた性被害 日本人助産師が語る』(『good do ロヒンギャ難民とは?問題の原因や彼らの生活、必要な支援について詳しく解説』

([https://gooddo.jp/magazine/peace-justice/refugees/rohingya\\_refugees/](https://gooddo.jp/magazine/peace-justice/refugees/rohingya_refugees/))

6,7,9 『独立行政法人国際機構 株式会社インテムコンサルティング 国別ジェンダー整備調査 ミャンマー  
国 報告書

([https://www.jica.go.jp/activities/issues/gender/reports/ku57pq00002hdv3w-att/mya\\_2013.pdf](https://www.jica.go.jp/activities/issues/gender/reports/ku57pq00002hdv3w-att/mya_2013.pdf))

8,10,11,13 日下部尚徳,石川和雄 ロヒンギャ問題とは何か 難民になれない難民 明石書店,2019

## スペインから見る日本の同性婚合法化

### 要旨

本稿の目的は、婚姻について「両性」という表記をもつ日本国憲法第 24 条と同様の婚姻規定を憲法に有するスペインが同性婚を 2005 年 6 月 30 日に法認したことについて、その動向を考察し、スペインの憲法解釈に従えば、日本で同性婚を承認することは違憲でないことを検討することである。

### はじめに

多様化が叫ばれる現代社会において、性的マイノリティの承認は今や無視できない課題となりつつある。2000 年にオランダが同性婚を法認してから、ヨーロッパを中心として容認の流れが広がっている。2020 年現在、同性婚を承認している国は 28 カ国ある。本稿では、スペイン憲法第 32 条第 1 項に「男女(el hombre y la mujer, man and woman)は、法律上完全に平等に、婚姻(matrimonio, matrimony)する権利を有する」と規定しているスペインと、日本国憲法第 24 条第 1 項で「婚姻は、両性(both sexes)の合意のみに基いて成立し、夫婦(husband and wife)が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない」と規定されている日本に、婚姻の規定に共通点があると考えた。スペインが 2005 年に同性婚を法認したことから、日本も同様に合法化できるのかを検討する。

以下では、スペインの同性婚について、2005 年以前まで承認されていなかった理由を取り上げ(I)、承認されていなかった理由がどのように解決されたのかを考察し(II)、そこから考えられる「同性婚合法化の条件」を検討する(III)。さらにその条件を日本に当てはめ、日本で同性婚が容認されるか検証する(IV)。最後に私見を述べる(おわりに)。

### I スペインで同性婚が承認されていなかった理由

スペインで同性婚が承認されていなかったのは、憲法の解釈と宗教的文化が主な理由と考えられる。

まず憲法の解釈について説明する。スペインでは、2005 年以前には民法第 44 条第 1 項で「男女(el hombre y la mujer, man and woman)は、この法律の規定にしたがって婚姻する権利を有する」と規定されていた。また、スペイン・ロイヤル・アカデミー辞書には、憲法第 32 条における「婚姻」とは、「一人の男性と一人の女性の間における長期間の結合」とであると定義されている。これにより、マルティヌス・デ・アギーレ・アルダス(Martinez de Aguirre Aldaz)とペドロ・デ・パブロ・コントレラス(Pedro De Pablo Contreras)は、婚姻の社会的重要性は新しい国民を再生産することと結びついており、同性カップルは生物学的に生殖不可能であることから、同様の社会的意義を持つことができないと述べる。カルメン・ガルシマルタン(Carmen Garcimartin)は、第 32 条における「男女」という文言と、他の憲法規定における「全ての人(todas las personas, all persons)」、「国民(los ciudadanos, citizens)」などといった文面を比較して、とりわけ第 32 条はジェンダー的な区別を強調したものであると指摘する。

このように、スペイン憲法第 32 条は、異性愛を限定とする解釈が一般的であった。

次に、宗教的文化について説明する。スペインは「ヨーロッパでもっとも熱狂的なカトリック教国」といわれるように、スペインにはローマ時代よりカトリック文化が根付いている。

同性愛についてのカトリック教会の見解は、『キリスト教のカテキズム』(カトリック中央協議会、2002)から見ることができる。(以下、pp.684-685 より引用。塩見智弘訳。括弧内はドイツ語原文に従い訳者が補足したものである。)



2357 …これ[性愛の行為]を重大な墮落としている聖書に基づき、聖伝はつねに、「同性愛の行為は本質的に秩序を乱すもの」であると宣言してきました。同性愛の行為は自然法に背くものです。これは生命を生み出すはずのない性行為です。真の感情的・性的補完性から生じるものではありません。どのような場合であっても、これを認めることはできません。

2358 無視できない数の男性や女性が、同性愛の根強い傾向を持っています[持って生まれてきている]。この傾向は、客観的には逸脱ですが[自ら選んだものではなく]、彼らの大部分には試練となっています。したがって、同性愛的な傾向を持つ人々を軽蔑することなく、同情と思いやりの心をもって迎え入れるべきです。不当に差別してはなりません。これらの人々は、自分の生活の中で神のみ旨を果たすように、キリスト信者であれば、自分のこの傾向から生じる困難をキリストの十字架の犠牲と結び合わせるように、と呼びかけられているのです。

カトリック教会は同性愛について、「同性愛的な指向」自体は個々の人間の一つのかたちとして見られるべきであり、非難されるべきではないとしているのに対して、「同性愛的な行為」は自然の秩序に反しているため認められないとしている。

カトリック教会は同性婚の法制化には反対しており、BBCNEWS<sup>13</sup>では、「ローマ教皇庁(ヴァチカン)は2003年、『同性愛者の尊重は、同性愛者の行動や同性愛カップルの法的承認につながるものではない』とした」と報じられている。

## II スペインで同性婚が承認された理由

ここでは、スペインで同性婚が承認された理由を I にある憲法の解釈と宗教的文化に対応させて考える。

憲法の解釈の変化は、同性婚が承認された最も大きな原因である。具体的には、2005年の法改正に伴い、民法第44条の第2項として「婚姻の資格および効果は、将来の配偶者が同性、両性(*del mismo o de diferente sexo, the same or difference genders*)にかかわらず、同等である」と新設された。さらに2012年11月6日に、スペイン憲法裁判所は同性婚を認める民法第44条は違憲ではないと判断した。この理由として、憲法裁判所は、スペインと同様の法システムを有する他の国において同性婚が認められているという事実と、スペイン社会において、大部分の者が同性婚を支持しているというスペイン社会学研究センター(*the Centro de Investigaciones Sociologicas*)の調査事実<sup>14</sup>を提示した。

これには世論の変化が大きく関わっている。世論の変化というのは、主に「社会的ニーズの変化」と「人々の『婚姻』の捉え方の変化」が考えられる。

前者は、世界的な動きとして「脱工業化」の傾向にあり、現代社会での価値は創造性にあるという考えが生まれてきているという変化である。そしてその創造性を生むのは従業員の多様性(ダイバーシティ)であり、よりたくましい企業を作り上げるにはLGBTを含む「多様性」に配慮することが必要とされてきている。

後者は、かつて「婚姻」というものは国民を再生産することに社会的重要性があるとされていたが、現在は、異性愛ということを経営の重要な要素であると捉えるのは「伝統的な考え方」に過ぎないとされているとい

<sup>13</sup> BBCNEWS JAPAN の2020年10月20日付の記事、「ローマ教皇、同性カップルの法的保護を支持『家族になる権利ある』」による(<https://www.bbc.com/japanese/54628101>)

) 2021年1月3日最終アクセス。英語記事([Pope Francis indicates support for same-sex civil unions - BBC News](https://www.bbc.com/news/health-54628101))

<sup>14</sup> 2004年の調査でスペインの56%の者が同性婚を支持していると示された。

う変化である。スペインの憲法裁判所は、憲法制定当時において同性カップルの存在を考慮した上で婚姻が定義されたのではないことを認めている。現在、婚姻というものは恋愛と深く結びついている。「ゴールイン」という言葉が結婚を意味するように、恋愛の価値観やルールとして、「結婚をゴールとする」という特徴があげられる。このように、「婚姻」について、「国民の再生産」という異性愛に限られた目的はあまり重視されなくなっている。

これらの観点から、現代スペインにおいて同性婚を支持する国民が増えていると考えられる。

次に、宗教的文化の変化についてである。スペインの政治とカトリック教会については、「スペインポルトガル現代史」(齊藤考編)に記述されている。

p20 十八世紀になって、あまりにも強大化したカトリック教会の勢力を抑制しようとする試みがはじめて王室によって行われ、一七三七・五三年にローマ教皇のとあいだに宗教協約が結ばれ、教会や異端審問所の特権が著しく減少した。

p21 一九世紀にはいって自由主義思想の到来とともに、反僧侶主義はあらゆる階層に滲透した。一九世紀を通じて、政権は保守派と急進派のあいだを振り子のように往来したために、教会の運命は今まで以上に、政治の成り行きに依存することになった。常に保守派を支持してきた教会は、極端に反教會的な第二共和政の下で、一九三二年にはじめて政治、政党から独立分離を宣言した。

かつて強大な力を持ち政治に関与していたカトリック教会は政治から離れることとなった。また、2020年10月21日に、ローマ教皇フランシスコは同性愛者の婚姻関係の権利は法律で保護されるべきだと語ったことが報じられた。<sup>15</sup> 現在、スペインは1978年に国教制度を廃止したが、カトリック教徒は国民の約70%を占めている。この数字は減少傾向にあるほか、文化庁の海外の宗教事情に関する調査報告書(2012年)には、

P173 信仰熱心な人びとが全国民の中でも、女性、高齢者、低学歴層、町村部の居住者に多いという属性の偏りが明確に見られることを考慮に入れれば、高学歴化と都市への集住が進むスペイン社会においては、今後世俗化プロセスが一層進行し、カトリックの勢力はさらに小さなものになると予想される。

とあるように、信仰の形も変わりつつある。特に若い世代は結婚前の性交渉や性的指向、避妊に関して教会の保守的な道徳の教理を無視している場合が多い。これらより、スペインで同性婚が承認されない原因としての宗教的要素は薄れたといえる。

### Ⅲ 同性婚が法認される条件

ここまでで述べたことから、同性婚が法認される条件について考える。スペインの先例では、同性婚が法認されるには、男女と限定されていた婚姻についての憲法の解釈を変更することが必要であった。よって、スペイン憲法裁判所の判断に基づき、同性婚の法認には「同様の法システムを持つ他の国で同性婚が承認されている」ということと、「国民の大部分が同性婚を支持している」ということが必要であると考えられる。次の項からは、この二つの条件の前者を条件①、後者を条件②として扱うこととする。

---

<sup>15</sup> BBCのマーク・ロウエン記者は、教皇ははっきりと同性愛者の権利について言及はしたものの、カトリック教会の教義自体が変更される兆しはないと指摘した。

#### IV 日本における同性婚法認の蓋然性

ここでは、Ⅲで得られた二つの条件が日本で達成されるかを検証する。

まず、条件①についてである。スペインの憲法裁判所は、諸外国の法およびヨーロッパ人権条約において、婚姻が二人のパートナーシップとして(当事者の性的思考にかかわらず)規定されていることを考慮して、婚姻に同性婚も含まれるものと解釈することは認められると判断した。日本ではヨーロッパ人権条約は効力を発生しないが、西政法の継受の影響が見られる日本法で上記の解釈をすることは可能であると考えられる。また、はじめにでも述べた通り、日本とスペインは婚姻に関する憲法の表記に共通点がある。同様の憲法を持つスペインが同性婚を法認したことにより、憲法的観点から同性婚の承認を否定することは妥当でないと考えられる。よって、憲法・法律的観点から見て、条件①は日本でも達成されると考えられる。

次に、条件②についてである。日本では、国立社会保障・人口問題研究所の調査によると、同性同士の結婚の法制化について「賛成」「やや賛成」の人の割合が51.1%に上ったという結果が報告されている。<sup>16</sup>これには前述にした「社会的ニーズの変化」と「人々の『婚姻』の捉え方の変化」が日本でも認められる。「社会的ニーズの変化」として、Ⅱでは世界的な「脱工業化」の傾向にあると述べたが、日本も例外ではない。生産年齢人口の減少を背景に、日本企業においては多様な人材の活用、すなわちダイバーシティ・マネジメントが喫緊の課題とされている。ダイバーシティ・マネジメントにおいて、女性や外国人のほかに、LGBTも重要な要素の一つである。同性婚を認めないデメリットとして、日本経済新聞は「米国人俳優でゲイを公表しているジョージ・タケイ氏は『日本も同性婚を早期に認めなければ、高度人材の受け入れなどに支障をきたす』と警鐘を鳴らす。実際、同性婚が合法化されていない日本では、ビジネスなどで日本に滞在する外国人の配偶者が同性の場合、異性配偶者には認められる在留資格『家族滞在』が認められない。こうした制度を嫌い、LGBTの人材が日本を避ける可能性はある。」と報じている。<sup>17</sup>

「人々の『婚姻』の捉え方の変化」について、日本でもこの数十年で大きな変化が見られる。「日本婚活思想史序説」(佐藤信、2019年)によると、結婚の前提条件として、恋愛・共同生活・子どもの三要素が取り出せるという。本書では、恋愛要素はお互いへの好意で、生殖外機能のセックスを含む(子づくり目的であればそれは子ども要素とし、恋愛要素は存在しないとみなす)。共同生活要素は一緒にいて居心地がよい、などを指し、子ども要素は、子を持ち、育て、関わることをいう。そして現在、特に若者は共同生活要素を重視する傾向にあり、恋愛要素がなくても、家族として好きという形もあり得る。さらに、本書では

1998年の調査では50代の48.8%、60代では実に58.2%の女性が、子どもを持ってはじめて夫婦と認められると考えていた(『第2回全国家庭動向調査』)。ところが、最新の調査では20代以下ではこのよ

---

<sup>16</sup> 日本経済新聞の2015年11月29日付の記事、「同性婚『賛成』51% 全国調査、世代間の認識に差」による([https://www.nikkei.com/article/DGXLASDG29H29\\_Z2IC15A1000000](https://www.nikkei.com/article/DGXLASDG29H29_Z2IC15A1000000)) 2021年1月4日最終アクセス。調査は3月、全国で無作為に選んだ20~79歳の男女2600人を対象に行い、1259人から回答を得た。

<sup>17</sup> 日本経済新聞の2018年2月14日付の記事、「同性婚、世界で合法化の動き」による(<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO26588370W8A200C1EAC000/>) 2020年11月14日最終アクセス。

うな考え方に反対する人が 82.3%と8割を超えている(『第5回全国家庭動向調査』)。いまでは子どもがいなければ結婚の意味がないと考える若者はより少なくなっているだろう。

といった記述があるように、結婚の目的は時代とともに変わりつつある。それに伴い、子ども要素も変化している。

人工授精や精子バンクや代理母といった近年生殖技術の発達によって、カップル間の生殖無しでも子どもを得ることはできるようになったし、その傾向は今後も拡大していくと予想される。子どもを持てなかったカップルを中心に特別養子縁組への要請も高まっているし、結婚せずに子どもを持つとする『非婚出産』も話題になっている。つまり、生殖が外部調達可能になり、相対的に養育の重要性が高まっているのである。

ここからも見られるように、医療の発達も手伝いカップルの子どもの持ちかたも変化しているのである。これは同性婚の受け入れやすさに影響していると言える。子どもはカップル間での生殖が可能でなくても得られるため、必ずカップルが互いに異性でなければならないという考えが薄れたのである。「(異性)カップル間で子どもを作り、育てる」という今までの結婚の常識から、「愛し合っている人と結ばれる一つの権利」という結婚観へと移り変わっている。「性的マイノリティについての意識:2015年全国調査」より、同性婚の賛否を世代別に見ると、賛成、やや賛成が20代から30代は72.3%だったのに対し、60代から70代は32.3%とその差は顕著である。また、「性的マイノリティについての意識:2019年(第二回)全国調査」より、同性婚に賛成、やや賛成が64.8%に上ったことが明らかにされた。この数字は第一回全国調査(2015年)の51.2%から13.6ポイントの増加であり、これからも増加していくと考えられる。

以上より、「国民の大部分が同性婚を支持している」という条件②は、日本において既に達成されていると言える。

おわりに

ここまで、同性婚を承認したスペインの例から、日本における同性婚合法化の蓋然性を検討してきた。条件が揃っているからといって一辺倒に同様の判断が可能とは言い難いが、その可能性が現在の日本において見え始めているということは確かではないだろうか。

スペインは、日本と同様に、憲法で婚姻の権利を有する者として「男女」という表記を用いている。これは「両性」と表記する日本国憲法以上に異性愛を強調させるものであるが、そのようなスペインで同性婚が法認されたという事実は、日本が同性婚を承認する根拠の一つになり得ると考えられる。そもそも、スペイン憲法第32条の立法目的は、夫婦間で起きていた不平等をなくし、男女平等を実現するためであった。これは、戦前の家制度を解体することによって男女平等の権利を保障した日本国憲法第24条の立法目的と大きく重なる。このことから、憲法の「両性」という表記を同性婚を承認しない理由にするのは妥当ではないと思われる。

また、同性婚を承認することは、同性愛者の婚姻を可能にするだけでなく、社会的に同性愛を受け容れることを意味すると考える。婚姻というものは、法的保護のみならず、人権という面で、同性愛者に必要な権利なのである。同性婚を承認することが、同性愛への偏見や差別を減らすことに繋がるのではないだろうか。このような面でも、同性婚の承認は必要であると思われる。

## 参考文献

- ・「同性婚をめぐる諸外国の動向」 佐久間悠太 (名古屋大学大学院人間文化研究科『人間文化研究』 抜刷 20号 2014年2月)
- ・「時代の変化における同性愛とキリスト教倫理」 アントニオ・アウティエロ ( 塩見智弘訳) 原文: 「Homosexualität. Wie die Genderperspektive die theologische Einstellung zur Homosexualität verändern kann」 Antonio Autiero
- ・「スペインポルトガル現代史」 齊藤考編
- ・「日本と世界のLGBTの現状と課題」 LGBT法連合会(かがわ出版、2019年6月1日)
- ・「男たち／女たちの恋愛」 田中亜以子 (勁草書房、2019年)
- ・「〈男性同性愛者〉の社会史」 前川直哉 (作品社、2017年)
- ・「同性婚—ゲイの権利をめぐるアメリカの現代史」 ジョージ・チョーンシー (明石書店、2006年)
- ・「日本婚活思想史序説」 佐藤信(東洋経済新報社、2019年)
- ・「同性婚、世界で合法化の動き」日本経済新聞 (2018年2月14日、国際アジア部 松本史、<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO26588370W8A200C1EAC000/>)
- ・「日本民法典の西欧法の受容について」 池田光穂([https://www.cscd.osaka-u.ac.jp/user/rosaldo/16\\_japanese\\_civil\\_code.html](https://www.cscd.osaka-u.ac.jp/user/rosaldo/16_japanese_civil_code.html))
- ・海外の宗教事情に関する調査報告書 文化庁(2012年3月)

## オノマトペの英訳はなぜ難しいのか

オノマトペとは、擬態語や擬音語の総称を指す。例としてピカピカ（擬態語）や、ばたん（擬音語）が挙げられる。また、日本語におけるオノマトペの数は他国と比べても非常に多い。小野正弘は、著書『オノマトペがあるから日本語は楽しい』の中で、オノマトペを「ふだんはよく意識せずに使い、よくよく思いをめぐらせると自分たちの用いている日本語の中に深く根を下ろしているもの」としている。(p.11)つまりオノマトペはヒトの根源、日本語の「へそ」なのだ。

「オノマトペ」という言葉は古代ギリシャ語の“onomatopoeia” からきている。（“onoma” <名前> “poiein” <つくること>）それがフランス語で“onomatopée” となり、日本で「オノマトペ」として使用されるようになった。初めて日本でオノマトペが使われたのは古事記にまで遡る。「こをろこをろ」というオノマトペが、ものをかき混ぜる音の表現として使用され、現在の「からから」につながっているのだ。そして今日、オノマトペは日本語の一つの大きな特徴である、と言われるまでに日本語に溶け込んでいる。

ところで、オノマトペを翻訳することは非常に難しいといわれる。いったいその難しさはどこから生まれるのか、日本語から多くの国が公用語とする英語に翻訳する場合に着目して研究をすることにした。

日本語のオノマトペをその語によって想起するイメージが同じになるように英訳することは大変難しい。その理由として、まず日本語は他言語と比べてオノマトペの数が非常に多いことがあげられる。また、英語話者と日本語話者のオノマトペに対するイメージや印象が一致していない。さらに、音はどの言語でも共通の認識であると考えて、擬音語を他言語話者にそのまま伝えても相手は理解に苦しむことになってしまう。このように、日本語のオノマトペを英訳する難しさには言語的、文化的背景などが大きく関係している。

### 1、言語的背景

日本語は他言語と比べて動詞や形容詞の数が少ないため、その少なさを補って表現の幅を広げるために多くのオノマトペが使用されるようになった。諸説あるが、英語の1500語程度に対し、日本語には2500語以上のオノマトペが存在するといわれている。(https://tree-file.com) そのため、一つの英単語が複数の日本語のオノマトペに置き換えて表現される場合も多い。例を挙げると、ひらひら、どくどく、ぴくぴく、といったオノマトペは日本語

でははっきりと区別されるが、英語では“flutter”という一語で表現されている。(表1・例文参照)このように英語のオノマトペの意味は広く定義されている場合が多く、日本語のオノマトペと完全に対応しているとは言えない。

1

また、英語は“munch”（むしゃむしゃ食べる）のように一語で意味を成す。それに対し、日本語は「ぱくぱく食べる」のようにオノマトペ+動詞の2語で意味を成すことが基本である。その結果、日本語はオノマトペと動詞の組み合わせが豊富となる。そのため、数が少ないうえに一語で意味を成す英語にびたりとあてはまる言葉を探すのは困難となる。このような言語的背景が英訳する困難さを生み出していると考えられる。

**flutter** <definition>

•to make small gentle movements in the air

•if your heart or your stomach flutters, you feel very excited or nervous

•if your eyelids flutter, they move slightly when you are asleep

(ロングマン現代英英辞書) (表 1)

例文 •Butterflies flutter from flower to flower.

→花から花へ蝶がひらひらと舞う。

•I could feel a fluttering pulse.

→私の心臓がどくどくなっているのがわかる。

•Her eyelids fluttered but did not open.

→彼女の瞼はぴくぴく動いたが開かなかった。

## 2、文化的背景

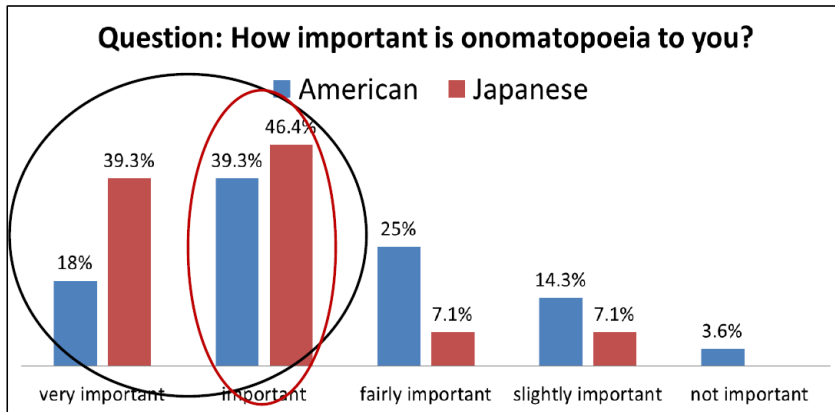
英語話者と日本語話者のオノマトペに対するイメージや印象は一致していない。日本人は昔から自然にじつと耳を傾け、そのままの素材を大切にすることがあった。虫の音や川の流れも日本では情緒ある音として理解されている。そのことは日本の和歌や俳句に自然の情景や風情が読み込まれていることに顕著に表れている。

一方、これは多少日本語話者にもあてはまることであるが、英語話者はオノマトペを幼稚な言葉としてとらえる傾向にある。その理由はオノマトペが正式な言葉であるか否か、という点にあると考えた。実際に調べてみると、「しゃかしゃか」や「すいすい」といった、日本語話者の多くが容易に理解できるオノマトペが国語辞典に記載されていなかった。また、幼児が「わんわん」と発言すると、名詞でないにも関わらず、私たちはその幼児の発言が犬を指していることに気づく。つまりオノマトペは曖昧な定義で使用されている場合も多く、文書での使用は好まれない。この「曖昧さ」が「幼稚」というイメージにつながっている。しかし、曖昧なニュアンスを表現できることはオノマトペの最大の魅力でもある。日本ではオノマトペが多用される「マンガ」が人気を得ており、近年は海外でもその人気に拍車をかけている。オノマトペは幼稚、とするイメージは将来覆されることも十分あり得るのではないだろうか。

さらに、図1からも読み取れるように、英語話者と比べて日本語話者のほうが、オノマトペが自分にとって大切なものであると感じている。これらの結果、大人の英語話者は日常会話で積極的にオノマトペを使うことをあまり好まない。このような文化的背景も英訳する困難さを助長していると考えられる。

(図 1)

## Individual Importance of Onomatopoeia



「オノマトペがあなたにとってどのくらい大切であるか。」という質問に対し、日本語話者の約4割は「非常に大切である」と回答した。また、「非常に大切である」又は「大切である」と回答した人は85%にのぼった。一方、英語話者で「非常に大切である」と回答した人は2割に満たず、「非常に大切である」又は「大切である」と回答した人は約57%であった。

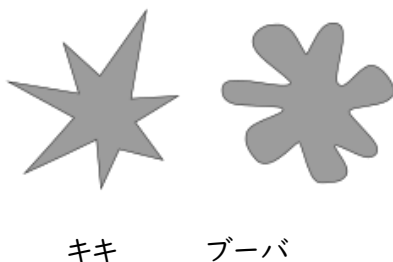
- Study Participants    o 58 University Students    o Ages 18 and up
  - 29 American    • 14 Male, 15 Female    • 29 Japanese    • 8 Male, 21 Female
- ([https://alexanderdacuyanportfolio.weebly.com/uploads/2/4/2/4/24249978/ppt\\_capstone\\_english.pdf](https://alexanderdacuyanportfolio.weebly.com/uploads/2/4/2/4/24249978/ppt_capstone_english.pdf))

### 3. 擬音語における客観性

擬音語をそのまま伝えても、相手と共通の認識を持つことは難しく理解に苦しむ。研究当初、音は世界共通の認識で擬音語はそのまま伝わるのではないかと予測を立てた。実際、ドイツの心理学者ケーラーは1929年にブーバ/キキ効果を紹介している。

下記(絵1)の2つの絵を見せ、「どちらが『ブーバ』でどちらが『キキ』か。」と質問したところ、不思議なことに母語や、性別、年齢関係なくほとんどの人が同じように回答した。左をキキ、右をブーバと回答した人が98%にもものぼった。

3



(絵 1)



これはある程度音から形をイメージすることが可能になる音象徴という現象が関係している。しかし、これはあくまで「形」という曖昧なイメージにとどまり、具体的に何の音、と共通に認識されているわけではない。

一方、「母語における言語のカテゴリーが思考のカテゴリーと一致する」としたウォーフ仮説が今井むつみ著『ことばと思考』で紹介されている。つまり私たちは「名付ける」ことによって初めてそれを認識し、理解する。

その例として動物の鳴き声を考えてみた。カエルを日本語では「げろげろ」英語では“ribbit”、ブタを日本語では「ぶーぶー」英語では“oink”というオノマトペで多くの場合表現される。しかし本当に日本語話者はカエルの鳴き声を聞いて「げろげろ」と認識し、英語話者は“ribbit”と認識しているのだろうか。そうとは限らないだろう。日本の中にもカエルには様々な種類が存在し、その種類によって鳴き声は異なる。しかし、私たちはどの種類のカエルの鳴き声を聞いても、大抵一様に「げろげろ」と表現する。それは、私たちが先に言葉を認識、理解して「げろげろ」という擬音語と強制的に結び付けているからではないか。つまり、擬音語はその音を的確に表現しているようで、実は客観的に決められた一つの言葉でしかないのだ。そのため、擬音語を英語話者にそのまま伝えると混乱を生むことになると思われる。

以上のように、オノマトペを想起するイメージが同じになるように英訳することは難しい。その難しさは言語的、文化的な様々な背景によってうまれる。この日本語特有の「オノマトペ」が日本語習得を試みる英語話者がつまづく一因となるのであろう。

#### <参考文献>

- ・『オノマトペがあるから日本語は楽しい ～擬音語・擬態語の豊かな世界～』小野正弘 平凡社
- ・『ことばと思考』今井むつみ 岩波新書
- ・日本語を話すときには欠かせない「オノマトペ」とは (<https://tree-file.com>)
- ・日英オノマトペの考察:日英擬音語・擬音語の全体像を概観する ([https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/56957/JLCE\\_14\\_023.pdf](https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/56957/JLCE_14_023.pdf))
- ・言葉と音と音の印象(ブーバ/キキ効果) ([https://psychmuseum.jp/show\\_room/bubakiki](https://psychmuseum.jp/show_room/bubakiki))
- ・オノマトペとは何? ([www.weblio.jp](http://www.weblio.jp))
- ・Onomatopoeia-Alexander Dacuyan' s Graduation Portfolio ([https://alexanderdacuyanportfolio.weebly.com/uploads/2/4/2/4/24249978/ppt\\_capstone\\_english.pdf](https://alexanderdacuyanportfolio.weebly.com/uploads/2/4/2/4/24249978/ppt_capstone_english.pdf))

# 会社の利益よりも社員の幸せを追求する経営は夢物語か

## 〇はじめに

現代の会社や職場にどのようなイメージがあるだろう。私がすぐに思いついたイメージは「階層社会」だった。会社の末端で働く者が過酷な労働を強いられているという悪いイメージを持っていた。そこで、「組織の末端に位置する社員が幸せであると感じながら働くことができる組織は存在するのか」という問いを持ち探求することにした。

## 〇研究内容

本研究では前野隆司、小森谷浩志、天外伺郎著、『次世代日本型組織が世界を変える 幸福学×経営学』で定義される幸せの基準を用いて、達成型組織とティール組織を比較し社員が幸せを感じられる経営組織とは何かを研究する。

## 〇ティール組織とは

ティール組織とは、フレデリック・ラルー著『ティール組織 マネジメントの常識を覆す次世代型組織の出現』に書かれている従来の組織とは異なる新しい組織である。人類は現代にいたるまで、人々が集まって仕事を成し遂げるやり方を何度も根底から革新し、そのたびに以前よりもはるかに優れた組織モデルを作り出してきた。(同書 125 頁 17 行目)

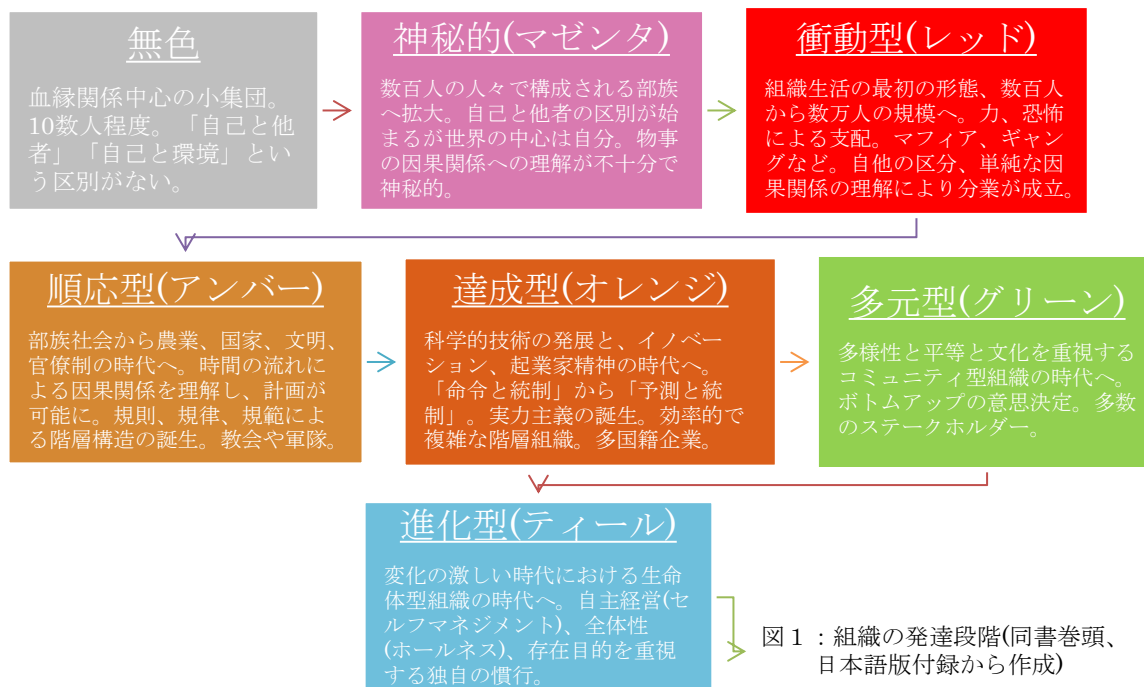


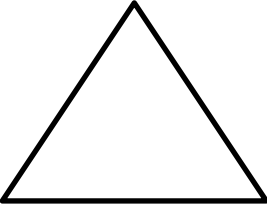
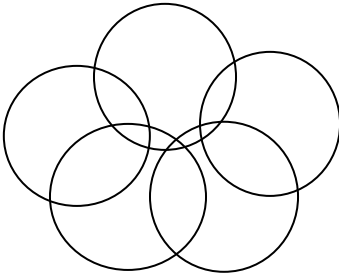
図1：組織の発達段階(同書巻頭、日本語版付録から作成)

人類は、無色→神秘的→衝動型→順応型→達成型→多元型と組織モデルを作り上げてきた。私が考える社員の幸福が最も実現されやすい組織モデルは、多元型の次のモデルである進化型(ティール)組織ではないかと推測する。

同書で、今日の経営思想で圧倒的な基準となっている組織とされる達成型組織とティール組織を比較して、ティール組織の特徴を見ていく。

### ○達成型組織とティール組織の特徴の比較

(フレデリック・ラルー著『ティール組織 マネジメントの常識を覆す次世代型組織の出現』531~535 頁参考)

	達成型組織	ティール組織
組織構造	ピラミッド型の階層構造で上下関係がある。 	上下関係がなく、いくつかのチームが並立し、相互補完の関係がある。 
役職と職務内容	どの仕事にも役職があり、職務内容が決まっている。	役職がなく、自分の能力にあった職務を自主的に行う。
意思決定	組織の上部でなされ、下部はそれに従う。責任は組織の上部が負う。	権限も責任も分散されている。
営業	営業目標がある。実績評価や表彰制度を取り入れることで社員に動機付けをする。	営業目標はなく、ノルマがない。

このようにティール組織は階級や役職がなく、最適なところに最適な意思決定・実行を行わせる組織であり、「従来の中央集権型・階層型のヒエラルキー組織に相対する、真にフラットな組織」(前野隆司、小森谷浩志、天外伺郎著、『次世代日本型組織が世界を変える 幸福学×経営学』121頁)である。

### ○幸せの定義

幸せは一義的に定義することは難しい。そこで前野隆司、小森谷浩志、天外伺郎著、『次世代日本型組織が世界を変える 幸福学×経営学』で定義される幸せの4つの因子

第1因子 「自己実現と成長」

第2因子 「つながりと感謝」

第3因子 「前向きと楽観」

第4因子 「独立と自分らしさ」

を基準として、この因子を満たしているかどうかで幸せであるかどうかを判断する。同書に記載されている研究結果から、4つの因子をすべて満たしている人は幸福度が高く、どれかが欠けていると幸福度は下がり、一番不幸な人はどの因子も満たされていない。したがってこの4つの因子をバランスよく全体的に満たしていれば幸せだと感じやすい、つまり幸福度が高いといえる。

### ○達成型組織の幸福度

達成型組織の特徴が4つの因子に当てはまるか考え分類した。

(★:因子を満たす ☆:因子を満たしにくい)

#### ★第1因子「自己実現と成長」

- ・役職があるため昇進制度がある。
- ・実績評価が行われるため、成果が上がれば昇進することができる。
- ・ノルマがある。

このような環境から、社員は昇進という具体的な目標のために仕事をすることができ、ノルマがあることで達成した時の満足感や喜びが次の仕事に生きるため、第1因子「自己実現と成長」を満たすことができる。

#### ☆第2因子「つながりと感謝」

- ・ピラミッド型の階層構造である。
- ・意思決定は組織の上部でなされる。

組織上部での決定が下部に降りてくるピラミッド型構造の組織では縦のつながりを持ちにくく、社員個人が自由に他部署と連携して仕事をし難い環境であるため、第2因子「つながりと感謝」を満たしにくいと言える。

#### ★☆☆第3因子「前向きと楽観」

- ・職務内容、ノルマが決まっている。

受動的な働き方ではあるが自分に課されたノルマさえ達成できれば良いという風にとらえれば、第3因子「前向きと楽観」を満たすといえるが、ノルマを達成できないと感じた時には悲観的になりやすいため、この因子を満たしにくいとも言える。

#### ☆第4因子「独立と自分らしさ」

- ・役職があり、職務内容が決まっている。
- ・自分が望んだ部署ではない部署に配属されることがある。

社員が自分の能力にあった仕事や役職に就けるとは限らず、自分の能力を十分に発揮しにくい環境であるため、第4因子「独立と自分らしさ」を満たしにくいと言える。

### ○ティール組織の幸福度

実際にティール組織経営を行うダイヤモンドメディア株式会社の取り組みも参考に、ティール組織の特徴が4つの因子に当てはまるか考え分類した。

(★:因子を満たす ☆:因子を満たしにくい)

#### ★第1因子「自己実現と成長」

- ・意思決定の権限と責任が組織全体に細かく分散されている。
- ・「組織」が存在していないため、上司も部下もない。

このような環境から、社員に求められるものは、何ができるのかを自ら感じ取り働く能力であるこれが社員の自発性の向上につながり、第1因子「自己実現と成長」を満たすことができる。

### ★第2因子「つながりと感謝」

- ・従来の階層型組織に見られる人事的な意味での管理体制や指揮命令系統に縛られない。
- ・メンバーが部署をまたいで仕事をしたり、採用やイベントなど個別のプロジェクトに参加したり、あるいはマネジメントと現場を兼業したりすることが可能である。

このような環境が社員同士の部署を超えたつながりを深め、たくさんの意見や情報を社員にもたすことになり、第2因子「つながりと感謝」を満たすことができる。

### ★第3因子「前向きと楽観」

- ・役職を決めるのではなくリーダーは自然発生に任せる。
- ・営業目的がない。

このような環境では自分の意見を発言するということが重要になってくる。そこで必要になる積極性が前向きさにつながる。また、営業目的がないためノルマという圧力がなく比較的楽観的に仕事に取り組むことができ、第3因子「前向きと楽観」を満たすことができる。

### ★第4因子「独立と自分らしさ」

- ・何ができるのかを自ら感じ取り行動するため、ポジションと能力のミスマッチが起こらない。
- ・働く時間、場所が自由で休みも自由にとることができる。
- ・社員が能力を最大限に活かせるように副業・起業を推奨している。

このような環境で働く社員は自分の能力を十分に発揮でき、自分に合った働き方を見つけることができる。よって第4因子「独立と自分らしさ」を満たす。

### ○まとめ

ティール組織は達成型組織よりも幸福度が高く、4つの因子「自己実現と成長」、「つながりと感謝」、「前向きと楽観」、「独立と自分らしさ」をバランスよく全体的に満たしている。このことからティール組織は達成型組織に比べて、より社員が幸せを感じやすい経営組織であると言える。

### ○今後の展望

幸せは個人の主観的なものであるため、別の定義つけて幸福度を測ってみることで違いが生まれるのかを調べたい。

### ○参考文献

- ・『ティール組織 マネジメントの常識を覆す次世代型組織の出現』  
フレデリック・ラルー 著/鈴木立哉 訳/嘉村賢州 解説
- ・『次世代日本型組織が世界を変える 幸福学×経営学』  
前野隆司、小森谷浩志、天外伺郎 著
- ・KOZO TAKEI' S BLOG 「組織クリエイター」武井浩三のブログ  
<https://kozotakei.tumblr.com/post/119519082572/8>

## なぜ「米切手」は江戸時代の大坂堂島米市場で使われていたのか

### 1. はじめに

江戸時代、江戸、京都、大坂は合わせて三都と呼ばれ、その総人口は江戸時代初期にはすでに江戸で 50 万人、京都で 40 万人、大坂では 35 万人で世界でも有数の人口を誇った。

大坂は豊臣秀吉の時代から大都市であったが、江戸時代になると諸藩は取り立てた年貢を大坂の堂島にあった蔵屋敷に運び売ることによって収入を得るようになる。当時の各藩の税収のほとんどコメ<sup>(1)</sup>であり、そのコメがどれほどの値段で売れるかが藩の財政を左右した。江戸初期のころには各大名は蔵屋敷のコメの販売を各藩の役人の仕事であった蔵元を町人に委託し、この頃からこの委託された町人の蔵元である町人蔵元が主流となった。

そのような時代にコメの取引が行われたのが大坂堂島米市場である。この場所では秋を除くすべての季節で公式の取引が行われ、公式の取引が行われない期間でも取引が行われた。特に台風の季節である 6、7 月はコメの価格大きく変化することがあるため、夜通し取引が行われたこともあった。

その大坂堂島米市場では現物のコメを取引の度に交換していたわけではない。この時代にはすでに手形を媒体とする取引が行われていた。それが今回のテーマでもある「米切手」である。

### 2. 米切手とは

まず米切手の前身である米手形から説明したいと思う。米手形とは各藩から大坂に廻送されたコメを落札し、その三分の一の代銀<sup>(2)</sup>を支払うと各藩の蔵屋敷から発行されるものである。米手形を持つ商人は米手形と残りの三分の二の代銀を蔵屋敷に提出することでコメと交換することができ、米手形一枚で 10 石<sup>(3)</sup>のコメと交換できた。この米手形は多くの場合、持ち主の商人から別の商人に転売され、一日のうちに 10 人の手を渡り歩くこともあった。さらに、定められたコメの無料保管期間以内に取りに来る者が少なく、蔵屋敷には在庫のコメが多く出始めたため、各藩は実際に蔵屋敷にあるコメの量よりも多くの米手形を発行した。

この米手形による取引はいたずらに米価を高騰させるものであるとして当時の江戸幕府はこれを禁止した。しかし商人、藩双方にとって便利であった米手形による取引は停止することはなかった。

米手形による取引を禁止することが難しいと見た幕府は米手形の代銀の支払期限を短く定めることにした。これにより米手形の発行から 30 日以内にコメとの交換期限が定められ、のちに交換期限は 10 日になった。これにより残銀代は期限以内に払われるようになったが蔵出しさきのばしにされることに変化はなかった。このとき残銀完納証明書としての米手形がのちの米切手となった。

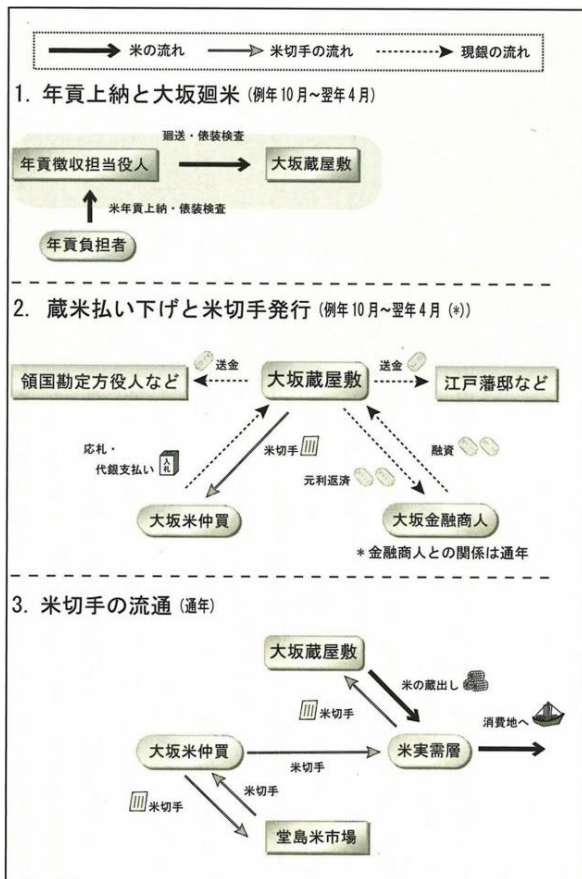


図16 大坂米市場における取引の流れ (出典) 拙著 [2012] をもとに作成

### 3. 米切手が使われていた理由

江戸時代の大坂堂島米市場で使われていた米切手。この米切手が使用されていた理由をこれから説明する。

まず藩は実際に蔵屋敷にあるコメの量よりも多くの米切手の発行が可能であった。実際、交換期限以内に米切手を持ってくる商人が少なかったため蔵屋敷にはコメの在庫が残り実際の蔵屋敷のコメの量よりも多く発行された。さらに、米切手の発行数が実際に蔵屋敷にあるコメの量を上回ったとしても、米切手の持ち手との交渉如何によっては買い戻すこともできた。これらの理由により藩は実際に蔵屋敷にあるコメの量よりも多くの米切手を発行することができ、各藩は米切手の発行により資金の前借が可能であった。

次に、米切手は蔵屋敷にある特定のコメと繋がっているわけではないため、米切手の価値が保証されていた。例えば、ある藩の蔵屋敷で火災や水害が発生して蔵のコメが売り物にならなくなったとする。しかしそれによって藩の発行している米切手の価値が下落、商人たちが保持している米切手の価値が下がることはなかった。なぜならば藩側は失ったコメの代わりに本国から送ったコメを米切手との交換にあてていたからである。この保証により商人は安心してその藩との取引を行うため、蔵屋敷のコメが災害により失われたとしても米切手の価値が失われることはなかった。

最後に、米切手の過剰な発行により米切手とコメの交換を藩側が渋ったとしても、商人たちは米切手の持ち主はその藩の米価の下落を盾にして米切手の価値を守ることができた。例えば、藩側が米切手とコメの交換を拒否したとする。すると、ほかの商人はその藩の米切手を買ってもコメとは交換できないと思い、その藩との取引を嫌がるようになる。そうするとその藩のコメの価値が低下する。コメの価値が落ちるとということは藩の財政を圧迫することになる。そのため藩側は商人にコメと米切手の交換を迫られた場合、商人側の米切手とコメとの交換要求に応じるか和解に落ち着く場合が多かったようである。さらに、あまりにもひどい米

こうして諸藩は米切手を売ることによって得られた資金を本国や江戸にある藩邸に送り、米切手を得た米仲買達は得た米切手を転売、またはコメと交換して消費地で販売した。

このような形態の取引は現代から見ると合理的ではあるが、当時の考えからすると実態を伴わず、いたずらにコメの価格を左右させる不埒な商売であるとされた。ではなぜこの米切手が江戸時代の大坂堂島米市場で使われたか考えていきたいと思う。

切手の過剰発行があった場合には商人側の訴えにより奉行所や幕府の介入があり、事態は収拾した。この仕組みにより米切手の価値は守られていた。

#### 4. まとめ

上記のように、江戸時代の大坂堂島米市場で米切手が使われていた理由は、一つは実際に蔵屋敷にあるコメの量よりも多くの米切手が発行することによって資金の前借が可能であり、かつ買戻しができたから。二つ目は米切手が特定のコメと繋がっているわけではないので蔵屋敷のコメが失われたとしても価値が保証されていたから。三つめは米切手の過剰な発行により米切手とコメの交換を藩側が渋ったとしても、米切手の持ち主はその藩の米価の下落を盾にして米切手の価値を守ることができたから。この三つの要因によって米切手は実際のコメを介して取引するよりも便利であったため商人の多い大坂で使用された。

#### 5. 注釈

(1) 当時の年貢のほとんどはコメによって収められていた。

(2) 江戸時代、東日本では金が、西日本では銀が流通していた。大坂堂島米市場は西日本に属しているためここでの支払いは銀であった。

(3) コメ 10 石は約 1.5 トン、現在の価値に直すと約 270 万円

#### 6. 参考文献

- ・『大坂堂島米市場』 高槻泰郎 講談社現代新書 2018 年
- ・『武士の家計簿「加賀藩御算用者」の幕末維新』 磯田道史 新潮新書 2003 年
- ・『大阪府史第 5 巻近世編 I』 大阪府史編集専門委員会 大阪府 1986 年



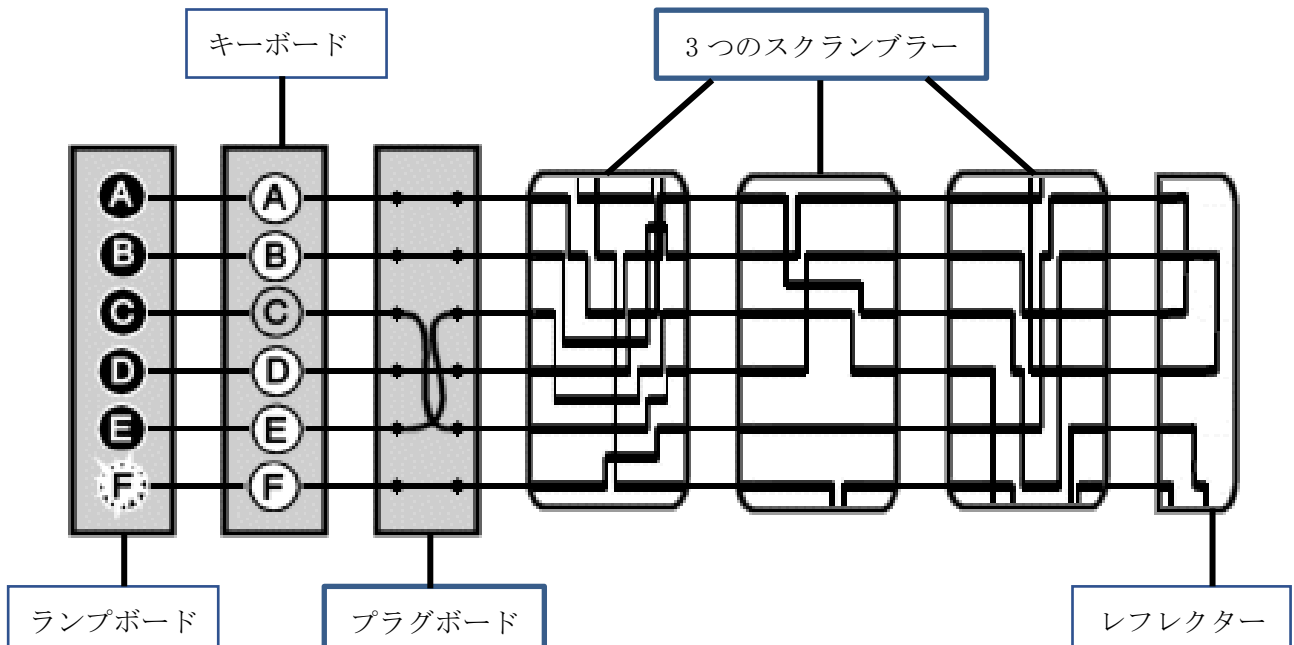
## 第二次世界大戦の暗号であるエニグマはなぜ解読されたのか

エニグマとは「謎」を意味する言葉で、第二次世界大戦時にドイツが採用した暗号機、またその暗号機によって暗号化された暗号のこと。これまでの暗号と違い、機械を通して暗号化していたという点でエニグマ機は当時最先端のものであった。エニグマを解く「鍵」は約1京通りも存在する。それに加えて、ドイツ側は1日に1回「鍵」を変えていた。この暗号機のおかげでドイツは連合国軍よりも優位に立つことができた。「鍵」を知らない人間にはエニグマは決して解読されないだろうと考えられていた。しかし、最終的にエニグマが解読されてしまったのはなぜだろうか。大きな要因は6つある。

### 暗号機エニグマ

まず、暗号機エニグマについて説明する。これはドイツ人のアルトゥール・シェルビウスが発明した機械である。キーボードを押すとランプボードのいずれかの文字にライトが点灯する。暗号の送信者はキーボードに文字を打ち込み、ランプボードの文字が点灯する順番を書きとめ、暗号化された文字をモールス信号に置き換えて無線で送信する。エニグマ機はプラグボードの配線とスクランブラーの順序、スクランブラーの位置を組み合わせるによって膨大な数の「鍵」を生み出した。例えば下の(図1)のようにキーボードにCを打つと、プラグボードとスクランブラー、レフレクターを通して暗号化され、ランプボードにFが光る。このように文字を暗号化していた。暗号機エニグマは日々ドイツ軍によって改良されていた。

(図1) エニグマ機の構造



エニグマ解読に大きく貢献したのはポーランドとイギリスである。それぞれ分けて説明していく。

### ポーランド

これにはフランスも大きくかかわっている。「暗号解読」の著者であるサイモン・シンはポーランドがエニグマを解読したことについて、こう述べている。

ポーランドがエニグマ暗号を解読できたのは、煎じ詰めれば三つの要素のおかげだった——恐怖、数学、そしてスパイ行為である。

サイモン・シンが述べているこの3つの要素についてスパイ行為、恐怖、数学、の順に検討していく。

### スパイ行為

第一次世界大戦のヴェルサイユ条約によってドイツの軍事費は大幅に削減され、多くの人が職を追われた。その中の1人がハンス＝ティロ・シュミットという人物である。彼の兄のルドルフは通信隊の隊長であり、エニグマの採用を決定した張本人である。兄ルドルフはハンス＝ティロに国家機密を扱う最高機密機関であったシフリーシュテーレという暗号局の職に就かせた。しかし、成功している兄への嫉妬と自分を解雇にした国家への恨みから、ハンス＝ティロはエニグマの機密情報を敵国であるフランスに売ってしまった。その額は1万マルク(約280万)であった。フランスはエニグマの使用法とエニグマの鍵使用説明書の写真を手に入れた。ハンス＝ティロの裏切り行為のおかげで、エニグマの配線を推理し、レプリカを完成させた。そこでフランスは機械の仕組みではなく、「鍵」の秘密を暴かなければならないと判明した。

### 恐怖

フランスは第一次世界大戦に勝利したことで自信過剰になっていた上に、エニグマが解読できるとは考えられず、解読に対する意欲は喪失していた。フランスはポーランドと同盟を結んでいたため、ポーランドにエニグマに関する文書を渡した。ポーランドはビュロ・シフルフという暗号局でエニグマ解読に取り組んだ。ポーランドは当時、フランスとは違い、東はロシア、西はドイツという状況で、いつ侵略されるかわからないという恐怖があり、必死に情報を収集しようとしていた。そのため、フランスが興味を示さなかったエニグマの解読にも必死に取り組んだ。

### 数学

ポーランドはビュロ・シフルフという暗号局でエニグマ解読に取り組んだ。これまで、暗号解読は言語学者の仕事だと考えられていた。しかし、エニグマ暗号は機械で作られていることから、ビュロ・シフルフではドイツ語を扱える数学者を雇用した。その数学者の1人であるマリヤン・レイェフスキはエニグマ解読に大きな貢献をした。エニグマの「鍵」を総当たり式に確認すれば宇宙の年齢よりも長い時間がかかるとされていたが、レイェフスキはスクランブラーの設定とプラグボードの設定という2つの問題を切り離し、「鍵」を探す作業を大幅に削減した。レイェフスキは「鍵」を見つけ出すための一覧表をたった1年で完成させ、ドイツが暗号を送ったその日のうちに「鍵」を突き止めた。その後、ドイツがメッセージの送信方法を少し変えたとき、レイェフスキの作った一覧表は使えなくなってしまった。彼は新しい一覧表を作り出す代わりに、ポンプという機械を作り上げた。この機械は暗号機エニグマを改造したもので、「鍵」の設定を総当たり式にチェックし、正しいものを自動的に探し当てることができる。ポンプを6台稼働させることによって、約2時間で「鍵」を突き止めることができた。

しかし1938年、ドイツ側がエニグマの安全性をさらに強化した。スクランブラーの数を2つ増やし、プラグボードの数も4本も増やした。「鍵」の設定をチェックする資金も時間もなかったため、ポーランドはドイツの

暗号を解読することができなくなってしまった。そこで、同盟国であるイギリスとフランスにエニグマのレプリカ 2 台とポンプの作り方を説明した書類を提供した。

## イギリス

イギリスが最終的に暗号を解読できたのは、エニグマで暗号化されたメッセージの定型を見破ったことと、資金力、「鍵」を盗んだことの 3 つが大きな要因である。ポーランドの場合と同じように順に検討していく。

## エニグマの定型

ポーランドのおかげで、イギリスは暗号解読者として数学者を雇う重要性を理解した。イギリスはこれまで、言語学者や古典学者が暗号解読者の多数を占めていたが、新たに数学者はもちろん、科学者やチェスの名人、クロスワード・マニア等、様々な分野の専門家を雇った。彼らはブレッチレー・パークという場所で暗号解読に取り組んだ。エニグマ解読に大きく貢献したのはアラン・チューリングという人物である。チューリングは今までに解読されたメッセージをみて、多くの定型をもつことに気づいた。例えば、ドイツ側は毎日午前 6 時過ぎに気象情報を暗号化して送っていた。そこにはドイツ語で「天候」という意味の *wetter* という言葉が含まれている。それを利用して解読したが、それでもできないときはプラグボードを差し替えたり、スクランブラーを交換したりしてチェックを続けた。しかしチェックする「鍵」の設定は 159,000,000,000,000,000,000 通りもあり、1 日でチェックすることは不可能であった。そこでチューリングはポーランドのレイェフスキのようにスクランブラーの設定とプラグボードの配線を別々に考えることにした。

## 資金力

チューリングのアイデアを具現化させるためにはさらに多くのポンプが必要であった。当時のイギリスの首相であったチャーチルに手紙で資金と人員がさらに必要である旨を訴えた。イギリスはポーランドと違い、資金があったため、チャーチルはすぐにそれを承諾した。15 台のポンプを導入し、さらにブレッチレーの人員を 6 人増やした。それによって、イギリスはエニグマを解読することができた。

## 「鍵」を盗む

ドイツの通信網はいくつかに分かれており、なかでもドイツ海軍の暗号の解読は特に難解であった。ブレッチレーは最後まで海軍のエニグマは解読できなかった。ポーランドでの前例から、暗号解読が自力でできなければスパイ活動のような行動をしてでも「鍵」を手に入れようと考えた。そこでイギリスは「鍵」を盗むという手段に出た。海軍情報部のメンバーであったイアン・フレミングは、ドイツ人になりすましたイギリス人がドイツの船に乗り込み、「鍵」を知るために必要な情報が含まれているコードブックを奪取するという作戦を立てた。このとき、コードブックが奪われたとドイツが知ると、エニグマ機の仕組みを変え、解読がより困難になるため、イギリスはコードブックを手に入れた後に必ずドイツの船を沈没させるという手を打った。こうして海軍のエニグマも解読された。

イギリスは暗号解読後も徹底してドイツに暗号が解読できたことを悟られないように、5 隻ある船の 3 隻のみ攻撃するように指示する等、工夫を施した。エニグマ解読のおかげで、戦争終結を約 3 年早めることがで

きたのだと考える人もいる。そんなエニグマを解読できたのは、サイモン・シンが述べたことを含めてこの6つが大きな要因である。

#### 参考文献

図 Enigma Machine Technical Details

[https://www.electricinca.com/56/annotations/enigma\\_details.htm](https://www.electricinca.com/56/annotations/enigma_details.htm) 2021年1月22日 最終閲覧

- 1 暗号解読 [上] サイモン・シン
- 2 エニグマ アランチューリング伝 [上]・[下] アンドルー・ホッジス
- 3 c-net エニグマ <https://japan.cnet.com/article/35115908/>

## SNS の誹謗中傷をなくすには

### [はじめに]

近年 SNS の普及に伴って、インターネット上での誹謗中傷が深刻な社会問題となっている。そのため、政府では以下のような誹謗中傷対策がなされている。その対策は以下の通りである。

2020 年 4 月 30 日「発信者情報開示の在り方に関する研究会」開始

8 月 7 日「インターネット上の誹謗中傷への対応の在り方に関する緊急提言」取りまとめ

9 月 1 日「インターネット上の誹謗中傷への対応に関する政策パッケージ」取りまとめ

12 月 21 日「発信者情報開示の在り方に関する研究会」最終とりまとめ

しかし、誹謗中傷や炎上に関するニュースは後を絶たない。そこで、SNS で誹謗中傷が起りやすい原因を考え、そこからどうすれば SNS の誹謗中傷を減らすことができるかどうかを考えた。

### [定義]

SNS は Social Networking Service の略であり、ここでは、本名を設定することなく匿名で投稿できる、Web 上でコミュニティを形成するサービスのことと定義する。

### [考察]

#### (1) 投稿までのスピード

まず、SNS では、対面して相手を見とめて対話するときには言わないような、悪質な書き込みが多い。これは、SNS の書き込みが簡単かつ迅速に発信されることに関係すると考えられる。藤原智美 著「スマホ断食」によれば、インターネットの世界では、「多少の間違いより、ともかくすぐに発信することが正しい」とみなされている。つまり、インターネットの世界において情報は正確さよりもスピードが求められているのである。

それゆえ、怒りが鎮まる前に直ちに攻撃的な意見を投稿するようになる。

#### (2) 匿名性

SNS での悪質な書き込みは、SNS が匿名であることに関係すると考えられる。「没個性化」により、無責任な行動や攻撃的な行動が出現しやすくなる。「没個性化」とは、自分を個別的な存在と捉えず、社会からの批判に対する意識が低くなることである。

アメリカの心理学者であるフィリップ・ジンバルド 著『ルシファー・エフェクト ふつうの人が悪魔に変わる時』の中で、「没個性化」についての実験を行った。実験内容は、被害者役として実験に協力した若い女性に対して、被験者である女子大学生がどのくらい電気ショックを与えることができるかを試すものであった。被験者は 4 人ひと組で実験に参加し、頭巾とゆったりした白衣を身にまとうように指示された。頭巾には目と口の位置に小さな穴があいているだけで、お互いに誰なのかを識別することができなかった。被験者の半数がこの没個性化条件で実験を行い、残り半数は比較対照のために、没個性化が生じにくいように互いに誰なのかを識別できるように名札をつけて実験を行った。被験者には、あらかじめ若い女性が面接で話している内容を録音したテープを 2 種類聞かせていた。1 つは、けなげで心優しい女性であるという良い印象を与える内容で、もう 1 つは自己中心的で気に入らない印象を与える内容であった。実験が始まると、被験者はブースの窓からマジックミラーを通して、見知らぬ若い女性と研究者が話しているようすを観察し

た。被験者には、観察対象の若い女性はストレス環境下における創造性に関する研究の協力者として電気ショックを受ける実験に参加するために来ている、ということ伝えた。そしてこの若い女性の気持ちをより正しく判断するために、電気ショックを与えるように指示した。なお、電気ショックは実際には与えられなかった。被験者がボタンを押すとランプがつく仕組みになっており、電気ショックを受ける役割の若い女性はランプがつくのを見て、顔を歪めたり身をくねらせたりして苦痛のようすを演技した。実験の結果として、没個性化条件の被験者は、名札をつけた条件の被験者よりも2倍の電気ショックを与えていた。没個性化条件の被験者は、印象の善し悪しに関係なく、対象の女性に多くの電気ショックを与えた。さらに、セッションの回数が進むにつれて電気ショックを与える時間を長くしていったこともわかった。一方、名札をつけた条件の被験者は、悪印象の女性に対しては好印象の女性に対してよりも多くの電気ショックを与える調整を行っていた。これに比べると、没個性化条件の被験者の電気ショックの与え方は、過度に攻撃的であるように感じられる。

実験結果より、自分がどこの誰であるかを周囲の人々に知られない状況では、自分の衝動や欲望に身を任せてしまうといえる。

したがって、SNSでは「没個性化」によって誹謗中傷が起こりやすくなっていると考えられる。

### (3) 欲求不満

次に、人は自分の心が満たされないうちに攻撃行動を起こす。これはフラストレーション・攻撃仮説と呼ばれる。フラストレーションが高まると共に、不快な生理的緊張と情動的な怒りも高まる。フラストレーション・攻撃仮説とは、その不快な緊張や怒りを解消する手段として攻撃行動が発現することである。不快な情動を発散し、生物学的な緊張を緩和する

カタルシス効果が攻撃行動に期待される。カタルシス効果とは、対処困難な衝動や欲求、感情や葛藤などを表現することを通じて意識化、発散することで、症状や問題行動が消失する現象のことである。

結論として、不快な緊張や怒りは他者への攻撃につながる。

### [結論]

以上より、SNSの誹謗中傷には、迅速に発信されること、匿名であること、フラストレーションの高まることに関係している。ここから、以下の解決策が考えられる。

- (1) 投稿までの時間をおく
- (2) 個人を特定できないアカウントでの悪質なコメントを避ける
- (3) 自分の欲求を満たす

ここでは、自分の欲求を満たすことに焦点を当てて解決策を提示する。具体的には、アサーティブ・コミュニケーションの実践である。アサーティブ・コミュニケーションとは、自分と相手の両方を尊重するコミュニケーションの方法である。例えば、自分がノートを使って勉強しようと前もって計画していたとして、当日に友人からそのノートを貸してほしいと頼まれたとする。計画が狂う不安を感じつつも友人にノートを貸し、自分が勉強できないことを悔やむのは非主張的なコミュニケーションであるといえる。自分がノートを使うからと自己中心的に強く断り、相手との関係が悪くなるのは攻撃的なコミュニケーションであるといえる。アサーティブ・コミュニケーションは、自分が今日勉強しようと決めていたからノートを貸せないと断り、次からは前もって頼んでくれれば貸せると伝える。そうすることで、相手はノートを貸してもらえなかった理由に納得でき、自分自身も計画通りに勉強できることに満足する。自分と相手の関係が悪くなることもない。アサーティブ・コミュニケーションを実践することで、どんな対人関係の場であっても敵意なく自分の考えや気持ちを伝えることが

できる。よって、アサーティブ・コミュニケーションの考え方を意識すれば、欲求不満にならず攻撃行動を起こさなくなると考えられる。

以上のことを心がけることが、SNS での誹謗中傷をなくしていくことにつながるといえる。

#### [参考文献]

藤原智美(2016)『スマホ断食』潮出版社

フィリップ・ジンバルドー, 鬼澤忍 中山宥(翻訳)(2015)『ルシファー・エフェクトふつうの人が悪魔に変わるとき』海と月社

根本橋夫(2003)『『満たされない心』の心理学』洋泉社

平木典子(2009)『アサーション・トレーニング さわやかに自己実現のために』金子書房

山口 裕幸(2016)第71回 信頼性の高い行動観察を行うために(5)―「他人の目」からの解放は人間行動にいかなる影響を及ぼすか―(<https://www.ogis-ri.co.jp/column/kr/247.html>)

総務省 インターネット上の誹謗中傷への対策

([https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/d\\_syohi/hiboutyusyou.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/d_syohi/hiboutyusyou.html))

湯川彰浩(2018)心理学用語集 サイコタム(<https://psychoterm.jp/profile>)

一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 JAICO(2019)働く人の心ラボ もっと心を知りたい人のために([https://blog.counselor.or.jp/business\\_p/f214](https://blog.counselor.or.jp/business_p/f214))

## 今後、関東・近畿とともに視聴率を高く維持できるテレビ番組とは

### 1. はじめに

関東と近畿では、放送されているテレビ番組も違えば、人気のあるテレビ番組の出演者も異なる。現在テレビ局では番組制作の際、関東・近畿のどちらを対象とするのかで、番組内容に差異が生まれている。そこで、関東・近畿ともに視聴率を得られ、人気番組となることができそうなテレビ番組について考えてみた。

### 2. 問いと答え

今後、1都6県の関東地方・2府4県の近畿地方<sup>1</sup>の両地方で、ともに視聴率を高く維持できるテレビ番組とは、平日19時台から22時台に民放で放送が開始され、ゲーム形式・ドラマ型のバラエティ番組である。

本研究では、1980年から2014年まで続く視聴時間や視聴率高位番組にみられる特徴を分析した後、2015年から2019年までにNHKが行った『全国個人視聴率調査<sup>2</sup>』の調査結果に基づいて、論拠を紹介する。

### 3. 共通する視聴時間帯

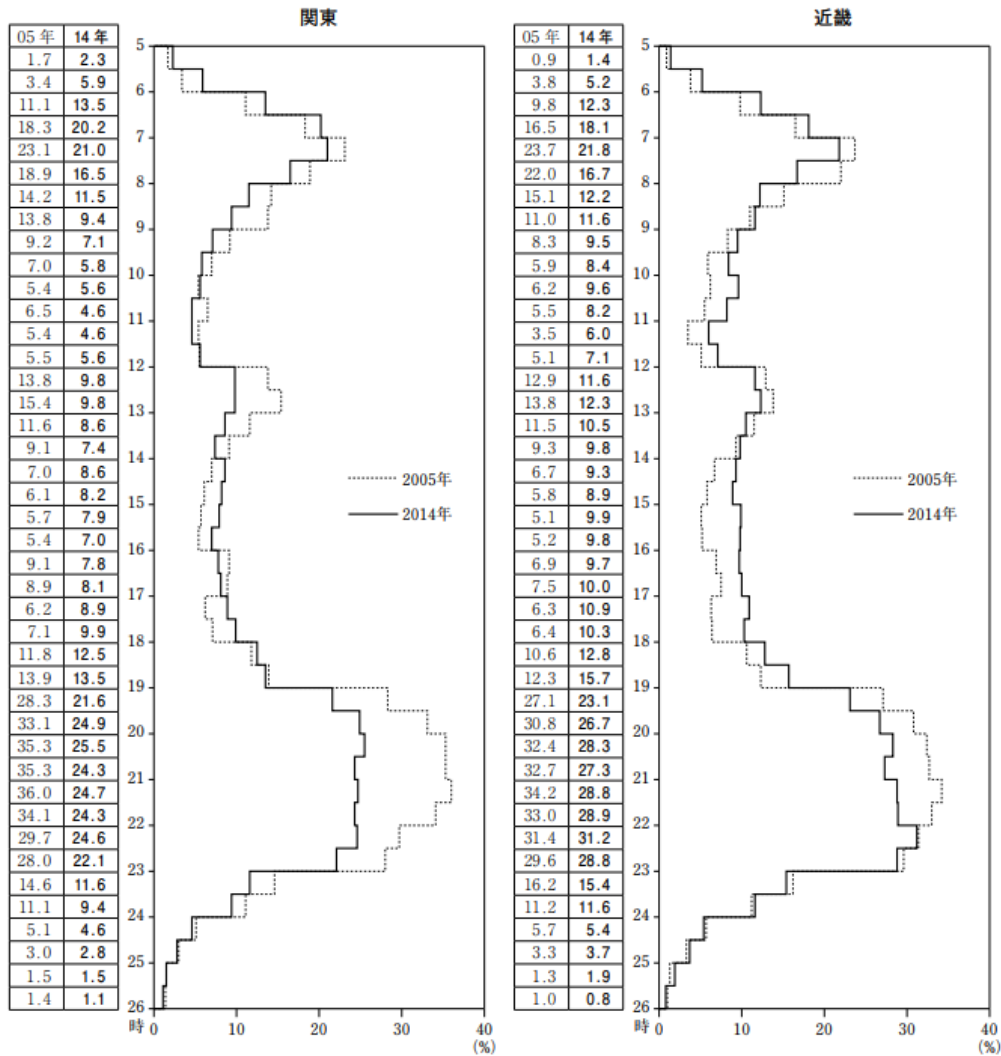
まず、1980年から2014年までの40年間の平日30分ごとの視聴率では、19時台から22時台は前後1時間と比較して10%程度高い。そのうち、19時から21時は、ゴールデンアワーと称される時間帯である。小学館『新選国語辞典 第八版』では、ゴールデンアワーは以下のように説明されている。

ラジオやテレビで、一日のうち聴取・聴視の率のいちばん高い時間。午後七時から九時ごろ。(P.409、L.11~13)

この中では21時までとされているが、近年の視聴調査結果に基づくと、22時台まで視聴率が高い。また、年別視聴時間について、NHKテレビ計は関東・近畿ともにほとんど変化は見られず、民放計とテレビ全局計の変化の仕方が共通していたため、視聴率の変化は民放計に基づくものとする。

NHK放送文化研究所による『近づいた関東と近畿のテレビ視聴』、『テレビ視聴の東西差』、『テレビ視聴の東西差を探る』では、1980年から2014年までのほぼ5年ごとで、平日の民放テレビ計30分ごとの平均視聴率がグラフ化されている。表1では、関東と近畿の民放テレビ計における、平日平均での30分ごとの平均視聴率が2005年と2014年で比較して示されている。両地域ともに、19時台から22時台においては、2014年の関東を除いて、視聴率が25%を超えていることが多い。また、表2は、関東と近畿の民放テレビ計の平日平均での視聴時間を、午前(5時~12時)、午後(12時~18時)、夜間(18時~24時)に分けて、2005年と2014年で比較したものである。これによると、2014年の関東では、平日夜間の視聴率自体が平均で6%低下している。そのため、19時台から22時台においても同様に視聴率が低下しているのだ。以上の結果から、19時台から22時台に放送を開始するテレビ番組は、視聴率を高く維持しやすい環境にある。





〈表 1<sup>3</sup> 民放テレビ計 30 分ごとの平均視聴率(平日平均、関東・近畿)〉

		午前	午後	夜間
関東	2005年	0:43	0:32	1:33
	2014年	0:40	0:31	1:12
	増減	-0:03	-0:01	-0:21
近畿	2005年	0:41	0:29	1:30
	2014年	0:44	0:37	1:24
	増減	0:03	0:08	-0:06

〈表 2<sup>3</sup> 民放テレビ計の時間帯別視聴時間(平日平均、関東・近畿)〉

#### 4. 視聴番組の差異と傾向

次に、両地域で視聴率が高い番組は、近畿のテレビ視聴の好みに近いものが多い。表 3、表 4 は、それぞれ 1980 年から 1999 年、1990 年から 2014 年における、関東・近畿に共通して視聴率の高い番組トップテンに入った番組の本数を示している。

80年	4本	85年	7本	90年	2本	95年	6本
81	5	86	6	91	5	96	6
82	3	87	3	92	5	97	4
83	5	88	4	93	5	98	5
84	6	89	6	94	4	99	6

〈表 3<sup>4</sup> 関東・近畿 高位 10 番組における共通本数 1980~1999〉

90年	2本	95年	6本	00年	5本
91	5	96	6	01	4
92	5	97	4	02	6
93	5	98	5	03	4
94	5	99	6	04	5

〈表 4<sup>5</sup> 関東・近畿 高位 10 番組における共通本数 1990~2004〉

これらによると、1980年代は、関東・近畿に共通して視聴率の高い番組トップテンに入った番組数は3本から7本の間で増減が激しい。しかし、1990年から2004年にかけて、共通の本数は5本前後と安定しているため、視聴の好みは近づいている。

また、1980年代には、関東は「朝・NHK・報道型」、近畿は「夜・民放・娯楽型<sup>6</sup>」という嗜好の傾向があった。しかし、1990年には関東のみでトップテンに入った番組は、「夜・民放・娯楽型」に変化している。2004年においては、関東でNHK総合の番組がトップテンの半数を占めることもあったが、1999年と同様に「夜・娯楽型」の番組が一定数占める傾向に変化はない。一方、近畿では1980年代から2004年において、視聴の嗜好傾向が依然として変わらない。関東のテレビ視聴の好みは近畿のそれに近くなってきたのだ。

『テレビ視聴の東西差を探る』によると、2014年調査時に、関東と近畿で比較的視聴率が高かったものを比較したところ、関東よりも近畿でよく見られている番組は数本見受けられた。しかし、「関東でよく見られているが近畿ではあまり見られていない番組」は高位番組の中には見られなかった。つまり、関東の視聴嗜好が近畿のそれに似てきたため、両地域で視聴率が高く維持できる番組は、近畿で長く続く視聴嗜好を満たしたものであればよい。

## 5. 今後のテレビ視聴

さらに、NHK放送文化研究所が年2回発表している『全国個人視聴率調査』の2015年から2019年の結果によると、関東と近畿の各地域で視聴率が高かった計200番組のうち、19時台から22時台に放送開始時刻が含まれていた番組は、民放計のみで97番組であった。この結果から、1980年から2019年においても一日のうちで視聴率が高い時間帯に大きな変化はない。

また、計200番組のうち、バラエティ番組が最も多く58本、続いてドラマが36本あった。ドラマは3か月で放送が終わるものが多いうえに、出演者によって視聴率が大幅に変化するため、安定した視聴率は期待できない。それに対して、バラエティ番組は長期にわたって放送され、番組内では出演者がほぼ固定されているため、安定した視聴率を期待できる。さらに、バラエティ番組の中でも、冒険バラエティや特に分類されることのないバラエティ番組が、関東・近畿ともにトップテンを占めた数が多かった。バラエティ番組の中で、近畿でのみトップテンに入っていた分類としては、「VS魂」等の出演者たちがゲームに取り組んで勝ち負け

を争うゲームバラエティ、「痛快 TV スカッとジャパン」にみられるような、番組内にショートドラマ等の物語風の VTR が放送されるドラマ型バラエティがあげられる。関東の視聴傾向が近畿に似てきた今、関東では未だ視聴率が高くはないこれらのジャンルの番組が両地域で視聴率を伸ばしていくのだ。

## 6. おわりに

上記のように、今後 1 都 6 県の関東地方・2 府 4 県の近畿地方の両地域で、ともに視聴率を高く維持できるテレビ番組とは、平日 19 時台から 22 時台に民放で放送が開始され、ゲーム形式やドラマ型のバラエティ番組である。その論拠を 3 点紹介した。一つ目は、1980 年から現在にかけて、19 時台から 22 時台の視聴率は 25% を上回ることが多く、一日の中で最も高い点である。二つ目は、関東のテレビ視聴の好み近畿の好みに近づいてきたうえ、両地域で夜に民放で放送される娯楽番組がよく見られるようになった点である。三つ目は、2015 年から 2019 年にかけて、近畿でゲーム形式・ドラマ型のバラエティ番組の視聴率が高い点である。

今後の課題として、関東・近畿の視聴率高位番組の出演者についても着目し、より多くの観点から視聴率を高く維持できる番組を考えていきたい。

## 7. 参考文献

- ・『近づいた関東と近畿のテレビ視聴』放送研究と調査 白石信子/居駒千穂 2000 年 1 月
- ・『テレビ視聴の東西差』放送研究と調査 白石信子/増田智子 2004 年 11 月
- ・『公共放送と娯楽番組』放送研究と調査 横山滋 2007 年 7 月
- ・『テレビ視聴の東西差を探る』放送研究と調査 舟越雅 2015 年 7 月
- ・『2015 年 6 月全国個人視聴率調査の結果』NHK 放送文化研究所 2015 年 7 月 14 日
- ・『2015 年 11 月全国個人視聴率調査の結果』NHK 放送文化研究所 2015 年 12 月 15 日
- ・『2016 年 6 月全国個人視聴率調査の結果』NHK 放送文化研究所 2016 年 7 月 19 日
- ・『2016 年 11 月全国個人視聴率調査の結果』NHK 放送文化研究所 2016 年 12 月 20 日
- ・『2017 年 6 月全国個人視聴率調査の結果』NHK 放送文化研究所 2017 年 7 月 18 日
- ・『2017 年 11 月全国個人視聴率調査の結果』NHK 放送文化研究所 2017 年 12 月 19 日
- ・『2018 年 6 月全国個人視聴率調査の結果』NHK 放送文化研究所 2018 年 7 月 17 日
- ・『2018 年 11 月全国個人視聴率調査の結果』NHK 放送文化研究所 2018 年 12 月 18 日
- ・『2019 年 6 月全国個人視聴率調査の結果』NHK 放送文化研究所 2019 年 7 月 16 日
- ・『2019 年 11 月全国個人視聴率調査の結果』NHK 放送文化研究所 2019 年 12 月 24 日
- ・『新選国語辞典 第八版』小学館 2006 年 2 月 10 日

<sup>1</sup>関東・近畿の分け方は、『全国個人視聴率調査』での区分に倣った。

関東地区 1 都 6 県 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川  
近畿地区 2 府 4 県 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

<sup>2</sup>全国個人視聴率調査の詳細を以下に記す。

調査方法 配布回収法による 24 時間時刻目盛り日記式  
調査対象 全国 7 歳以上の男女

調査相手 住民基本台帳から層化無作為 2 段抽出 3,600 人(12 人×300 地点)

<sup>3</sup>『テレビ視聴の東西差を探る』 2015 年 7 月

([https://www.nhk.or.jp/bunken/research/yoron/pdf/20150701\\_9.pdf](https://www.nhk.or.jp/bunken/research/yoron/pdf/20150701_9.pdf))

<sup>4</sup>『近づいた関東と近畿のテレビ視聴』 2000 年 1 月

<sup>5</sup>『テレビ視聴の東西差』 2004 年 11 月

<sup>6</sup>「娯楽型」の定義について

『公共放送と娯楽番組』 2007 年 7 月

([https://www.nhk.or.jp/bunken/summary/research/report/2007\\_07/070704.pdf](https://www.nhk.or.jp/bunken/summary/research/report/2007_07/070704.pdf))

「国による番組分類の違い」における NHK の娯楽番組の分類の仕方に基づき、報道番組、教育番組、教養番組以外の番組を娯楽型に含める。

# アニミズム的思考から見る日本の妖怪

## 1. 要旨

アニミズムの考え方と日本の妖怪との関係の有無を、三種類の妖怪を例に挙げ検証する。また、時代の変化とともにその関係がどのように変化したのかを、人と自然との関わりを通して考察する。

## 2. 目的

アニミズムが日本の妖怪と関係があるのか。また、時代の変化とともに、アニミズムと妖怪の関係にはどのような変化があるのか。

後述のアニミズム論を軸に、今回は三種類の妖怪を例に挙げて比較、考察する。

## 3. アニミズムについて

アニミズムとは、「靈魂」「氣息」「生命」を意味するラテン語の「アニマ」に由来する。生物・無生物を問わず、自然界の万物に靈魂が宿るとする考え方のことである。アニメーションという言葉の語源にもアニマがある。エドワード・B・タイラーがこれを唱え、アニミズムは靈的存在への信念であり、宗教の最小定義であるとした。そして、宗教はアニミズムという原初的信仰から多神教、一神教へと発達する宗教進化論を主張した。

タイラーや当時の学者たちはこの語を神観念が発達する前の原始(“未開”)の文化に存在する未発達の宗教の形態としてとらえた。「未開人」は自然物に靈魂が宿ると錯覚したのだとし、その非科学的思考を指すのにこれを使った。そのため 20 世紀後半には、学会ではアニミズムは差別語とみなされ、批判されるようになった。

しかし、アニミズム論が完全に廃れることはなかった。現実では、御神木といったように山川草木・万物に靈的なものを感じ取るあり方が今も各地に残っている以上、その命名はなお有効性がある。実際日本では、アニミズムは差別語というよりポジティブな意味合いの認識が強い。この日本のアニミズムについて考察したのが岩田慶治である。彼は神観念について体験的に論じ、自然や生業などを含めた総合的な皮革人類学の観点からアニミズムを再考した。彼は自然と人間とのあいだにある呼応の関係(呼べば応える、見れば見える、というようなもの)に注目する。そしてアニミズムの根本は自然にもともと神が宿っていることを認め、神がたくさんいる自然を尊重しながら生きることであると主張した。彼の唱えたアニミズム論はネオ・アニミズムと呼ばれる。

本論では岩田慶治が唱えたアニミズムの考え方を「アニミズム的思考」として妖怪との関わりを以下に述べていく。

## 4. 例① カツパ

一つ目はカツパである。この妖怪は人馬を水中に引きずり込んで肝や尻子玉を抜いて腑抜けにするなどの危害を加える。4~5歳の子どもの背格好をしている。虎のように口鼻が突き出しており、眼光が鋭い。頭頂に水をためる凹み(皿)があり、背中に甲羅を背負っている。主に河川・湖沼などの水界を住処とし、カツパの住処は「河童淵」と呼ばれる。

もともとカツパの原型はガラツパとされており、4 世紀に中国から渡来してきたとされる伝説が江戸時代にある。4 世紀末に中国江南地方で道教集団による大規模反乱が起こり、その混乱により発生した難民が渡

来してきた。その時に道教信仰に関する伝承を持ち込み、ガラツパとされたという説や、渡来してきた中国人をガラツパと認識したという説がある。

ほかにもカッパと同じような水の怪にまつわる伝説は日本史のかなり早い段階から全国各地に広まっている。例えば、メドチと呼ばれる青森県の水の精は、現在はカッパの一種とされている蛟(みずち)が原型となっている。

こうしてみると、多少姿かたちを変えようとも全国各地で水の怪についてアニミズム的思考があったことが推測できる。また、カッパからの秘薬の伝承などをみると、神秘なる異郷からの使い魔としてカッパを扱う日本人の異郷観・母子神信仰の形跡もわかる。

## 5.例② 鬼

二つ目は鬼である。もともと鬼という字は人が顔を覆った姿からきている中国の象形文字である。顔を覆う、つまり死者の顔を覆って葬ることから死者や死者の霊を表す字となった。そこから派生して生きている者と普通にコミュニケーションをとれない存在をさすようになった。また日本語の「おに」という読みの語源は隠れているものという意味の「陰(おん)」である。「鬼」という字と「おに」という読みが合わさり、日本独自の形に成長していった。

鬼といっても様々な種類があり、今回は大きく二つに分けて考える。人から鬼へと変化したものと、魔物としての鬼である。前者は怨念や憎悪などの負の感情を深めていった結果鬼へと変化を遂げてしまったものである。菅原道真や崇徳院などが例として挙げられる。しかし、彼らのように多く祀られることで人々を守護する神に転生もする。後者は人間の裏返しのような存在とされ、天災や疫病などの不幸を招くものである。今回はこの後者の鬼に焦点を当てて考えていく。

もともと鬼は荒れる魂とされ、不幸をまねく。この荒れる魂というのは言魂の怒りの感情のことである。言魂とは人間の発する言葉に霊が宿るという考えからくるもので、喜怒哀楽の感情をもち、周囲にあるものに影響を及ぼすと考えられていた。つまり、怒りの言魂から鬼へと変化したのである。そこから鬼もアニミズム的思考によるものであるといえる。また、鬼は時代の流れの中で大きく変化を遂げてきた。平安時代の鬼は現在の我々がイメージしている鬼(虎のパンツをはき、角が生え、金棒を持っている鬼)とは全く異なる。当時の鬼は原因不明の怪異をなすもの全体を包括するような漠然としたものであり、病気の原因とされることも多かった。姿も統一されておらず、人の姿に変身できる能力を持つものもいた。これらは陰陽道によって払い、防がれていた。室町時代になると、現在我々がイメージする鬼が描かれるようになる。そして鬼は退治されるものへと変わっていく。江戸時代以降はキャラクター化が進み、娯楽の対象としてとらえられるようになる。こうしてみると、古代・中世は厄災の原因や怪異を鬼という形に置くことで、不条理感・不安感を解消させており、それがより具体的に明確化されていくことで、恐れるものから退治する者、そして楽しむものへと変化していった。

## 6.例③付喪神

三つ目は付喪神である。付喪神は本来「九十九髪」と書いて白髪の老婆を意味していたが、転じて古くなった道具類を指すようになった。さらにそれらには靈魂が宿るとみて、異形のものに化けると考えるようになった。

1458年頃に成立し、後世の絵巻物に大きな影響を与えた『付喪神記』では、感謝もされずに捨てられた道具たちが付喪神として描かれている。これらは鬼に化ける途中段階の為、手足は生えながらも道具としての原型をとどめている。完全な鬼となってしまうと外見から元の姿を推し量ることはできず、見分けるのは非

常に難しい。そのため、付喪神は個体を識別できるという点で注目され、江戸時代ではキャラクター化が一気に進んだ。

このように技術の産物である道具類が畏敬の対象となるというのは、都市化の進んだ中世ならではの発想である。後に8で論じるように、付喪神は確かにアニミズム的思考によるものである。

以上の三つの例から、多くの日本の妖怪はアニミズム的思考と密接な関係がある。

## 7.時代と妖怪の変化

次に時代の変化とともに妖怪とアニミズム的思考の関係がどのように変化したのかについて着目する。

古代では妖怪などの異形の出現は災害や疫病と強く結びつけられていた。そのため怪異の存在を描くことはそれらと呼び寄せ、凶事を実現させかねない呪的行為であった。妖怪は信じられていたがゆえに、造形してはいけないものであり、真剣な恐怖の対象であった。

中世では、自社や武士団が成長し世俗勢力として台頭し始めた。彼らは人々から支持を得るために、高僧の靈験譚や妖怪退治の武勇譚を恐ろしい、かつわかりやすい絵画に落とし込んだ。妖怪は不吉なものから、高僧や英雄が対峙し退散させる、その偉業を引き立てる困難の対象として描かれるようになった。

江戸時代に入って妖怪の立場は大きく変わる。江戸時代は文化・芸術の飛躍的發展に伴い、人間が人間という存在に自信を持ち始める（ヒューマンイズムの隆盛）の時代である。「野暮と化け物は箱根から西（粋な江戸っ子の土地である江戸では野暮な人間と化け物は同じように存在しない）」という文句から「いるとは言われているが、本当はいない」という子供だましの存在であるという共通理解があることがわかる。さらに、「弁惑物」という随筆のジャンルが流行した。これは市井で噂されている化け物話などをとりあげ、それらを目撃者の錯覚や幻覚の所産だと合理的に解説していく著作である。また、「いるかもしれない」と思われた化け物（典型的なものはカッパ）などは、それがどのような「動物」であるかを講究しようとした、「本草学（江戸時代の博物学）」の観点からその正体を明らかにする活動も活発になされた。こうして妖怪は「いない」もの、「いる」のは未確認の「生き物」という考え方が浸透していく。そして、「いない」のならばどのように扱っても害はないだろうということになり、妖怪は娯楽の対象となる。島山石燕の『画図百鬼夜行』を皮切りに絵画、浮世絵、芝居、落語の題材としても使われていく。幅広い年齢層から人気で、『黄表紙』という大人向けの草双紙やこどものおもちゃ絵にも題材として多用されていた。こうして妖怪は、恐怖、現実性の欠如により、近世の文化の中で「人間に笑われる異形のキャラクター」として造形されるようになった。

## 8.アニミズム的思考と妖怪の関係の変化

このように見ていくと、妖怪とアニミズム的思考の関係が時代とともに変化してきたことが考察できる。

古代では、妖怪などの異形が災いと結びつけられ強く恐れられていた。また、人間の力が弱く自然に対する大きな畏れがあったことから、妖怪とアニミズム的思考とも強く関係していた。

中世に入ると、人間は少しずつ力をつけ始め、神仏の力を借り、験力や武力で妖怪を退治できるという自信を持ち始める。しかし、先述の付喪神のような妖怪が新たに描かれていることから、アニミズム的思考が関連している。

近世の江戸時代に入ってから、妖怪の立場の変化により、アニミズム的思考との関係も大きく変化する。先述のように文化・技術の発展に伴い、妖怪を合理的な思考の元、その正体を解き明かそうとする姿勢が見受けられる。これは人間の技術によって自然の一部をコントロール（河川の氾濫抑制、灌漑技術の発達）することが可能となったためである。そしてその後、娯楽としての妖怪文化が花開く。つまり、人間の自然をコントロールする技術力が自然に対する畏れの減少、合理的思考を促し、妖怪の立場を娯楽的方向へと変

化させていった。妖怪は「恐れるもの」から「愛でるもの」へと変化したのである。それとともに、妖怪にあったアニミズム的思考も、自然への「信仰」の観念が抜け落ち、「キャラクター化」や「擬人化」といった要素の方が強まっていることがわかる。

## 9. 結論

アニミズム的思考と妖怪には古代から強いつながりがあった。しかし、時代が変化し人々の自然に対する畏れが減少すると、妖怪は娯楽の対象へと変化した。それに伴い、アニミズム的思考の「信仰」の要素が抜け落ち、「キャラクター化」「擬人化」の要素の方が強まっていった。

## 10. 参考文献

- レザー・アスラン, 須英子 (翻訳) (2020) 『人類はなぜ〈神〉を生み出したのか?』 文藝春秋  
『宗教の世界史Ⅰ 宗教の誕生 宗教の起源・古代の宗教』 山川出版社  
村武精一 (1997) 『アニミズムの世界』 吉川弘文館  
藤原聖子 (2011) 『教科書の中の宗教—この奇妙な実態』 岩波新書  
小松和彦 (2013) 『妖怪学の基礎知識』 角川学芸出版  
原田実 (2008) 『日本化け物史講座』 楽工社  
『妖怪の本』 学習研究社  
『妖怪 憑依 擬人化の文化史』 笠間書院



## 松下村塾から学ぶ現代におけるリーダーシップ育成方法

江戸時代幕末における吉田松陰の松下村塾では、初代総理大臣の伊藤博文をはじめ、高杉晋作や桂小五郎などのその後の日本を率いたリーダーたちを多く輩出している。本研究では、これらのリーダーたちが受けた教育法を現代の日本の中高生の教育にも取り入れることで、これからの日本の社会を担っていく世代にリーダーシップを持つ人材を多く誕生させることができるということを立証していく。

### 1.はじめに～『リーダーシップ』の定義について～

本研究でのリーダーシップとは、絶対的な主導権を持ち、集団を権力で率いていく能力ではなく、これからの社会で求められているような多くの人々が持つべき能力とする。例えば、以下のような能力が挙げられる。

- ・自分自身の考えを他者に伝える能力
- ・集団内のメンバーが活躍しやすい環境を作り出せる能力
- ・他者を理解し、その可能性を引き出す能力

また、参考文献「吉田松陰 松下村塾 人の育て方」より、松陰の教育は上記のような能力を育てるものだったという説がある。よって、その教育を受けた松下村塾出身のリーダーたちもこれらの能力を備えているものと考えられる。

### 2.松下村塾の教育法 1 切磋琢磨し合う学び

まず、学生たちが議論しながら切磋琢磨し合い、主体的に問題を発見し、解を見い出していくという教育法が効果的である。吉田松陰の教育方針の1つとして「リーダーとなる個人が優れているのではなく、集団の中で切磋琢磨することでリーダーが生まれる。よって、1つのテーマについて皆で議論することが大切だ。」という考え方があった。既に、「アクティブ・ラーニング」として現代の日本の中学校・高校の授業にも取り入れられ、効果が見られ始めている。アクティブ・ラーニングとは以下のような学習方法である。

教員と学生が意思疎通を図りつつ、一緒になって切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長する場を創り、学生が主体的に問題を発見し解を見いだしていく能動的学修のこと。教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会能力的、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

### 3.松下村塾の教育法 2 師弟共学

次に、師弟共学の教育法が効果的である。松下村塾の授業では、松陰と塾生が円になり意見を言い合うのが基本だった。松陰は先生として教壇に立つのではなく、学生に「あなたは何を私に教えることができますか。」と問い、自ら学ぶ姿勢を示した。この師弟共学は、学生に「自分が考えなければいけない」という意識を芽生えさせ、消極的だと言われている現代の日本人も、自ら学ぼうとする姿勢を身につけられるのではないかと思う。また、先生である松陰自身が、周りの意見を聞き一緒に学び続けるという学生たちの理想のリーダー像になっていったのではないのだろうか。よって教育者は、ある1つの問いに対して知っている解答を教えるのではなく、生徒と共に円になり、生徒の意見を聞きながら自分の意見を伝えるという学習法を行うべきである。

#### 4. 松下村塾の教育法 3 短所を長所に変える教育

さらに、人の短所を長所に変える教育が効果的である。なかには、「松下村塾には学びたいという意欲がある学生が集まっていて、義務教育のある現代の日本の学校とは学生のやる気が違うのだろう。」と思う人もいるだろう。しかし、松下村塾の学生も、松陰との初対面の時から学問に対して積極的な人ばかりではなかった。例えば、その後に歴史的出来事を中心人物として同志たちを率いたとして知られている、あの高杉晋作も元々授業を「つまらない」と言っていた。しかし、松陰が意図的に、晋作の目の前で晋作の幼なじみを誉め称えたところ、負けず嫌いの性格に火がつき、晋作も一生懸命学問に取り組むようになったというのである。松陰は、「学業にしっかり励んでほしい」という親の意思に反発する晋作の頑固な性格から、一度決めた自分の考えを曲げないという長所を見出し、その長所をうまく引き出したのである。松陰の「人の短所を長所に変えることで、その人の才能はさらに開花する」という考え方は現代の中高生のやる気を引き出す方法としても利用できる。

#### 5. おわりに

上記のように、江戸時代幕末における吉田松陰の松下村塾のリーダー育成の教育法を現代の日本の中高生の教育法に取り入れることができれば、リーダーを育成できる。その論拠を3点紹介した。1つ目は、集団の中で切磋琢磨することでリーダーが生まれるという点である。2つ目は、師弟共学の姿勢が学生たちに自ら学ぼうという積極性を身につけさせるという点である。3つ目は、短所を長所に変える教育が学生たちのやる気を引き出すという点である。

#### 6. 参考文献

・『吉田松陰 松下村塾 人の育て方』あき出版 著・桐村 晋次

・『教育方法としてのアクティブラーニング』池田 光穂

<https://www.cscd.osaka-u.ac.jp/user/rosaldo/13112AL.html>

・『吉田松陰 松下村塾の教え~現代の欧米スタイル授業を再現 歴史上の人物.com』

<https://colorfl.net/yoshidashoin-shokasonjyuku/>

・『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて~生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ~(答申)』平成24年8月28日 中央教育審議会

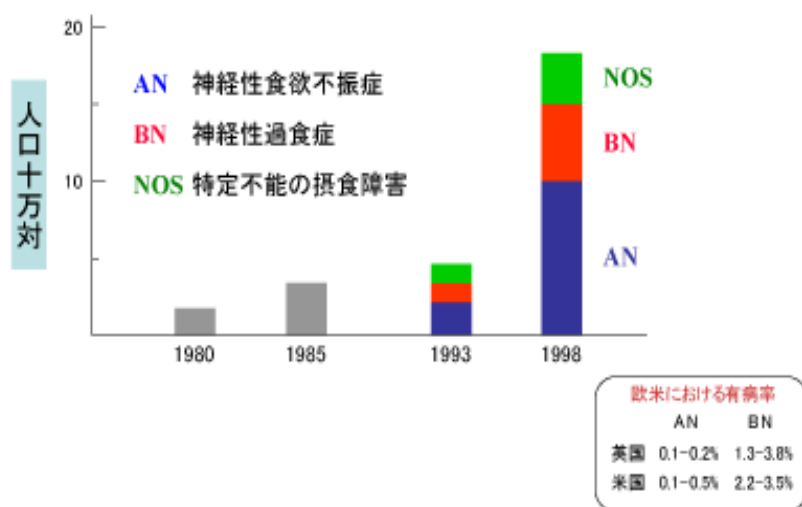
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shigi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shigi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm)

## 思春期や青年期の神経性やせ症の効果的な治療法とは？

神経性やせ症(anorexia nervosa: AN)は摂食障害の一つである。Anorexia nervosaという病名は精神的な理由により食欲が低下することを意味しているが、患者の多くは食欲不振を悩んでいるというより、痩せるための食行動異常を示す。病気が進行すると、身体的合併症・心理的な問題が悪化し、社会生活が営めなくなることもある。

次の図1のグラフは、摂食障害の患者数である。

【図1.摂食障害患者数の変化】



中枢性摂食異常調査研究班全国疫学調査

1998年に全国の医療施設(23,401施設)を対象に実施した疫学調査(図1)によると、患者推定数はAN(神経性食欲不振症/神経性やせ症)が12,500(人口10万対10.0)、BN(神経性過食症)が6,500(人口10万対5.2)、EDNOS(特定不能の摂食障害)が4,200(人口10万対3.3)だった。摂食障害全体は1980年から1998年の間に約10倍の増加がみられ、とくに1990年代後半の5年間だけで、ANは4倍、BNは4.7倍と急増している。医療機関をすすんで訪れるのは一部であるため、実際はもっと多いと推定される。年齢層で見ると、ANは10代、BNは20代が多く、推定発症年齢をみると10代の占める割合が年々増加し、若年発症の傾向を示している。すでに10歳から発症する例もまれではなくなった。診断基準を広く適応させた例も含めると、この2倍にまで増えるであろうと推定されている。ただし、欧米の報告ではわが国より早く1980年代から増加し、1990年代にピークに達しているといわれている。従って、わが国では1980年代に欧米に比して約半分の発症頻度であったのが、20年間で倍近くに増加し、欧米と肩を並べるかやや多くなっているとも考えられる。

その中でも、私は10代のANの発症率が高くなっていることが特に問題であると考えた。なぜなら、思春期から青年期は精神的にも身体的にも急速な成長的变化を遂げる大事な時期であるからだ。

また、「マージナルマン(境界人)」という言葉がある。この「マージナルマン」とは、ドイツの社会心理学者のレヴィンが発達心理学の観点から、青年期は児童期と成人期との過渡期にあり、青年は子供の集団にも属さず、大人の集団にも属さない中間の存在であるところから、不安定な心理状態を特徴とする青年をさした言葉である。一般に12歳頃から18歳頃までを思春期といい、18歳から23歳あたりまでを青年期と考

えられている。この時期は、第二次成長による身体の変化、性衝動にどう順応するかが課題となってくる。性の成熟に適応し、男性、女性としての性別役割を身につけ異性関係を実現しようと努力し、心理的にも不安定となる。急激な身体の発育のため、それを受けとめることに戸惑い、恥じたり、劣等感や嫌悪感を抱いたりすることも少なくない。両親への依存を代表とする家族中心の関係から、同世代の人間関係、家庭外の人や社会への理想や依存へと対象が変化していく。異性への感情や欲求もこれまでと異なって、新たな関係の持ち方を学ばなければならない。

思春期には独立と依存の葛藤から食欲不振症が生じたり、自己の身体へのこだわりから生じる自己視線恐怖症（自分の視線が鋭いので周りに不快感を与えていると思う）、自己臭恐怖症（自分の身体から嫌な臭いが放たれているので、周りの人に迷惑をかけていると思う）、醜形恐怖症（身体の一部の形態にこだわり、他人に嫌われていると思う）が出現する。その他、いじめ、登校拒否、心身症などがよくみられる。

青年期には自我同一性（自分の存在を自覚し、自己を確立していくこと）について模索したり、葛藤し、適応障害が現れたりすることも少なくない。現実場面から逃避したり、引きこもり、登校拒否や無気力状態を示すことが多くみられる。

思春期、青年期の人たちは、新たな理想や目標をめざして進学や就職の準備をする時期にある。不安定な身体と心を抱えながら変化が激しく、多様化した価値観の中で、自分を合わせていかなければならない。この時期には非常なストレスがかかり、感情面、行動面、身体面においていろいろな問題が生じやすくなる。よって、10代は子供から大人になるための準備をする、人格形成における大事な期間と言える。思春期や青年期は「自分らしさ」というものが芽生える時期であるといわれている。今までは親が望む通りのいい子でいようとしていたが、「自分らしさ」が芽生えることで今までとのギャップに戸惑ってしまう。そのため、自分の思う通りに生きたいと思う気持ちと、親から嫌われるかもしれないという気持ちに板挟みにされる。10代の人にとって、親の存在はとても大きなものだといえる。患者には真面目な人が多い傾向があり、周りの人に心配をかけてはならないと思い、全て一人で抱え込みがちである。もし、この重要な時期である10代にANが進行すると、主な症状である身体的合併症・心理的な問題が悪化する。そのため、大人になるための準備が十分に出来ないまま大人になってしまい、大人になった後も社会生活が営めなくなることがある。このように深刻な問題を引き起こしてしまう神経性やせ症だが、あまり知られていない病気である。また症状が1つではなく多数あることや、個人によって違っていることが多いこと、見た目ではわかりにくいことなどが原因で早期発見が難しいといわれている。

そこで、思春期である10代のANに対する有効な治療法について考えてみた。

一般的には認知行動療法(CBT)という治療法が行われている。認知行動療法とはさまざまな精神疾患の治療に活用されている心理療法の一つである。思考や行動の癖を把握し、ストレスの原因となる対象を見つける。その後、自分の認知・行動パターンを整えていくことで生活する上でのストレスを減らしていく方法のことを言う。

認知行動療法は、医師やカウンセラーのもとで受けられ、実際に受ける場合は以下のような流れで行われる。

- ①本人の問題となっていることの確認やアセスメント(情報収集・整理)
- ②本人の症状が起きるメカニズムなどについての心理教育
- ③治療目標の確認と、治療の実施
- ④記録やアセスメントに基づいた治療のステップアップや修正

### ⑤症状改善後の再発防止のためのカウンセリングなどの心理教育

治療の実施については、カウンセリングの面談だけではなく、活動を記録する、記入型のホームワークなどを取り入れて行っている。

神経性やせ症にはいくつか治療法があり、認知行動療法以外に薬物療法や栄養療法、家族療法というものがある。

まず、薬物療法について紹介する。薬物療法の治療は症状のピークから始めることが多い。この治療法の目的は幻覚、妄想、不隠、興奮、抑うつ、躁、焦燥、不安、緊張、強迫、不眠などのさまざまな症状の改善にある。しかしこの病気そのものに効く薬はないため、薬物療法では完全には治らない。薬物の不用意な中断は症状が治まっても、また症状を引き起こす場合がある。また、副作用による患者への負担が大きいことや未成年が服用できない薬も多いこと、患者の薬物乱用などが問題点として挙げられる。

次に栄養療法について紹介する。栄養療法とは、一般的に体内に存在するビタミン、酵素、ミネラル、ホルモン(メラトニンなど)、アミノ酸などの栄養素を特定の病気の治療や健康維持のために利用する治療法である。これらの栄養素が足りないことによって神経性やせ症の症状が引き起こされることもあるため、それを抑えるためにこの療法が行われることがある。これらの栄養素は単体で用いられることもあれば、様々な組合せで用いられることもある。栄養療法はときに栄養医学と呼ばれており、食事で通常摂取される量よりももっと多い量の栄養素で食事を補うことを強調しているため、食事療法とは異なるものである。この療法では栄養指導を行い、栄養を摂ることの大切さを患者に伝え、理解してもらうことで食べることを促す。

最後に家族療法(Family therapy)について紹介する。家族療法とは、『心理学用語の学習』によると家族を「家族システム」とみなし、その中で繰り返される成員間(家族のメンバー間)の相互作用のパターンに対して介入を行う心理療法である。ANは他者からするとわがままに見え、病気だとは理解されにくい。食べ物を「いらぬ」と言うことが、唯一の感情表現であったり、家族の問題に対する主張であることもある。決してストレスの原因を突き止めるのではなく、患者本人とその周りの人が病気について知り、考え、患者を理解することで改善を図る。家族療法には家族会に参加できる機会がある。家族会とは、精神障害者を家族にもつ人たちが、お互いに悩みを分かちあい、共有し、連携することでお互いに支えあう会である。患者への接し方もここで学ぶことができる。患者の親も完璧主義な人が多いので、悩みを抱え込みがちである。この場を通して親の負担も軽減することができる。このように病気は患者とその家族の両方のサポートが必要であるため家族会は重要なはたらきをしているといえる。

上記より、思春期や青年期の神経性やせ症には家族療法が効果的であるといえる。その理由は、1つ目は薬による副作用がないため体への負担が少なく精神面でのフォローをする点、2つ目親が患者に対しての接し方を考えられる点、3つ目は親のサポートもできる点である。また、認知行動療法のようにストレスの原因を見つけることは、現実と真正面から向き合わなければならず人格形成をする思春期や青年期の患者をより混乱させてしまうと考えた。

私は家族療法と並行して栄養療法も行うとより効果的だと思う。なぜなら、この時期は心も体も成長する時期だからである。家族療法で心のケアをし、栄養療法で栄養を摂ることの大切さを患者に知ってもらうことで、患者が自ら食事をしようと思えるようになると考えた。

## 参考文献

- 『心理学用語の学習』(<https://psychologist.x0.com/terms/261.html>)
- 『日本内分泌学会』([http://www.j-endo.jp/modules/patient/index.php?content\\_id=59](http://www.j-endo.jp/modules/patient/index.php?content_id=59))
- 『厚生労働省』([https://www.mhlw.go.jp/kokoro/support/consult\\_4.html](https://www.mhlw.go.jp/kokoro/support/consult_4.html))
- 『医療法人 秀明会』(<https://sugiura-kokoro.com/clinic/yakubutsu-ryouhou01.html>)
- 『今野敏彦』(<http://wiki.blhrrri.org/jiten/index.php?FrontPage>)
- 『国立精神・神経医療研究センター』(<https://www.ncnp.go.jp/hospital/patient/psychological-examination-various-psychotherapy.html>)
- 『上松正幸』(<http://www.ikeshitay.jp/original16.html>)

## 現代の結婚事情

### 1. 未婚率の上昇

現代の日本において、日本に在住している全員が結婚することで人生が幸せになると考えているわけではない。そもそも、「幸せとは何なのか」の定義である。新村出編「広辞苑」では以下のように説明されている。「しあわせ(幸せ 仕合わせ)」とは

- ① めぐり合わせ。機会。天命。
- ② 成り行き。始末。
- ③ 幸福。幸運。さいわい。また、運が向くこと。

この中で、結婚することの幸せは③の意味だと考えられる。だが、「幸せとはなにか」と問われたとき明確に答えることのできる人は少なく、その幸せを本質的に理解している人は限られている。人それぞれに個人の幸せの定義があり、一概には言えないのである。

ここで、現代と過去について人口に対する既婚者の割合を比べる。平成以降の日本では、昭和時代よりも未婚者が増加しており、それによって自らの生活スタイル「ソロ」(独身者で自らの収入での生活を充実している人)を確立している人が多いとわかる。これを示すものとして、国立社会保障人口問題研究所の「人口統計資料集」によると、50歳までの生涯未婚率は1940年では男性1.7%、女性3.3%に対して、2015年には男性23.4%、女性14.1%である。男性女性ともに大幅に上昇している。

### 2. 未婚率上昇の理由

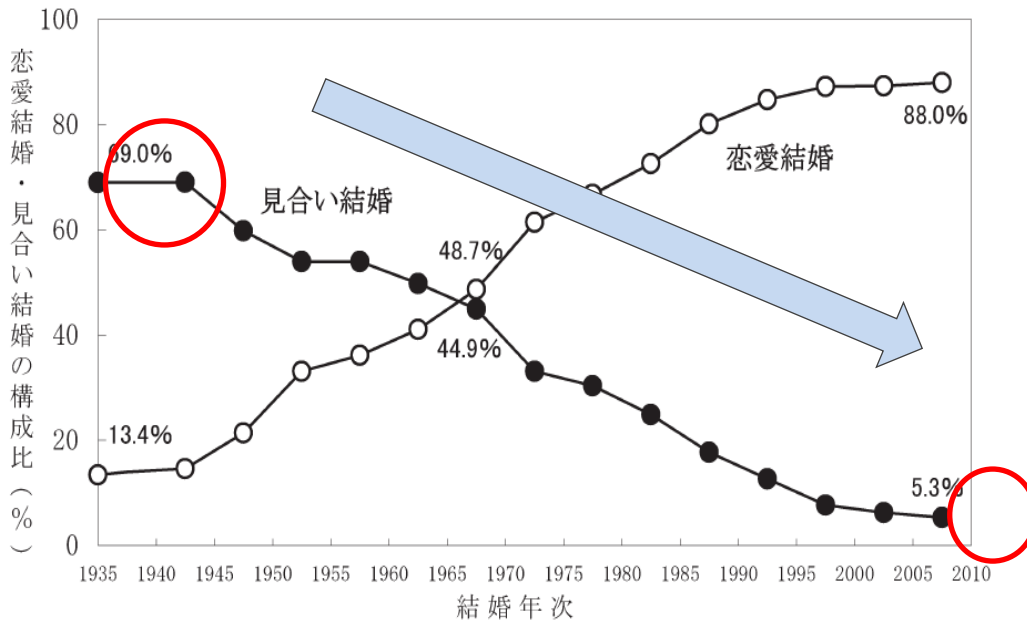
まず、①米国の心理学・行動経済学者のダニエル・カーネマンの研究で「フォーカシング・イリュージョン」という言葉がある。これは「〇〇すれば幸せになれるはず」というようなある特定の状態に自分がいれば幸せになれると思込み、その状態が幸せになれるかどうかの分岐点であると信じてしまう人間の偏向性である。結婚の場合、「結婚すれば幸せになれる」と信じ、そこがゴールと考えてしまう。全米経済研究所(NBER)によると、人生の満足度に対する結婚の効果では、既婚者が独身者に比べてどの年代も0.5~1.5ポイント高い。これはあくまで既婚者のほうが、幸福だと感じる人が多いだけであって、結婚すれば幸せになれるという因果関係を証明するものではない。

ここで「結婚」「独身」それぞれの利点を紹介する。厚生労働省の施設等機関である国立社会保障・人口問題研究所が行った調査別に見た各「結婚生活の利点」には「安心感がある、家族や子供が持てる、社会的に認められる」等があげられる。次に「未婚者の独身生活の利点」には「行動や生き方・恋愛が自由、金銭的に裕福」等といったことがあげられる。どちらにも同じようにメリットがある。結婚とは少し離れるが、恋人関係にも視点を合わせて考えてみる。内閣府が平成26年に行った「結婚・家族構成に関する調査報告書」より②「交際相手を持たない20代30代男女が恋人を欲しいと思わない理由」によると、男性は最も多い理由が自分の趣味や仕事、勉強に力を入れたい。で、他にも恋愛が面倒、等が挙げられる。女性ではまず恋愛が面倒、興味が無い、が最も多い理由であり、他にも男性と同じように自分の趣味や仕事、勉強に力を入れたい。等が挙げられた。このように、結婚以前に交際そのものに興味が無い20代30代が増えていくことが読み取ることができる。先に述べたような生涯未婚率の増加は、このような意識の変化によるものである。次に、上記のようになぜ昭和時代には結婚率が高く、それに反して現代では未婚率が上昇したのかを考える。

### 3. 昭和時代と現代の結婚に対する意識の違い

明治以降のお見合いは家制度により強大な権力を持つ家長が親族の婚姻を決定することも珍しくなかった。第二次世界大戦後になり法律が変わっても、まだ家という概念は定着しており、婚姻があると、男女の実家同士も親戚になるため、結婚は本人同士のみならず、家同士の結びつきという側面もあった。本人同士の恋愛がなく結婚が成立していたのだ。その後お見合いは1935年には全体の69%を占めていたが、2015年には5%にまで落ち込んでいる。(下図参照)

図1-2 結婚年別にみた、恋愛結婚・見合い結婚構成の推移



注：対象は表1-5と同じ。

引用元 (<http://www.ipss.go.jp/syoushika/bunken/DATA/pdf/207616.pdf>)

だが最近5年ほどでは上に記したように結婚以前の恋愛そのものから避けている若者が増えている。もちろん結婚も減少する。だが現代の日本国憲法(六法全書I)では婚姻とは「両性の合意にのみ基づいて成立し夫婦が同等の権利を有することを基本と相互の協力により維持されなければならない。」と定義されている。この『両性の合意にのみ基づいて成立する』と記されているところがお見合い結婚では成立しない。結婚をしなければ昔のような出生率はあり得ない。そうすると、ますます日本の少子化は深刻化していくだろう。

この事態を解決するためにこれからの社会で必要となってくるのは、③結婚を推奨するマッチングアプリであると考えられる。日常生活で出会った異性と恋愛をして結婚に至るまでには多くの年月がかり、恋愛時点で別れてしまったら結婚する未来からは遠のいてしまう。この事態を避けるために、自分の求める条件から相手を探し、お付き合いをして結婚することが一番合理的で結婚まで最短である。マッチングアプリを使ってこれからは結婚ありきの恋愛に変化していく。そうすれば自分の条件に合う人と出会うことができ、恋愛そのものが面倒と感じている若者も結婚することができる。

### 4. マッチングアプリがこれからの時代に順応していくためには

また、マッチングとはどのようなものなのか新村出編「広辞苑」では以下のように記されている。

① 組み合わせること。調和させること。



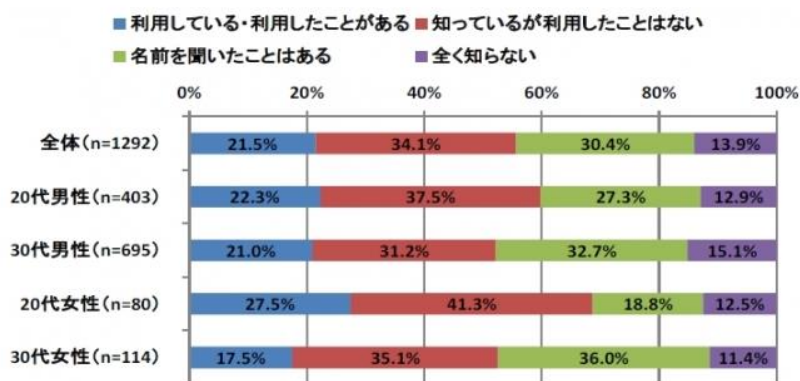
## ② 複数のデータを突き合わせて照合すること

これが記すように、年齢や住まい、職業、年収、趣味など希望の条件を設定すればアプリに登録している会員から理想の相手を絞ることができるので出会いを求めている人には最適であり最短で結婚相手を見つけることができる。立教大学経営学部「e ビジネス&マーケティング」と株式会社ネオマーケティングが共同で2018年に行った全国の20~39歳の未婚の男女を対象に「マッチングアプリ」をテーマにしたインターネットリサーチの結果から引用すると、

1. マッチングアプリというものについて、あてはまることについてお答えください。(n=1292)

という質問に対して「利用している、または利用していた」と回答した人が21.5%「知っているが利用していない」と回答した人が34.1%「名前は聞いたことがある」と回答した人が30.4%とマッチングアプリそのものの自体を認知している人は全体の8割を超えている。(下図参照)

Q2. 「マッチングアプリ」というものについて、あてはまるものをお答えください。(単数回答) [n=1292]



引用元 (<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000087.000003149.html>)

ここまで認知されていればデジタル化、インターネット化している現代ではますます需要が高まってくる。だが、マッチングアプリに抵抗を持っている若者も少なくはない。これは「マッチングアプリ」という名前に悪い印象が根付いているからではないかと感じる。本気で結婚をしたいと考えている人しか会員になれない行政などが監理する頼もしいシステムを提供することによって「マッチング」のシステムは認知し、普及されていく。

加えて、これは恋愛においてにだけがマッチングが有効ではない。④友人関係においてもマッチングが有効になってくる。友人も希望の条件にあった人が素早く見つけることができればより効率よく友人の輪を広げることができる。

## 5. まとめ

上記のように、現代の日本において、日本に在住している全員が結婚することで人生が幸せになると考えているわけではない。そして現代の日本ではマッチングアプリの需要がより高まっていくだろう。その論拠を3点紹介した。

1つ目はダニエル・カーネマンの研究である「フォーカシング・イリュージョン」により「結婚」と「幸せ」に因果関係がないという点である。(下線部①)それに加え、結婚と独身の利点を紹介し、更に内閣府による・家族構成に関する意識調査で「交際相手を持たない20代、30代男女が恋人を欲しいと思わない理由」により結婚以前の交際に興味がない20代30代の増加による意識の変化を述べた。(下線部②)

2 つ目には、現代の未婚率の上昇は若者の恋愛に対する消極的な意識の変化であること、そしてこれからの社会では自分の条件に合った相手を探すマッチングアプリの需要が高まってくることを記した。(下線部③)

3 つ目には、マッチングアプリの認知が高まっていることに従い需要もさらに高まっていくことに加え、友人関係にもマッチングは有効になるのではないかと考えた。(下線部④)

このように、人生の幸福度を測ることは困難である。また、これからの日本で結婚率を維持していくためにはマッチングアプリを介してのより合理的な結婚が主流に変化していくはずである。

## 6. 参考文献

1 「人口統計資料集」国立保障人口問題研究所

(<http://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Popular/Popular2015.asp?chap=6&title1=%87Y%81D%8C%8B%8D%A5%81E%97%A3%8D%A5%81E%94z%8B%F4%8A%D6%8CW%95%CA%90I%8C%FB>)

2 全米経済研究所 (<https://ippjapan.org/archives/952>)

3 「結婚して子供を産む 生涯独身 幸福度の調査結果が明らかに」

(<https://ure.pia.co.jp/articles/-/148714>) 2020 年 12 月 28 日最終閲覧

4 「広辞苑 第七版」 岩波書店 2018 年

5 「六法全書 I 公法・刑事法・条約」 有斐閣 平成 19 年

6 「なぜマッチングアプリは"当たり前"になりつつあるのか?立教大学経営学部の学生が気になることを大調査!!全国の 20~39 歳の未婚の男女に聞いた「マッチングアプリに関する調査」

(<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000087.000003149.html>) 2021 年 1 月 15 日最終閲覧

# NASA の宇宙飛行士にボーイスカウトが多いのは、なぜか?~ボーイスカウト活動の有用性~

## Abstract

ボーイスカウトとは何か知っていますか?ボーイスカウトとは、野外で様々な能力を身に付ける青少年活動です。宇宙飛行士には、ボーイスカウト出身者が多い。なぜ、ボーイスカウト出身者が宇宙飛行士になりやすいのかを調査した。また、ボーイスカウト活動において、どのような能力を形成するのか調査した。

Do you know what a Boy Scout is? Scouting is a youth activity to acquire various abilities outdoors. Many astronauts are from Boy Scout. We investigated why Boy Scout graduates are more likely to become astronauts. In addition, we investigated what kind of ability is formed in Scouting.

## その他のボーイスカウトについての説明

ボーイスカウトはイギリスで始まり、現在約 210 国でスカウト活動が行われている。キャンプやごみ拾い・ハイキングなどを行うことをスカウト活動と呼ぶ。私が現在所属しているのは、今まで経験してきたプログラムの中で、自分で活動したい内容をプロジェクトとし、企画・計画・報告書を書いてそれに基づいて行う、自由度の高いベンチャースカウトという世代である。

## 1. 研究動機

私が参加したボーイスカウトの祭典で宇宙飛行士の野口聡一さんが演説した時、「宇宙飛行士にはボーイスカウト経験者が多い。」と話しており、「なぜ、そうなのか?」と疑問に思ったので、この研究テーマにした。

## 2. 調査・研究の方法

文献を中心とした調査を行った。宇宙飛行士に求められる素質と、ボーイスカウトで養われる能力の共通項を考えた。

1959 年以来、宇宙飛行士に選ばれた 312 人のパイロットと科学者のうち、少なくとも 207 人がスカウトまたはスカウト活動を行っているとして特定されている。このように、NASA の宇宙飛行士にボーイスカウトが多いのは、ボーイスカウト活動では、リーダーシップやチームワーク、ライフスキルなどを学ぶため、意欲的な青少年を形成するからである。さらに、活動によってリーダーシップや自制心が高められる。また、「いつも他の人々を助ける」というスカウトの誓いを交わしているため、その精神に基づいた行動をしやすくなるからである。加えて、ボーイスカウト活動は集団内の人間関係を円滑にしようとする力が高められる。

## 3. 検証

まず、スカウト活動の中でボランティアを行うことが多々ある。これは、「スカウトは誠実である」(スカウトは、信頼される人になります。真心をこめて、自分のつとめを果たし、名誉を保つ努力をします。)という“スカウトのおきて”にも当てはまり、率先的に行動しようとする事に繋がる。スカウト活動の中でボランティア活動を行っている効果により、“リーダーシップ”(集団維持機能、情報を収集し、創造力をもって課題を解決しようとする力)を向上させる。NASA は、「スカウト活動を通して学ぶリーダーシップやチームワーク、ライフスキルなどが、意欲的で優秀な大人を形成する助けになる」としている。

次に、「いつも他の人々をたすけます」という“スカウトのちかい”を交わしたことで、その誓いを守ろうとし、積極的にコミュニケーションをとって、相手のことを考えることができる。これは、集団内の人間関係を円滑にしようとする力が高められる。また、長期キャンプによる集団生活も宇宙船での生活と似通ったものがあると考えられる。

JAXA の求める人物像・試験の項目とボーイスカウト活動の共通点を考える。スカウトは幼少期に当たるビーバー・カブ時より、活動の中で水泳章などを獲得するのを目標とするスカウトが多いため、JAXA の求める人物像・試験の項目(5)が達成できる。青年期に当たるボーイ・ベンチャー時に行われる海外派遣に参加することで、英語により意思疎通を図ろうとし、JAXA の求める人物像・試験の項目(6)が達成できる。また、上記の海外派遣に参加するときは、日本人スカウトとして外国スカウトに日本文化を紹介するため、日本について知り、日本文化を披露することなどが求められる。よって、JAXA の求める人物像・試験の項目(8)が達成できる。野営訓練、耐寒登山、オーバーナイトハイク、長期キャンプでの共同生活において、仲間との協調性・忍耐力・社会性が身につくので、JAXA の求める人物像・試験の項目(7) ②が達成できる。

さらに、普段の生活の中で自分がボーイスカウトだという自覚があるため、約束を守ろうとする意識が高いことが示唆される。

#### 4. 論証・考察

宇宙飛行士に求められる力は現在の社会でも求められる力と似通っている。ボーイスカウト経験者は、社会性などを持つ青少年として形成される。今後の社会を生き抜く上で必要な能力が身につくため、ボーイスカウト活動に幼少期から参加することが非常に有意義だと考えられる。

#### 5. 結論

上記のように、ボーイスカウトを続けることによって、リーダーシップやチームワーク、ライフスキルなどを学ぶため、意欲的な青少年を形成することになる。それによって、宇宙飛行士に選ばれる可能性が高くなる。これにより、宇宙飛行士にはボーイスカウト経験者が多いことが分かる。

それに加えて、今回調査した内容を新たに考察すると、宇宙飛行士に求められる力は現在の社会でも求められる力と似通っている。ボーイスカウト経験者は、スカウト活動によって社会性などを持つ青少年として形成される。今後の社会を生き抜く上で必要な能力が身につくため、ボーイスカウト活動に幼少期から参加することが非常に有意義だと考えられる。

#### 今後の展望

今後の展望では、今回調べたことをより深く考察したい。また、現在の社会で求められている力を調べ、長年のボーイスカウト活動で形成されている力とどのような共通点があるのか、宇宙飛行士に求められる力と社会で求められる力とどのような共通点があるのか調べていきたい。

#### 6. 参考文献

1:ボーイスカウト事情【ロンドン・ジャカルタ】2020.11.5

<https://www.j-wave.co.jp/original/tokyounited/archives/tokyo-crossing/2018/04/13-084055.html>

2:創始 100 周年を迎えたボーイスカウト運動とジャンボリー 2020.11.5

[http://aranishi.hobby-web.net/3web\\_ara/personal7.htm](http://aranishi.hobby-web.net/3web_ara/personal7.htm)

3:宇宙飛行士はボーイスカウトから始まる 2020.11.5

<https://estorypost.com/news/nasa-and-scouting/>

4:ボーイスカウトにおける 1 年間のスカウト活動の教育効果について 2020.11.20

<https://www.micenavi.jp/jpa2019/img/figure/10288.pdf>

5:大学生の約束意識と規範態度 2020.11.20

<https://ir.lib.hiroshima->

[u.ac.jp/files/public/3/31308/20141016181101755505/HPR\\_10\\_81.pdf](https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/files/public/3/31308/20141016181101755505/HPR_10_81.pdf)

6:NASA and Scouting 2020.11.24

[https://www.nasa.gov/audience/foreducators/informal/features/F\\_NASA\\_and\\_Scouting.html](https://www.nasa.gov/audience/foreducators/informal/features/F_NASA_and_Scouting.html)

7:平成 20 年度 国際宇宙ステーション搭乗 宇宙飛行士候補者 募集要綱 2021.1.8

<https://iss.jaxa.jp/astro/select2008/pdf/bosyuyoko.pdf>

## 「ホールニューワールド」にみる日本語圏の人々と英語圏の人々の主張の仕方の違い

### 1. どのような主張の仕方の違いがみられるのか

英語圏の人々と日本語圏の人々では、主張の仕方に違いが見られる。英語圏の人々はより強くはっきりと自分の意見を伝える。これは、英語と日本語の文法的な違いから読み取ることができる。日本語は文の主旨（例えば、否定の言葉など話者が最も伝えたい部分）が後方に置かれがちなのに対し、英語は前方に置かれがちである。また、疑問文に対する応答の仕方については（特に Yes, No で答えるもの）日本語ではやりわりとした言葉を使いがちなのに対し、英語でははっきりと述べがちである。さらに、日本語では、主語や目的語が省略される場合が多いのに対し、英語はこれらを必要とする場合が多い。

### 2. 論拠① 大事なことがおかれる場所

「日本語はどちらかというと大事なことがあとの方へくるのに対して、英語は大体の方向づけをはじめではっきりさせるようになっている。」（外山, 1992, p.11）これを英語の前方重心型と日本語の後方重心型という。文の主旨（例えば、否定の言葉など話者が最も伝えたい部分）を前方におくのが前方重心型、後方におくのが後方重心型である。これは文単位だけでなく、段落単位でも文章全体でも同じようにいえる。では、なぜ前方に主張をおくと聞き手により強く主張が伝えられるのか。ここでは裁判の場面を例にあげて説明する。「裁判の場面において、裁判官の心証形成期にあたる序盤の主張書面は特に重要な意味をもつ。」（寺内, 2020）このことから、文章全体のなかで前方におかれる主張は裁判官の心証形成への影響が特に強いことが分かる。すなわち、前方に主張をおけば相手により強く主張できる。これは裁判の場面だけでなく、日常の英語、日本語に置き換えた場合でも同じように言える。よって、前方に大事なことがおかれる英語は後方におかれる日本語より強く主張しているといえる。

### 3. 論拠② 疑問文への応答の仕方

「英語の Yes, No には話者の論理、主体性が強く出るのに対して日本語のはい、いいえには問いとの関係、相手への配慮が優先される。」（外山, 1992, p.21）例えば、肯定疑問文において Yes は「はい」No は「いいえ」と捉えられる。しかし、否定疑問文になると英語では Yes, No の持つ意味が変わらないのに対し、日本語に訳す場合において Yes は「はい」No は「はい」と捉えられる。すなわち、日本語の「はい」「いいえ」は問いによってその文脈に合わせて決まる。このことから英語の Yes, No は問いに関係なく応答するのに対し、日本語のはい、いいえは問いとの関係で協調性をもって応答すると。これは、1976年にアメリカの文化人類学者エドワード・ホールによって提唱された「ハイコンテクスト（高文脈文化）」と「ローコンテクスト（低文脈文化）」の一例といえる。高文脈文化におけるコミュニケーションはあいまいな言語を用い、言葉以外に状況や文脈によっても情報の伝達が行われることで成り立つ。対して、低文脈文化におけるコミュニケーションは正確性を必要とする言語を用い、伝達される情報が言葉の中ですべて提示されることで成り立つ。すなわち、低文脈文化における方が高文脈文化におけるよりも言葉ではっきりと自己の主張が成されるということである。よって、文脈依存していない英語（低文脈文化）は文脈依存している日本語（高文脈文化）よりも強く主張しているといえる。

### 4. 論拠③ 第二人称の現れ

日本語においては第二人称(対象)をださないのが普通である。相手にふれないのがいいと感じるのだ。ことばでも、なるべく、対象、相手に直接に触れるのを避けようとする気持ちがはたらく。(外山, 1992, p.71)

日本人のあいさつは言葉だけの場合がほとんどだが、英語人(英語圏の人々)は握手やハグをする場合も多い。この場合も前節で述べたのと同じように他者への配慮が優先しているように思われる。よって、明確な対象をあらわす場合が多い英語は省略される場合が多い日本語より強く主張しているといえる。

## 5. 検証 ホールニューワールド

①②③の論拠を検証するために、ホールニューワールドの歌詞を例にとって考える。ここでは冒頭部分を取り上げて、原曲の歌詞(英語)を直訳したものとアニメ版の曲の歌詞(日本語)を比較する。

### 【原曲(直訳)】

### 【アニメ版】

I can show you the world (私はあなたに世界を見せることができる) 見せてあげよう

Shining, shimmering, splendid (輝かしい、きらめく、素晴らしい) 輝く世界

Tell me, princess, (私に教えて、プリンセス) プリンセス

Now when did you last let your heart decide? 自由の花をホラ

(あなたが最後にあなたの心に素直になったのはいつ?)

二つの歌詞に共通していない部分を下線であらわす。二つを比較して考えてみると、英語の歌詞の方が情報が細かくかかれていることがよく分かる。論拠③でも述べたように、英語の歌詞は主語や対象が明確にかかっているのに対して日本語の歌詞はこの部分においては主語や対象はかかされていない。

## 6. 音節

日本語のリズムは、子音+母音が基本であるのに対して、英語のリズムは、例外もあるが子音+母音+子音が基本である。さらに英語の子音はたくさんつくこともある。しかし、英語はたくさん子音がついても1音節(1シラブル)であるからひとつの音になる。に対して日本語は子音+母音が1音節(1シラブル)である。たとえば、日本語のドラムと英語の drum をくらべてみる。日本語のドラムは3音であるが、英語の drum は1音である。これにより英語と日本語を比べると、自然と同じ音の数に含むことのできる言葉すなわち情報の数は日本語の方が少なくなる。これも日本語は英語よりも情報量が少なくなっている原因の一つであると考えられる。

## 7. おわりに

上記のように、英語圏の人々は日本語圏の人々よりもより強くはっきりと意見を述べる。その論拠を3点紹介した。一つ目は、英語は前方に大事なことをもってきて、聞き手の心証形成に強い影響を与える点である。二つ目は、英語は疑問文に文脈依存せずはっきりと自己の主張をする点である。三つ目は、英語は第二人称(対象)を省略せず、はっきりと明確にする点である。また、ホールニューワールドの歌詞の比較により実際に英語の方が日本語より多くの情報を含むことを示した。

## 8. 参考文献

- ・外山滋比古(1992)『英語の発想・日本語の発想』(NHK ブックス)
- ・A whole new world 作曲:Alan Menken 作詞:Tim Rice(1992)
- ・ホールニューワールド(新しい世界) 日本語詞:湯川れい子
- ・寺内康介(2020)『裁判官から見た、効果的な主張書面の書き方とは』(骨董通り法律事務所)  
<https://www.kottolaw.com/column/201029.html>
- ・岡本 純子(2017)『日本人が「黙って忖度」ばかりする根本的原因～ハイコンテクスト文化には落とし穴がある～』<https://toyokeizai.net/articles/-/175530>
- ・あいうえフォニックス(音節)<https://aiueophonics.com/omake/syllable.html>



## 明治政府と神社

### 1.はじめに

日本には、数多くの神社が存在する。それらの神社は古代につくられたものも近代につくられたものもある。今も新たな神社が建築されている。神社は、式年遷宮という定期的な建て替えによって内宮や外宮などの社殿を新調されることや、仏教との融合と分離などによってその形が変化することがあった。しかし、特に近代日本の明治政府が行った政策は、神社そのものだけでなく、国民などに対しても影響を与えた。

### 2.政策を行った背景

明治維新がおこり、明治政府が成立した後、政府の基本理念である祭政一致の確立に基づき、神道国教化政策と呼ばれる諸政策が行われた。宗教政策を担当したのは、国学者や神道家であった。しかし、神道国教化政策は、仏教勢力からの影響などもあり失敗に終わった。

その後政府は、西洋諸国と並ぶ近代国家を成立させるにあたって、ヨーロッパに合わせて信教の自由を認め、政教分離の原則に従おうとした。そこで、国家神道は法的には宗教でないとした。よって仏教やキリスト教、その他の別の宗教を信仰していても、天皇を神とする神社へ参拝することを可能にした。そういった国家体制のもと、政府内に神社行政機関である神祇事務科が設置され、神道および神社はかたちを変えた。

### 3.国家神道

国家神道の明確な定義については様々な意見がある。だが、一般的にこの用語は、明治維新以降、国家と強い結びつきをもって発展した神道の一形態を指す。それは皇室祭祀や天皇崇敬のシステムと神社神道とが組み合わさって形作られ、日本の大多数の国民の精神生活に大きな影響を及ぼすようになったものである【1】。神社崇拝や神社制度などの、神社神道として組織化された神社も国家神道を構成する要素の一つだ。

### 4.社格制度

明治元年には、政府の行政機関に神祇事務科が設置された。二年には神祇官が置かれた。明治初期に、神祇行政が目指したのは、中央集権国家に適した神社制度である。神祇官は、各地の神社の調査を府藩県に命じ、全国の神社調査を行った。しかしこの調査はなかなか進展しなかったため、根本的な制度改革を行った。その結果、神社を国家の祭祀とする布告、そして神社の格を分ける社格の制度が定められた。翌年には別格官幣社という主に皇室や国家のために活躍した人々を祀る神社に定められる社格を設定した。こうした社格制度は、近代日本の社格制度の基本となっている。しかし、神祇官は早々に廃止され、新たな組織が次々と設置された

### 5.神仏分離政策

明治元年に政府が出した、神社からの仏像や仏具の撤去などを含むいくつかの法令に基づいた政策を、神仏分離という。神仏分離政策を積極的に行った例として、当時は薩摩藩である鹿児島県があげられる。鹿児島県の神社数は1138社で、神社数は全国的に見て、どちらかというとも少ない部類に入る。多くの土地では廃仏毀釈までは至らなかったが、薩摩藩は多くの仏像や仏具を破壊した。推測だが、寺院を壊す際に、付属していた神社も壊すことがあって、このような神社数になった可能性がある。

廃仏毀釈を行う事は政府の本意ではなかったため、神仏分離は廃仏毀釈を意味しないことに政府は注意喚起を行った。江戸時代までは仏教と神道の結びつきは深く、神社の境内内に仏教建築が建てられていることや仏が祀られていることも多々あったが、神仏分離政策によってそれらのいくらかは撤去された。例えば鶴岡八幡宮は「八幡宮寺」と呼ばれる神社と寺が一体となった宮寺形式の習合形態の神社であったが、神仏分離によって、境内にあった様々な仏教建築がすべて失われた。1626年の「寛永の造営」後の境内を描いた過去の境内図をみると、現在とは景観が異なっている。また、北野天満宮には社殿内に本地仏の像や仏具が祭られていたが、神仏分離により撤去された。これらは売却されたり廃棄されたりした。ほかの寺に移動したものもある。祭神である菅原道真の本地仏とされた十一面観音の掛仏も、社殿から撤去された。

## 6. 祝日

明治には、太陰暦から太陽暦へと改暦された。この改暦は季節の祭祀にも影響があった。祝日と定められた紀元節(2月11日)や天長節(11月3日)、祭日の休暇日と定められた新嘗祭(11月23日)は現在も祝日として残っている。紀元節とは日本の初代天皇とされる神武天皇が即位した日、天長節とは天皇の誕生日、新嘗祭とは天皇が収穫した穀物を神々に供え祈願する宮中祭祀である。新嘗祭は全国の神社で行われる。また、これらや他の多くの祝祭日には、各神社でも祭祀が行われた。

## 7. 氏子制度

氏子はもともと特定の氏神を信仰する同じ氏族を指していたが、ある神社の特定の地域内にいる住民の総称となり、明治前期の戸籍制度の中に一時期組み込まれた【2】。これは戸籍法の不備を補完していた。こうした制度は、戸籍制度が進められるにあたって後に施行は中止された。

## 8. 神社合祀政策

明治後期の神社合祀は、政治・経済的理由と「神社中心説」という理論を根拠に行われた。「神社中心説」とは、地方庶民の精神的な中心施設の一つに神社を据える【3】というものである。これに基づき、維持するのが難しい神社を統合、合併する神社整理が行われた。しかし、政府は直接的に神社合祀を命令する法令は出さなかったため、主体となった地方官庁の間で、結果に差ができた。現在の日本で最も神社数が多いのは新潟県だが、その理由のひとつとして、この政策の影響が少なかったことがあげられる。

## 9. まとめ

明治政府の行った政策は、神仏分離や神社合祀によって、神社そのものの形が変わった場合と、一時的に国民へと影響を与えたもの、また現在にも影響が残っているものがある。ここに挙げた以外にも多くの政策を行った。

## 10. 引用

【1】「国家神道と日本人」島藺進 p54, 4~7行

【2】「日本神道史」置かれた p256, 14から16行

【3】同上 p249, 7~8行

## 11. 参考文献

「日本神道史」岡田荘司(編者) 吉川弘文館 2019年4月1日(第6刷)

「神社の解剖図鑑 日本各地の神様とご利益がマルわかり」米澤貴紀 エクスナレッジ  
2016年5月26日(第6刷)

「事典 神社の歴史と祭り」岡田荘司、笹生衛(編者) 吉川弘文館 2013年4月10日

「日本宗教史」末木文美士 岩波新書 2006年4月20日(第1刷)

「原始の造形 縄文・弥生・古墳時代の美術 (日本美術全集)」講談社

「日本史大辞典 第3巻」平凡社 1993年5月1日(第1版)

「国家神道と日本人」島藺進 岩波新書 2019年5月15日(第十刷)

「鹿児島県 HP」2021年5月6日最終閲覧

(<http://www.pref.kagoshima.jp/ab23/pr/gaiyou/rekishi/bakumatu/haibutu.html>)

「新潟神社庁 HP コラム」2021年5月6日最終閲覧(<https://niigata-jinjacho.jp/column/>)

## 聖書翻訳 違いが生まれるのはなぜ？

### 1.はじめに

聖書には多くの日本語訳が存在する。聖書は旧約と新約に分かれている。最初の日本語訳聖書は新約聖書を翻訳したもので、現在主に使われている聖書の訳文とは全く異なっている。これまで翻訳された中で代表的なものを並べると変化がみられる。その変化は、神とはどういう人格であるか、を述べる箇所において顕著である。今回はヨハネの福音書 1 章 1 節～5 節に着目して、神の人格についての翻訳の違いを見ていく。

### 2.問いと答え

問い：ヨハネの福音書 1 章 1～5 節という同じ部分でも、比較したときに版によって翻訳が大きく異なるのはなぜか？

答え：①外国人宣教師の日本語習得度、日本人翻訳関係者の原典聖書の理解度と外国語（英語、中国語、ギリシャ語）習得度

②日本人全体の基督教の受容度また聖書の理解度が異なるから。

### 3.軸となる解釈について

色々の翻訳を比べる前に、本研究における比較の軸となる新改訳聖書とその解釈を紹介する。新改訳聖書（1965 年発刊）は現在多くの教会で使われている。新改訳聖書のうち新約聖書はネストレ（ギリシャ語）二十四版に基づく、42 名の翻訳者による翻訳である。

新約聖書にあるヨハネの福音書 1 章 1～5 節は以下の通りである。

1:1 初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。

1:2 この方は、初めに神とともにおられた。

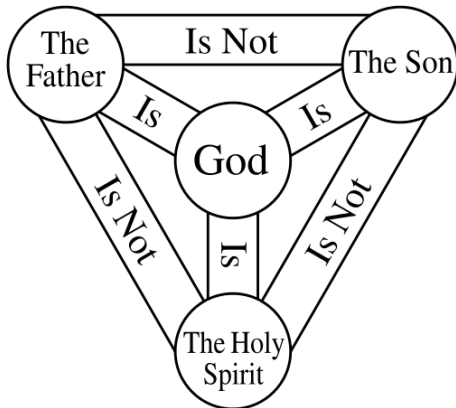
1:3 すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。

1:4 この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。

1:5 光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。

1:1 「初め」とは世界が創造されるよりもさらに前のときを、「ことば」とは原文における logos（ギリシャ語：以下ギ）を表している logos には単純に名詞の「言葉 word」、動詞の「話す、言う（speak）」以外に、この世界の根源となる普遍的な理法、原理という意味もある。logos は日常用語でありながらギリシャ哲学とも非常にかかわりが深い語である。神についての記述で単純に word の意味で使うのは合わないので、後者の意味で捉えるべきだ。つまり「初めに、ことばがあった」というのはこの世界が創造される前にこの世界の普遍的な理法となるものが存在したということである。この理法が基督教の神のことである。「言葉」とせず「ことば」としているのは、神の実体はただの言葉（word）ではないので、字面を超えた意味を含んでいることを示すためである。では「ことば」ではなく、原文の意図をくみ取れば違う単語を使ってもよいかというと、それは違う。聖典である聖書は、いかなる言語においてもその本質を同じに保っていなければならない

い。保とうとしなければならない。原文に logos と書いてあるなら、logos という単語が持つ意味の枠を超えて勝手に訳してはいけないのである。そしてこの logos (ことば) の実体とはイエスのことだ。その理由は以下の通りだ。「ことばは神とともにあった。ことばは神であった。」とある。三位一体の観点からみれば、「ことば」=イエス、である。三位一体とは、父なる神、子なるイエス、聖霊が同一の位格を持ち、一体である、ということである。ただしまったく同じものではない。



↑「三位一体の盾」の図

「1:2 この方は、初めに神とともにおられた。」

この方とはことば (=イエス) と神、同時に指している。

「1:4 この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。1:5 光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。」

「この方」はイエスや神、「いのち」とは永遠の命のことで、イエスや神は永遠の命を持つ者、永遠の存在であり、それは人の光、人に救いを与える存在であるということである。つまりこの光は物理的なものではなく、霊的なものを表す。人には肉体と魂と霊がある。このいのちは人間の霊を救う希望の光なのである。「やみ」は光の反対の存在、反キリスト的存在のサタン(墮天使)や悪霊、悪魔のことである。5 節では光とやみの二項対立が示されている。最終的には光が勝つというわけである。

#### 4. 検証・比較

##### ① ギュツラフ訳聖書(1837年)

断片的なものを除いたなかで現存する最も古い日本語訳聖書は、C.ギュツラフが訳したヨハネ福音書(約翰福音之傳)とヨハネ書簡(約翰上中下書)である。この書は尾張出身の日本人漂流民たちの協力によって完成された。以下は約翰福音之傳のヨハネの福音書 1 章 1~5 節である。

1:1 ハジマリニ カシコイモノゴザル。コノカシコイモノ ゴクラクトモニゴザル。コノカシコイモノワゴクラク。

1:2 ハジマリニコノカシコイモノ ゴクラクトモニゴザル。

1:3 ヒトワコトゴトク ミナツクル。

ヒトツモ シゴトワツクラヌ、ヒトワツクラヌナラバ。

1:4 ヒトノナカニイノチアル、

コノイノチワ ニンゲンノヒカリ。

1:5 コノヒカリワ クラサニカカヤク、

タダシワ セカイノクライ ニンゲンワ カンベンシラナンダ

ハジマリにカシコイモノとゴクラクがトモニあって、そのカシコイモノ＝ゴクラクである。「ハジマリ」は世界が創造されるよりもさらに前のとき、という意味で、新改訳の「初め」と対応する。「カシコイモノ」はこの世界の根源となる理法(万物の根源となる理)、ギリシャ語の logos であり、新改訳の「ことば」と対応する。「ゴクラク」は、新改訳の「神」と対応する。3 節以降は新改訳と大きく異なり稚拙な部分も多いが、5 節の「ニンゲンワ カンベンシラナンダ」を除いて、対応する語に対して決定的な違いはない。

以下より実際に比較・検証する。

「ゴクラク」を選んだのはなぜか。ギュツラフが参考にしたモリソンの漢訳『神天聖書』、W.H.メドハースト、C.ギュツラフらによる前著の改訂版、メドハーストの『英和・和英語彙』(1830 年)から調べる。なお鈴木範久著『聖書の日本語』を参考にする<sup>1</sup>。

ギュツラフは、参考にしていた『神天聖書』やメドハーストの辞書よりも、日本人協力者の影響を受けていると考えられる。ギュツラフ訳においてメドハーストの辞書と共通する言葉は数語のみで、また中国語訳聖書に登場する訳語もほとんどない。日本人協力者とは、尾張の漁師、音吉、岩吉、久吉である。彼らは航海中に嵐により遭難し、カナダの東端にたどり着いた。そののち、イギリスのハドソン湾会社に保護され、中国でギュツラフが引き取った。この頃ギュツラフは日本への伝道を志しており、この三人の漂流民との出会いは絶好のチャンスであった。ギュツラフは音吉たちに英語を、音吉たちは彼に日本語を教えながら、ヨハネの福音書の翻訳に取り掛かった。

ギュツラフ訳が特徴的な訳文となった原因は音吉たちの語彙や方言がどこで影響を受けたかに関わる。音吉の出身地は愛知県知多郡美浜町といわれているが、その町にある寺がある。境内には源義朝の最期を描く絵解きがあり、その中に「御座る」の言葉がみられること、「神」を「ゴクラク」(仏教用語)と訳すのも、その絵解きを幼少期に聞いたことからだと考えられる。しかし、鈴木氏はこの絵解きが直接影響したと言い切ることができないとしている。

5 節の「ニンゲンワ カンベンシラナンダ」にも、西日本のうち特に愛知県などでみられる否定の過去形「～なかった」という意味の「～なんだ」が含まれている。この点からもギュツラフが音吉たちから強い影響を受けていることが分かる。

## ②ヘボン・ブラウン訳(1872 年)

1:1 元始(はじめ)に言霊(ことだま)あり 言霊は神とともにあり 言霊ハ神なり

1:2 この言霊ハはじめに神とともにあり

1:3 よろづのものこれにてなれり なりしものハこれにあらでひとつとしてなりしものハなし

1:4 これに生(いのち)ありし いのちは人のひかりなりし

1:5 光は暗(くらき)にてりて暗はこれをさとらざりし

初期のギュツラフ訳聖書でカシコイモノとなっていた表現は言霊、ゴクラクは神となっている。ヘボンはなぜ言霊という単語を logos(ギ)の訳に選んだのか。logos に対応する日本語がなかったので参考にした漢訳聖書から引っ張ってきたのか。それともキリスト教に馴染みのない日本人にも聖書を理解しやすいよう、馴染みのあるわかりやすい言葉で翻訳したのか。しかし漢訳聖書でこの部分は「原始有道」となっており、漢訳聖書から引用したわけではない。またヘボンは『和英語林集成』という辞書を編纂している。この頃の日本に標準語はなく、馴染みのあるわかりやすい言葉が定まらなかった。そこで聖書翻訳をする前にまず標準語を定めることが不可欠であると考え、辞書を編纂した。しかしその再版(1872 年)には「言霊」という語は

載っていない<sup>2</sup>。ということはヘボンが日本人助手に logos の観念について説明したとき、彼らが言霊を挙げた可能性が高い。言霊とは、古代日本で言葉に宿っていると信じられていた不思議な力で発した言葉どおりの結果を現す力があるとされたものである。この言葉は『万葉集』にも詠み込まれていて、国学と結びついている。ヘボンはこのことを知っていたので、1878年の翻訳委員会社中訳では「太初にことばあり」に改められている<sup>3</sup>。

## 5. まとめ

ヨハネの福音書 1 章 1~5 節という同じ部分でも、比較したときに版によって翻訳が大きく異なるのは、①外国人宣教師の日本語習得度、日本人翻訳関係者の聖書の理解度と外国語（英語、中国語、ギリシャ語）習得度 ②日本人全体のキリスト教の理解度そして聖書の理解度 が異なるからであるといえる。

## 注釈

- 1『聖書の日本語』鈴木範久 p11
- 2『和英語林集成』（再版 1972年）J.C.ヘボン p270、271
- 3『ヘボンの生涯と日本語』望月洋子 p182~183

## 参考文献

- ・『英和和英語彙』W.H.メドハースト
- ・『和英語林集成』J.C.ヘボン
- ・『聖書の日本語』鈴木範久 岩波書店 2006年
- ・『ヘボンの生涯と日本語』望月洋子 新潮選書 1987年